平成28年度

仙台市
市民センター
事業概要

平成 29 年 9 月

仙台市生涯学習支援センター

目　次

Ⅰ　市民センターの概要

1　仙台市市民センター（公民館）の歴史 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
2　市民センター概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
3　平成 29 年度市民センターの体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
4　市民センターの施設理念と運営方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
5　市民センター事業体系 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７

Ⅱ　拠点館事業　平成 28 年度 市直営事業実績

1　生涯学習事業研究 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
2　広域規模の学習支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１
3　学校・地域連携推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４
4　学習情報収集・提供事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４０
5　人材育成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４２
6　仙台市公民館運営審議会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５５

Ⅲ　地区館事業　平成 28 年度 指定管理事業実績

青葉区

青葉区中央市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５９
柏木市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６１
北山市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６３
福沢市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６５
旭ケ丘市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６７
三本松市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６９
片平市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７１
水の森市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７３
貝ケ森市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７５
中山市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７８
折立市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８０
木町通市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８２
広瀬市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８４
宮城西市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８７
大沢市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８９
落合市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９１
吉成市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９４

宮城野区

宮城野区中央市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９６
生涯学習支援センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９８
高砂市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９９
岩切市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０２
鶴ケ谷市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０４
榴ケ岡市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０６
東部市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０８
幸町市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１０
田子市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１２
福室市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１４

若林区
若林区中央市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１６
七郷市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１９
荒町市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２２
六郷市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２４
若林市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２６
沖野市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２８
太白区
太白区中央市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３０
生出市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３２
中田市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３４
西多賀市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３６
八本松市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３８
八木山市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４０
山田市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４２
茂庭台市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４５
東中田市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４７
柳生市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４９
富沢市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５１
秋保市民センター・馬場市民センター・湯元市民センター・・・・・・・・・ １５３
泉区
泉区中央市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５５
根白石市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５７
南光台市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５９
黒松市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６１
将監市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６３
加茂市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６５
高森市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６７
松陵市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６９
寺岡市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７２
長命ケ丘市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７４
松森市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７７
桂市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７９
南中山市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８１

Ⅳ　資料編
１　市民センターの予算 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８３
２　平成 28 年度　市民センター職員数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８４
３　平成 28 年度　主催講座の事業別実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・ １８６
４　主催事業参加者数推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １９０
５　市民センター利用者数推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １９２
６　仙台市市民センター条例・施行規則 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １９４

平成 28 年度仙台市市民センター事業概要は
市民センターのホームページでもご覧いただけます

Ⅰ 市民センターの概要

１　仙台市市民センター（公民館）の歴史

昭和 21 年、在仙文化人有志により、宮城県医師会館内に「仙台公民館」が設立された後、昭和 24 年の社会教育法施行に合わせた「仙台市公民館条例」の制定により、仙台市公会堂(現市民会館)内に仙台市公民館が誕生した。

以後、館数を増やしながら、社会教育施設として、市民の学習意欲に応える種々の事業を実施するとともに、市民が自主的に学習活動を行う場の提供を行っている。

平成元年には、教育委員会所管の公民館と市民局所管の地区市民センターを相互に併設して名称を「市民センター・公民館」とし、政令指定都市移行に伴って各区に拠点館を置いた。さらに、翌平成 2 年度に、「仙台市市民センター条例」を新たに制定し、施設名称を「市民センター」に統一した。

平成 3 年度、財団法人仙台市地域振興公社に施設管理を委託し、平成 13 年度には、市民センターの業務再編により市職員を各区拠点館に集中配置して、地区館の生涯学習事業を財団法人仙台ひと・まち交流財団（平成 13 年度に地域振興公社から名称変更）に委託した。平成 16 年度からは、指定管理者制度導入に伴い、同財団（平成 23 年 4 月に公益財団法人化）を指定管理者とし、以降、指定を更新・継続して現在に至っている。

平成 23 年 5 月 1 日には、地域政策と教育行政の円滑な推進を図るため、教育局の第二種公所であった各区拠点館を区役所組織に移管し、各区の第二種公所として位置付けた。

平成 24 年 8 月 28 日に宮城野区中央市民センターが新設され、市民センターは、概ね中学校区毎に 60 館設置されている。

平成 26 年度から、中央市民センターの人材育成機能等を強化し、本市の生涯学習支援体制を充実するとともに、名称を生涯学習支援センターに変更した。

年　月	摘　　要	館数
昭和 21 年 10 月	在仙文化人有志により、宮城県医師会館内に「仙台公民館」設立	
昭和 24 年 6 月	「社会教育法」制定	
昭和 24 年 8 月	「仙台市公民館条例」の制定により、仙台市公会堂（現市民会館）内に「仙台市公民館」誕生	1 館
昭和 25 年 12 月	仙台市教育委員会発足 仙台市公民館運営審議会設置	
昭和 27 年 6 月	「仙台市社会教育委員の設置に関する条例」制定	
昭和 31 年 4 月	生出村が仙台市に合併したことに伴い、「生出村公民館」を「生出分館」に改称	1 館 1 分館
昭和 42 年 4 月	「生出分館」が移転し、「生出公民館」に名称を変更	2 館
昭和 42 年 10 月	「仙台市公民館条例」を新たに制定（旧条例は廃止）、貸室の有料化 「長町公民館」開館	3 館
昭和 43 年 11 月	「高砂公民館」開館	4 館
昭和 44 年 10 月	「中田公民館」開館	5 館

年 月	摘　　要	館数
昭和 46 年 8 月	公会堂解体・市民会館建設に伴い、「仙台市公民館」が東二番丁の「市民教養センター」に移転	
昭和 48 年 3 月	「仙台市公民館」を「中央公民館」に改称	
昭和 56 年 12 月	「岩切公民館」開館	6 館
昭和 58 年 3 月	「中央公民館」を現在地（仙台駅東口「パルシティ仙台」内）に新築移転し、宮城野通図書館（現・榴岡図書館）と共に開館	
昭和 58 年 4 月	「七郷公民館」開館	7 館
昭和 61 年 3 月	東二番丁小学校改築に伴う「市民教養センター」の廃止	
昭和 61 年 7 月	「中央公民館柏木分館」開館	7 館 1 分館
昭和 62 年 11 月	宮城町合併に伴い、公民館 9 館、分館 1 館となる （※）宮城・宮城西	9 館 1 分館
昭和 63 年 1 月	「中央公民館一番町分館」開館	9 館 2 分館
昭和 63 年 3 月	秋保町、泉市の合併に伴い、公民館 18 館、分館 2 館となる (※)泉・南光台・加茂・将監・根白石・秋保・馬場・湯元・八乙女	18 館 2 分館
平成元年 4 月	教育委員会所管の「公民館（18 館 2 分館)」と市民局所管の「地区市民センター（15 館)」が相互に併設され、新たに開館した 3 館を含めて施設の名称を「○○市民センター・公民館」の二枚看板とする 政令指定都市移行に伴い 5 区 38 館制をとり、各区に拠点館を設置 青 葉 区：「一番町公民館」 宮城野区：「中央公民館」 若 林 区：「七郷公民館」 太 白 区：「中田公民館」 泉　　区：「泉公民館」 ・名称変更：柏木・一番町（分館から公民館へ名称変更） ・新　　設：片平・東中田・高森 ・市民会館の一部として開館していたものに併設：榴ヶ岡 ・市民センターに併設 鶴ヶ谷・東部・北山・福沢・旭ヶ丘・三本松・荒町・ 南小泉・六郷・西多賀・八本松・八木山・山田・茂庭台	38 館
平成 2 年 3 月	「仙台市市民センター条例」を新たに制定。	
平成 2 年 4 月	名称を「市民センター」に統一し、施設を教育委員会が所管する公民館として位置づけ、施設の使用許可を区長に委任、施設管理の総括を市民局、維持管理を区長に補助執行させる 「松陵市民センター」開館	39 館
平成 2 年 5 月	「大沢市民センター」開館	40 館
平成 2 年 9 月	「水の森市民センター」開館	41 館

年 月	摘　　要	館数
平成 3 年 4 月	財団法人仙台市地域振興公社に施設管理を委託、「若林市民センター」「沖野市民センター」「寺岡市民センター」開館	44 館
平成 3 年 6 月	「宮城市民センター」の名称を変更し、広瀬文化センター内に「広瀬市民センター」が開館	
平成 5 年 4 月	「幸町市民センター」「貝ヶ森市民センター」「長命ヶ丘市民センター」開館	47 館
平成 5 年 9 月	「南小泉市民センター」の名称を変更し、若林区文化センター内に若林区の拠点館「若林区中央市民センター」として開館	
平成 6 年 4 月	「落合市民センター」開館	48 館
平成 6 年 11 月	「せんだいＬＬプラン 21　仙台市生涯学習基本構想」策定	
平成 7 年 4 月	「中山市民センター」開館	49 館
平成 7 年 5 月	「折立市民センター」開館	50 館
平成 8 年 4 月	「吉成市民センター」開館	51 館
平成 9 年 4 月	「柳生市民センター」開館	52 館
平成 11 年 6 月	「長町市民センター」の名称を変更し、太白区文化センター内に太白区の拠点館「太白区中央市民センター」として開館	52 館
平成 11 年 8 月	「田子市民センター」開館	53 館
平成 12 年 1 月	「松森市民センター」開館	54 館
平成 13 年 1 月	「仙台まなびの杜（仙台市教育ビジョン)」策定（平成 13 年～22 年）	
平成 13 年 4 月	市民センターの業務再編により、市職員を各区拠点館に集中配置、地区館の生涯学習事業を「仙台ひと・まち交流財団」に委託	
平成 13 年 9 月	「市民センター運営方針」を定める	
平成 13 年 11 月	「富沢市民センター」開館	55 館
平成 13 年 12 月	「桂市民センター」開館	56 館
平成 15 年 3 月	「福室市民センター」開館	57 館
平成 15 年１１月	仙台市市民利用施設予約システムの導入 「南中山市民センター」開館	58 館
平成 16 年 4 月	指定管理者制度導入に伴い、財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者に指定（3 年間） 「木町通市民センター」開館	59 館
平成 19 年 4 月	非公募により引き続き、財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者に指定（2 年間）	
平成 19 年 10 月	仙台市公民館運営審議会より「市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて」（答申）を受ける。	

年 月	摘　　要	館数
平成 20 年 12 月	「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」策定	
平成 21 年 4 月	非公募により引き続き、財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者に指定（2 年間）	
平成 23 年 4 月	非公募により引き続き、公益財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者に指定（2 年間） ※平成 23 年 4 月 1 日より「財団法人仙台ひと・まち交流財団」から「公益財団法人仙台ひと・まち交流財団」に変更	
平成 23 年 5 月	各区中央市民センターを教育局から各区役所区民部の公所として組織変更し、業務を各区長の補助執行とする。 宮城野区の拠点館機能を教育局中央市民センターから分離し、宮城野区中央市民センターが新設されるまでの間、宮城野区区民部に「市民センター事業推進室」を設置	
平成 24 年 8 月	「宮城野区中央市民センター」開館 宮城野区拠点館である「宮城野区市民センター事業推進室」の名称を「宮城野区中央市民センター」に変更 「榴ケ岡市民センター」を廃止 「榴ケ岡市民センター榴岡公園軽体育館」の名称を「榴ケ岡市民センター」に変更	60 館
平成 25 年 4 月	非公募により引き続き、公益財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者に指定（5 年間）	
平成 26 年 4 月	中央市民センターの人材育成機能等を強化し、生涯学習支援体制の充実を図るとともに、名称を生涯学習支援センターに変更 「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」を改定	

２　市民センター概要

（平成 29 年 8 月 1 日現在）

（1）市民センターの概要

市民センターは概ね中学校区毎に設置されており、その総数は、平成 28 年 4 月 1 日現在 60 館となっている。市民センターの種類は次のとおりである。

① 生涯学習支援センター

本市の全域を主たる対象区域としてその事業を行うとともに、他の全ての市民センターを統括する市民センターで、1 館設置されている。

② 区中央市民センター

その所在する区の区域内を主たる対象区域としてその事業を行うとともに、当該区域内に所在する地区市民センターを支援する市民センターで、各区に 1 館ずつ、計 5 館設置されている。

③ 地区市民センター

生涯学習支援センター及び区中央市民センター以外の市民センターで、54 館設置されている。

（2）市民センターの施設概要

①　生涯学習支援センター

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
生涯学習支援	宮城野区榴岡四丁目 1 番 8 号	295-0403 295-0810	昭和 58 年 2 月 28 日	3,367.52 4,064.32	会議室、セミナー室(4)、和室、音楽室(2)、創作室(2)、体育館、トレーニング室、ミーティング室	榴岡図書館

②　区中央市民センター

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
青葉区中央	青葉区一番町二丁目 1 番 4 号	223-2516 261-3251	昭和 62 年 12 月 15 日	7,148.85 2,311.55	ホール、小ホール(2)、会議室(5)、和室、調理実習室、音楽室、市民活動室	幼稚園・小学校
宮城野区中央	宮城野区五輪二丁目 12 番 70 号	791-7015 295-2337	平成 24 年 7 月 13 日	(宮城野区文化センター内) 12,626.18 3,075.46	会議室(4)、和室(2)、調理実習室、音楽室、創作室、体育館、市民活動室、親子室、娯楽室、資料室	文化センター・児童館・図書館・情報センター
若林区中央	若林区南小泉一丁目 1 番 1 号	282-1173 282-1180	平成 5 年 3 月	(若林区文化センター内) 11,842.43 515.21	会議室(2)、和室(3)、セミナー室(2)、市民活動室、サークル連絡室、プレイルーム	文化センター・図書館・情報センター
(若林区中央別棟)	若林区保春院前丁 3 番地の1		平成 29 年 6 月 30 日	4,149.32 1,507.98	会議室(2)、和室、調理実習室、創作室、ホール	児童館・子育てふれあいプラザ・社会福祉協議会

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
太白区 中央	太白区長町 五丁目 3 番 2 号	304-2741 304-2526	平成 11 年 3 月 31 日	(太白区文化 センター内) 9,684.57 2,311.68	会議室(5)、和室(2)、調理実 習室、音楽室、創作室、体 育館	文化センター・ 図書館・児童 館・情報センタ ー
泉区 中央	泉区市名坂 字東裏 53 番 地の 1	372-8101 372-2447	平成 15 年 11 月 14 日	3,035.78 2,138.54	会議室(3)、和室(2)、調理実 習室、研修室、音楽室、創 作室、親子室、娯楽室、市 民活動室、ホール	コミュニティ防 災センター・泉 ふるさと生活ギ ャラリー

③ 地区市民センター

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
柏木	青葉区柏木 三丁目 3 番 1 号	233-8066 233-8484	平成 10 年 4 月 1 日	2,822.73 1,315.20	会議室、和室(2)、ホール、 市民活動室、資料室	コミュニティ防 災センター
北山	青葉区新坂 町 8 番 4 号	272-1020 272-1036	昭和 49 年 7 月 3 日	2,071.54 1,406.43	会議室(3)、和室(4)、調理実 習室、娯楽室、トレーニング 室、親子室、資料室、図書 室	
福沢	青葉区福沢 町 9 番 9 号	223-9095 213-1647	昭和 59 年 6 月 9 日	3,205.75 1,998.46	会議室(3)、和室(3)、視聴覚 室、調理実習室、遊戯室、 図書室、娯楽室、体育館	コミュニティ防 災センター
旭ケ丘	青葉区旭ケ丘 三丁目 25 番 15 号	271-4729 271-7984	昭和 60 年 6 月 15 日	3,128.66 2,044.91	展示ホール(2)、ホール(2)、 会議室(3)	旭ケ丘バス乗 継ターミナル
三本松	青葉区堤町 三丁目 23 番 1 号	274-3955 234-5355	昭和 62 年 3 月 31 日	4,861.02 1,499.07	会議室、会議室兼調理室、 和室(2)、体育館、遊戯室、 図書室	コミュニティ防 災センター
片平	青葉区米ケ袋 一丁目 1 番 35 号	227-5333 268-0234	平成元年 3 月 15 日	2,500.03 2,027.60	会議室(2)、会議室兼調理実 習室、和室(3)、体育館、娯 楽室、広瀬川自然展示コー ナー	児童館(図書 室)・コミュニティ 防災センター
水の森	青葉区水の 森四丁目 1 番 1 号	277-2711 277-8863	平成 2 年 8 月 30 日	(水の森温水 プール内) 11,317.60 1,847.57	会議室、会議室兼調理実習 室、和室(3)、体育館、親子 室	児童館(図書 室)・コミュニティ 防災センター・ 温水プール
貝ケ森	青葉区貝ケ森 一丁目 4 番 6 号	279-6320 279-6704	平成 5 年 4 月 26 日	3,669.11 1,578.64	会議室、会議室兼調理実習 室、和室(2)、資料室、親子 室、ホール	児童館(図書 室)
中山	青葉区中山 三丁目 13 番 1 号	279-9216 719-2150	平成 7 年 3 月 31 日	4,047.48 1,719.78	会議室、会議室兼調理実習 室、和室(2)、資料室、親子 室、ホール	児童館(図書 室)・老人憩い の家・コミュニテ ィ防災センター
折立	青葉区折立 三丁目 20 番 1 号	226-1226 226-2660	平成 7 年 5 月 30 日	2,843.36 1,790.71	会議室、会議室兼調理実習 室、和室(2)、ホール、親子 室、資料室	児童館(図書 室)・コミュニティ 防災センター
木町通	青葉区木町 通一丁目 7 番 36 号	711-2561 212-4330	平成 16 年 2 月 27 日	(木町通小学 校内) 10,480.00 2,892.34	会議室(2)、和室(2)、調理実 習室、娯楽室、親子室、市 民活動室、ホール	小学校・児童館 (図書室)・コミュ ニティ防災セン ター

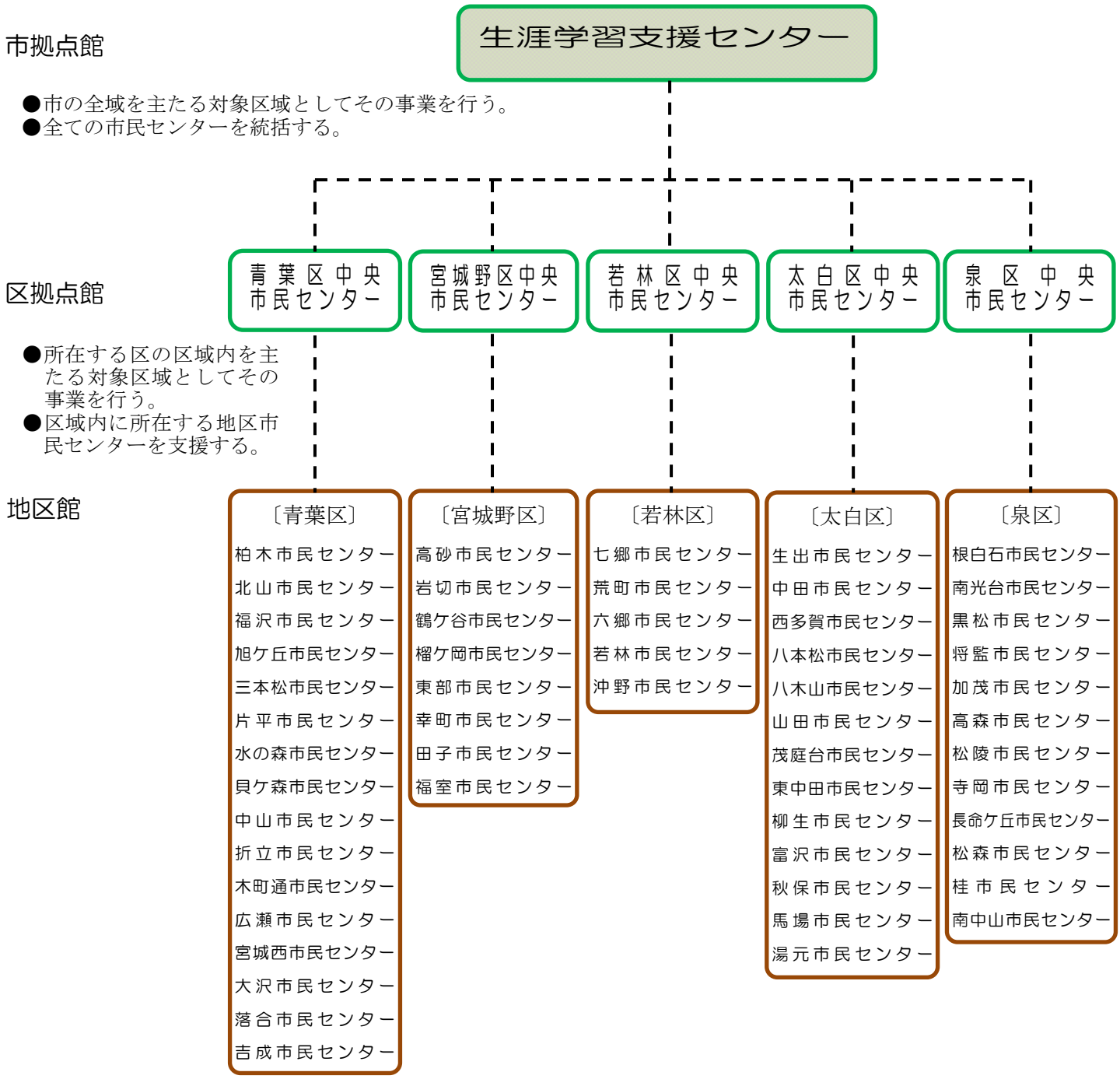
館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
広瀬	青葉区下愛子字観音堂5番地	392-8405 392-8410	平成3年 3月31日	6,746.77 786.54	会議室、セミナー室(2)、和室(2)、創作室、サークル連絡室、プレイルーム	広瀬文化センター・広瀬図書館
宮城西	青葉区熊ヶ根字石積47番地	393-2829 393-2491	昭和51年 12月20日	2,299.72 1,484.56	会議室(2)、和室(2)、調理実習室、ホール、市民活動室、親子室、娯楽室	
大沢	青葉区芋沢字要害65番地	394-6891 394-6439	平成2年 5月24日	6,318.73 1,245.60	会議室兼調理実習室、和室(2)、体育館	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター・証明発行センター
落合	青葉区落合二丁目15番15号	392-7301 392-6737	平成6年 3月31日	4,078.96 1,248.45	会議室兼調理実習室、和室(2)、娯楽室、図書室、親子室、ホール	コミュニティ防災センター
吉成	青葉区国見ヶ丘二丁目2番地の1	279-2033 279-9431	平成8年 4月26日	3,300.76 1,606.03	会議室、会議室兼調理実習室、和室、親子室、ホール、資料室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
高砂	宮城野区高砂一丁目24番地の9号	258-1010 259-7577	平成6年 3月30日	10,000.02 1,908.06	会議室(2)、和室(2)、調理実習室、親子室、ホール、資料室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター・老人福祉センター・デイサービスセンター・保健センター
岩切	宮城野区岩切字三所南88番地の2	255-7728 255-2075	昭和56年 12月15日	4,789.09 2,060.91	講義室、研修室(2)、和室(2)、調理実習室、視聴覚室、創作室、体育館、図書室、交流室、親子室、資料室	保健センター・老人憩いの家・コミュニティ防災センター・証明発行センター
鶴ケ谷	宮城野区鶴ケ谷二丁目1番地の7	251-1562 251-1564	平成28年 2月19日	3291.14 1763.95	会議室(3)、和室、調理実習室、ホール、娯楽室、親子室、市民活動室、図書室	コミュニティ防災センター
榴ケ岡	宮城野区五輪一丁目3番1号	299-5666 299-5690	平成元年 4月26日	963.40 1,005.33	和室(2)、ミーティングルーム(2)、休憩室、体育館	
東部	宮城野区平成一丁目3番27号	237-0092 235-7634	昭和58年 4月8日	1,795.57 1,435.36	会議室、和室(3)、調理実習室、娯楽室、体育館	児童館(図書室)
幸町	宮城野区幸町三丁目13番13号	291-8651 291-8561	平成5年 3月31日	3,838.08 1,756.90	会議室、会議室兼調理実習室、和室(2)、親子室、資料室、ホール	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
田子	宮城野区田子二丁目4番25号	254-2721 254-2722	平成11年 8月5日	2,877.76 1,951.49	会議室(2)、和室(2)、調理実習室、ホール、娯楽室、親子室、市民活動室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
福室	宮城野区福室五丁目9番36号	786-3540 388-6320	平成15年 1月10日	4,747.25 1,956.70	ホール、会議室(2)、和室(2)、調理実習室、市民活動室、娯楽室、親子室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
七郷	若林区荒井字堀添65番地の5	288-8700 288-2340	昭和58年 3月7日	5,674.00 1,986.39	会議室、研修室(2)、和室(3)、調理実習室、視聴覚室、創作室、体育館、市民活動室	児童館(図書室)・保健センター・コミュニティ防災センター・証明発行センター

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
荒町	若林区荒町 86 番地の 2	266-3790 266-5436	平成 21 年 11 月 27 日	1,430.29 2,234.78	会議室(3)、和室(2)、調理実習室、ホール、娯楽室、親子室、市民活動室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
六郷	若林区今泉 一丁目 3 番 19 号	289-5127 289-6359	昭和 56 年 12 月 15 日	4,354.80 1,843.28	会議室(3)、和室(3)、調理実習室、娯楽室、市民活動室、体育館	児童館(図書室)・保健センター・証明発行センター
若林	若林三丁目 15 番 20 号	282-4541 282-2637	平成 3 年 4 月 29 日	3,048.00 1,624.03	会議室、会議室兼調理実習室、和室(2)、資料室、親子室、ホール	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
沖野	若林区沖野 七丁目 34 番 43 号	282-4571 285-4681	平成 3 年 3 月 30 日	6,151.42 1,637.42	会議室、会議室兼調理実習室、和室(2)、親子室、資料室、ホール	児童館(図書室)・老人福祉センター・デイサービスセンター
生出	太白区茂庭 字新熊野 64 番地	281-2040 281-4319	昭和 55 年 3 月 31 日	4,253.24 955.78	講義室(2)、和室、図書室、調理実習室、体育館	診療所・保健センター・証明発行センター
中田	太白区中田 四丁目 1 番 5 号	241-1459 242-2535	昭和 56 年 3 月 20 日	3,217.97 1,801.97	講義室、研修室(2)、和室(2)、調理実習室、視聴覚室、図書室、体育館	コミュニティ防災センター・証明発行センター
西多賀	太白区西多 賀三丁目 6 番 8 号	244-6721 244-0524	昭和 53 年 5 月 10 日	2,526.17 1,462.35	会議室(2)、和室(3)、調理実習室、ホール、娯楽室	児童館(図書室)
八本松	太白区八本 松二丁目 4 番 20 号	246-2426 246-9023	昭和 60 年 5 月 12 日	3,606.73 1,495.44	会議室兼調理実習室、会議室、和室(2)、体育館、市民活動室	児童館・太白図書館分室・コミュニティ防災センター
八木山	太白区八木 山本町一丁 目 43 番地	228-1190 228-1689	昭和 62 年 2 月 10 日	4,239.00 2,599.94	会議室、会議室兼調理実習室、研修室(3)、和室(2)、体育館、遊戯室、娯楽室、図書室、市民活動室	コミュニティ防災センター
山田	太白区山田 北前町 13 番 1 号	244-0213 244-1843	昭和 62 年 4 月 17 日	4,434.93 1,496.88	会議室、会議室兼調理実習室、和室(2)、体育館、遊戯室、娯楽室、図書室	コミュニティ防災センター
茂庭台	太白区茂庭 台四丁目 1 番 10 号	281-3293 281-4349	昭和 63 年 3 月 31 日	9,803.90 1,495.55	会議室、和室(2)、会議室兼調理実習室、娯楽室、体育館	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
東中田	太白区四郎 丸字吹上 51 番地	242-1185 242-7053	平成元年 3 月 5 日	5,516.21 1,619.96	会議室、和室(2)、娯楽室、体育館、会議室兼調理実習室	児童館(図書室)・保健センター・コミュニティ防災センター
柳生	太白区柳生 七丁目 20 番 7 号	306-6750 306-7081	平成 9 年 3 月 31 日	2,879.16 1,633.01	会議室、和室(2)、ホール、資料室、親子室、会議室兼調理実習室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
富沢	太白区富沢 南一丁目 18 番地の 10	244-3977 307-5101	平成 13 年 11 月 22 日	4,068.46 1,839.30	会議室(2)、和室(2)、ホール、調理実習室、娯楽室、親子室、図書室、市民活動室	コミュニティ防災センター
秋保	太白区秋保 町長袋字大 原 44 番地の 1	399-2316 399-2394	昭和 46 年 9 月 1 日	5,281.64 1,643.03	研修室、図書室、和室(2)、会議室(2)、ホール、調理実習室、親子室、市民活動室、資料室	
馬場	太白区秋保 町馬場字竹 林 45 番地の 1	399-2745 －	昭和 52 年 3 月 31 日	3,185.42 734.20	会議室、講義室、調理実習室、体育館、図書室兼談話室	

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
湯元	太白区秋保町湯向2番地の20	398-2720 398-2789	昭和54年3月31日	1,846.47 844.98	集会室、会議室、講義室、視聴覚室、調理実習室、和室	
根白石	泉区根白石字杉下前24番地	379-2108 376-5769	昭和63年3月31日	5,839.66 1,911.53	会議室(2)、ホール、工作室、和室、調理実習室	泉図書館分室、証明発行センター
南光台	泉区南光台七丁目1番30号	253-1023 253-1024	平成27年2月13日	2,829.02 1,750.15	会議室(4)、和室、調理実習室、ホール、親子室、市民活動室	泉図書館分室、コミュニティ防災センター・証明発行センター
黒松	泉区黒松一丁目33番40号	234-5346 219-2038	平成4年10月20日	5,264.63 1,491.48	ホール、研修室(2)、多目的室、和室、調理実習室	泉図書館分室
将監	泉区将監八丁目2番1号	372-0923 374-8704	平成4年3月19日	1,821.00 1,497.95	和室(2)、研修室(3)、調理実習室、ホール、娯楽室、託児室	泉図書館分室
加茂	泉区加茂四丁目2番地	378-2970 377-4565	昭和58年4月1日	4,471.52 2,127.06	会議室、和室、研修室(2)、調理実習室、体育館、談話室、市民活動室	泉図書館分室
高森	泉区高森六丁目1番2号	378-9950 378-9969	平成元年3月20日	3,000.12 1,499.93	研修室(3)、和室、調理実習室、音楽室、工作室、ホール	泉図書館分室
松陵	泉区松陵五丁目20番地の2	375-8101 375-6101	平成2年3月10日	2,806.93 1,498.49	研修室(3)、工作室、調理実習室、和室、託児室、ホール	泉図書館分室
寺岡	泉区寺岡二丁目14番地の4	378-4490 378-4534	平成3年3月10日	2,665.42 1,481.22	研修室(3)、和室、調理実習室、トレーニング室、ホール、市民活動室	泉図書館分室
長命ケ丘	泉区長命ケ丘二丁目14番15号	377-3504 377-3508	平成5年4月27日	2,885.07 1,496.35	会議室、会議室兼調理実習室、和室(2)、娯楽室、親子室、ホール	泉図書館分室
松森	泉区松森字城前9番地の2	776-9510 776-9512	平成11年12月10日	4,000.50 1,870.33	会議室、和室(2)、調理実習室、工作室、ホール、娯楽室、図書室、親子室、市民活動室	コミュニティ防災センター、訪問看護ステーション
桂	泉区桂三丁目19番1号	375-0550 771-5931	平成13年12月4日	7,759.48 2,268.05	会議室(2)、和室(2)、創作室、調理実習室、娯楽室、親子室、市民活動室、ホール	児童センター(図書室)・コミュニティ防災センター
南中山	泉区南中山二丁目24番12号	379-4780 348-4340	平成15年11月13日	5,718.56 1,579.66	会議室(2)、和室(3)、調理実習室、研修室、親子室、娯楽室、市民活動室、図書コーナー、体育館	コミュニティ防災センター

3　平成 29 年度 市民センターの体制

（平成 29 年 4 月 1 日現在）



※仙台市内の市民センター　60 館（青葉区 17 館、宮城野区 10 館、若林区 6 館、太白区 14 館、泉区 13 館）

※市拠点館及び区拠点館については、地区館としての機能も有している。

※地区館の業務（生涯学習支援事業、施設の使用許可等）は、指定管理者（公益財団法人　仙台ひと・まち交流財団）が行っている。

４　市民センターの施設理念と運営方針

（平成 26 年 4 月改定）

仙台市市民センターの施設理念

市民センターとは、次の３つの機能が一体となって運営される社会教育施設である。

１　市民の学びのプロセスに沿った学習支援のための諸機能を有し、あらゆるライフステージに応じた市民一人ひとりの学びを総合的に支援する、市民との協働による**市民本位の生涯学習の支援拠点としての機能**

２　子どもから高齢者までのあらゆる市民が集い交流し、多様な市民による様々な活動が主体的に行えるよう支援する場や機能を持った市民のための**市民が主役の交流拠点としての機能**

３　学びを通して地域の人と人とをつなぎ、住みよいまちづくりにつながる人づくりを行う**地域づくりの拠点としての機能**

仙台市市民センター事業の運営方針

１．市民センター事業の目的

１）市民センター全体の事業目的

市民センターは、それぞれの地域での市民ニーズに応じた多様な事業を実施することにより、市民一人ひとりの主体的な生涯学習活動が充実し、その活動をきっかけとして仲間が集い交流が生まれ、その相互の交流を通して住みよい地域づくりにつながる自治活動が活発になるなど、それぞれの地域社会のより良い形成に寄与する“人づくり”を目指す。

【重点方針】

・全ての市民センター事業は、この目的に向かって計画性を持って実施する。

・実際の事業の企画・実施にあたり、職員は「きっかけ」「仕掛け」「働きかけ」といった社会教育的関わりを常に意識し、市民の主体的な「学び」を支え、市民と協働して事業に取り組む。

・職員はこのような目的が達成されているかどうかを自己点検・評価するとともに、市民・地域住民による評価を受け、事業の改善に絶えず努める。

・東日本大震災での経験を踏まえるとともに、震災からの復興を見据え、地域課題の解決や地域づくりの担い手の育成に向けた取組の強化を図る。

２）拠点館事業の主要な目的

拠点館事業の主要な目的は、本市における、あらゆる市民のライフステージごとの学習ニーズに対応した、多様な生涯学習事業の計画的かつ体系的な推進である。さらには、指定管理者制度の下で事業を受注している地区館（地区市民センター）に対して、市拠点館（生涯学習支援センター）はその果たすべき業務の目的・目標を設定するとともに、区拠点館（区中央市民センター）は定期的に事業を評価し必要な助言を行うなど、発注者としての地区館事業へのマネジメントを行い社会教育施設としての質の確保を図ることである。

【重点方針】

・拠点館は、体系化された事業計画と社会教育の専門性を持って、市民センター事業全体の質を維持し高めるものとする。
・拠点館職員は常に専門性の維持・向上に努め、地域課題を踏まえた調査研究事業の充実と地区館支援のための環境整備に重点的に取り組むものとする。

３）地区館事業の主要な目的

地区館事業の主要な目的は、地域を基盤とし、地域づくりにつながる人づくりを行うことであり、市民一人ひとりが「出会い・ふれあい・学びあう」ことでつながり、さらには市民自ら地域課題に向き合い住み良いまちづくりに協働して取り組むことができるよう支援することである。

【重点方針】

・地区館は“地域づくりの拠点”としての機能を果たすことを重点目標とし、地域のコーディネーターの役割を担うものとする。
・地域の連帯感を高め豊かな地域社会を創るために、地域における市民の主体的で多様な生涯学習活動を支援し、質・量ともに充実するものとする。

２　市民センターの役割

１）　市拠点館（生涯学習支援センター）の基本的な役割

(1) 市民センターにおける生涯学習事業体系の策定と行動計画の立案、及び全市にわたる生涯学習事業の推進

本市における生涯学習に関わる機関・団体との役割分担を踏まえ、学校教育や関係局・区役所とも連携しながら、市民センターが担うべき生涯学習事業体系を策定し、事業目標を定めた行動計画にしたがって本市の生涯学習事業を着実に推進する。併せて、人材育成にかかる事業を中心とした生涯学習事業を総合的・体系的に実施する。

(2) 生涯学習推進のための専門性の向上

少子高齢化・国際化・情報化、男女共同参画などの現代的な課題や、本市が抱える諸課題への先進的な取組み、及び市民のライフステージごとの多様な学習ニーズの把握と効果的なプログラムづくり等の調査・研究を推進するとともに、その成果を地区館等へ還元する。

また、東日本大震災を機に生じた地域社会のあり方、エネルギー問題等の社会的課題や社会からの要請に対応する取組についての調査・研究を推進する。

⑶ 市民一人ひとりのニーズに対応した生涯学習支援体制の充実

〔学習活動のネットワーク化とリーダー等の養成〕

市民相互の学習活動やそのネットワーク化を支援するとともに、学習リーダーや学習ボランティアを養成し、その活動を推進する。

〔生涯学習に関する関係機関等との連携・協力の推進〕

生涯学習について、大学、市民活動団体等関係機関・団体との連携・協力を推進する。

〔生涯学習情報の計画的体系的な収集と提供〕

計画的で体系的な生涯学習情報の収集と提供を行い、生涯学習相談事業の充実を図る。

⑷ 指定管理者制度下での指定管理業務のマネジメントの推進

市民センターの指定管理業務を統括する立場から、指定管理業務の目的とそのための事業の目標及びその要求水準の考え方を明確にし、地区館ごとに事業を評価できる体制を構築する。

⑸ 職員の育成

〔職員研修の体系化と専門研修の充実〕

初任者・中堅者・館長などに対する経験や役割に応じた体系的な研修や、社会教育を担当する職員としての専門性を高める研修の充実を図る。

〔職員への助言及び支援体制づくり〕

事業が具体的な目標のもとに計画的に推進できるよう、事業を担当する職員への専門的な助言や支援のための体制づくりに努める。

２） 区拠点館（区中央市民センター）の基本的な役割

⑴ 区内の生涯学習事業の推進

〔区内の生涯学習事業の推進と地域リーダーの育成〕

区内諸団体、区役所関係課、区内地区館などとの連携を図り地域課題に取り組むことで、区内の生涯学習事業を推進するとともに、区内の地域リーダーの育成に努める。

〔区内の市民の学習・グループ活動への支援〕

区内の生涯学習活動を幅広く支援するため、生涯学習情報の収集と提供及び相談事業を充実させるとともに、活動する市民・団体等のグループ化やネットワーク化への支援に努める。

⑵ 区内地区館事業への支援

〔関係諸団体との連携の推進〕

地域団体・NPO・ボランティア団体などの民間諸団体や、区役所関係課、学校などの公共機関等との連携によって地区館事業が活発に展開されるよう、地区館を積極的に支援する。

また、地域課題の把握とその対応等に向け、区役所関係課と地区館とが連携し

て取り組み、市民協働による地域づくりが推進されるよう支援する。

〔家庭及び地域での教育力向上、ジュニアリーダーの育成支援〕

地域での子育て支援や子どもが育つ環境づくりのために、区内の地域団体・民間諸団体、区役所等行政機関の担当課、学校、嘱託社会教育主事研究協議会支部等とも十分連携し、地区館での家庭及び地域社会の教育力の向上とジュニアリーダーの育成が図られるよう、その支援に努める。

〔地区館職員の育成〕

定期的な連絡会の開催や、区内の地区館が連携して進める事業の支援など、区内の地区館職員の育成が図られ、かつ効果的な事業が推進されるよう働きかけを行う。

(3) 指定管理者制度下での区内地区館業務のマネジメントの推進

地区館業務の目的、各事業の目標及び要求水準をもとに、それぞれの地域ニーズを地区館職員とともに把握し、より効果的な事業の実施に向けた助言等を行うとともに、事業の結果について的確な評価を行うことで、地区館事業の向上が図られるよう支援に努める。

３） 地区館（地区市民センター）の基本的な役割

【取組指針】

社会教育施設としての地区館に求められる下記の機能は、相互に関連を持ちながら総合的に発揮されなければならない。それにより、これまで市民センターに関心のなかった人々が、地区館事業に様々な形で関わることができ、地区館が多くの市民の参画を得ながら地域づくりの拠点として活発に機能することになる。

また、地区館の職員は、区拠点館の支援を受けつつ、地域に積極的に出向きながら、これらの機能が総合的に発揮されるよう「きっかけ」をつくり、「仕掛け」「働きかけ」を行い、地域住民や地域の諸団体等と協働して事業を展開していくものとする。

(1) 地域住民本位の生涯学習拠点機能

〔学習ニーズ・地域課題を踏まえた特徴ある事業の実施〕

地域住民を対象にしたアンケート調査や懇談会、日々の地域情報の収集などを通して地域住民の学習ニーズと地域課題を把握し、目的を明確にした上で特徴ある事業を実施する。

〔事業の魅力づくりと参加しやすい条件づくり〕

事業の企画にあたっては「学びを通じての人と人とのつながり」を基本方針とし、地域住民が楽しく参加したくなるような工夫（魅力づくり）や参加しやすい条件を整えるよう努める。

〔市民参画の推進と市民の活動の育成・支援〕

市民自らが学ぶことで主体的な活動が地域で多様に展開できるよう、市民参画による事業を積極的に推進するとともに、地域を基盤としたサークル活動や市民活動の育成・支援に努める。

(2) 地域の交流・拠点機能

〔地域住民の交流の場、及び子どもたちの育成・交流の場の確保〕

多様な地域住民が気軽に集い、楽しく交流のできる場と機会を設ける。特に、地域の中で見守られ育まれるべき次代を担う子どもたちのための子育て支援と青少年の育成・交流の場の確保に配慮する。

〔様々な地域ネットワークの拠点機能＝プラットフォームの確保〕

地域にある様々な団体、NPO、ボランティア組織等が共通の地域課題のもとに集まれるネットワークの拠点としての機能（プラットフォーム）が持てるよう努める。

(3) 地域のコミュニティづくり機能

〔コミュニティ意識の醸成〕

地域住民と協働し、地域の歴史・自然・行事などの地域資源を活かした地域文化の継承と創造の事業に継続的に取り組むとともに、地域の魅力と課題の発見を通して、多くの地域住民が地域と関わることができるよう積極的に働きかけ、地域住民のコミュニティ意識の醸成を図る。

〔地域活動を担う人材の育成〕

地域課題を踏まえ、地域の関係団体や NPO 等と連携しながら、地域での多様な活動を担う人材の育成に努める。この場合において、幅広い世代の人材育成にも配慮しながら取り組む。

〔地区館事業に市民が主体的に関わる仕組みづくり〕

地域に根差した地区館事業を市民と協働で推進するために、地域住民が地区館事業に主体的に関わる仕組み（地域住民による地区館ごとの運営協議会等）を創り活かす。

(4) 地域のコーディネート機能

〔地域にある機関・団体等のネットワーク化の支援〕

ＰＴＡ・町内会・商店街等の各種地域団体、NPO など地域に関わる団体、学校や区役所等の公共機関等と連携し、地域住民とともに地域課題に取り組むためのネットワークが構築されるよう支援する。

〔行政機関と地域との仲介・調整の窓口機能の分担〕

“地域の声”を施策や事業につなげるために、行政機関等と地域の諸団体等との交流拠点施設としての仲介及び調整の窓口機能を担う。

(5) 地域の情報ステーション機能

〔地域の資源等の保管と公開〕

地域にある様々な資源（歴史、文化、自然、祭礼行事、施設、人材等）などに関する情報を多様な媒体に整理・保管し、地域住民が必要に応じて閲覧し活用できる仕組みを整える。

〔地域情報の収集と提供〕

地域内の学校や区役所などの公共機関からのお知らせや催し情報のほか、地域団体や各種サークル、NPO などからの活動情報や募集情報などを随時収集・整理し、適時、地域住民に提供する。

仙台市市民センターの施設管理の運営方針

１）市民サービスの向上

(1) 利用者の立場に立ったサービスを行う。

(2) 利用者のプライバシーを保護するよう十分配慮する。

２）市民交流スペースの確保とオープンスペースの活用

市民の誰もが気軽に立ち寄り、交流のできる場と機能を確保する。

地区館のオープンスペース等に関しては、地域住民にとって魅力ある場となるよう、地域住民の意向を十分に踏まえた各館独自のルール及び運営体制を設けるなど、その利用を促進する。

３）地域住民等との顔の見える関係づくり

地区館は、地域づくりの拠点としての機能を踏まえ、施設管理における日常の様々な場面において、地域住民や地域団体等との顔の見える関係づくりに努める。

震災を踏まえた市民センターの役割と取組

平成 25 年４月に策定された仙台市地域防災計画において、市民センターは、地域との事前協議により、地域の実情に応じて、補助避難所等に位置づけられることとなった。また、市民センターには、災害発生直後から必要となる食料、飲料水等の物資が備蓄されており、災害時において避難所となる市民センターは、同計画等に基づき、住民等の安全を守るとともに、生活の場としての役割を担うこととなる。住民に身近で信頼される施設として、災害時における役割を十分に果たしていくものとする。

また、地域においては、平時から地域団体や住民等が連携しながら、地域における防災体制を構築するなどの安全・安心な地域づくりが求められているとともに、災害・防災等に関する知識を深め、防災・減災意識の向上を図ることが重要となっている。

こうした状況の中、市民センターは、これまで培ってきた地域団体等とのネットワークを活かしながら、人材育成機能やコーディネート機能等を十分に発揮し、地域の防災体制作りの支援など、地域の防災・減災に資する取組を行うとともに、地域課題の解決や地域づくりの担い手の育成に向けた取組の強化を図る。さらに、地域の生涯学習の拠点として、防災訓練等も含め、防災・減災に関する講座等を積極的に開催するとともに、震災の経験や教訓等を広く発信していくものとする。

付記）「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」は、改定から５年間を目途に見直しを行う。

５　市民センター事業体系

＜教育局直轄事業体系＞

大分類	中分類	小分類
01 生涯学習事業に係る企画・調査・研究 市民センターによる調査研究を通し、本市の課題を明らかにすることにより、市民が様々な課題に応じて学べるようになる。	01 基礎調査の実施	01 地域別基礎調査
		02 生涯学習事業に係る学習情報の収集・発信に係る基礎調査
		03 その他関連調査
	02 生涯学習事例研究事業の実施	01 地域連携事業に係る事例研究
		02 学習成果社会還元に係る事例研究
		03 市民企画事業に係る事例研究
		04 その他当該事業に係る事例研究
	03 全市重点事業等の分析・評価	01 区内地域連携事業に係る分析・評価
		02 区内学習成果社会還元事業に係る分析・評価
		03 生涯学習委託事業に係る分析・評価
	04 調査・研究成果の活用	01 報告書作成及び報告会の開催
		02 生涯学習事業委託先への情報提供及び実施指導
		03 研究機関・教育機関への調査研究事業の提供
		04 生涯学習事業要求水準書作成
02 生涯学習の質的向上を図る 市民が質の高い市民センター事業を受けられるようになる。	01 広域規模の学習プログラムの実施	01 生涯学習ボランティア養成・育成事業の実施
		02 ジュニアリーダーの養成・育成事業
		03 インリーダー研修会
		04 家庭教育講座
		05 学びのコミュニティ推進事業
		06 学社連携・融合事業
		07 市民団体・NPO・企業連携
		08 市民参画事業
		09 その他
	02 市民センター事業運営への市民の意見反映	01 パートナーグループ事業の開催
		02 公民館運営審議会の運営
	03 職員の資質向上・企画力向上	01 職員研修
		02 テーマ別検討会
		03 職員会議
		04 地区館事業に係る指導・支援事業
03 情報提供 市民が学習に必要な情報をいつでも得られることで、主体的に学べるようになる。	01 学習情報収集提供	01 学習情報の提供・相談
		02 学習情報の収集
		03 生涯学習情報誌の発行
		04 ホームページによる学習情報の発信
04 委託事業 市民が様々な課題に応じて主体的に学習活動や社会参加できるようになる。	01 指定管理者への委託事業	01 ライフステージに応じた課題学習
		02 時代に応じた新しい課題の学習
		03 学習情報の提供・相談
		04 学習成果の社会還元事業
		05 学びの活動の広がる事業の実施
		06 パートナーグループ事業の開催
09 その他の業務		予算管理
		業務マネジメント
		事業概要作成
		社会教育実習生等の受入
		宮城県公民館連絡協議会運営
		全国公民館大会
		庶務等

＜地区館事業体系＞

大分類	中分類	事業内容（例）
01 市民が様々な課題に応じて学べるようになる	01 市民がライフステージに応じた課題について学べるようになる	インリーダー研修会 職場体験学習・社会教育実習等の受入 若者と地域住民との交流を深める事業 家庭教育に関する講座 健康づくりに関する講座 老壮大学 自然・教養・文化に関する講座 地域資源を活用した講座
	02 市民が、時代に応じた新しい課題について学べるようになる	学び直しに関わる講座 国際化時代に対応した講座 情報化時代に対応した講座 防災・減災に関する講座 環境保全に関する講座 男女共同参画に関する講座 子育て支援に関する講座 高齢化社会に対応した講座 福祉に関する講座 ボランティア・奉仕活動に関する講座
02 市民が、学習に必要な情報を得ることで、主体的に学べるようになる	01 市民が、市民センターで学習相談・情報提供を受けられるようになる	学習（地域）情報の収集 学習（地域）情報の提供・相談 サークル活動支援
	02 市民が、市民センターの講座情報をいつでも得られるようになる	市民センターだより・講座レポートの発行 生涯学習情報誌の発行 ホームページによる学習情報の発信
03 市民が学んだ成果を地域に生かせるようになる	01 市民が、生涯学習ボランティアとして活動できるようになる	ジュニアリーダーの育成支援 ボランティア養成講座 ボランティア活動の支援
	02 市民が、自らの知識や経験を生涯学習事業に生かせるようになる	市民による地域情報の発信 市民が企画・運営する講座の実施 生涯学習事業の企画の公募
04 市民が、地域で学びの活動を広げるようになる	01 学校、地域、市民活動団体が、地域活動を通して、連携できるようになる	学校と連携した事業 学校支援地域本部と連携した事業 地域の団体と連携した事業 学びのコミュニティづくり推進事業
	02 市民が、自らの学習活動を生かして、地域づくり・人づくりに参加できるようになる	まちづくりに参加する事業 地域間交流事業
	03 市民が、地域の人やほかの団体と交流できるようになる	市民センターまつり 市民の学習発表会 市民交流事業
05 市民が、質の高い市民センター事業を受けられるようにする	01 市民の意見が市民センターの運営に反映できるようにする	事業運営懇話会等 市民ニーズ・地域課題の把握 地域の各種団体と行政・専門機関との仲介・調整

＜事業区分＞

区　分	定　　義
家庭教育推進事業	子育て世代が育児や家庭生活について学ぶことができたり、親子のふれあいを深めることをねらいとする事業 （例）子育て支援講座／親子ふれあい教室／食育講座／思春期親学／ プレパパママ講座／絵本よみきかせ講座
青少年健全育成事業	青少年が様々な体験を通じて学ぶ力を身につけることによって心身の健やかな成長を培ったり、仲間づくりや親子・異世代の交流を図ることをねらいとする事業 （例）インリーダー研修／子どもの広場／キッズクッキング／ 夏休みチャレンジ講座／子ども体験塾
成人学習振興事業	幅広い教養を身につけたり、さまざまな課題を学習する機会を提供するとともに、共通の課題や関心を持つ市民（受講者）相互の仲間づくりや交流を図ることをねらいとする事業 （例）自然体験教室／エコライフ講座／男の料理教室／現代課題対応講座
高齢者学習振興事業	長寿社会の中で、高齢者が学習を通した仲間づくりや交流によって、生きがいを持って社会生活を送ることができるようになることをねらいとする事業 （例）明治青年大学／老壮大学／健康づくり教室／介護予防教室／
地域社会教育推進事業	市民や地域の団体等がイベントや体験活動などを通して、地域住民との交流や地域活動の推進を図ることをねらいとする事業 （例）市民センターまつり／事業運営懇話会／学びのコミュニティ関連事業／ 地域防災教室／社会学級連携事業／地域(自然・伝統)を知る講座
民間指導者育成事業	自らの学習成果や経験を生涯学習ボランティアとして社会に生かす意欲のある人材を養成したり、そのような活動を支援することをねらいとする事業 （例）各種ボランティア育成講座／各種ボランティアスキルアップ研修／ ジュニアリーダー育成支援
学習情報提供・ 学習相談事業	生涯学習の推進に必要な人材や施設、学習機会、サークルなどの情報を収集し市民に提供するとともに、学習相談に応じる事業 （例）学習情報提供・相談／サークル活動支援／サークル体験／ 市民センターだより発行／学習・人材情報収集

Ⅱ 拠 点 館 事 業

平成 28 年度 市直営事業実績

１　生涯学習事業研究

生涯学習事業の現代的課題について，具体の先進的事業の事例研究として「調査」・「研究」・「分析評価」・「成果の活用」等を実施する。

（１）若者社会参画型学習推進事業

地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を社会教育的なアプローチを生かして支援すると共に，若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより，さまざまな人々と協働しながら身近な地域をより良くすることへの関心を高め，社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。

なお，平成 22 年度から 24 年度は「若者によるまちづくり実践塾」という事業名で各区中央市民センターにおいて実施した。平成 25 年度からは，事業名を変更して新たに各区中央市民センターで実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数（団体数）	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	４	７９	３００	大学生
宮城野区	１８	１１５	０	大学生等
若林区	２６	１１４	５９３	大学生・社会人等
太白区	８（団体）	１３８	４５	大学生
泉区	２５	１５７	５８６	大学生・社会人

① 若者によるまちづくり実践塾

＜青葉区中央市民センター＞

地域と若者をつなぐことを目的としたミーティングを重ね，自分たちで企画を立てさせることで社会参画への意識を高めた。また，直接地域に出向いて取材活動をし，フリーペーパー『さんぽ』の第４号を発行した。

紙媒体での間接的な関わりだけでなく，地域の中で直接的な活動をしたいとの強い思いも芽生え，地域のイベントにボランティアとして参加したり，青葉区民まつりで自主企画を実施したりするなど，地域に根ざした活動を展開した。

② まいぷろ・Miyagino　for　Young　PROgram

＜宮城野区中央市民センター＞

平成 28 年度は「仙台うみの杜水族館」「地域のイベント」「かべしんぶん」というコンテンツを用い，若者が取り組みやすく，かつ地域の「魅力」や「動き」に気づき，新たな活動を生み出そうとする意欲を高めるように工夫した。また事業全般にわたり，仙台市市民活動サポートセンターと連携した。

制作過程で，作成技量の向上と同時に，読者にわかりやすく伝えたい，掲出先の要望に

応えた完成度の高いものにしたいという思いが強くなり，そのことが成果物の出来栄えにも表れた。受講者１名（大学生）が事業後に区まちづくり推進課の事業のチラシづくりをサポートするようになった。また取材時に「人の思い」を強調して取り上げることで，高校生の進路への考えも広がった。

制作した「かべしんぶん」は仙台うみの杜水族館をはじめ，市民センターや市内地下鉄３駅に掲出した。秋には昨年度より継続参加している大学生が「市長とカフェトーク」に招待され，取り組み内容をふまえて，自分の考えを述べられた。またＮＰＯ法人カタリバより「高校生マイプロジェクトアワード東北大会」への出場のお誘いをいただき，高校生受講者４名が発表した。活動内容のユニークさが各所から評価を得られた。

③ 仙白園プロジェクト・人

＜若林区中央市民センター＞

講座名は若林区中央市民センターが養種園（実験農場の役割を担い，仙台白菜を誕生させた）跡地に立地していることに由来。平成 28 年度は「畑作業」,「ボランティア」などを中心に活動を展開した。「畑作業」では，地域住民メンバーとの作業や調理実習などを実施し交流を深めた。また畑の収穫物（じゃがいも，枝豆，白菜）を活用し，夏の交流会，冬の収穫祭（クリスマス会）を企画・運営した。

④ 仙台学生サークルネットワーク事業「つながりんぐ」

＜太白区中央市民センター＞

地域や地区市民センターから「学生と連絡を取りたいがどうしたらいいかわからない」，また，学生からは「社会貢献したいが窓口がわからない」等の意見をうけて，本事業を平成 26 年に立ち上げ，名称を「つながりんぐ」としてスタートした。若者の社会参画をねらいとした活動の受け皿となるネットワークを構築するために，在仙のボランティア活動を行うサークルの新入生歓迎会で直接交渉をしたり，大学で PR 活動を行ったりした。その結果，10 団体の学生サークルが集まった。平成 28 年度は 8 団体にて，長町交流フェスタでイベントを企画（お化け屋敷，落語）し，情報誌を作成した。完成した情報誌は仙台市内の小中学校や地区市民センター，区役所，町内会，NPO 法人，地元企業等に配布した。

成果としては，定例会やイベント企画を通して各サークルが互いの活動を知ることになり，より親密な交流を生み出すことができたこと，活動の受け皿となるネットワークが構築されたこと，情報誌の作成により学生の活動を広く発信できたこと，そして地域への関心が高まったことがあげられる。今後の課題は，各サークルの持ち味を生かした活動を行うために，若者の社会参画をねらいとしたイベント等を企画し，実行していくことである。

⑤ ICP　Izumi Community Project

＜泉区中央市民センター＞

泉区内の大学に通学している学生を中心とした受講生が，ネットワークを広げながら地域創造について考える企画講座である。受講生が持つ泉区のイメージなどを整理し，自分たちが取り組んでみたいことについて話し合い，自主企画を考えた。月１回行われた全体

会では，受講生が関心を持った泉西部地区の学習を深めた。また，随時，「かむりの里伝承物語」や「かむりの里凧揚げフェスタ」，「リンゴ農作業体験」など泉西部地区でのイベントに参加することで，受講生は，地域の人の温かさや地域の魅力を再発見し，自主企画の実施に向けて意欲を高めることができた。主な自主企画としては，「根白石まちあるき探検ツアー・意見交換会」や泉ヶ岳で「雪遊びだよ！冬山集合！」を実施した。地域の人やものについての理解を深めながら，泉区の豊かな自然や根白石の魅力を伝えられるように事業を展開した。他にも成人式「交流の広場」や「泉 5 大学まちづくりフェスティバル」で活動報告を行った。昨年度までの学習活動や自主企画事業実施の経験を生かしながら，新たな事業を企画・実施し，泉区やまちづくりへの関心をさらに高めることができた。

⑥「若者社会参画型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者を対象に，情報交換会や交流会，成果報告会を実施し，各区中央市民センターの事業内容の再確認・見直しの機会を提供すると共に，受講者の参加意識の向上を図った。併せて，市民センターにおける本事業の普及・推進を図るために区中央市民センターが実践している本事業の成果と課題から，重要なエッセンス及びノウハウを抽出して地区市民センターにフィードバックすること，及び区中央市民センターの事業が円滑に進むように後方支援を行った。

(ア)啓発事業（参加者：各区中央市民センター若者事業担当者）

大学において各区中央市民センターの事業担当者から学生に対して，若者参画型の事業企画，実施内容の PR を行った。若者参画型事業に対する学生の率直な意見を聴く機会にもなった。

H28. 5.12　東北学院大学教養学部にて実施

H28. 5.31　宮城教育大学教育学部にて実施

(イ)方向性を確認する会

（H28.4.19　参加者：各区中央市民センター若者事業担当者等 17 名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に，年度初めに際して，実施計画をもとに意見交換や助言者からのアドバイスを得る機会を設定することで，事業内容をブラッシュアップするとともに，効果的な事業展開を目指すために実施した。

【助言者】水谷 修 氏（東北学院大学 教授）

(ウ)中間報告会（H28.11.8　参加者：各区中央市民センター若者事業担当者等 12 名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業のこれまでの取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り，今後の事業展開の参考とするために実施した。

(エ)事業 PR，交流会実施に係る委託事業

各区中央市民センターにおける事業が円滑に進むよう当事業の PR，交流会実施の業務を株式会社リアルカレッジに委託した。事業 PR は，Facebook，Twitter 等の SNS を活用し広報した。交流会は，せんだいメディアテークで実施した。

(オ)交流会(2 回)

（H28.11.27　参加者：各区中央市民センター若者事業担当者 4 名　受講者 8 名）

（H29.1.15　参加者：各区中央市民センター若者事業担当者等 10 名　受講者 12 名）

本事業の受講者を集め，情報交換を行わせることで交流を深めるとともに，受講者自身の事業の振り返りや事業改善，活動意欲を高めることをねらいとして実施した。2 回目の交流会については，業務委託契約をした株式会社リアルカレッジが中心となり実施した。

(カ)成果報告会

（H29.1.15　参加者：事業受講者 14 名　社会教育施設職員等 76 名　市民 239 名）

メディアテークを会場に，各区中央市民センターの事業担当者，若者事業受講者が平成 28 年度の取組や成果と課題について発表し，助言者からアドバイスをいただき，次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

【助言者】水谷 修 氏（東北学院大学 教授）

（2）住民参画・問題解決型学習推進事業

地域特性に応じた市民協働による地域づくりを推進するため，住民と市民センター職員が協働して地域課題を発見し，解決につながる活動を実践することにより，そこでのさまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成することを目的に，平成 23 年度から各区中央市民センターで事業を実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	９	４３	１３３	三本松９
宮城野区	２７	４９４	１，０６０	中野１３・東仙台１４
若林区	１８	１４６	３００	六郷７・団体１０
太白区	３４	１６３	１，１８６	区内３２団体
泉区	４３	１４９	３８６	根白石３６，泉区中央７

① 地域元気クラブ

＜青葉区中央市民センター＞

受講生が講座での学びを生かして，地域の資源や人材を活用し，地域を元気にする企画を提案・実践していくことで，地域活性化のためのノウハウや地域づくりに必要なネットワークを学んだ。企画する事業での参加者や連携先が増えたり，学校をはじめとする地域の諸団体から活動依頼が増えたりするなど地域との顔の見える関係が築かれつつある。

（企画・実施した事業…野鳥を見る会，公園整備・活性化に係る勉強会，初日の出を観る会等）

② 地域の“絆”再生プロジェクト　「地域づくり講座」

＜宮城野区中央市民センター＞

高砂市民センター，東部市民センターと連携しながら，地域の住民がこれまで以上に地域づくりに関心を持ち，地域課題や地域の将来像を共有できるようにするためのワークショップやフィールドワーク等を展開する講座を行った。

今年度の成果として「中野ふるさと学校」では，「ふるさとの喪失」という地域課題を自分

事としてとらえ，震災前の地形や足跡を残すために宮城野区蒲生地区にある「日本一低い山・日和山」の「ジオラマ作り」に取り組んだ。また「日和山登山」や「交流会」，語り部としての活動等に取り組み，活動の幅を広げている。一方「東仙台耀きクラブ」では，地域の歴史や資源を見直し，自作の「まち歩きガイドマップ」に盛り込んでいった。漠然とした街歩きではなく「街の良さを紹介していく」活動を進めていくことができた。

いずれの講座でも取組の段階に応じた手順を踏んで，事業を展開していくことができた。

③ わたしのふるさとプロジェクト

＜若林区中央市民センター＞

震災による津波で大きな被害を受けた六郷の沿岸地域の状況を踏まえて企画した事業。六郷東部地区は移転された方も多く，震災前と比べて人口が大きく減少している。一方，地域に残った方，戻った方はもとより，移転された方の間でも地域への愛着は強い。このような地域課題を踏まえ，平成 28 年度も六郷東部地区のコミュニティやにぎわい再生に向けて「わたしのふるさとプロジェクト」を継続し，六郷東部地区住民の交流会開催を目標に地域住民（移転された方を含む）の話し合いを月 1 回程度行った。昨年に引き続き，1 月に東六郷小学校を会場に六郷東部交流会「鎮魂の花火」を実施した。

④ たいはく子育て支援ネットワーク事業

＜太白区中央市民センター＞

従来の子育て支援ネットワークを生かし，子育て世代への支援と子育て支援者へのサポートを行いながら，地域で活躍できる人材育成を目的に事業展開した。子育て支援者へのサポートとして年 7 回の区拠点館主催の情報交換会や研修会を行った。（延べ人数 163 名）日々の支援活動につながる研修内容が好評を得ており，参加者が学びをいかせる支援となった。子育て支援者と子育て世代がつながる場である“太白区初めてママのウェルカムパーティー”(80 名) は，参加した子育て世代と子育て支援者が顔見知りになる機会となり，継続して関わり合える関係づくりにつながった。子育て世代への支援として，地区市民センター（3 館）と共催講座（7 講座）を実施し（全講座延べ受講者数 1,316 名），継続受講者が自主サークルを立ち上げ，地域交流や子育て支援の場を提供することができた。また，連携団体と共催し地域に根差したイベントや行事を実施することができた。「子育て支援」「地域交流」をキーワードに新たな視点でのネットワークが構築され，地域づくりを担う人材育成につながった。

⑤ ちいきいきいきプロジェクト「泉区西部のまち興し～かむりの里凧揚げフェスタ」

＜泉区中央市民センター＞

「かむりの里凧揚げフェスタ」（根白石市民センター）は，地域おこしに取り組みながら，住民自らが，住民同士の結びつきや交流の促進，地域コミュニティの活性化に取り組むことを目指した事業である。地域の学校や児童館，町内会，商店会などの地域の団体等による企画会議を立ち上げ，各部会に分かれて話し合いや準備を進めた。また，エリア内の小学校や児童センター等での凧作り教室を通じて，伝統の「するめ天旗」を作り，揚げ

る楽しさを味わってもらうことで，フェスタ当日への参加を促した。当日は，凧絵コンクール，凧揚げ，豚汁のおふるまいなどがあり，参加者は晴天に恵まれた冬の休日を楽しみ，実行委員会やスタッフとして携わった地域の諸団体・住民は地域の結束を感じることができた。

新規で立ち上げた「七北田味の歳時記クラブ」は，失われつつある郷土料理の発掘・再現，また，関連した伝統や風習などの掘りおこしなどを通して，豊かな地域コミュニティと住民の共通した郷土愛を創造していくことを目指した事業である。初年度は，事業スタッフ自らが，楽しみながら区内の食に関わる体験，再現，調査を行うなどし，次年度の，伝え・広げる活動に資する情報収集活動を行うことができた。

⑥「住民参画・問題解決型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者，地区市民センター職員を対象に，研修会や報告会等を実施することを通して各区中央市民センターの事業推進を支援した。

(ア)方向性を確認する会（H28.4.22　参加者：各区中央市民センター大人事業担当者 18 名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に，年度初めに際して，実施計画をもとに意見交換や助言者からのアドバイスを得る機会を設定することで，事業内容をブラッシュアップするとともに，効果的な事業展開を目指すために実施した。

【助言者】水谷 修 氏（東北学院大学　教授）

(イ)中間報告会（H28.11.2　参加者：各区中央市民センター大人事業担当者 13 名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業のこれまでの取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り，今後の事業展開の参考とするために実施した。

(ウ)成果報告会（H29.1.15　参加者：事業受講者 43 名　社会教育施設職員等 101 名　市民 239 名）

各区中央市民センター事業担当者及び事業受講者，市民センター職員，関係課職員，市民を対象に，各区事業の報告並びに成果と課題等について総括する成果報告会を開催した。事業報告は事業担当者や受講者が行い，コーディネーターや助言者からアドバイスをいただき，次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

【助言者】水谷 修 氏（東北学院大学 教授）

(エ)パンフレットの発行

市民や関係機関に向けて，住民参画・問題解決型学習推進事業の啓発のために 1,500 部作成し，区中央市民センター及び地区市民センター職員に配布し，市民向けに配架した。





（3）子ども参画型社会創造支援事業

本事業は，子どもたち（小学校，中学生，高校生）が，地域の中で役割を持ち，社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し，自分たちの地域の課題に気付き，地域・社会の一員として行動する視点を持つことで，将来的に地域や社会で主体的に活躍できるようになることを目指した「人づくり」を目的としている。平成 23 年度から，各区中央市民センターを中心として実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	３２	３０８	１５４	小・中・高校生等
宮城野区	３２	２０１	５８５	小・中学生
若林区	３７	１８９	０	小・中学生
太白区	４２	３５１	０	小学生
泉区	１６	１１２	５３７	小・中学生

① Sendai Aoba Teens Club

＜青葉区中央市民センター＞

「SATC 情報部ふぉるてぃお」は，地域資源を題材にした番組づくりと「カッパダ川プロジェクト」公開講座のサポートを行った。「食について考えようプロジェクト」は，地域講師の指導のもと，栄養素の摂取と食生活や伝統的な食事などについて実践を通して学び，子ども対象の講座を実施した。また「カッパダ川ダンス部」は，地域に流れる『カッパダ川』をテーマにしたダンスを地域行事で披露したり，地域住民とともに踊ったりしながら地域の絆づくりに積極的に取り組んだ。

活動を通して，地域のひと・もの・ことについて理解を深めるとともに，それらを尊重しようとする心情も育ってきている。

② 進め！みやぎのキッズもりあげ隊　～みんなの力で地域を元気にしよう～

＜宮城野区中央市民センター＞

２つの地区市民センターと共催で，子どもたち目線でそれぞれの地域を盛り上げる事業。1 つ目は，区中央市民センターの原町小児童を対象とした，「原町キッズもりあげ隊」。「交流」と「仲間集め」をテーマに，地域のまつりに遊びのお店を出店し仲間を募ったり，市民センターを会場に子どもから大人までみんなで楽しく交流できる場を作ったりした。２つ目は，東部市民センターの新田小児童を対象にした，「新田まちづくり子ども計画」。アンケートやワークショップを通して，地域への思いや気になることを引き出し，「あそび」をテーマにした講座やまち歩き，メッセージカード作り等を行った。

子どもたちが地域の市民センター等に自分たちの活動拠点を設け，イベント企画や情報収集・発信の活動によって地域とつながり，社会に参画していくきっかけづくりになっていた。

③ 子どもボランティア事業　チャイルドボランティア「チャボ！」

＜若林区中央市民センター＞

誰かの役に立つことで社会・地域の一員として自分の存在の大切さを体感することができるよう，子どもたちにボランティア活動の機会をつくる事業。対象は当センター近隣の小学 4 年生～中学生で，平成 29 年 3 月現在 37 名が登録している。地域の団体や施設などの協力を得て，一年を通して月 1，2 回活動しており，平成 28 年度は，地域清掃，児童館等の行事の手伝い，被災した農地にヒマワリを植える手伝い，高齢の方に届ける宅配弁当に添える手紙書きなど 26 回の活動を行った。

④ エフエムたいはくキッズ情報局

＜太白区中央市民センター＞

4 つの地区市民センターと 1 つの小学校と共催で，それぞれの地域の良さをエフエムたいはくのラジオで発信するという事業。全体会は３回の講座，その他に地区ごとに各 4 回程度活動した。エフエムたいはくのキッズアナウンサーとして，また，地域のキッズリーダーとして，市民センターや学校を拠点に活動し，活動したことはＦＭ放送で発信した。

地区市民センターを拠点に活動することにより，地域のさまざまな方と交流することができた。また，番組作りを通して，自分たちの地域を学習したり，地域の良さを再発見したりすることができ，地元意識・地域愛につながった。さらに，他の地域との交流を実施することで，自分たちの地域の良さをもっと調べて発信したいという意欲につながった。ジュニアリーダーと一緒に地域の行事に参加することにより，ジュニアリーダーの頼もしさを感じることができ，ジュニアリーダーを知ってもらう良い機会となった。

⑤ アートフルいずみゆめ工房・子どもまちづくり企画室

＜泉区中央市民センター＞

「アートフルいずみゆめ工房」は，小中学生が自分の得意分野を生かし，創作活動を介して地域の活性化を進める企画を発案・実施する事業。講師や東北生活文化大生から学んだことをアート交流活動に生かしている。

平成 28 年度は，受講者が関心をもった「ガチャポン」とその中身になる「プラ板キーホルダー」の制作活動を主に行い，泉環境まつりなどの地域イベントで出店をした。植物や動物などを装飾した色彩豊かなプラ板のキーホルダーは，来場者から好評を得た。さらに，市名坂小学校での「市小カーニバル」では，ガチャポンを賞品にイラストクイズなどのブースを企画・運営して，多くの小学生を楽しませることができた。また，壁に飾れるクリスマスツリーを制作して地域の老人ホームに届けるなど，高齢者と交流することもできた。

「子どもまちづくり企画室」は，小中学生が自分たちの住む地域にある課題やニーズに気づき，自分達にできることを考え，取り組める子どもたちの育成を目指す事業。平成 28 年度は，七北田地域のまち歩きをしたり，その際に地域住民の方々にインタビューをしたりしてまちを知る活動を行った。加えて，地域イベント「あそびの天国」で，ブレスレットを制作するブースを企画・出店する等，地域のためになることを考え活動することがで

きた。

⑥「子ども参画型社会創造支援事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者，地区市民センター職員を対象に，報告会や情報交換会等を実施し，各区の事業推進を支援した。

（ア）リーフレットの発行

地区市民センター及び仙台市内の小中学校に向けて，子ども参画型社会創造支援事業の啓発のために発行した。1,500 部作成し，地区市民センター職員と市内小中学校，高等学校，中等教育学校に配付した。





（イ）方向性を確認する会（H28.4.21 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者 18 名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に，年度初めに際し，実施計画を基に意見交換や助言者からのアドバイスを得る機会を設定することで，事業内容をブラッシュアップするとともに，その後の効果的な事業展開を目指すために実施した。

【助言者】新田 新一郎 氏 （(有)プランニング開 代表）

（ウ）石巻・仙台子ども活動交流会（H28.8.18 参加者：事業受講者 18 名，事業担当者 8 名）

各区中央市民センターにおける「子ども参画型社会創造支援事業」を受講する児童・生徒や事業担当者が，石巻市で子どもセンター「らいつ」の企画や運営に関わっている児童・生徒やその職員との交流を通じて，互いの活動について知るとともに，これまでの活動を振り返ることで，今後の活動に対する意欲を高め，事業のブラッシュアップを図ることを目的として実施した。

（エ）中間報告会（H28.10.25 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者 12 名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける，これまでの事業の取組状況報告や，今後の予定などの情報共有を図り，今後の事業展開の参考とするために実施した。

（オ）成果報告会（H29.1.15 参加者：事業受講者 57 名，社会教育施設職員等 86 名，市民 239 名）

各区中央市民センターの子ども事業受講者が，取組の様子や自分たちの意識の変化についての発表したのち，助言者から各区の取組の良い点や今後の活動に役立つような助言をいただいた。地区市民センター職員に対しては，本事業への市民センターとしての働き掛けや支援の実際について，普及・啓発を図る内容とした。

【助言者】新田 新一郎 氏 （(有)プランニング開 代表）

（４）学習成果社会還元事例研究

◎事業例　まなびごっこ

＜若林区中央市民センター＞（161 回実施　延参加者：3,559 名）

若林区内で活動する生涯学習指導者ボランティアグループ「まなびごっこ」がこれまでに培った知識や技術を生かして，当センターと共催で誰でも参加しやすい内容の講座・教室（男の料理教室，女性のための囲碁教室，映画上映会など 13 種類）を開催した。

（５）その他の生涯学習研究事業

◎事業例　泉区の社会教育を考える会

＜泉区中央市民センター＞（事業検討 6 回，事業 7 回実施　延参加者：116 名）

区内の社会教育について，区内嘱託社会教育主事と協働し，既存の事業の見直しや，新たな事業方法の研究開発を行った。また，その事業を実施検証し，社会教育事業の新たな展開の可能性を探り，泉区の社会教育事業について活性化を図った。

２　広域規模の学習支援

全市・区規模の学習支援，場合によっては複数の区の連携による取り組みを推進する。市政各般の領域に係る施策，市民の課題ニーズを考慮するとともに，地域に濃淡なく生涯学習が行われるよう学習プログラムをつくり，実施する。

（１）仙台明治青年大学

＜生涯学習支援センター＞

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齢学園を修了した高齢者（61 歳以上の仙台市在住者）が学習をさらに深め，豊かな社会生活を営めるよう，学習意欲の向上が図れるような学習会や大学祭などについて設立 50 周年記念企画を織り交ぜながら開催した。学生は，本科生として 6 年間，その後研究生として引き続き籍を置くことができる。平成 28 年度は新入生 74 名が入学し，在籍者数は 810 名となった。

【主な活動】

活　動	活動内容	実施回数	延参加者
学習会	○学習会（18 回） 太白区文化センター楽楽楽ホールを会場に開催。1 回あたりの平均出席者数は 598 名であった。文化芸能，健康，震災などをテーマに，外部講師を招聘し実施した。 ○対話集会（2 回） 「私の地域貢献活動について」をテーマに，学生間で意見交換を行った。 ○大学祭（3 回） 楽楽楽ホール，生涯学習支援センターを会場に実施。サークル団体の活動発表の場となっている。 ○式典（3 回　うち 1 回は再掲） ・入学・開講式　・設立 50 周年記念式典 ・修了・閉講式	25	13,857
広報活動	・学生間の情報共有を促進するため，学内広報誌「団欒」を発刊した。 ・文芸誌「老学文苑　創立 50 周年記念号」を発刊した。	―	―
ボランティア活動	・近隣小学校，児童館で昔遊びや囲碁・将棋，七夕飾り作り等を教えている。 ・近隣中学校で「仙台自分づくり教育」の一環として，キャリア教育の講師を務めた。 ・市民センター事業への協力や外部からの要請にも対応した。 ・学習会の際にワンコイン募金活動を行った。	―	―

（2）「学都仙台サテライトキャンパス」支援事業

＜生涯学習支援センター＞

大学等の高等教育機関の連携組織である「学都仙台コンソーシアム」（平成 18 年設立）のうち「サテライトキャンパス部会」で実施する公開講座「学都仙台サテライトキャンパス」（69 講座実施，2,078 名受講）や部会構成校が独自に実施する市民向け公開講座について，市民が円滑に講座を受講できるよう，広報及び情報提供等の支援を行った。

（3）秋の子どもの日事業

秋休み期間中の子どもの居場所づくりとして，子ども向け事業を実施した。

開催日	主催館名	内容	参加者
10月9日（日）	若林区中央市民センター	秋の子どもの日「ワカチュウ子どもランド」 小学校の秋休みに合わせて，工作，茶道などの体験の場や，遊びのコーナーを提供した。また，児童館の子どもたちの発表やマジックショー，などのステージ発表を実施した。	424

（4）その他の主な事業

① 若い青年教室

＜生涯学習支援センター＞

仙台市内に在住又は勤務している知的障害のある青年に対し，仲間づくりや生活上の基本的知識・技能の習得に役立つ活動を展開することを目的として，学習機会を提供する事業を行った。

【昭和 45 年度開設：教室生 36 名　9 回実施】

② その他

館名	事業名	内容	開催回数	参加者
青葉区中央市民センター	子どものための日本語講座	日本語を母語としない小学生，中学生に日本語を学習する機会を提供し，充実した学校生活が送れるように支援している。	34	489
	せんだい日本語講座	在仙の外国人等に，日常生活に必要な日本語習得の機会を提供するとともに，日本の伝統文化に触れ交流する場を設定することで，国際交流や多文化理解を促進している。	680	8,393
宮城野区中央市民センター	宮城野学講座	市民企画員を中心に，宮城野の風土や文化について，より広く知られ，後世に継承していけるようにするための講座を年間２回開催した。また活動成果をセンターまつり等を通して行った。	2	132

	宮城野カルタ	郷土愛に満ち，多くの世代が交流できる「宮城野かるた」制作のため，かるたに関することを学び，合わせて市民に参加してもらう場づくりをする。カルタのテーマとする区内の事柄５５件を選んだ。	12	120
若林区中央市民センター	家庭教育講座	未就学児の保護者，子育てに関心のある方を対象に「子育てにおける子どもとのかかわり方」をテーマに宮城県生涯学習課の協力を受け，ワークショップ宮城県版親の学びのプログラム「～十人十色の子育て＆親育ち～親のみちしるべ～」を活用して実施した。	2	31
	私の地方史研究	主に仙台市内の歴史・民俗を対象とし，文献資料の用い方や有形資料の事実記載などを学んだ。各受講者は，史資料の用い方は一定程度上達したが，当初目的とした調査報告書の作成までは至らなかった。ただし，3 名が課題を持ち調査を継続している。	10	45
	六郷･七郷を訪ねる会	震災の記憶をとどめるとともに復興を支援するきっかけとしてもらうため，六郷・七郷地域を市民がバスで巡り，地域の状況を見聞きする機会を設けた。	1	49
	バリアフリースポーツ「ボッチャ」普及事業	年齢・性別・障害の有無に関わらず楽しめるスポーツ「ボッチャ」を体験できる場として，月 1 回の定例会及び年 1 回の大会を開催した。	12	253
太白区中央市民センター	あすと長町地域活性化事業	太白地区住民を対象に長町秋のフェスティバルと題して「食」･「スポーツ」･「芸術」をキーワードに『なわとび大会・綱引き大会』を行った。さらに，約 50 店舗余りが集まり『長町マルシェ』を開催した。	1	4,500
泉区中央市民センター	団体長縄跳び競争「第 10 回みんなでジャンプ！シェルコム大会」	区内の小学生を対象に，冬場の体力づくりと地域間交流，世代間交流を図る目的で長縄跳び大会を開催した。	1	514

３　学校・地域連携推進

学校や地域団体等とネットワークをつくり，さまざまな人たちが連携して課題に取り組めるよう必要に応じて，つなぎ手，支え手の役割を果たす。

（１）学びのコミュニティづくり推進事業

＜生涯学習支援センター＞

子どもの健やかな育ちを支援するための多様な人間関係を地域に育てることを目的として，ＰＴＡ，町内会等，地域のさまざまな団体が連携して子どもと大人の交流や自然体験，社会体験の機会を提供する事業を実施している。各事業は学校や市民センター等が事務局となって行い，学校・家庭・地域社会がそれぞれの教育機能を相乗的に発揮する地域づくりを目指している。

平成 28 年度は 8 団体に対して委託を行った。（平成 13 年度より実施）

また，3 年間の委託が終了した後も 26 団体が現在も自主的に活動を継続している。

《平成 28 年度の委託団体》　8 団体

団体名	区	ねらい・概要	委託状況
住吉台小学校おやじの会	泉区	学校，ＰＴＡ，児童センター，地域と連携しながら，それぞれの行事に協力･参加するなど，子どもたちのために活動を行った。【住吉台小学校区】	新規
田子っこ学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	田子小学校おやじの会が中心となり，野外活動，昔遊び体験，防災訓練を兼ねた夜の校内探検などを通じて，健やかな育ちへの支援と多様性あるコミュニティづくりを目指した事業を行った。【田子小学校区】	〃
森の応援団愛子ハグリッズ	青葉区	地域，学校，ＰＴＡが，子どもの森での授業や，親子体験活動をサポートすることで，互いの活性化を図った。【愛子小学校区】	2 年目
楽コミ金剛沢おやじっ子推進委員会	太白区	「大人(おやじ)たち」がこれまで得てきた経験・知恵を出し合って地域・社会の宝である「子どもたち」と一体となる「楽しい活動」を積み重ねることにより，子どもたちと共に学び，豊かな人間関係を築きながら，生き生きとした地域づくりに関わるさまざまな活動を行った。【金剛沢小学校区】	〃
坪沼スポーツ振興会	太白区	坪沼地区の小学生から大人まで，地区住民全員の体力維持・増進と地域コミュニティの活性化をねらいとして，スポーツに関わる事業を実施した。	〃
未来っこ桂	泉区	委員会を構成する団体のネットワークを活かし，こども対象の体験型の事業を実施し，「桂が故郷」という思いを育み，子どもたちの健やかな成長を支援することをねらいとし，地域内の他団体や個人の理解と賛同を得て，子どもたちの学びをとおした地域コミュニテイの広がりを目指した活動を実施した。【桂小学校区】	〃
学コミ「中野栄楽舎」	宮城野区	「地域の子どもは宝」をテーマに，地域内の様々な団体が連携してネットワークをつくり，目的を共有しながら，地域全体で子どもたちの健やかな育ちを支援する事業を実施した。【中野栄小学校区】	3 年目
山ガキ隊わくわく学校推進委員会	太白区	地域のさまざまな学校や団体がネットワークを作り，協力して子どもたちに豊かな体験活動をする場を創出することで，地域と子どもたちのつながりを強め，健全な育成に寄与するような活動を実施した。【上野山小学校区】	〃

《委託終了後も自主的に活動を行っている団体》　25 団体

団体名	区	委託終了年度
袋原中学校区学びのコミュニティ推進委員会	太白区	平成 27
ロングライフヒルコミュニティ協議会	泉区	平成 27
川平学びのミュージアム	青葉区	平成 26
おいで里ネット	太白区	平成 25
五城学区地域連携教育推進委員会	青葉区	平成 24
福室学びのコミュニティづくり推進委員会	宮城野区	〃
「がんばれ秋保っ子」推進委員会	太白区	〃
チームやかたプロジェクト推進委員会	泉区	〃
カモンレインボープラン推進委員会	泉区	〃
旭ヶ丘わんぱく森^{2}がっこ推進委員会	青葉区	平成 23
上愛子学びのコミュニティづくり推進委員会	青葉区	〃
「西山っ子ニコニコ楽校」	宮城野区	〃
通学合宿連坊実行委員会	若林区	〃
まなびネット「いずみ中山」	泉区	〃
ひがろく　おやネット推進委員会	若林区	平成 22
将監こども楽校推進委員会	泉区	〃
まなこみネット鶴が森 Ⅱ	泉区	平成 21
パパネット南小泉推進委員会	若林区	平成 19
かみすぎねっと	青葉区	平成 18
作並学びのコミュニティ推進事業実行委員会	青葉区	〃
ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	泉区	平成 16
松陵っ子，土っと来い！	泉区	〃
まちがっこ推進委員会	青葉区	平成 15
榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	〃
ながまち学びネット推進委員会	太白区	〃

（2）学びのコミュニティづくり推進事業支援等

「学びのコミュニティづくり推進事業」の委託団体及び，3 年間の委託期間終了後も自主的に事業を実施している団体に対して，活動支援を行った。

また，委託期間が終了した後も自立した活動を行っている 26 団体も含め，事業実施団体連絡会による研修会を開催し，団体相互の情報共有を図った。

【平成 28 年度に市民センターが関わった主な事業（委託期間中の事業)】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
宮城野区中央市民センター			
中野栄地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会（中野栄学舎）	中野栄小学校区の各団体や市民センター等と連携し,地域における子供たちの学びを支援する仕組みを作ることを目的に，自然体験，社会体験を実施した。 ・７月９日（土）Ｅボートに乗ってみよう（参加者５５名） ・１月７日（土）昔あそび&おしるこ会（参加者８５名）	7	200

【委託終了後の事業に対する継続的支援等】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
青葉区中央市民センター			
旭ケ丘わんぱく森[2]がっこ	旭丘小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により，子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・4 月～11 月　森[2]ファーム ・6 月 18 日　旭ヶ丘ホタルまつり参加 ・7 月 7 日～8 日　旭ヶ丘夏まつり参加 ・10 月 8 日　金成農業体験ツアー ほか	 7 1 1	 56 53
かみすぎねっと	上杉山通小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により，子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・9 月 3 日　おもしろ子ども会 ・8 月 30 日～31 日　Gakkou へ泊まろう ・6 月 18 日　上杉地区大運動会 ・8 月 21 日　上杉地区夏まつり ・9 月 14 日　世界の音楽～馬頭琴～ ほか	 1 1 1 1 1	
まちがっこ	東二番丁小学校・幼稚園をはじめ，青葉区中央市民センター周辺の関係団体等との連携により，子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・花のあるまちづくり ・どろんこ遊び	 2 1	
川平学びのミュージアム	川平小学校区の学校関係団体・地域団体との連携により，子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・4 月 17 日～11 月 26 日　白菜ミュージアム ・7 月 16 日～17 日 親子ふれあいワクワクキャンプ ・10 月 15 日　川平フェスタ	 3 1 1	 62 158 600
宮城野区中央市民センター			
榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進事業	仙台駅東口かいわいの幼児，小学生を対象として遊びの広場を提供した。また，地域の住民や中学生，ボランティア等の参加も促し，異世代間の交流を図った。 ・8 月 27 日第 15 回つつじがおかワイワイ夏まつり ・1 月 28 日第 10 回つつじがおかワイワイ冬まつり	9	950
若林区中央市民センター			
南小泉子どものふるさとづくり推進事業	学びのコミュニティづくり推進事業で立ち上げた「南小泉パパネット」が南小泉小学校の児童や保護者を対象に実施する事業への支援を行った。 ・7 月 30 日　なつなつ南小 ・10 月 22 日・23 日　あきあき南小 ・1 月 21 日　ふゆふゆ南小	3	268
区内小学校合宿等支援	学びのコミュニティづくり推進事業から続く「通学合宿！連坊！」など区内小学校の合宿等の事業を支援した。 ・7 月 30～31 日　学校に泊まろう会（六郷小） ・7 月 30～31 日　学校に泊まろう会（大和小） ・8 月 20～21 日　キャンプ in 南材（南材木町小） ・10 月 5～7 日　通学合宿！連坊！（連坊小路小）	4	320
若林小あそび場支援	若林小学校を中心に放課後の児童に小さな冒険を秘めた遊びの場をつくる「若林小あそび場」の活動（概ね月 1 回開催）を，関係団体，若林児童館，若林市民センター，ボランティアとともに支援した。	11	1,030

太白区中央市民センター				
	秋保地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会（がんばれ秋保っ子）	秋保中学校区の各団体と協力して事業を実施することで地域全体で子どもを育てていくきっかけをつくった。 ･10 月 16 日　キックベースボール大会(参加者　小中学生 40 名) ・1 月 7 日　秋保カルタ大会（参加者 72 名） ・秋保地区行事カレンダー作成	4	204
	ながまち学びネット	長町中学校区（長町小・長町南小・鹿野小学校区）内児童･生徒や保護者，地域住民とともに，子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行い，地域コミュニティを深めていく。 ・7 月 27 日 こども防災キャンプ(参加者 136 名)	8	296
泉区中央市民センター				
	区内学コミ連絡会	区内で活動している各学コミ委員会と情報を共有し，学コミの活動の促進ならびに拡大を図った。 ・6 月 11 日　第 1 回連絡会（年間計画,情報交換）	1	17
	ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	七北田中学校区内の諸団体が連携し,青少年健全育成事業の展開を図るとともに,子どもの居場所づくり事業について協議，企画，実施した。 ・7 月 9 日　七小ゆめフェスティバル ・8 月 5 日～8 月 6 日　キャンプだホイ!2016in 市名坂 ・11 月 19 日　市小カーニバル ・ 2 月 19 日　あそびの天国 2017	14 1 1 1 1	280 269 197 516 429

（3）嘱託社会教育主事研究協議会区部会との共催事業

嘱託社会教育主事（社会教育主事資格を持ち学校に在籍している教員）研究協議会の各区部会と各区中央市民センターの共催による事業を通して，子ども達の健全育成や地域コミュニティの活性化を図り，地域で子どもを育てる環境づくりを推進した。

館名	内容	実施回数	参加者
青葉区中央市民センター	6月30日　青葉区社会教育推進連絡会研修会 7月3日　ジュニアリーダー初級研修会 8月21日　ジュニアリーダーとの交流会研修会「青葉チャレンジＪＬ in 博物館」 9月11日　子ども会対象事業「青葉チャレンジキッズ in 科学館」 11月19日　脳トレーニングで　笑顔UP～親子いっしょに脳を輝かせ　明るく笑顔あふれる家庭づくり～	5	331
宮城野区中央市民センター	6月17日　宮城野区社会教育推進連絡会研修会 7月16日　「七北田川でＥボートに乗ろう」 7月31日　宮城野区ジュニアリーダー初級研修会・交流会 11月25日　嘱託社会教育主事・地域連携担当職員・市民センター職員研修会 12月17日　インリーダー研修会事前打合せ会 1月～2月　インリーダー研修会	14	約600
若林区中央市民センター	11月26日ものづくり体験教室（クッキーづくり，農家レストラン料理，生け花づくり，染め物づくり，革細工づくり） 8月23日　学校と連携したまちづくり市民会議 12月11日　ジュニアリーダー初級研修会 1月7日　インリーダー研修会事前打合せ兼研修会 2月　インリーダー研修会	9	約500
太白区中央市民センター	6月3日　第1回太白区内地域連携ネットワーク会議 6月18日　秋保インリーダー研修会 7月2日　ジュニアリーダー初級研修会 7月29日　第2回太白区内地域連携ネットワーク会議 6月～1月　太白区内地域連携ネットワーク事業　地区ごと19事業を実施 11月3日　長町秋のフェスティバル（協力事業） 12月10日　インリーダー研修会事前打合せ会 1月20日　第3回太白区内地域連携ネットワーク会議 1月～2月　インリーダー研修会	163	約5,000
泉区中央市民センター	5月～2月　泉区の社会教育を考える会 6月8日　ブロック別地域連絡会 6月18日　嘱託社教・市民センター合同研修会 7月23日・7月31日　親子で根白石化石ホリダー 8月10日　親子で地下鉄東西線ミニ体験ツアー 11月27日　泉区ジュニアリーダー初級研修会 1月14日　第10回みんなでジャンプ 5月～2月　インリーダー研修会	30	約2,000

（4）地域コーディネートリーダー研修

＜生涯学習支援センター＞

子どもを育む地域力を高める視点に立ち，地域内のコミュニケーションやネットワークの活性化を目指し，地域で核となる人材を育成する事業。実際に地域で活躍している市民（企画員）との協働により研修内容を企画・実施した。

平成 28 年度の実施状況は下記のとおりである。

（ア）第 1 回地域コーディネートリーダー研修会（H28.6.17　受講者 31 名）

・講話１「ファシリテーションの基礎」
　講話２「学校や地域にうまく入っていくためには」
　　【講師】伊勢 みゆき 氏（まなびのたねネットワーク 代表理事）
・グループワーク

（イ）第 2 回地域コーディネートリーダー研修会（H28.10.12　受講者 98 名）

・事例発表　愛子・錦ケ丘小 学校支援地域本部 めですこ SCHOOL
　　安藤 直美 氏　　渡部 恵子 氏（スーパーバイザー）
　　仙台市立南小泉中学校学校支援地域本部
　　相澤 雅子 氏　　小澤 幸枝 氏（スーパーバイザー）
　　心の 110 番友の会　岩下 順郎 氏（代表）
　　榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会　関口 真爾 氏（委員長）
・情報交換

（ウ）第 3 回地域コーディネートリーダー研修会（H29.2.18　受講者 126 名）

・講演「これからの地域コーディネーターに求められる役割」
　【講師】竹原 和泉 氏（まちと学校のみらい 代表理事）
・成果発表　コンパス住吉台
　　宮本 真由巳 氏　　長谷部 順子 氏（スーパーバイザー）
　　仙台市立燕沢小学校学校支援地域本部
　　西條 和枝 氏　　庄子 久実 氏
　　佐藤 由美子 氏（スーパーバイザー）
　　仙台市立七郷小学校学校支援地域本部
　　髙橋 幸 氏　　南雲 明美 氏（スーパーバイザー）
　　沖野学園学校支援地域本部
　　大内 ユカリ 氏　　沼田 信枝 氏（スーパーバイザー）
・総括　　竹原 和泉 氏（まちと学校のみらい 代表理事）
　　野澤 令照 氏（宮城教育大学 学長付 特任教授）

（エ）地域コーディネートリーダー研修フォローアップ研修①（H28.7.2　受講者 8 名）

（平成 27 年度の研修の中で行動宣言した受講者について，追跡調査や助言を実施）

・情報交換，意見交換

（オ）地域コーディネートリーダー研修フォローアップ研修②（H28.12.20　受講者 13 名）

（平成 27 年度の研修の中で行動宣言した受講者について，追跡調査や助言を実施）

・情報交換，意見交換

（カ）地域コーディネートリーダー研修会企画員会（全 2 回　延参加者 8 名）

・研修会の方向性や内容の検討

（5）高等学校開放講座

＜生涯学習支援センター＞

仙台市立高等学校の持つ施設や人材を活用して，各校が特色ある市民向け講座を実施した。

学校名	講座名	内容	実施日	申込者	受講者
仙台大志高校	地域活動で役立てよう！プレゼンテーションソフト入門	パワーポイント 2010 の基礎，地域活動に役立つ資料作成，プレゼンテクニックを学ぶ	8 月 8 日（月）～8 月 10 日(水)	14	14
仙台工業高校	親子で学ぶ電子工作！～工業高校ものづくり体験～	LED とマイコンを使った防災ライトの制作を通じて，電気科のものづくり実習の楽しさを体験する	8 月 20 日（土）8 月 21 日(日)	20	20
仙台青陵中等教育学校	毎日続ける！健康運動～高校体育教師による理論と実践～	軽運動からストレッチまで，楽しく体を動かし，家庭で継続できる健康増進運動を紹介する	10 月 28 日(金) 11 月 11 日(金)	15	15
仙台高校	表計算入門「エクセル 2013 基礎講座」	エクセル 2013 の基礎，関数の利用，いろいろな表やグラフの作成などを学ぶ	12 月 3 日(土) 12 月 4 日(日)	76	29
仙台商業高校	世の中を読み解く！高校社会をもう一度	日本史，世界史，地理，政経を振り返り，現代社会との関連や問題解決を考え，興味関心の向上や知識活用を目指す	2 月 11 日(土) 2 月 12 日(日)	10	8

４　学習情報収集・提供事業

地区市民センターが収集している地域情報を含め，広く情報を集積し，多様な媒体に整理・保管し，広く市民が活用できるよう公開する。

（１） 学習情報レファレンスシステム・市民センターホームページの運営

＜生涯学習支援センター＞

市民の学習意欲に応え，的確な情報提供サービスを展開することで，効果的に市民の学習活動を支援するため，生涯学習支援センターと市民センターをインターネット回線で結び，生涯学習に関するより新しい情報を提供するとともに，市民の学習相談に応じることを目的として平成 12 年 3 月より運営している。

平成 26 年 11 月にシステム機器を更新し，新たな「市民センターホームページ」と「学習情報データベース」の運用を開始した。新たなホームページでは，各市民センターの情報を統合して表示したり，講座の開催日を検索しやすくするなどの手法により，市民により分かりやすいページ構成とした。

市民センターホームページの URL　http://www.sendai-shimincenter.jp

【平成 28 年度末　仙台市学習情報レファレンスシステム登録情報数】

情報種類	平成 28 年度末現在
団体・サークル情報	2,701
人材・講師	10,661
事業	4,304
合計	17,666



【平成 28 年度　市民センターホームページアクセス件数】

閲覧ページ数	941,067	一日あたりの閲覧数	2,578
概算訪問者数	667,104	一日あたりの訪問者数	1,828

（２）市民センター事業ガイド

＜生涯学習支援センター＞

講座等参加者の募集中，募集予定がある事業について，区ごとにまとめ，毎月 1 回発行して，市民への情報提供を行った。

（３）その他の学習情報提供事業

館名	事業名	概要	実施日等
若林区中央市民センター	若林区の映像保存・活用事業	震災からの復興の様子や豊かな自然，地下鉄東西線の開業に伴い変化する街の様子などをボランティアが撮影し，市政だよりの若林区のお知らせのページに「若林の新風景」として掲載したほか，これらの写真のパネル展示を区役所などで開催した。	通年

５　人材育成

（１）職員研修

＜生涯学習支援センター＞

市民センター等の社会教育施設職員を対象に，社会の変化や市民のニーズに対応しながら，積極的に市民及び地域と連携するために必要な専門性やコーディネート力などの向上を図る研修を実施した。

【研修内容】

研修名	受講対象	概　　要	受講者
生涯学習基礎研修	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	**第１回「社会教育施設新任職員研修」** 5 月 25 日（水） ◎講話１「社会教育施設職員に求められるもの」 東北大学大学院　教授　髙橋　満　氏 ◎講話２「仙台市の社会教育・生涯学習について」 仙台市教育局生涯学習課長　奥山　健一　氏 ◎事例紹介「市民の学びを支えるために～参加・空間・資源・協働～」 仙台文学館 学芸主任　渡部 直子 氏 仙台市富沢遺跡保存館 学芸員　中谷 可奈 氏 ◎グループワーク　等	46
		第２回「社会教育と事業評価」 7 月 1 日（金） ◎講話とグループワーク 「社会教育と事業評価」 秋田大学 准教授　原 義彦 氏	45
		第３回「社会教育の現代的な役割」 9 月 9 日（金） ◎講話とグループワーク 「生涯学習社会における社会教育施設の現代的役割」 ～地域活性化の拠点として～ 九州共立大学 名誉教授　古市 勝也 氏	38
		第４回「学校と地域の連携」 10 月 28 日（金） ◎講話「子ども・若者が主役のまちづくりと生涯学習」 ～地域学校協働活動のあり方を考える～ 東京大学大学院 教授　牧野 篤 氏 ◎事例発表　山ガキ隊わくわく学校推進委員会 黒田 達也 氏 櫻井 博美 氏 ◎グループワーク	223
		第５回「学びの連携～オーエンス泉岳自然ふれあい館見学～」 11 月 11 日（金） ◎講話「オーエンス泉岳自然ふれあい館の概要～事業編～」 館長　下山 倉美 氏 ◎施設見学「オーエンス泉岳自然ふれあい館の概要～施設編～」 副館長　白石 裕輔 氏	27

		第 6 回「社会教育と市民協働」 12 月 21 日（水） ◎講話とグループワーク 「社会教育における市民協働の意義」 茨城大学 特任准教授　長谷川 幸介 氏	32
市民センター新任職員研修	・市民センター職員 ・関係課職員	4 月 20 日（水） ◎講話 1「新任職員への期待」 東北学院大学 教授　水谷 修 氏 ◎講話 2「市民センターの概要」※ ◎講話 3「学習情報提供・相談と学習情報の発信について」※ ◎講話 4「ジュニアリーダーの活動について」※ ◎講話 5「学校との連携について」※ ※生涯学習支援センター職員が担当	46
市民センター館長研修	・市民センター館長	8 月 31 日（水） ◎講話とグループワーク 「多様性配慮の視点を社会教育に生かすために」 ～よりよい市民センター運営に向けて～ （公財）せんだい男女共同参画財団 専務理事兼事務局長　斎藤 邦彦 氏	52
社会教育推進研修	・生涯学習支援センター，各区中央市民センター等に所属する社会教育主事等の教育局職員	**第 1 回** 5 月 20 日（金） ◎講話とグループワーク 「社会教育主事の誇り」 ～歴史と伝統のある仙台市の社会教育主事として～ 宮城教育大学 学長付 特任教授　野澤 令照 氏 **第 2 回** 10 月 6 日（木） ◎事業評価活動についての意見交換等 特定非営利活動法人教育支援協会代表理事　吉田 博彦 氏	17 17
生涯学習応用研修～スキルアップ研修～	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	**第 1 回「ファシリテーション研修～初級編～」** 6 月 2 日（木） ◎講話とワークショップ 「ファシリテーション入門」 地域社会デザイン・ラボ 代表　遠藤 智栄 氏 **第 2 回「ファシリテーション研修～ワークショップ編～」** 7 月 8 日（金） ◎講話とワークショップ 「ワークショップ体験とファシリテーション」 地域社会デザイン・ラボ 代表　遠藤 智栄 氏 **第 3 回「ファシリテーション研修～会議編～」** 9 月 14 日（水） ◎講話とワークショップ 「会議でのファシリテーション」 地域社会デザイン・ラボ 代表　遠藤 智栄 氏 **第 4 回「効果的な情報発信研修」** 1 月 27 日（金） ◎講話とグループワーク 「効果的な情報発信の知恵」 ～講座のチラシをつくってみよう 仙台市市民活動サポートセンター　情報企画チーム 松村 翔子 氏　　小野 真璃子 氏	28 27 27 26

		第 5 回「コーチング研修」 2 月 23 日（木） ◎講話とグループワーク 「事業運営に役立つコーチングの基本」 ～傾聴・質問・承認を学ぼう～ ドリームフィールド　代表　阿部　侑生　氏	20
生涯学習応用研修～現代的課題対応研修～	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	**第 1 回「多様性配慮研修」** 6 月 15 日（水） ◎講話とグループワーク 「社会教育施設における多様性への配慮」 ～発達障害の理解と支援～ 特定非営利活動法人　自閉症ピアリンクセンター ここねっと　センター長　黒澤　哲　氏 **第 2 回「高齢社会研修」** 7 月 15 日（金） ◎講話とグループワーク 「シニアの社会参加と支援の方法 ～シニアが輝く仕掛けと仕組み～」 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム研究員　倉岡 正高　氏 **第 3 回「青少年育成研修」** 2 月 10 日（金） ◎講話とグループワーク 「若者の『ありのまま』に向き合う」 YEC（若者エンパワメント委員会） 代表　吉田　真友　氏　メンバー　本林　智都　氏	40 50 28
事例発表研究研修	・市民センター職員 ・関係課職員	1 月 15 日（日） ◎成果報告　子ども参画型社会創造支援事業 若者社会参画型学習推進事業 住民参画・問題解決型学習推進事業 ◎全体講評　東北学院大学　教授　水谷　修　氏 プランニング開　代表　新田　新一郎　氏 3 月 1 日（水） ◎事例発表「子ども参画型社会創造支援事業」分科会 若者社会参画型学習推進事業」分科会 住民参画・問題解決型学習推進事業」分科会 ◎総括　東北学院大学　　教授　水谷　修　氏 プランニング開　代表　新田　新一郎　氏	120 94

（2） 学びのまち仙台市民カレッジ事業

＜生涯学習支援センター＞

本市における生涯学習の支援拠点として，全市域の市民を対象に，社会ニーズや現代的課題に対応した専門的で質の高い学習の機会を創出することで，学びを通した市民力の育成を目指すとともに，学習成果が地域や社会に還元されるような仕組みづくりを進めた。

①「地域づくり支援基礎講座」～身近な事例から学ぶ～

市民を対象に市内外における先進事例の紹介や視察・講演等からなる講座を企画・実施した。参加者が地域づくりに取り組もうとする際に，どのような方法で活動をしていけばよいか，地域実践に活かせる知識・スキル等を身近な地域づくりの実践事例等を通して学ぶとともに身近な地域をよりよくするため主体的に行動するとともに地域を支えようとする人材育成をめざした。

【学習内容】

回	日　時	概　　要	受講者
1	5月 11日（水） 18：30～20：30	◎開講式 ◎講話「地域づくりを楽しもう!」 せんだい泉エフエム放送株式会社 取締役事業部長　阿部 清人 氏 ◎グループワーク（自己紹介等） ※講座のコーディネーターは，阿部 清人 氏	16
2	6月 1日（水） 18：30～20：30	◎講話（事例発表）「町内会活動の事例から」 ◎事例発表１　福住町町内会 会長　菅原 康雄 氏 ◎事例発表２　片平地区連合町内 会長　今野 均 氏	18
3	7月 6日（水） 18：30～20：30	◎講話「スポーツボランティアと地域づくり」 ◎講話１ グランディ21ボランティア委員会 キャプテン 村松 淳司 氏 ◎講話２ 特定非営利活動法人 クラップス 代表　石河 美奈 氏	16
4	8月 3日（水） 18：30～20：30	◎講話「学びのコミュニティをつくろう」 ◎講話１　榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会 委員長　関口 真爾 氏 ◎講話２　ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会 委員長　齋藤 純子 氏	17
5	9月3日（土） 13：30～17：00	◎館外学習「吉岡宿（黒川郡大和町）の見学」 ◎講話　まほろばまちづくり協議会　会長　佐々木 末治 氏 理事　高橋 信行 氏 ◎見学案内　まほろばまちづくり協議会　案内ガイド４名 ◎閉講式　　株式会社ＭＣラボ代表取締役　阿部 清人 氏	14

②「地域づくり支援応用講座」～あなたの力をスキルアップ～

市民を対象に，地域づくりに必要な知識やスキルを習得するための，より専門的な学習機会を提供することにより，地域づくりを牽引する人材育成をめざした。

参加者が抱える地域づくりについての課題が，地域づくりにかかるより専門的な学習を通して，解決につながるよう支援するとともに，地域実践に活かせる知識・スキル等を身につけられる内容とした。

【学習内容】

回	日　時	概　　要	受講者
1	9月28日（水） 18：30～20：30	◎開講式 ◎講話　「地域づくりの課題を見つけよう！」 株式会社ＭＣラボ　代表締役　阿部 清人 氏 ◎グループワーク（参加者自己紹介・情報交換等） ※講座のコーディネーターは，阿部 清人 氏	21
2	11月2日(水) 18：30～20：30	◎講話「カードが教えるコミュニケーション術」 ～互いの力を活かして地域づくりへ～ キャリアトーク　代表　志伯 暁子 氏	25
3	12月7日(水) 18：30～20：30	◎講話「ファシリテーション基礎編」 NPO法人 日本ファシリテーション協会 理事　中西 百合 氏	18
4	1月11日(水) 18：30～20：30	◎講話「ファシリテーション応用編」 NPO法人 日本ファシリテーション協会 理事　中西 百合 氏 ※講師都合により，第5回目と同日(2/1)に開催	22
5	2月1日(水) 18：30～20：30	◎講話・ワーク「学びの振り返り」 株式会社ＭＣラボ　代表締役　阿部 清人 氏 ◎閉講式	22

③「仙台再発見リレー講座」

市民を対象に，「わがまち仙台」をテーマとして，歴史，産業，食，文化，まちづくり等の視点から学びを広げ，地域の魅力に改めて気づくとともに，今後の発展に自分なりの考えをもつことができるような講座を実施することで，地域づくりに関わろうとする新たな人材の発掘や，そのような市民層の拡大を目指した。

【学習内容】

回	日　時	概　　要	受講者
1	5月28日（土） 14：00～16：00	◎講話「仙台の街の魅力とスポーツ」 仙台大学副学長／東北楽天ゴールデンイーグルスシニアアドバイザー／東北大学特任教授兼総長顧問 マーティ キーナート 氏 ◎対談「わがまち仙台の魅力」 仙台大学副学長／東北楽天ゴールデンイーグルスシニアアドバイザー／東北大学特任教授兼総長顧問 マーティ キーナート 氏 せんだい泉エフエム放送株式会社 取締役事業部長　阿部 清人 氏	51
2	6月11日（土） 14：00～16：00	◎講話「食文化から見た仙台の魅力」 仙台大学　教授　高成田　亨 氏	47
3	6月25日（土） 14：00～16：00	◎講話「商業都市としての仙台」 株式会社 阿部蒲鉾店 代表取締役社長　阿部 賀寿男 氏	34
4	7月2日（土） 14：00～16：00	◎講話「仙台藩のまちづくり」 仙台市教育局　文化財課　木村 浩二 氏	50
5	7月23日（土） 14：00～16：00	◎講話「仙台のまちづくり」 特定非営利活動法人 都市デザインワークス 代表理事 榊原 進 氏	44

④「学び直し」講座

「子育て後の女性の社会参加」や「困難を抱える青少年の支援」等，就労にも関連し，現代社会が世代ごとに抱える課題の解決を図るため，関連機関やＮＰＯ等と連携しながら，学びの場を提供した。

〇就労準備講座　「働く「わたし」をイメージ～なりたい自分に近づくために～」

対象：子どもが就園・就学等をしたら働きたいと考えている現在子育て中の女性

場所：生涯学習支援センター　第２セミナー室

【学習内容】

回	開催日	概　　要	受講者
1	６月９日（木）	◎講話とワーク「わたしにとって“働く”ということ」 （公財）せんだい男女共同参画財団 事業管理係長　牛井渕 展子 氏	14
2	６月16日(木)	◎ワーク「働くママに役立つコミュニケーション」 ～効果抜群！自分と仲良くなるメンタルコントロール法について～ ドリームフィールド代表　阿部 侑生 氏	9
3	６月23日(木)	◎講話「働くための準備ポイント」 マザーズハローワーク青葉 職業指導官　福濱 有紀 氏	12
4	６月30日(木)	◎講話「先輩ママの話」 子育てをしながら働いている女性３名との対話 ファシリテーター：のびすく仙台館長　伊藤 仟佐子 氏	11

〇現代的課題講座　「子どもや若者の困難を考える～私たち周りの人ができること」

対象：不問（子どもや若者の困難に関心を持ち，支援等を考える周囲の方を想定）

場所：生涯学習支援センター　第２セミナー室

【学習内容】

回	開催日	概　　要	受講者
1	３月４日（土）	◎講話「困難の状況とサポートの方法」 東北大学大学院教育学研究科 准教授　若島 孔文 氏	84
2	３月11日(土)	◎講話「子どもの貧困～地域の力で育ちを支える～」 ＮＰＯ法人アスイク 代表理事　大橋 雄介 氏	59
3	３月18日(土)	◎講話「不適切な養育環境で育つ～大人になれない子どもたち～」 国立病院機構仙台医療センター 小児科医　田澤 雄作 氏	68

（３） ボランティア養成等人材育成事業

① 託児ボランティア養成・活動支援

＜生涯学習支援センター＞

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学習できる「学びのバリアフリー事業」の一環として，子育て中の保護者が安心して学習できるように講座に託児を付設している。

託児付き事業の託児室は，市民参画による市民のためのものとしてボランティアによる主体的な運営を前提としており，その中で活躍する託児ボランティアを支援するとともに，新たな託児ボランティアの養成・育成のための事業を実施した。

【研修内容】

事業名	開催日	内　　容	延受講者
託児ボランティア養成講座	9月29日 10月 6日 10月13日 10月20日 10月27日	託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学んだ。 ・オリエンテーション 「託児ボランティア活動について」 ・講話「子どもを取り巻く環境①遊びと発達」 講師：仙台市高砂保育所保育士 ・移動学習「子どもを取り巻く環境②保育所見学」 仙台市支倉保育所見学 ・講話「子どもの病気と怪我」 講師：青葉区家庭健康課保健師 ・話し合い，実技「これからの活動に向けて」	96
託児ボランティアフォローアップ研修	12月6日	より質の高い託児室運営のため，託児ボランティアの資質や技術向上に役立つ研修を実施した。 ・託児における食物アレルギー・アナフィラキシーショックの対応 講師：宮城県立こども病院 アレルギー科 部長　北沢 博 氏	48
託児ボランティア活動支援 (連絡会･調整会の開催)	5月10日 10月 4日 3月 7日	市民センターで活動する託児ボランティアに対し，連絡会，託児調整会等の開催により，日常の活動を支援した。	93

【託児ボランティアグループ一覧】(平成29年3月現在)

グループ名	設立年月日	最寄の市民センター	会員数
さくらんぼ	H14. 5. 8	木町通市民センター	5
ひまわり	H 9. 8. 1	水の森市民センター	8
アリスの会	H 5. 7	生涯学習支援センター	4
にんじん	S59. 7. 9	東部市民センター	5
ハイジ	H22. 4	若林区中央市民センター	14
クリップ	H 9. 4. 1	六郷市民センター	14
でんでんむし	H12. 3.22	東中田市民センター	10
こんぺいとう	H 7.10. 1	茂庭台市民センター	3
たんぽぽ	H 3	富沢市民センター	12
キャンディ	H22. 4	南光台市民センター	5
ちゅうりっぷ	H13. 3.14	泉区中央市民センター	13
てっての会	H 6. 4	寺岡市民センター	9
合計　12グループ　/　会員数　102名			

② 図書ボランティア活動支援

＜生涯学習支援センター＞

市民センター併設の図書室（47 館）のうち 29 館の図書室では，市民ボランティアの協力により図書の貸し出し等の運営を行っている。

その図書ボランティアの活動を支援するためのスキルアップ研修を実施した。

【研修内容】

事業名	開催日	内　　容	受講者
図書ボランティア スキルアップ研修	12 月 4 日	「読み聞かせ・手遊び・わらべうた」 講師：たんぽぽ文庫代表, 語り手たちの会・みやぎ代表 竹丸 富子 氏	30

【図書ボランティアー覧】（平成 28 年 7 月現在）

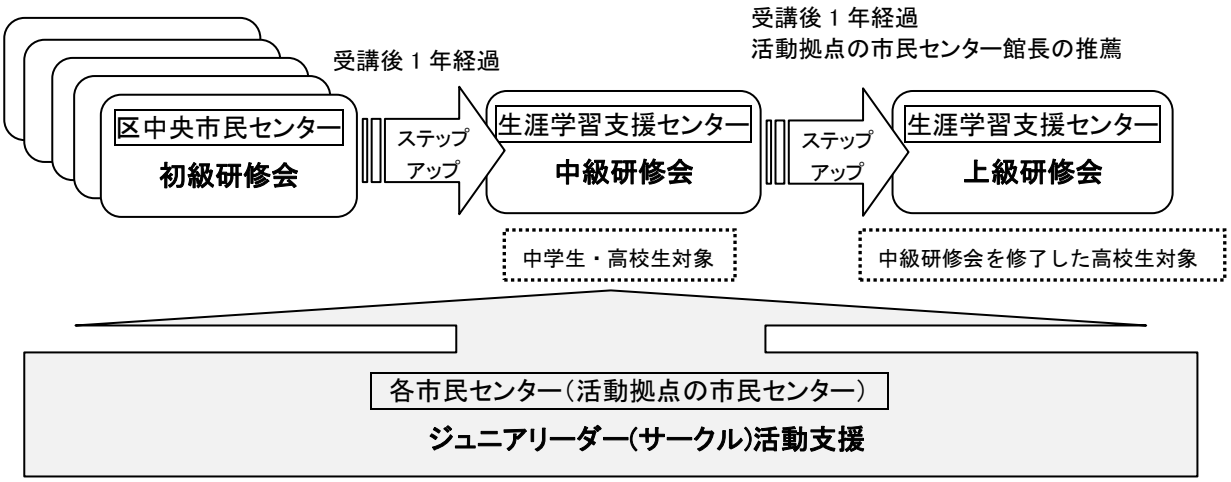
グループ名	活動館	会員数
さくらさくら	北山市民センター	10
カンナの会	福沢市民センター	11
図書ボランティアぽけっと	三本松市民センター	8
栞の会	落合市民センター	14
（個人登録）	片平市民センター	6
（グループ名なし）	水の森市民センター	20
ひまわり	貝ケ森市民センター	9
（個人登録）	中山市民センター	8
コスモス文庫	大沢市民センター	14
図書ボランティアたんぽぽ	吉成市民センター	9
図書ボランティア	木町通市民センター	8
しおりの会	岩切市民センター	9
おはなしこぶた	岩切市民センター	3
（グループ名なし）	田子市民センター	1
ターンぽっぽ	東部市民センター	8
かすみそう	高砂市民センター	6
図書ボランティアサークル「ひまわり」	幸町市民センター	9
図書ボランティアみちくさ	荒町市民センター	10
（個人登録）	七郷市民センター	9
（個人登録）	沖野市民センター	8
ブックスフレンド中田	中田市民センター	16
八木山図書ボランティア委員会	八木山市民センター	30
図書ボランティア縄文	山田市民センター	7
富沢市民センター図書ボランティアの会	富沢市民センター	20
（個人登録）	東中田市民センター	7
茂庭台図書ボランティア	茂庭台市民センター	12
図書ボランティア	西多賀市民センター	10
図書ボランティアコスモス	八本松市民センター	8
ブックポケット	柳生市民センター	5
松森市民センター図書ボランティア	松森市民センター	7
ボランティア数計 302 名		

③ ジュニアリーダー育成・支援

ジュニアリーダーとは，青少年ボランティア活動の一環として，仙台市教育委員会の支援を受け，各市民センターを拠点として活動している中学生・高校生のことである。

ジュニアリーダーの主な活動内容は，地域の子ども会活動を活性化するための支援であり，この活動を通して，地域全体の活性化に貢献している。また，子どもを対象としたイベントの企画・実施や，様々なボランティア活動にも積極的に取り組んでおり，ジュニアリーダー自身の人格形成に生かされている。

ジュニアリーダーを育成するために，各区中央市民センターにおいて初級研修会（初心者を対象），生涯学習支援センターにおいて中級研修会・上級研修会（ステップアップ研修）を実施している。さらに，ジュニアリーダーの活動の拠点となっている市民センターにおいては，活動の支援に加え，ジュニアリーダーを指導者とした事業も行っている。



【ジュニアリーダーサークルの主な活動】

○　自主企画（ジュニアと遊ぼう，交流会など），定例研修会及び連絡会，各種研修会

○　子ども会，市民センター，その他の機関からの要請による活動

・子ども会行事の実施及び企画の補助
・区民まつりへの参加
・市民センター事業への補助
・児童館行事のスタッフ　　など

○ジュニアリーダー初級研修会

各区中央市民センターを会場に，ジュニアリーダーとして必要となる基本的な知識や技術を習得するための研修を行った。対象者は，「新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生」とした。

本研修会は，ジュニアリーダー活動の理念に触れ，興味・関心を高めるとともに，現ジュニアリーダーとの親睦を図り，今後の活動への意欲を持たせることを中心に実施した。

【平成 28 年度実績】

主催館名	開催日	受講者
青葉区中央市民センター	7 月 3 日(日)	38
宮城野区中央市民センター	7 月 31 日(日)	12
若林区中央市民センター	12 月 11 日(日)	19
太白区中央市民センター	7 月 2 日(土)	28
泉区中央市民センター	11 月 27 日(日)	44

○ジュニアリーダー中級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

地域の子ども会活動の活性化と，青少年のボランティア活動を積極的に推進するための研修を行った。

対象者は，「初級研修会を修了し，引き続きジュニアリーダーとして活動を行っている中学生及び高校生」で，かつ，「活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者」とした。

本研修会は，ジュニアリーダーとして必要となるより専門的な知識と技術の習得を中心とした内容で実施した。

○62 名受講　8 月 6 日(土)，7 日(日)　会場：生涯学習支援センター

研修内容「今，ジュニアリーダーに必要なものとは？」，「要請の受け方」，「子どもを引き付けるコツとは？」，「要請のプログラムを作成しよう」，「要請のプログラムを実践しよう」

○ジュニアリーダー上級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

青少年のボランティア活動と地域の子ども会活動の一層の振興を図るために，仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ，リードする立場にある高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行った。

対象者は，「中級研修会を修了し，引き続きジュニアリーダーとして活動している高校生または高校生の年齢に相当する者」，かつ，「活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり，活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者」とした。

本研修会は，野外活動のスキルアップを中心とした内容で実施した。

○19 名受講　7 月 16 日(土)，17 日(日)　会場：仙台市立上野山小学校

研修内容「リーダーとしての役割と心構え」，「よりよいサークル運営」，「キャンプファイヤーのコーディネートの仕方」，「テント設営」，「野外活動と安全」，「テントのしまい方」

○ジュニアリーダー実践研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

上級研修会の伝講の場として，上級認定者が講師となり，未認定者に対して野外炊飯やキャンプファイヤー等の野外活動のスキルアップを図った。併せて，５区のジュニアリー

ダーが交流を深め，幅広い視野や責任感を持って地域で活動できるリーダーとしての資質向上・技術向上のための研修も行った。

対象は，各地区館が支援するジュニアリーダーサークルに所属している全ジュニアリーダーとし，単位等を認定する研修会ではないことから，部分的な参加も認めた。

○39 名受講　9 月 18 日(日)，9 月 19 日(月)　会場：オーエンス泉岳自然ふれあい館
研修内容「テントの設営」，「ダンス研修」，「キャンプファイヤー」，「野外炊飯」

【ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧】(平成 29 年 3 月現在)

区内連絡会	No	サークル名	登録数	活動拠点館名
青葉区（103 名） 連絡会『**星のすなどけい**』 (青葉区中央市民センター)	1	MRVC くまっこ	27	広瀬市民センター
	2	かめ吉	17	福沢市民センター
	3	朝実巣あかよばく	10	北山市民センター
	4	Colors	5	旭ケ丘市民センター
	5	SKY	21	中山市民センター
	6	みずの森ーダー’S	15	水の森市民センター
	7	Blue Leaf Spirits	8	青葉区中央市民センター
宮城野区（55 名） 連絡会『**Lovers**』 (宮城野区中央市民センター)	1	高砂フレンズクラブ	5	高砂市民センター
	2	岩切ガンキリーズ	6	岩切市民センター
	3	鶴ケ谷 Yourself	8	鶴ケ谷市民センター
	4	幸町 Fortune	8	幸町市民センター
	5	With Us 宮城野	28	宮城野区中央市民センター
若林区（57 名） 連絡会『**田んぼっ区**』 (若林区中央市民センター)	1	郷郷七郷	11	七郷市民センター
	2	六郷村	6	六郷市民センター
	3	ピ野沖ヲ	8	沖野市民センター
	4	JARO	12	若林区中央市民センター
	5	ワンマイル荒町	10	荒町市民センター
	6	若林にゃくりん	10	若林市民センター
太白区（66 名） 連絡会『**ANON**』 (太白区中央市民センター)	1	なかだかな	20	中田市民センター
	2	おいでください	10	生出市民センター
	3	ジュニアリーダーサークル Green Powers	0	秋保市民センター
	4	にしたがっつまん	13	西多賀市民センター
	5	ながまっくる	23	太白区中央市民センター
	6	moni-s　※平成 28 年度末に発足	ー	茂庭台市民センター
泉区（177 名） 連絡会『**ざわざわ森**』 (泉区中央市民センター)	1	黒松ファミリー	13	黒松市民センター
	2	南光台アドバルーン	6	南光台市民センター
	3	もみの木カリヨン	15	根白石市民センター
	4	向陽台ぱぴぷぺパレット	0	松陵市民センター
	5	将監くれよん	16	桂市民センター
	6	長命ケ丘巣子っぷ	17	南中山市民センター
	7	高森流星サークル	13	高森市民センター
	8	寺岡流星サークル	16	寺岡市民センター
	9	七北田 JL サークルありす	17	泉区中央市民センター
	10	みちのく松陵	34	松陵市民センター
	11	加茂プレゼント	7	加茂市民センター
	12	パズル鶴が丘	7	松森市民センター
	13	根住ｓ	16	根白石市民センター
市全体　（ 458 名　/　37 サークル ）　　仙台市連絡会 『**ずんだ**』 (生涯学習支援センター)				

④ インリーダー研修会

子ども会活動の充実を図るため，子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に，子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施した。

【平成 28 年度実績】

区	開催回数	延受講者
青葉区	9	494
宮城野区	9	404
若林区	6	348
太白区	11	586
泉区	22	1,305
合　計	57	3137

⑤ 実習受入

○社会教育実習生

宮城教育大学，東北学院大学からの依頼を受け，各大学の社会教育主事資格取得を目指す学生を社会教育実習生として各区中央市民センターで受け入れ，公民館（市民センター）の概要や講座の企画立案・実践について指導した。

a. 施設実習　H28.8.23～H28.8.28

b. 施設実習　H28.9.27～H28.10.2

c. 講座実習　H28.10～H28.11

d. 実習報告　H29.2.14

実習生　東北学院大 20 名(a.c.d)，宮城教育大学 6 名(a.のみ)，
宮城教育大学 5 名(b.のみ)

○児童・生徒の職場体験実習

小学生，中学生の職場体験実習を受け入れ，市民センター業務について学ぶ機会を提供した。

受け入れ学校数及び人数　　小学校（1 校 17 名），中学校（5 校 17 名）

⑥　学びを支えるボランティアセミナー

＜生涯学習支援センター＞

「学びのまち・仙台」を支える基盤の充実を目指し，より多くの市民や団体等が，学びの活動に参画できるよう，市民や行政といった立場の違いを越えて理念の共有を図ると共に，ネットワークの構築を進めることを目的として実施した。

○日時：平成 28 年 11 月 17 日（木）

○会場：生涯学習支援センター　第 1 セミナー室

○対象：社会教育施設等で活動するボランティア，社会教育施設職員，社会教育施設での学びを支えるボランティア活動に興味や意欲のある市民

○参加者数：21 名

○内容：講話「ボランティアと社会教育施設の連携と協働」

【講師】菊地 竜生 氏

（仙台市市民活動サポートセンター センター長）

事例発表

市民図書館 奉仕整理係主査　佐藤 文 氏

ブックトークボランティア ランプ代表　斎藤 千里 氏

オーエンス泉岳自然ふれあい館 副館長　白石 裕輔 氏

野外活動ボランティア　半澤 恵子 氏

情報交換等

⑦ 地域情報発信サポーター養成・活動支援

＜生涯学習支援センター＞

○地域情報発信サポーター養成講座

市民センターに関わる生涯学習情報，地域資源情報を収集し，広く市民に向けて発信する活動を行う地域情報発信サポーターの養成講座を実施した。

【学習内容】

回	開催日	概　　要	受講者
1	10月25日(火)	◎講話「地域（生涯学習）の情報を知る」 市民センターの概要と地域づくり活動事例についての座学 生涯学習支援センター職員	10
2	11月1日(火)	◎講話とワーク「地域の情報を伝える」 ボランティア活動事例紹介とインタビュー実践のワーク体験 仙台市市民活動サポートセンター　葛西 淳子 氏　菅野 祥子 氏	10
3	11月8日(火)	◎講話とワーク「地域の情報を広める」 市民センター関係事業成果物のプレゼンテーションワーク体験 仙台市市民活動サポートセンター 松村 翔子 氏　菅野 祥子　氏	8
4	11月15日(火)	◎話合い「施設の見学&お話合い」 これからの活動に向けての話し合い，サポーター登録受付など ファシリテーター：生涯学習支援センター職員	7

○地域情報発信サポーター活動支援

地域情報発信サポーターの養成講座を修了した7名が自主サークル「仙台おもしろ発見隊」として活動を開始し，11回（延49名）の活動を行い，リーフレット「地域のなかまたち」プレ号，創刊号を作成し，市民センター等へ配布した。円滑な活動により効果的な情報発信が行われるよう，支援を行っていく。

６　仙台市公民館運営審議会

社会教育法第29条，仙台市市民センター条例第13条に基づき，市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う，本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。

現委員は14人で，任期は平成27年11月1日から平成29年10月31日までの2年間となっている。

【委員名簿】　〔平成29年8月1日現在〕

	氏　　名	職業または所属団体
	阿 部　　侑 生	Ｄｒｅａｍ　Ｆｉｅｌｄ代表
	市 瀬　　智 紀	宮城教育大学教員キャリア研究機構教授
	幾 世 橋　広 子	仙台市社会学級研究会顧問
	小 岩　　孝 子	NPO 法人 FOR YOU にこにこの家理事長
	小 地 沢　将 之	仙台高等専門学校総合工学科准教授
○	齋 藤　　純 子	NPO 法人せんだい杜の子ども劇場代表理事
	齊 藤　　康 則	東北学院大学経済学部准教授
◎	佐 藤　　直 由	東北文化学園大学医療福祉学部教授
	島 倉　　美 穂	公募委員
	菅 井　　茂	仙台市連合町内会長会会長
	鈴 木　　一 彦	仙台市立南材木町小学校校長
	中 山　　聖 子	NPO 法人ハーベストキャリア教育コーディネーター
	吉 田　　祐 也	学校法人尚絅学院職員
	渡 辺　　博	仙台市議会議員

◎：会長　○：副会長　敬称略・50 音順

【近年の審議内容(平成 15 年度～平成 28 年度)】

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 15 年 10 月 7 日	提言	市民センターにおける子どもの事業のあり方について	1　審議会における検討の過程 2　子どもの事業に取り組む課題と視点 3　ジュニアリーダーの育成と活動支援 4　学社連携・融合事業について 5　学校週 5 日制に対応した事業について
平成 17 年 9 月 12 日	提言	市民センターにおける市民参加と市民協働の推進について	1　市民参加と市民協働の課題 2　市民センター運営における市民参加について 3　市民企画委員によるプログラムづくりについて 4　市民参加を広げる事業活動をめざして
平成 19 年 10 月 30 日	答申	市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて	1　見直しの背景 2　見直しにあたっての考え方 3　市民センターの施設理念と運営方針

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 21 年 10 月 13 日	報告	審議の経過報告	1　今期審議会のテーマ設定と議論の経緯について 2　経過報告のまとめについて ＜これまでの審議内容(各委員の意見)の概要＞ 1　市民センターの区への移管について 2　連携事業の調査からみえてきたもの ＜市民センターが大切にしてきた社会教育の価値とは＞（梨本雄太郎委員） ＜区行政との「融合」をめぐって＞（石井山竜平委員）
平成 22 年 3 月 16 日	意見	「次期行財政改革計画(素案)」に対する意見書	区役所への移管については課題や懸念があることから，それらを解決・解消した上で判断するべきと考える。
平成 22 年 8 月 31 日	提案	市民センターを拠点とした新しいまちづくりの提案ー仙台プランー	＜市民センターを拠点とした新しいまちづくり＞ 1　意識を変える 2　人材発掘・育成とネットワーク化 3　市民の活動の場を生み出し支援する ＜新しいまちづくりに向けた市民センターの新たな一歩 /今後の取り組み[提案] / 仙台プラン対応事業案＞ 1　住民参画・問題解決型学習事業 2　子ども参画型社会創造事業 3　学社連携・既存の事業範囲枠を超えた公共施設の連携事業
平成 23 年 1 月 25 日	意見	「市民センターを活かした地域づくりの推進」に関する意見	1　検討の進め方について 2　組織見直しをめぐる課題について
平成 25 年 5 月 31 日	答申	仙台市市民センター事業の評価のあり方について	1　これまでの経緯 2　評価の現状と基本的な考え方 3　本審議会が実施する外部評価 4　本審議会以外が実施する外部評価 5　まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	報告	平成 24 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1　評価の目的 2　評価の実施 3　評価の結果 4　まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	意見	仙台市市民センターの施設理念と運営方針の見直しに関する意見について	1　「仙台市市民センターの施設理念」について 2　「仙台市市民センター事業の運営方針」について 3　「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」について 4　東日本大震災を踏まえた内容の見直しについて 5　その他
平成 26 年 7 月 31 日	報告	平成 25 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1　評価の目的 2　評価の実施 3　評価の結果 4　まとめ
平成 27 年 8 月 25 日	報告	平成 26 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1　評価の目的 2　評価の実施 3　評価の結果 4　まとめ
平成 27 年 10 月 17 日	意見	震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について	1　震災後の取り組みの成果と課題 2　今後の市民センター事業に関する委員の意見

【審議経過】

開催日	会議種別	協議議題
平成 27 年 11 月 10 日(木)	定例会	委嘱状交付式 協議：(1) 会長，副会長選出 (2) 会議の公開，非公開について (3) 議事録及び署名人について (4) 公民館運営審議会定例会の日程について 報告：(1) 審議会の運営について (2) 各区中央市民センターの区役所への移管にかかる事業検証報告書（案）について
平成 28 年 1 月 28 日(木)	定例会	審議：(1) 今期の審議の進め方について (2) 今期の仙台市市民センター事業の評価について 報告：「各区中央市民センターの区役所への移管にかかる事業の検証について」
3 月 24 日(木)	定例会	審議：○今期の仙台市市民センター事業の評価について ○話題提供
5 月 26 日（木）	定例会	審議：○今期の仙台市市民センター事業の評価について
6 月 29 日（水）	視察	○事業視察及び事業参加者へのヒアリング（黒松）
7 月 6 日（水）	視察	○事業視察及び事業参加者へのヒアリング（黒松）
7 月 28 日（木）	定例会	審議：○職員へのヒアリング（黒松） ○事業評価についての意見交換
8 月 27 日（土）	定例会	○事業視察、事業参加者及び職員へのヒアリング（富沢）
9 月 1 日（木）	臨時会	審議：○事業評価についての意見交換
11 月 10 日(木)	定例会	審議：○今期の仙台市市民センター事業の評価について
平成 29 年 1 月 26 日(木)	定例会	審議：○市民センター事業評価報告書（案）について 報告：○区中央市民センター事業（重点 3 事業）について
3 月 23 日(木)	定例会	審議：(1)市民センター事業評価報告書について (2)今後の進め方 報告：○平成 29 年度　市民センター主要事業について
5 月 25 日(木)	定例会	報告： 審議：○仙台市市民センター事業評価の実施状況について
8 月 3 日(木)	定例会	報告： 審議：○市民センター事業運営懇話会等実施状況について
8 月 24 日(木)	定例会	審議：○仙台市市民センター事業評価に関する意見について

Ⅲ 地区館事業

平成 28 年度 指定管理事業実績

青葉区中央市民センター

〔沿　革〕

青葉区中央市民センターは、昭和 40 年 4 月、市立東二番丁小学校に開設された「仙台市市民教養センター」がその始まり。昭和 61 年、小学校の全面改築に伴い廃止され、昭和 63 年 1 月に「仙台市中央公民館一番町分館」として開館。平成 13 年 4 月、隣接の「アスピア一番町（勤労青少年ホーム）」を統合し、現在の「青葉区中央市民センター」としてスタートした。

市の中心部で交通の便が良いため、若い世代から高齢者まで昼夜を問わず利用率が高く、外国人も集まりやすいため、日本語講座を開催するなど国際交流の場としても一翼を担っている。

〔特色ある(地区館)事業〕　　（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

事業名	まちなか元気いっぱいプロジェクト ①「綱引き at サンモール一番町」 ②「七夕 TANZAKU フェスタ」 ③「のび☆ハロ@一番町」		
参加者	①②どなたでも　③親子	延参加者	2,135 人
開催日	全 5 回　①7 月 2 日（土）　②8 月 6 日（土）・7 日（日）・8 日（月） ③10 月 28 日(金)		
協力者・協力団体	①サンモール一番町商店街振興組合・伊達美味マーケット実行委員会 中央市場商業協同組合・まちなか応援隊 ②NPO 法人シニアのための市民ネットワーク仙台・まちなか応援隊 ③仙台市子育てふれあいプラザ「のびすく仙台」・まちなか応援隊		
ねらい	地下鉄東西線の開業に伴う人の流れの増大や地域住民の増加に対応して、市民センターの周知と気軽に来訪できるような機会作りのために、イベントを開催する。 地域で活動する団体が参加してイベントを企画することや、地域団体が主催するイベントに市民センターが共催で関わることにより、地域の活性化に貢献することを目指す。		
概要・成果	おもにサンモール一番町アーケードで実施するイベントの開催 ①「綱引き at サンモール一番町」 地域団体や個人、企業が参加し綱引き大会を開催した。 毎年楽しみに参加する団体がおり、大会を盛り上げてくれた。地域の企業からは、快く協賛をもらい参加者に還元できた。綱引き中は、観戦者も一体となって盛り上がった。 ②「七夕 TANZAKU フェスタ」 サンモール一番町アーケードで行われる仙台七夕まつりで、笹飾りを作り、七夕期間中は、まつりに訪れた方に短冊に願い事を書いてもらい吹き流しに貼るイベントを開催した。開催中は、震災遺児の募金活動も行った。 全国的にも有名な七夕まつりに、短冊を書くことで気軽に参加できるとあって、好評であった。また、市民センターや学生ボランティアの活動の場となり良かった。 ③「のび☆ハロ@一番町」 サンモール一番町アーケードや市民センター周辺を会場とし、未就園児をもつ親子が参加できるハロウィンを開催した。パレード用のマントとバックを作り、あらかじめお願いしていた地域の企業やお店をめぐった。 近年ハロウィンは、ますます人気があり、国民的な行事になりつつある。なかでも小さい子どもを持つ母親にとって、地域に出るきっかけ作りにもなっている。いつもは入ることが難しい企業にも入ることが出来て良かったという感想をいただいた。		

〔平成 28 年度（地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子で遊ぼう！パンダくらぶで	乳幼児親子が気軽に集える場を設けた。カメラ講座、ベビーマッサージ、人形劇鑑賞。	9 月 17 日 10 月 20 日 11 月 2 日	3	221

ジュニアリーダーと遊ぼう	仙台七夕期間中、いろは横丁を会場に、バルーンアート作りを通じてジュニアリーダーと子どもたちが触れ合った。	8月6、7、8日	3	450
仙台市子ども会インリーダー研修会	地域の子ども会活動を担う人材育成をめざし児童と世話人を対象に開催。平成28年度は片平市民センターを会場に、青葉区中央と木町通との3館で合同開催。	1月28日	1	10
職場体験学習講座	地域の中学生の職場体験を受け入れ、市民センターについての説明、業務体験（窓口・館内整備・巡回）、講座や利用サークルの見学・体験等を行った。	7月6～8日 11月15～17日	2	8
外国語活動「ハロウィン集会」	市民協働による地域づくりを推進する青葉区地域トライアングル連携に繋げるために、地域小学校と共催事業を開催した。	10月25日	1	116
仙台まちなか散歩	地元の歴史を再発見して継続的に発信、継承する人材の育成に努めた。まち歩き、地域の歴史についての公開講座、ふれあい祭での展示発表。	4月5日～3月15日	14	147
★外国人のための防災講座－防災のことを、もっと学ぼう	在仙外国人のために、災害時の適切な対応として津波などのハザードマップの解説、救急救命講習を中心に、より安心して生活できるよう、仙台市等と協力して開催した。	4月20日 10月19日	2	58
市民企画講座「Jazz Night at 一番町」	市民企画員が企画・運営を行い、学生バンドと社会人バンドによるジャズのコンサートを開催した。	11月10日	1	50
あおばカレッジ	高齢化が進む中、月に一度決まった曜日時間に集まり、様々な学びを体験することにより家庭や地域の中で生き生きとした生活を送ることができるよう、運営委員自主企画、館外学習、講話、軽体操、実技などを実施した。	5月20日～2月17日	9	360
いいなぁ！せんだいーこども歳時記	転入者が地域に親しむことや地域の文化の継承を目的に、郷土行事や郷土食などの体験を通して、そこに込められた知恵や願いを親子で学ぶ機会を提供した。	8月18日 9月10日	2	44
一番町ミュージック♪タイム	地域の特性を活かして、勤労者などを対象に、来場者同志で交流を図れるよう、ランチタイムに屋外でコンサートを開催した。	10月7日	1	200
第13回ふれあい祭「和気藹々☆一番町」	市民センター利用団体の日頃の練習成果発表の場及び地域の交流の場として、実行委員会の運営によりまつりを開催した。	2月25日	1	1,200
青中懇話会	市民センターの運営や事業に関して、地域団体や関係団体、学校や幼稚園などから意見を伺った。	6月14日 9月27日 11月25日	3	38
ボランティア育成･養成講座－まちなか応援隊	市民ボランティアとして、七夕やハロウィンなどのイベントや、まつりなどのステージの裏方スタッフを務め、スムーズな運営ができるように活動した。そのための技術講習も行い、スキルアップを目指す。	5月21日 ～3月8日	16	95
ジュニアリーダー育成支援	ジュニアリーダーサークルが地域の子ども会活動など様々なボランティア活動に取り組めるよう支援した。	4月3日 ～3月30日	12	32
市民企画会議	市民企画講座開催のための話し合いを行った。	5月28日 ～12月2日	7	18

柏木市民センター

〔沿　革〕

柏木市民センターは、昭和 61 年 7 月に旧仙台女子高等学校の校舎を改修し、中央公民館柏木分館として開館した。平成元年の政令指定都市移行とともに、「柏木公民館・市民センター」として独立、そして平成 2 年には名称を「柏木市民センター」とした。その後、施設の老朽化のため平成 7 年 4 月から一時休館して改修工事を行い、平成 10 年 4 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として新たに開館した。施設の特徴としては、収納式のステージをもつ多目的ホール、会議室、和室等に加え、広いロビーがあり、地域住民の学習・スポーツ・交流の場として活用されている。

〔特色ある事業〕　（★：震災を踏まえた事業　●：区役所との連携事業）

事業名	ふしぎ！発掘！再現！不思議な地形をジオラマにしよう		
参加者	成人	延参加者	188 人
開催日	全 14 回　4 月 27 日(水)、5 月 26 日(木)、6 月 4 日(土)、7 月 23 日(土)、9 月 2 日(金)　9 月 29 日(木)、10 月 2 日(日)、10 月 29 日(土)、12 月 1 日(木)、12 月 21 日(水)、1 月 13 日(金)、1 月 20 日(金)、1 月 21 日(土)、3 月 10 日(金)		
協力団体			
ねらい	柏木八幡地区は、高低差がある特有な地形を有し、特にこの地区を流れていた「へくり沢」周辺は、かつては交通の難所として名高い場所であったが、明治期の近代化や戦災復興を経て、こうした地域の特殊性は見えにくいものになってきている。本講座は、地域の地理的・歴史的な特徴を地域の方々や次世代に伝えるため、複数年にわたり学習・調査を継続してきた。平成 25･26 年度には、地形模型やジオラマの製作に取り組み、更に平成 27・28 年度は、これらの模型をツールとして活用する手法を考え実践すること、またその中で、「伝える」人材を育成することを目指す。		
概要・成果	平成 27 年度には、模型説明パネルや展示台を作成し、常設展示コーナーとして開設した。また各種行事での展示説明会や、実際に現地を案内する講座「へくり沢ウォーキング」を開始した。平成 28 年度は、市民センターまつりでの展示発表や学校のまち歩き行事で説明を行い、6 月及び 10 月には講座「へくり沢ウォーキング」を実施し、この成果を踏まえ「へくり沢案内地図」を作成した。また、最終年度として、1 月に総括報告・講演会「ふしぎな地形『へくり沢』を語ろう」を開催し、受講者自身が「ワンポイント報告」という形での発表を行い、好評を得た。なお、この成果をうけて平成 29 年度には、町内会等とともに沢の経路上の特徴的な地点に案内板を設置する等を行う事業(地域力創造支援事業)につなげる予定である。		

〔平成 28 年度（地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●柏木ワンダーランド	小学生を対象とした総合学習として学校では体験できないプログラムを提供。　①砂糖について学ぼう②ジュニアとバルーンアート③ラベンダーラボで自然と友だちに④ミニ畳つくり体験⑤ドッヂビーを楽しもう	7 月 29 日 10 月 12 日 11 月 26 日 12 月 10 日 2 月 18 日	5	233
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーション・ゲーム等を学習した。	1 月 28 日	1	44
職場体験学習	子供たちが働くことのたいへんさや楽しさを知り、自分の将来を考える機会を提供するとともに、学校との関係強化を図った。市民センターまつりの準備作業体験など	9 月 30 日	1	4

てらまちフェスタ 2016 ―あそびでつながるまちづくり―	秋休みの通町小体育館を会場に主に通町地区の12団体が実行委員会を結成し、持ち味をいかしたコーナーを設定。バルーンアートやアロマ、割りばし鉄砲、ディスコン、五平餅づくりなど乳幼児から高齢者まで楽しめるよう工夫した。	10月12日	1	350
●まざらいん柏木	住民同士が気軽に交流しながら、地域を学んだり地域の達人から学ぶ講座を開催。①甘酒の効用と作り方②はじめての苔玉づくり③畳の話とミニ畳つくり④おひなさまの絵巻き寿司づくり	9月16日 11月17日 12月17日 2月17日	4	54
★柏梁学院	身近な防災、ノルディックウォーキングの話、仙台の歴史、日常に役立つ片付け、自然の話など様々な内容を学習した。宮城県美術館での現地講座、音楽科高校生や津軽三味線、オカリナなどのコンサートも実施。	4月20日 ～3月8日	11	698
くつろぎタイム	仙台七夕まつりにあわせて8月はバイオリン・オーボエ・ピアノの三重奏、クリスマスはヨーデルコンサート、2月は打楽器の体験。いずれの回も子どもから高齢者まで多世代の地域の方が来場し、出演者と交流した。	8月6日 12月24日 2月25日	3	288
★地域防災を考える	通町地区と八幡地区の町内会の皆さんに、いざという時の共助意識向上と顔の見える関係づくりの一助に、熊本地震への応援派遣状況や防災の講話を聞いた。まつりでは現地写真のパネル展示。	7月15日 10月2日	2	38
柏木出前講座	出前講座で生涯学習を学ぶ機会を提供。・季節の折り紙でつくる色紙　・シニアのためのスマホ講座　・「空から見た仙台」視聴　・高齢者対象の交通安全講話	6月24日 9月17日 11月29日 12月3、21日	5	77
★第13回　柏木ふれあいまつり	センターで活動している方々の活動成果を発表する場と、まつりを通しての地域交流をより深めることを目的として開催した。ステージ発表部門、展示発表部門、出店部門、地域防災コーナー、地域資源活用コーナー等。	10月2日	1	800
市民企画講座「あつまれ！柏木茶房」	市民企画員の企画運営で一日に3つの講座を開催し、お茶を飲みながら交流した。第1部は本格的な表千家のお茶会、第2部はうたごえ喫茶、第3部はバイオリンコンサートで最初から最後まで楽しむ来場者が多かった。	2月25日	1	230
柏木地域懇談会	地域諸団体をはじめ、広く住民にも市民センターの存在をアピールし、地域活動のパートナーとしての理解を得るため実施。それぞれに活動を展開する中での課題などについての意見交換をし情報を共有した。	11月15日 3月16日	2	16
地域元気クラブ 2016	元気アップ柏木実行委員会を核に地域に根ざした人づくりを展開。地域の青柿利用の柿渋活用講座の企画・運営や地域の小学校等と連携し四ツ谷用水探検や凧作り等。	4月21日 ～2月16日	18	281
市民企画会議「柏木ロビー活用企画会」	センターのロビーを使って、地域の人々が気軽に集い語り合えるような講座を企画した。いつ来ても楽しむことができ、センターの事業紹介にもつながるよう「あつまれ！柏木茶房」を開催。茶道についての学習会も行った。	9月21日 10月21日 11月25日 1月12日 2月25日	5	20
柏木サークル体験会	センター利用団体への活動支援と共に、生涯学習の体験を希望する市民に向けて実施。パドルテニス・卓球・バウンドテニス・和裁・健康マージャンなど。	6月5、12、21、24日 7月7、14日 8月7日	8	24

北山市民センター

〔沿　革〕

北山市民センターは、昭和 49 年 7 月に北山福祉会館として設置され（所管は仙台市社会福祉協議会）、平成元年の政令指定都市移行に伴い「北山市民センター・公民館」となり、平成 2 年には「北山市民センター」と名称を改めた。地域の生涯学習の拠点としての機能を果たしてきたが、施設の老朽化に伴う改築後、平成 23 年 1 月に再開した。

地域内には、青葉神社、大崎八幡神社、北山五山などの神社仏閣があり、歴史的・文化的資源や緑に恵まれている。また、東北福祉大学や東北大学国際交流会館の立地により、若者や外国人の居住者が多い。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	ルンルン子育て講座		
参加者	未就学児親子	延参加者	315 人
開催日	全 21 回　　4 月 12 日（火）～ 3 月 14 日（火）		
協力者・協力団体	国見地区民生委員児童委員協議会		
ねらい	近年の少子化に伴い、子どもたちが近隣住民の中で同年代の友達を探すことがなかなかできない状況にある。平成 28 年度は、地域の民生委員児童委員に連携を依頼し、近隣の未就学児親子が気軽に訪れることができる子育てサロンを充実させると共に、月齢に合わせた講座や季節にちなんだ企画を通して地域の子育てを支援する。 また、親子室・図書室の利用も推進しながら、若い世代の親子の健やかな育ちを地域の市民センターとして支えていく。		
概要・成果	通年での親子同士の交流の場を提供することにより、共通の話題ができ、また手づくりの作品づくりを通して、他の親子とのコミュニケーションが図れた。また、今年度も国際交流会館に住む外国人親子が参加し、日本人親子と共に交流することが出来た。連携では、地域の親子の様子等が民生委員児童委員にも伝わり、地元の子育て世代の状況を知る機会にもなった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
三条中学校「職場体験学習」	中学生が社会教育施設としての市民センターの役割を学び、施設業務や事業企画等の体験をとおして、社会性や勤労意欲を育むとともに、生徒達の職業観を広げる一助となった。	8 月 23 日	1	4
通町小学校連携講座「わたしのまちの歴史探検」	５学年の総合学習の一環として、子ども達と北山ガイドボランティアが一緒に歩いて寺院を見学し、その歴史的価値を学習する中で、ガイドボランティアと小学生の世代間交流も図った。	6 月 7 日	1	52
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を目的に児童と世話人に学習機会を提供した。児童はリーダーとして行動する際の注意点・集会でのプログラム作り・ゲームの体験等を行い、世話人は講話・情報交換等で子ども会運営と改善方法等を学んだ。	1 月 28 日	1	44
北山歴史講座―「仙台藩を彩った異才たち」	北山ガイドボランティアと共に、仙台藩に貢献した人物を通してその業績や歴史を後世に伝えることを目的に実施し、平成 28 年度は身近な新坂町周辺の再発見から郷土の魅力向上に繋げ、ボランティアの活動支援も行っ	6 月 25 日 11 月 19 日	2	185

	た。			
「女子力 UP 講座 2016」―北山レディースクラブ	昨年度の受講者を企画員として企画会を４回開催し、平成 28 年度は北山地域の女性に向け「女性がいきいきと活気を持って活動できる」をテーマに、学習範囲を広げて新たな分野での学習機会を設け３回の講座を開催した。	5 月 21 日 ～12 月 17 日	7	50
北山シルバースクール 2016	一年を通し広い分野を学習する中で、新しい事柄にも関心を持ち、更に興味ある事柄について意欲を持って学習できる場を提供し、心身ともに健康で生きがいを持って自主的に活動ができるよう支援した。	5 月 27 日 ～2 月 24 日	9	398
北山 JOYFUL★ライブ	地域住民が子ども連れの家族で気軽に集い、様々なジャンルを学べる国際色豊かな交流の機会を提供した。地域で活動している団体の発表の場となるとともに、相互理解と親睦が深まった。	4 月 24 日 ～1 月 22 日	3	371
プチ・ボラ・カフェ	青葉区 BBS 会と連携して学生ボランティアサークルの交流会を開催し、活動の悩みや課題を共有し勉強しあった。また、周辺町内会との交流の場を設け意見交換した。	8 月 28 日 9 月 2、15 日	3	71
★初めての仙台暮らし「留学生応援講座」	毎年秋に入学してくる留学生が、地震の多い仙台での暮らしを安心してスタートできるよう、災害時の備えを学んだ。他団体と連携して東北大学留学生会館を会場に、出前講座として開催した。	10 月 22 日	1	27
★●北山地区合同防災訓練	地域版避難所運営マニュアルに基づき、町内会、地域住民、地域諸団体が、それぞれの役割を確認する中で合同防災訓練を実施し、より実態に即した地域防災体制の構築や災害対応力の強化を図った。	10 月 29 日	1	498
北山ブックフェスティバル	図書室の更なる周知を目指し、本の楽しみ方を提案しながら読書推進活動の一環とした。また、図書ボランティアとの連携企画で、ボランティア同士の繋がりを深め、更なるスキルアップを図った。	6 月 15 日 ～11 月 5 日	2	28
「北山寺子屋」	市民企画会から近隣町内会の優れた人材を講師として選出し、地域連携で「北山寺子屋」を開催した。地域活動に関わる人材の育成や学びを通した地域づくりに寄与した。	(4 月 16 日) 7 月 30 日 9 月 17 日 10 月 21 日 1 月 29 日	5	164
第 9 回　北山交流まつり	地域の活動諸団体やセンター利用サークルの活動成果発表の機会と地域団体と住民の交流や親睦の場として開催した。	10 月 16 日	1	600
地域懇談会	地域づくりの拠点としての機能を果たすため、町内会、地域住民、利用団体、地域諸団体から積極的に意見・要望を聞く場を設けた。地域課題を把握すると共にセンター事業に対する理解を共有した。	6 月 16 日 11 月 12 日	2	25
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダー「朝実巣あかよばく」の活動を支えるため、各団体との連絡調整、技術向上のための講習、ジュニア同士の交流の場として定例会を毎月 1 回開催した。	4 月 10 日 ～3 月 20 日	12	70
市民企画会「長生き活き活きまちづくり計画」	地域講師を活用した「北山寺子屋」を続けながら、地域課題の新たな掘り下げと市民協働を進め、安心できるまちづくりに向けた学び合いのネットワークづくりを行った。	5 月 19 日 7 月 15 日 2 月 14 日	3	42

福沢市民センター

〔沿　革〕

福沢市民センターは、昭和 59 年 6 月 9 日、コミュニティ防災センターを併設し、開館。平成 20 年 6 月より大規模改修工事を行い平成 21 年 1 月 14 日に再開した。

当市民センターの地域内は、東照宮の門前町として栄えた宮町を中心として歴史を感じる雰囲気を今にとどめており、下町情緒に溢れている。反面、仙台市中心部からも近く、マンションも建ち並び新旧住民が混在した地域でもあり、ここ数年地域の総人口は増加に転じている。また、地域内に復興公営住宅が 2 ヵ所建設され、地域コミュニティの形成がより重要となりつつある中で、地域の交流の場として多くの人々に利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★●◎わが町再発見“私の住む町　どんな町”		
参加者	地域の方　どなたでも	延参加者	261 人
開催日	全 7 回　　4 月 14 日(木)、4 月 16 日(土)、7 月 8 日(金)、7 月 16 日(土)、10 月 15 日(土)、10 月 22 日(土)、3 月 18 日(土)		
協力者・協力団体	梅田町内会・北六連合町内会・北六社会福祉協議会・仙台市社会福祉協議会青葉区事務所・仙台市社会福祉協議会支えあいセンターあおば・東六連合町内会・東六社会福祉協議会・東六民生委員児童委員協議会・管内児童館・青葉区まちづくり推進課・青葉区中央市民センター		
ねらい	地域の諸団体と連携を図りながら、管内の復興公営住宅(梅田町・小田原)の入居者の支援を継続していく。また、講座を通して新旧住民の交流と親睦を図り、地域全体の活性化へ繋げる。		
概要・成果	地域力創造支援事業の 2 年目 地域の桜の名所をめぐりながら歴史遺産を学ぶ「桜めぐり」、復興公営住宅への出前講座として「ミニ七夕飾り作り＆交流会」「七夕コンサート＆交流会」「地域交流コンサート in 小田原」、管内児童館と連携し、小学生や子育て世代も多く参加する「マジックショー」、地域の名所“瞑想の松”周辺をめぐる「地域散策会」を開催した。復興公営住宅居住者・近隣地域住民が積極的に参加し、顔見知りが増え、参加者と協力諸団体との繋がりも新たにできるなど大きな成果を得た。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
市民企画講座「にこにこ親子クラブ」	小松島児童館と連携し、未就学児を対象に、「水あそび」「パパビクス＆ママのおやつｄｅカフェ」「本気のラジオ体操」「おはようシアターと遊ぼう」を実施した。	8 月 31 日 10 月 10 日 12 月 13 日 1 月 28 日	4	158
ジュニアリーダーとあそぼう！	ジュニアリーダーの指導のもと、管内の児童館と連携し、集団ゲームや日用品を使った工作等を実施した。	8 月 9 日 10 月 12 日 12 月 27 日 3 月 28 日	4	105
中学生「職場体験学習」	窓口業務・講座企画・図書整理・館の点検等の市民センター業務を体験した。	7 月 6～8 日 10 月 18～21 日	2	9

仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会の児童と世話人を対象に、子ども会活動についての講話や、レクリエーションゲームを実施した。	1月21日	1	49
福沢シニア大学	地域の歴史講話や交通・防犯教室、健康体操、館外学習、また運営委員会企画講座や班懇談会等を実施した。	4月21日 ～2月16日	10	562
社会学級共催事業企画会議	管内の３つの社会学級と共催し、事業実施に向けての企画会議を開催した。	6月10日 ～12月6日	7	42
★福沢ロビーコンサート	7月「七夕の調べ」でフルートとギター、9月「月夜の物語」でインディアンフルートと朗読、1月「冬の音楽会」では常盤木学園音楽科生徒の演奏会を実施した。	7月1日 9月17日 1月14日	3	202
★災害に備えよう	北六番丁小学校区や中江地区町内会との防災訓練、赤十字奉仕団との高齢者支援の赤十字講習、ＡＥＤを使った救急救命講習等を実施。また避難所運営や防火訓練なども行った。	5月17、27日 6月25日 9月2、27日 10月2、21日	7	383
★北六番丁小学校連携事業	北六番丁小学校と連携し、地区探検や「和・話・輪フェスティバル」でのブース出展、接遇講師派遣、昔遊び体験等を実施した。	6月22日 9月30日 10月6日 11月15日 2月8日	5	752
社会学級共催事業　心あたたかくなる笙の音の世界へ	管内の3社会学級との共催で、障害を持つ演奏家による笙の演奏、父親による子育ての話、笙の体験等を実施した。	11月2日	1	96
★第27回福沢市民センターまつり2016	演技・展示・出店各部門で、センター利用サークルや地域住民、近隣の小中学校等が学習成果を発表し交流した。	11月20日	1	1,345
福沢懇談会	地域住民・地域団体・近隣児童館と懇談会を実施し、地域課題の共有やセンターへの意見等の収集、および情報交換を行った。	6月4日 12月26日	2	20
ジュニアリーダー「かめ吉」定例会	月１回の定例会や懇親会、三送会等を実施し、要請の連絡確認や研修、広報活動等を行った。	4月6日 ～3月22日	15	60
図書ボランティアスキルアップ講座	ボランティアについての講話や図書室のレイアウト・分類・修理の実技、他館図書室の見学および交流会を実施。また親子向けに読み聞かせも行った。	8月30日 9月6、13、･27日 10月4日	5	46
市民企画会議「にこにこ親子クラブ」	児童館と連携し、子育て世代を企画員として、講座実施に向けて企画会議を開催した。	5月31日 ～2月1日	13	84

旭ケ丘市民センター

〔沿　革〕

旭ケ丘市民センターは、地下鉄南北線建設事業の一環として昭和 60 年 6 月に開館した。地下鉄・バスの利便性が非常に良い立地にあり、また近隣は日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）、スリーエム仙台市科学館、仙台文学館等の学術文化ゾーンとなっている。さらに西側には市民から親しまれている台原森林公園が広がり自然環境にも恵まれている。当市民センターは、年間利用者が 10 万人近いことから市内全域を視野に入れ、現代社会における課題を踏まえ、地域資源・人材を活用した事業展開を推進し、多様なニーズに対応する生涯学習の場を提供するとともに、地域コミュニティの基盤としての役割を担っている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	台原森林公園活用講座「ポストカードをつくろう！」		
参加者	小学生	延参加者	11 人
開催日	全 1 回　　12 月 3 日（土）		
協力者・協力団体			
ねらい	子どもたちが、台原森林公園は未来まで大切な地域資源であると感じられる講座を開催し、講座を通して身近にある自然の素晴らしさや大切さを体感してもらい、環境に関心を持つとともに郷土愛を育むことを目的とする。		
概要・成果	大学生の企画員が企画した講座で、台原森林公園を自然観察しながら散策し、落ち葉や木の実などを拾い集め、集めた素材を使ってポストカードやクリスマスカードを作成した。子どもたちに、身近に森林公園という地域資源があることの再認識を促すことができ、自然保護の大切さに気付いてもらうきっかけとなった。また、子ども同士の交流や、保護者同士の交流も図られた。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
あさひがおか子育て支援講座-素敵なしぐさをフォトで残そう	行動や交流が制限されることが多い若い核家族世帯の子育て支援として、幼児親子が一緒に参加できる講座を開催して交流を図った。	1 月 21 日	1	17
台原中学校職場体験事前講演会	自分を見つめ大切にすることから始まるコミュニケーション手法を学び自己形成に活かすため、台原中 1 年生と保護者対象の講演会を開催した。	12 月 15 日	1	168
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活動する児童・世話人を対象に,子ども会についての知識やレクゲーム等を学習した。	2 月 4 日	1	91
元気な旭ヶ丘 KIDS	小学生を対象に、子どもたちの自主性や豊かな感性の育成を図るため、様々な体験型学習を提供した。	6 月 18 日 7 月 27 日 8 月 5 日 10 月 29 日 12 月 17 日	5	84

ジュニアリーダーとあそぼう	小学生がジュニアリーダーとゲームや工作など遊びを通して学び、スキルアップする場作りをした。	10月16日 2月26日	2	122
職場体験学習	学生・生徒が就業体験をとおして社会や地域の現状を知り、問題解決方法や業務の進め方を学び理解する機会を提供した。また働くことに関心を持つ機会とし、今後の学習の向上につなげた。	10月14～16日 11月9～11日	2	5
旭ヶ丘老壮大学	地域の高齢者が多様化している社会の変化に対応できるよう、様々な分野の学習の場を提供した。	4月22日 ～3月3日	11	1,136
市民センターがやってくる！	高齢者を対象に学びの楽しさを体感してもらうため童謡、笑談音楽・ラフターヨガなどの出前講座を町内会集会所等で実施した。	7月15日 9月29日 11月10、16日	4	97
旭ヶ丘みんなのコンサート	地域住民やこれまで市民センターに来館したことのない人たちに市民センターに足を運んでもらい音楽に触れ交流してもらうことを目的にコンサートを開催した。	6月25日 1月28日	2	230
Let's enjoy 英語落語 seasonⅢ	小学校での英語導入に伴う保護者の不安や悩みの解消と、地域住民の小学生を見守る意識化を図るため旭丘小5･6年児童と地域の方を対象に英語落語の実演を行なった。	12月14日	1	15
★災害につよいまちづくり	マニュアルは見直しや確認すべきことあることがわかった。地域で防災避難訓練を行うことを核として地域防災に関する話し合いを継続する機会を提供した。	4月21日 5月19日 6月12、16日 1月25日 2月23日	6	377
旭丘小学校社会学級共催事業企画会議	地域団体である旭丘小学校社会学級と事業を企画運営し地域コミュニティの活性化に繋げるための会議を実施した。	6月8日 7月6日 10月5日 12月14日	4	17
市民センターまつり	旭ケ丘地区の地域住民、利用団体、老壮大学受講生等が自らの活動成果や学習成果を発表し、交流を深めるため、ステージ発表、作品展示、あそびの広場、健康相談コーナー、産直販売、抽選会などを実施した。	10月 15、16日	2	4,200
旭ヶ丘地域懇話会	地域の課題や生涯学習等について地域団体代表者及び有識者と懇談会を通して情報収集する機会とし、課題を共有して地域づくりの促進につなげた。	5月25日 11月18日	2	37
ホタルの里サポーター支援講座	地域の資源である「ホタルとメダカの里」の存続の為環境整備活動やホタル学習会、文学講演会を通じてPR活動を行った。	4月9日 ～3月11日	10	151
ジュニアリーダー育成支援	ジュニアリーダー自身の自己研鑽とスキルアップ、定例会、活動支援、連絡調整会、勉強会、広報活動等を行った。	通年	12	39
市民企画会「台原森林公園の活用について考えよう」	台原森林公園が長く地域に親しまれるためにはどのように活用し見守っていくべきか話合い、講座を企画した。	7月16日 9月24日 10月29日 12月3日	4	16

三本松市民センター

〔沿　革〕

三本松市民センターは、北仙台駅から近く、閑静な住宅街である堤町の中に位置し、西側には野鳥や山野草に恵まれた三本松緑地公園が隣接している。堤町は、現在は窯の火は消えてしまったものの、古くから「堤焼き」と「堤人形」の町として知られた歴史のある地域である。

当市民センターは、昭和 62 年 4 月 1 日、泉ヶ岳を眺望できる高台に建設された。駐車場(35 台)、舞台付で約 50 畳の和室と広い体育館(バスケットボールコート 1 面、バレーボールコート 2 面、卓球台 10 台)があり、地域住民の生涯学習の場として広く利用されている。

(★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	バスケは面白い		
参加者	小学生	延参加者	43 人
開催日	全 4 回　9 月 11 日(日)、10 月 30 日(日)、11 月 6 日(日)、11 月 13 日(日)		
ねらい	バスケットボールで施設利用している若者が、地域の小学生にバスケットボールを教えることを通して地域活動に対する意識づくりを図る。また参加する小学生が技術を教えてもらうことを通してスポーツの楽しさを体感し、世代間交流を目指す。		
概要・成果	若者がバスケットボールを教えることを通して地域貢献のきっかけづくりにつながった。参加した小学生がバスケットボールを楽しく体験しスポーツに興味を持ち、小学生同士、地域のお兄さんと交流する機会となった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育て支援講座 三本松ちびっこひろば	核家族や転居してきて子育てをしている孤立しがちな親子等を対象に、親子ヨガ、調理、紙芝居・親子遊びを実施し仲間づくりを促した。また堤町あしぐろ保育所と共催し、幼児を対象に茶道体験を実施した。	6 月 28 日 7 月 5、12、26 日 9 月 9 日	5	106
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人が、子ども会についての知識やレクレーションゲーム等を学習し、情報交換を行った。	2 月 4 日	1	91
三本松寺子屋	小学生を対象にデジカメ講座、人形劇鑑賞、かぼちゃのパウンドケーキ調理実習、藍染体験といった学校ではできない体験学習を行い地域交流を図った。	7 月 29 日 8 月 4 日 1 月 28 日 3 月 11 日	4	68
台原中学校 PTA 共催事業 「アンガーマネジメント入門編　～FOR　TEENS～」	人間が自然に持つ感情である怒りの性質を理解し上手に付き合う方法を学び、対人関係を円滑にすることを家庭や地域で共有し、より良い地域社会形成へとつなげた。	11 月 15 日	1	627
市民企画講座 「健康のいろは」	長く健康を維持しながら生き生きと暮らすために、口の健康、認知症について、運動と転倒予防について学び、地域住民同士の交流を図り仲間づくりにつなげた。	11 月 17 日 12 月 1 日 12 月 8 日	3	69

三本松老壮大学	高齢者の生きがいづくりと地域活性化のため、健康で心身共に豊かな生活を送るための学習機会を定期的に提供し、受講生同士の交流を深めた。	5月～3月	10	366
堤町再発見	地域の歴史や伝統を再確認する機会として、堤町の歴史に関するビデオ鑑賞・堤人形と登り窯見学・干支人形の絵付け体験・ひな人形の絵付け体験を行い、地域への愛着と交流を深めた。	9月2、7、13日 10月25日 11月1日	5	60
三本松ロビーコンサート	三本松緑地を見渡せるロビーで、琴とヴァイオリン、二胡とフルート、バンドネオンのコンサートを開催し、地域住民の交流を通して、市民センターの周知を図った。	4月16日 7月30日 11月19日	3	160
三本松緑地活性化講座	樹名板作り、オリエンテーション、野鳥観察、落ち葉堆肥作り講座を開催し、三本松緑地公園の自然に親しみ利用する機会を地域住民に提供し、三本松緑地公園が、憩いの場・交流の場となるきっかけをつくった。	9月17日 11月23、26日 12月10日 2月4日	5	61
三本松緑地活性化委員会	三本松緑地公園が地域住民に親しまれ様々に利用してもらうための企画提案を行った。	6月4日 7月8日 9月9日 10月7日 12月16日 1月13日 2月10日	7	42
台原中学校PTA共催事業企画会議	良好な人間関係を築き、生徒達の集中力と精神力を強くし、家庭や地域で共有するために、怒りの感情と上手く付き合うためのアンガーマネジメント講演会を企画した。	6月2日 9月9日 11月15日	3	57
図書まつり	本の魅力を再認識してもらうために、川柳講座、「三匹のこぶた」の人形劇、お茶のお話、お天気のお話講座の他、講座期間内はリサイクル本、手作り栞、おすすめ本コーナーを運営した。市民センターまつりで本のリサイクルを行った。	6月30日 7月7、14日 9月29、30日 10月1、23日	7	473
三本松市民センターがやって来る！	三本松市民センターに足を運ぶことが難しい地域にある台原東部集会所で3B体操とゆるリズム体操、天神社集会所で、うさぎのお雛様つくりの手芸講座を開催した。	12月2、7日 2月17、24日	4	35
三本松市民センターまつり	市民センター利用サークルと個人や台原中学校等のステージ発表と作品展示、健康コーナー、お茶席、子ども向けコーナー、図書リサイクルコーナー等日頃の学習成果を発表した。	10月23日	1	499
★三本松防災講座	地域の防災力を高めるために三本松市民センター周辺の町内会役員を対象に、台原地区防災リーダーから町内会における災害に備える対策づくり、消防署救急係から救急救命講習を学んだ。	9月22日 1月15日	2	25
★地域懇話会	１回目は台原中学校と小学校のPTA会長と、２回目は三本松市民センター周辺の町内会長と地域課題や市民センター事業についての情報共有と意見交換を行った。	7月16、23日	2	10
市民企画講座「ティータイムサロンin三本松～食と健康」	食と健康をテーマに、できるだけ長く健康を維持し、いきいきとヒントを学び合う事業企画会議を実施した。	5月27日 6月17、28日 8月2、19日 9月1日 11月17、18日 12月1、8日	10	48

片平市民センター

〔沿　革〕

片平市民センターは平成元年、児童館とコミュニティ防災センターを併設して、東北大学農学研究所跡地に開館した。市内中心部に位置し、交通が便利なことから町内会など地域の団体ばかりでなく、全市的な市民活動の場として盛んに利用されている。

また市民センターが立地する地区は、市街地にありながら広瀬川がつくりだす独特な地形と、仙台城や経ヶ峯の豊かな自然に囲まれたところである。さらには歴史的な資源に恵まれ、大学の研究機関などが隣接する。

こうした地域の資源を活かした生涯学習プログラムの提供や、市民の自主的な活動の支援、併設する児童館との共催事業の提供を通して、地域に貢献している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	地域減災は隣（りん）・輪（りん）・Ring（リン）		
参加者	成人、小学生	延参加者	268 人
開催日	全 12 回　4 月 26 日(火)　5 月 10 日(火)　5 月 24 日(火)　6 月 7 日(火) 6 月 21 日(火)　7 月　8 日(金)　7 月 15 日(金)　9 月 7 日(水) 10 月 4 日(火)　12 月 9 日(金)　2 月 23 日(木)　3 月 10 日(金)		
協力者・協力団体	片平丁小学校　片平地区災害に強いまちづくり実行委員会		
ねらい	地域住民や地域防災リーダー・小学校教員とともに、防災・減災カードゲーム「ＢＯＴＡ」を小学生向けに開発し、小学生が楽しく、防災・減災を学べるツールとして活用できるようにする。		
概要･成果	町内会や子ども会、ＰＴＡ、防災リーダー等地域住民を対象に防災・減災カードゲーム「ＢＯＴＡ」の体験会を行い、その時の参加者から 13 人に開発メンバーになってもらい、「ＢＯＴＡ」の小学生バージョン開発を目標に会議を行った。会議が防災に関する情報交換の場となり、地域住民同士の交流が図られるとともに、防災意識の向上につながった。 片平丁小学校 6 学年を対象に出来上がったゲームの体験会を 2 回実施し、児童に地域の防災について伝えることが出来た。 また、地域住民と児童が一緒にゲームをすることで顔見知りとなったため、災害時などいざというときの助け合いが期待できる。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
片平キッズワールド	7 月と 2 月に計 3 回小学生を対象に実施。 2 月は宮城県工業高等学校と連携し､高校生が小学生にものづくりを指導した。	7 月 27、29 日 2 月 25 日	3	75
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子どもと世話人を対象に活動の知識やゲーム等を学習した。	1 月 28 日	1	24

地域について学ぼう	片平丁小学校１・２学年の「すずめ踊り練習会」、1学年の「片平公園の虫を探そう」、5学年の「動物ふれあい会」の授業のサポートを行った。	4月26日 9月13日 11月15日	3	333
中学生「職場体験学習」	中学生の職業観を育むことを目的に、五橋中学校の生徒の職場体験を受け入れ、市民センターの事業内容の説明や、講座の企画等の体験を通して、将来について考える機会を提供した。	11月18日	1	2
広瀬川界隈ぶらり散歩 ～ボランティアガイドと歩く広瀬川～	片平地区をまたぐ自然豊かな広瀬川を４，５，６月、９～11月に３つのコースでボランティアガイドが案内し､7月には国際センター駅２階広場で講演会を開催した。	4月16日 ～11月18日	7	335
片平シニア麟経大学	高齢者の生きがいづくり、仲間づくりの一環として開催。当番制を導入し、企画会議で歌声喫茶を開催。その他短歌、紋切りの実習、エンディングノートの書き方など全１０回開催。	5月12日 ～2月9日	10	500
片平クリスマスコンサート	市民センターを利用している合唱サークルと児童館児童クラブのミュージックベルチームによるコンサートを開催した。	12月17日	1	128
かたひらwaiwai広場	片平市民センター、児童館、地域で活動している団体が実行委員会を組織して地域の活性化を目的に祭りを開催した。片平丁小、県工吹奏楽部、五橋中茶道部など地域の学校も参加。	10月15日	1	1,100
片平市民センター懇話会	市民センターの活動を広く知っていただくために地域の諸団体と懇話会を開催。それにより地域の課題を探り、講座の企画や市民センターの運営の参考とし、地域と市民センターの相互理解の機会となった。	5月27日 11月30日 12月22日 1月14、23日 2月25日	6	55
夏だ！祭りだ！盆踊り！	盆踊りを教えるボランティアを養成し、講師と共に小学生に盆踊りを指導した。片平地区の夏まつりにも参加し、盆踊りを盛り上げた。	7月27、29日 2月25日	3	209
市民企画会議 ～お父さんと遊ぼう！	父親の育児参加を促すため、子どもと遊ぶ講座を企画する会議を実施。カレーの試食づくりも開催。	4月12日 ～7月30日	7	31
市民企画講座 ～父と遊ぼう～	夏休みの１日、小学校にて父子でカレー作り、夜の学校探検、花火大会などで遊び、絆を深め、父親同士も交流。親父の会結成のきっかけとなった。	7月30日	1	86
★サロン運営ボランティア養成講座	サロンのツールとしてハンドマッサージ、タッピングタッチ、傾聴の基本を学び、センターまつりでのサロンブース開催や町内会のサロンへ出前で出かけ実践を行った。	5月18日 ～3月22日	18	153
●◎地域の宝　みんなの片平公園！	地域住民で片平公園の環境整備を行い、活用する講座を企画する委員会を組織し、月１回清掃活動後に誰でも楽しめて学べるようイベントを開催し交流した。	4月5日 ～3月4日	14	910

水の森市民センター

〔沿　革〕

水の森市民センターは､広く市民の憩いの場として親しまれている自然豊かな水の森公園の水の森入口に立地している。管内は昭和 30 年代半ばから宅地開発が進んだ水の森、東勝山、桜ケ丘、川平等の閑静な住宅地を擁する地域である。

当市民センターは、児童館・温水プール・コミュニティ防災センターを併設する複合施設として平成 2 年 9 月にオープンした。斬新な外観の施設は地域のランドマークとして親しまれ、一年を通して多くの利用者が訪れる。2 階の広いロビーは、地域住民の情報交換や憩いの場として高齢者から幼児まで常に賑わいをみせている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**★水の森防災学校**		
参加者	北仙台地区及び一般募集参加者	延参加者	195 人
開催日	全 3 回　6 月 18 日（土)、9 月 3 日（土)、12 月 3 日（土）		
協力者・協力団体	北仙台地域防災ネットワーク会議、北仙台地区連合町内会		
ねらい	東日本大震災の経験を踏まえ、北仙台地域町内会および各団体、地域住民を対象として､『自分達の地域は自分達で守ろう』をスローガンに、防災や減災に関連した研修会、意見・情報交換を積極的に実施し、安全・安心な地域づくりを目指すと共に、住民相互の共助に対する取り組みを推進する。		
概要･成果	北仙台地域防災ネットワーク会議と連携して、① 講話とグループワーク『安心・安全な街づくりと防災のあり方』　②救命訓練『災害から命を守る、広める防災・減災』　③講話とグループワーク『水害・土砂災害への備え』､情報交換の全 3 回の講座を開催した。町内会役員、防災担当者を中心に延べ 195 人の参加を得た。グループワーク等で防災への気づきやイメージを参加者全体で共有することができた。平成 17 年度から開催している講座であるが、今年度は町内会の防災担当者や地域住民等を中心に、情報交換をするよい機会となり、各単位町内会への防災意識の啓発へと期待が持てる内容であった。そして地域住民の共助意識が高まり、地域における防災・減災の活動への支援が図られた。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
水の森まま’Ｓキッチン	子育て世代が食を通して交流し、仲間づくりと地域社会への参加を促す為に、キャラ弁づくりや成長期の子ども向けのメニューについて調理実習を行った。	9 月～10 月	2	17
水の森キッズクラブ	小学生に様々なジャンルの体験学習の場を提供し、学習意欲の向上と居場所づくりにつなげ、異学年交流を図った。琴の体験、魚の解剖等	8 月～2 月	4	69
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るために世話人と小学校 5 年生を対象に研修会を行い、プログラムの立て方・インリーダーの役割を学んだ。	1 月 21 日	1	57

中学生職場体験学習受入	中学生の職業観と自立力を育むことを目的とし、市民センターの講座の準備や施設管理体験、職員と関わりを通して、自分の将来のあり方について考える機会を提供した。	11 月 8～11 日	3	8
水の森メンズ塾	シニア世代の男性が健康で充実した生活を送るために、地域活動を行うきっかけや仲間づくりにつなげた。写真撮影・音響等を通したボランティア活動等。	5 月～11 月	8	72
食から始める健康生活	食を通した健康づくりを目指し、旬野菜と発酵調味料の調理実習や味噌づくりを行い、地域の社会学級生や高校生とも交流した。	12 月～1 月	2	32
水の森老壮学園	高齢者の交流の場づくりや介護予防のために、歴史や健康づくり、音楽など、高齢者が意欲的に学習できる内容を提供した。	4 月～10 月	10	488
記録に残そう地域の記憶	地域の人々の記憶を辿り記録に残すため、住宅団地の開発の歴史、この地に移り住んだ頃の人々の暮らし等、資料を収集し、記録誌を編纂した。	4 月～3 月	24	138
★水の森防災学校企画会議	地域住民のニーズを把握し情報交換を交えながら、年３回の防災学校を企画運営し､2 月には会員の意識向上のための研修会を行った。	4 月～2 月	14	135
水の森市民センター地域まつり	地域住民やサークルで実行委員会を結成し、学習成果発表や児童作品展・出店・主催講座紹介等を行った。	11 月 12、13 日	2	2,610
水の森懇話会	地域の市民センターとしての課題を見極め、施設運営・事業の企画運営に生かしていく為に、地域の学校の地域連携担当者や子供に関係する団体と懇談した。	5 月 13 日 6 月 21 日	2	16
社会学級との連携事業企画会	地域住民の知識や経験を生かして情報交換をし地域のニーズに応える講座を企画した。	7 月～10 月	4	32
ジュニアリーダー定例会	当市民センターを活動拠点とするジュニアリーダーの活動支援。各種情報提供・活動に関する助言・指導を行った。	4 月～3 月	12	41
ジュニアリーダーと遊ぼう！	子どもたちとの触れ合いを通じて、ジュニアリーダーのスキルアップと活動の場を提供するために、DJ パーティーでのバルーンアートコーナーや、児童館まつりの JL コーナーを担当した。	11 月～12 月	2	480
水の森まちの語り部養成講座	地域の歴史、文化、自然等について後世に語りつないでいくボランティアを養成をするために、今年度は地域の施設や学校を訪ね、学習した。	4 月～6 月	5	54
市民企画会「水の森プロジェクト」	若い世代の地域住民のアイディアを生かして地域課題やニーズに応える講座を企画した。	6 月～11 月	6	11
市民企画講座「水の森公園の自然でアートしよう」	水の森公園の自然をテーマとし若い世代が興味を持つ「造形のワークショップ」を実施し、市民センターに足を運ぶきっかけとした。	11 月 20 日	1	10
社会学級との連携事業「水の森ロビーフェス」	4 つの社会学級と連携し､それぞれが持つ情報を活用し、豊かな学びの場を提供する。ロビーでの落語と漫才の寄席を実施した。	10 月 12 日	1	88

貝ケ森市民センター

〔沿　革〕

“貝”をモチーフにしたデザインが館内随所に配された貝ヶ森市民センターは、貝ヶ森地区に平成5年4月、児童館を併設して開館した。閑静な住宅街の中にあって、その瀟洒な建物は、隣接する貝ヶ森中央公園とともに地域のシンボルとして親しまれている。

風光明媚な貝ヶ森地区は自然の風物に富み、さらに高等教育機関や文化施設などに恵まれており、国際交流の盛んな場所でもある。

当市民センターは、可動式の舞台を持つ多目的ホール、会議室、調理台付き小会議室、水屋付き和室等があり、地域住民の学習・スポーツの場として、また、憩いの場として活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★防災情報発信講座		
参加者	貝ケ森・国見地区連合町内会会員 仙台高校生徒有志	延参加者	576人
開催日	全6回　　7月12日(火)、9月8日(木)、10月1日(土)、10月13日(木) 10月22日（土)、11月11日(金)		
協力者・協力団体	貝ケ森・国見地区連合町内会、仙台市立仙台高等学校		
ねらい	複数年継続事業として「市民協働による地域づくり」の一環として「避難所運営はまち創り」をテーマに講座を開催する。また、平成27年度の「防災情報発信講座」(2回実施)の延長として、「中高生のための防災リーダー講座」(以下「リーダー講座」4回実施)を新たに加え、中高生自ら「避難所運営はまち創り」に参加する環境を整備することを目的とする。		
概要・成果	「中高生のための防災リーダー講座」として仙台市立仙台高等学校で様々な講師を招き、放課後に計4回(熊本地震編、火災予防編)48名の登録生徒を対象に実施した。その結果、学校内の防災委員会発足につながった。 この他、地域住民を対象に「熊本地震派遣職員報告会」として10月1日に貝ケ森市民センターで(208名参加)開催、10月22日に国見小学校で(218名参加)実施した。平成27年度から「災害時に必要な情報を地域住民とともに共有し、情報を発信すること」に主軸を置きながら、平成28年度は「高校生」に重点を置いた(平成27年度は中学生に重点を置いた)。それぞれの参加者からのアンケート回収率も高いことから、意識の高さが感じられた。複数年事業として実施してきた事業だが、平成28年度も目的を十分に果たせたと考えている。		

〔平成28年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子でチャレンジ！	子どもだけではなかなか体験できないようなことを親と一緒に体験することで親子の絆を育み、子育て支援の一助とした。「折り紙建築」、「移動天文車ベガ号」による星空観望会	8月20日 2月17日	2	68
ちびっこまつり	親子が楽しく遊べる機会をつくることで、親子同士の交流と仲間づくりを支援した。また、児童館および地域の子育て支援団体と共同で事業を実施することで、地域内の子育て支援に関する情報の共有と連携が円滑になるようコーディネートした。	10月7日	1	164

貝ヶ森ソーラン隊養成講座	中学 2 年生をリーダーとした編成で練習を行い、貝ヶ森地区文化祭で舞台発表を行った。また、地域の大人の助けを借りながら、自主グループとして活動できるような体制づくりをめざした。	9 月 4、11、18 日 10 月 16、23、29、30 日 11 月 20 日	8	93
職場体験学習	「仙台自分づくり教育」を受け、仙台市内の中学校が行っている職場体験活動を受け入れ、中学生が適切な職業観を持ち、自分の将来を考える機会を提供した。窓口受付業務や環境整備等施設管理や講座の手伝い、企画書の作成などの生涯学習事業の体験。	11 月 15 日～18 日	1	2
中学生のハローワーク	中学一年生に対して、各種の職業に就いている方々から仕事に関する話をきくことで、将来、より多くの職業に目を向けることができるようにするための一助とした。	9 月 21 日	2	440
インリーダー研修会	国見小学校、中山小学校、川平小学校の子ども会のリーダーと次年度世話人を対象に実施し、講話や手あそびやゲームなど実技を通して、子ども会の活性化を目的に研修をした。	2 月 11 日	1	76
クラフトカフェ貝ヶ森	「おとなの切り絵講座」として繊細な下絵をもとに切り絵に取り組んだ。作りながら交流することで、地域での仲間づくりにつながった。作品は、貝ヶ森地区文化祭て展示発表した。また、そこからサークル「ペーパークラフト倶楽部」が立ち上がり、活動を始めている。	9 月 6、13、27 日 10 月 29 日 11 月 29 日 12 月 21 日	6	28
「いっしょにすっぺし自分磨き」	社会学級企画会議から企画した講座。色に関する自己表現を学びながら、受講生同士の交流を図った。(①造形や表現に関わる講話を聞いた後に、お面をつくる②パーソナルカラーを知る③写真フレームを作りながら色の組み合わせを考える)	10 月 4 日 11 月 17、22 日	3	54
「四ツ谷用水取水口を訪ねて」	市民企画会議「地域を知ろう」での「参加しやすく説明を受けながら歩く内容が良い」との意見や、「特に取り上げたい歴史的遺構として四ツ谷用水取水口を」との声から、歴史という共通の話題を持つ地域の仲間をつくることを目的として四ツ谷用水取水口を訪ねた。	10 月 21 日	1	13
貝ヶ森シニア学園	シニア世代の方が毎日をいきいきと健康的に過ごせるよう、体と心の健康づくりや意欲の向上、生きがいづくりにつながるように、学習・交流する機会を提供した。講話、コンサート、館外学習など。	5 月～3 月	10	516
豆まき会	幅広い年齢層の地域住民が参加しやすい伝統行事を開催し、世代間交流を図った。また、高齢者の得意な分野を活かして、ボランティアとして参加してもらうことで、地域活性化をめざした。和太鼓演奏と獅子舞、コーナーあそび（福笑いやお手玉などの昔遊び、鬼バックづくり、鬼に挑戦！など）	1 月 28 日	1	165
四季の杜サロンコンサート	様々な音楽を通じた交流の場を作り、児童館との共催により、より幅広い世代が市民センターに来館しやすい事業作りをめざした。また、地域で活動する音楽家や愛好家の掘り起しに努めた。①「父の日のコンサート」②「魔法の音の箱バンドネオン」③「ジャズを身近に」④ヴァイオリンとピアノによるコンサート	6 月 19 日 9 月 3 日 12 月 3 日 2 月 4 日	4	238
国見出前講座	国見コミュニティセンターを会場に講座を開催し、貝ケ森市民センターから離れた地域に向けてセンター事業の周知を図った。「元気に生きる食事術」として管理栄養士の先生から年代に応じた食事について、分かりやすく楽しい話を聴いた。	1 月 21 日	1	27

貝ヶ森交流サロン	高齢者の多い貝ケ森地区で、地域の方が気軽に楽しく参加できる集いの場を設け、引きこもりなどを防ぐとともに地域で活動するきっかけづくりを目的に開催。外歩きの講座やコンサート、郷土菓子づくりや伝統行事などを取り上げる内容で各回募集により、参加しやすい環境で実施した。	6月17日 7月22日 9月16日 11月25日 12月8日 1月12日	6	138
貝ヶ森地区文化祭	貝ヶ森地区住民や当市民センター利用者の活動や学習成果の発表の場とすることを目的とし実施した。また、参加サークル団体も実行委員に加わり、企画、運営、実施の作業を通して、より一層地域の交流と絆を深めた。	10月29、30日	2	1,850
地域懇話会	中学校区の3連合町内会、日赤、社協等の地域諸団体、そして小学校から大学、消防機関等団体から来て頂き、平成28年度上半期の事業報告及び予定、共通話題として防災情報発信講座に対する意見・要望、更には、地域の課題や平成29年度事業に対する意見・要望を把握した。	10月14日 2月16日	2	30
社会学級企画会議	平成27年度に貝森小学校と国見小学校が統合されたことに伴い、社会学級やスポーツ少年団等、国見地区へ統合された地域団体も多く、これから地域への影響が出てくるのではないかと思われることから、国見社会学級と連携しながら、地域の課題を検証し、地域活性化のための事業を企画した。	6月～11月	11	47
市民企画会議「地域を知ろう」	貝ケ森市民センターは仙山線「東北福祉大前駅」にほど近く、交通の便も悪くない。また、歴史的に重要な史跡なども徒歩圏内である。そこで、意外と知らない身近な場所の隠れた魅力を発信するための企画会議を行った。	7月1、12日 8月9、23日 9月6日 10月21日 11月8日	7	28
ソーラン隊サポーター養成講座	平成27年度に開催した貝ヶ森ソーラン隊養成講座であるが、次年度以降も長く活動を続けていくためには地域内の大人によって自主活動につなげていくことが望ましい。そこで、地域に広く声をかけてサポーターを集め、ソーラン隊を自主活動団体にするための体制づくりをめざした。	9月4日 10月29、30日 11月20日	3	12
サークル体験	市民センターで活動している団体の活動を気軽に見学・体験できる機会を設け、生涯学習への関心を高めると同時に、参加者が地域で活動していくきっかけづくりをめざした。	6月～2月	10	13

中山市民センター

〔沿　革〕

中山市民センターは、旧中山コミュニティセンターを増改築し、平成 7 年 4 月に児童館を併設して開館した。近隣には月急山公園、うどう沼公園があり、街路のケヤキや桜並木に囲まれ緑いっぱいの豊かな自然がある。地域では、街道市や七夕祭り、スノーマン祭り、とびの子祭り、学区民運動会、老人クラブ演芸大会、町内会夏祭り等地域団体が主催する行事が活発である。

当市民センターが受け持つ中山・川平地区は、戸建て・集合住宅のほか、近年は大型マンションが増え、新しい町並みを形成している。また、近くに「せんだんの杜」、「せんだんの里」等の介護や福祉関係の施設があり、福祉に関する住民意識と学習意欲の高い地域である。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●◎花と緑のエコタウンづくり事業		
参加者	地域住民	延参加者	126 人
開催日	全 14 回　　4 月 23 日（土）～3 月 11 日（土）		
協力者・協力団体	青葉区まちづくり推進課、青葉区中央市民センター、中山中学校、西勝山町内会、中山西二町内会、中山西寿会、中山児童館、仙台生ごみリサイクルネットワーク		
ねらい	中山・川平地域の公園、街路等公共の場所には花や緑が豊富にあるが、初冬には大量の落葉や雑草の処理が地域の課題となっている。町内会、老人クラブ、小中学校等地域をあげて清掃活動を行い、雑草、落葉の有効な活用を図るため、リサイクルして堆肥をつくり、地域の花壇や畑に活用することで、花と緑に満ちた循環型のまちづくりを推進する。		
概要・成果	ハーブやバラを用いた花壇や、緑のカーテン作り、畑で野菜づくりを行った。西勝山町内会でも堆肥づくりと、堆肥を活用した花壇づくりを実施した。活動を通して参加者に地域貢献、環境貢献の意識が生まれ、高齢者や幼児親子、児童との交流、心身の健康づくり等多様な効果が生まれ、地域コミュニティの活性化に貢献できた。また、近隣大学の環境サークルにも声掛けをし参加を促したり、地域内の小学校に出来上がった堆肥を配布し、活動のＰＲをした。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
小正月を祝おう	地域の老人クラブ等地域団体と連携・協力しながら、伝統行事「小正月」体験を地域の幼児親子・小学生を対象に開催した。餅つきや、小正月の由来についての話し、ミズキの木に餅花の飾りつけを行った。	1 月 7 日	1	34
かわだいらお楽しみ劇場	川平地域の乳幼児親子が参加しやすいように地域の児童館やと諸団体と連携し、親子参加型演劇プログラムを川平地域で開催。地域で子育てを見守り子育て中の方々の交流に役立てた。	6 月 17 日	1	37
インリーダー研修会	貝ヶ森市民センターを会場に、中山・川平・国見小学校の 5 年生とその世話人を対象に、子ども会の充実化を図るため、世話人向け研修、児童向け研修を行い実践的な学習の場を提供した。	2 月 11 日	1	76

みんな集まれ！わんぱく広場	土曜や秋休みに小学生や保護者が気軽に参加できる体験型の事業（親子ふれあいワクワクキャンプ・動物介在ボランティアセミナー&活動見学・川小フェスタ）を行い、参加者の交流、青少年の健全育成、地域の活性化を図った。	7月16日 10月12、15日	3	763
昔あそびを楽しもう	地域のボランティアが中山小学校の１年生児童に独楽・剣玉・お手玉などの昔遊びを教え、異世代間交流を行い、子ども達のコミュニケーション能力等を育むとともに、子ども達を見守り育てる地域の連携を深めた。	12月2日	1	118
中学生職場体験	市民センター児童館の概要、サークル見学、講座の準備運営の手伝い、職業についての懇談	10月18日 ～21日	1	3
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーの活動の場を提供することを目的に、中山市民センターまつりでバルーンアートを小学生対象に指導したり、中山地区の未就学児を対象に工作を指導した。	9月10日 10月22日	2	200
ロコトレで体力づくり	ロコモチェック後、運動機能の低下を予防するための講話とトレーニング（ロコトレ・拭きトレ）を指導。また、自宅で続けるためのグループワークを実施。	7月6、13、23日	3	36
中山ウォッチング	地域にある「うどう沼」の自然観察会を開催し、身近な自然の大切さを認識し地域に愛着を持つよう実施。	4月21日 9月29日	2	19
中山健康アラカルト	誰もが関心のある健康をテーマとし、沖縄舞踊・歌・ニュースポーツ・調理実習・朗読を実施し地域活動に目を向けるきっかけの場を提供した。	11月17日 12月1、15日 1月19、25日	5	50
市民企画会議「もっと輝く、暮らしのすすめ」	女性の様々なストレスを解消する方法を話し合う中で健康でありながらも身だしなみや健康に役立つ歩き方・仲間と互いに学び合う手作りなどを実施。	10月4、18日 11月1、15日	4	43
中山銀鈴倶楽部	仙台人の人柄や食塩の摂り方・文学・薬についてなどの講話、歌・軽運動・お茶の入れ方の実技を取り入れ、生きがいづくり、仲間づくりを進めた。	5月13日 ～2月10日	9	388
★防災講座	防災カードゲーム「ＢＯＴＡ」を地域の総合防災訓練の場で実施、ＡＥＤの扱い、普通救命講習実施	9月17日 10月1、18日	3	54
★おかのまちふれあいコンサート	中山市民センターで活動している音楽団体（ギター・ハーモニカ・マンドリン・女声合唱）の成果発表の場となるコンサートを開催し、在仙の音楽家（ビオラ・バイオリン&ピアノ）もゲスト奏者に招き、参加者の交流と地域の活性化を図った。	11月12日	1	100
中山市民センター・児童館まつり	地域で活動しているサークルや地域団体の日頃の活動成果発表と、地域の授産施設や地域団体の作品展示、製品販売等を実施した。	9月15、16日	2	770
ＳＫＹ定例会	要請確認、心得確認、連絡網作成、勧誘チラシ・ポスター製作、ゲーム・工作・バルーンアート・ダンスの研修、大会・研修会の報告会、送別会、ハロウィン、他サークルとの合同クリスマス会、三送会準備、三送会などを行った。	4月10日 ～3月26日	12	113
市民企画会議「暮らしイキイキ！元気講座企画会｝	女性を取り巻く様々な状況やストレスなどについて意見交換。年齢と共に失う自信を取り戻し健康で前向きになれる企画を提案、運営に当たった。	5月10日 ～11月15日	10	40
懇話会	地域の関係団体、サークル等施設利用団体との意見交換、川平学びのコミュニティーづくり関係者との意見交換を行い、地域課題や市民センターの利用について協議した。	5月12日 9月24、27日	3	43

折立市民センター

〔沿　革〕

折立市民センターは、平成 7 年 5 月 30 日に市内 50 番目の市民センターとして、折立児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

当市民センターは仙台市中心部から西方約 5 kmの地点に位置している。東側には青葉山丘陵、南側には里山蕃山があり、北側には広瀬川が流れ、西側にはその広瀬川によって形成された河岸段丘が開けており、遠くには奥羽山系を眺望できるという自然環境に恵まれた場所に立地している。

施設には可動式のステージが備わった多目的ホール、照明付の舞台を備えた 49 畳の和室、調理用機器を完備した会議室兼調理実習室等があり、地域住民の生涯学習・スポーツ・コミュニティづくりの場として、広く利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　●：区役所との連携事業　◎：地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**★中学校防災教室　～僕たち私たちの力～**		
参加者	折立中学 2 年生、折立地区防災対策連絡会役員	**延参加者**	９３人
開催日	全 1 回　5 月 26 日（木）		
協力者・協力団体	折立中学校、折立地区防災対策連絡会、青葉消防署片平出張所		
ねらい	地域の高齢化が進む中、災害時には若い力への期待は大きいものがある。そこで、地域防災組織と共催し、中学生が災害時に自分たちができることを学び、地域に貢献出来る人材としての自覚を促し、地域防災力向上を図ることをねらいとする。		
概要・成果	折立中学校 2 年生全員を対象に、救急救命やけが人搬送訓練、避難所での炊出し、仮設トイレの組立、投光器の組立・運転訓練を実施した。 成果として、講座を受ける前は、中学生が災害時にやれることがあるのか分からず、何をすればいいかも分からなかったが、講座に参加したことによって、災害時には、中学生でもできることがあることが分かり、今後地域の中で生かしていきたいとの感想が得られ、中学生の災害に対する意識の向上につながった。 また、中学生と地域の防災対策連絡会の方々が連携して訓練を実施したことで、日頃地域活動に参加する機会のない中学生との交流も図られた。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子たいけん隊	親子のコミュニケーションづくりとして移動天文台の天体観測や化石の森探検、陶芸、伝統行事などの体験学習をした。	5 月 20 日 ～1 月 14 日	4	88
折立おやこ農園	親子で野菜の栽培等を通して、地域ボランティアの人と交流しながら、土づくり、種まき、収穫をした。収穫した野菜でピザ・ずんだ餅・里芋汁など調理実習も体験した。	4 月 24 日 ～12 月 4 日	10	250

インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、児童と世話人向けに意識を高める学習と、プログラム演習をした。またジュニアリーダーとゲームの進め方を学び実践した。	2月11日	1	17
★小学生の防災教室	地震や津波が起きるメカニズムと映像を利用した講話や、スタンプラリー形式で災害時の行動分析、対応確認などを学んだ。	11月17日	1	59
ココカラ元気！ 折立健幸講座	高齢者の多い地域性を鑑み、地域で活き活きと暮らせるよう、健康講話、調理実習、脳活トレーニングなどを学んだ。	1月20日 ～2月17日	5	49
●折立老壮大学	高齢者が生き甲斐のある生活を送るために、健康講話、歴史講座、館外学習、映画鑑賞、寄席などを多様な内容で学習した。	5月19日 ～2月16日	10	371
折立 風のメロディコンサート	地域住民が気軽に音楽に触れ交流を深めるため、実行委員を中心に手作りのコンサートを開催した。	7月9日	1	108
★災害に強いまちを目指して	地域の防災対策連絡会と共催で、土砂災害地域でもあることから気象災害への対応を学習した。他避難所開設訓練を小・中学校に分かれて実施し徒歩時間確認、防災倉庫確認を実施した。	2月12日 3月12日	2	115
蕃山の自然トレッキング	折立地区の里山として親しまれている蕃山が乱開発や楢枯れの被害を受けている現状を知り、地域資源を守り育てる意識を醸成するために蕃山トレッキングと踏査を行った。	6月4日	1	9
★◎地域力創造支援事業 人が地域を創る －折立素敵物語－	地域を担う次世代の人々に、地域の魅力を知り交流を深めてもらうため、地域で頑張っている人を紹介するビデオ制作と、若い世代も取り組める地形模型作りを通じて、地域の良さを見直し、地域の活性化につなげる取り組みを行った。	7月23日 ～3月31日	19	222
第14回 折立ふれあいまつり	地域の絆をより深め、活性化を図るため、実行委員会が中心となってまつりを開催した。演芸、展示、出店、子供遊び等。	10月22日	1	1,684
折立地域交流会	地域の高齢者と若い世代の親子とで「ペタンク大会」を開催し交流を深めた。	11月12日	1	39
★折立市民センター懇談会	地域課題の共有・解決にむけて様々な住民と意見や情報を交換し、市民センターへの理解も深めてもらうため懇談会を開催した。	4月27日 12月4日	2	58
昔遊び伝承事業	子どもへ昔遊びの楽しさを伝える人材を複数年にわたり育成支援してきた。その人材を活かして、けん玉や突き鉄砲、缶ポックリ、お手玉、たが回しなどの昔遊びを通して世代間の交流を図った。高齢者が中心となり地域の大人が参画し健やかな育ちを支援した。	5月12日 ～3月2日	17	139
市民企画会議「ママたちのはっぴー計画」	託児付の会議にすることで開放的な意見交換の場を提供し、若い母親目線で地域住民が交流できる講座を企画した。	5月31日 ～12月20日	5	11
折立サークル体験会	サークル会員の減少と高齢化のため、様々なサークルを自由に見学・体験できる機会をもうけ、各サークルの活性化に努めた。	7月1日 ～12月1日	16	17
市民企画講座「世界のおいいいところ発見」	市民企画員企画による講座で「ブラジル・イギリス・イエメン・カザフスタン」などの講師とお話やお国のお菓子作りで交流を図った。	9月30日 ～12月10日	4	122

木町通市民センター

≪青葉区≫

〔沿　革〕

木町通市民センターは、木町通小学校の改築に伴い、平成 16 年 4 月に小学校と児童館、コミュニティ防災センターとの複合施設として開館した。市民センター施設は、5・6 階に位置し全館バリアフリー対応になっている。また、屋上緑化を施し、一部は児童館の庭園として利用している。

木町通地区は市の中心部に位置し、官公庁・学校・病院・商業施設・マンションが建ち並び、従来からの一戸建ての住宅はほとんど見られなくなった。この地域では若い単身世帯や乳幼児の子育て世代の 40 代が多く、20 代、30 代、50 代、60 代と続く人口構成となっている。

当市民センターはこうした環境の下、複合施設の利点を生かし、地域との連携を図りながら学びの場を提供することを目指している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎：地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**★木町通学区の「いざという時に備えて」**		
参加者	成人	**延参加者**	650 人
開催日	全４回　　6 月 22 日(水)、6 月 25 日(土)、11 月 16 日(水)、12 月 17 日(土)		
協力者・協力団体	木町通学区連合町内会・木町地区社会福祉協議会・仙台市立木町通小学校・仙台市立第二中・木町地区民生委員児童委員協議会		
ねらい	震災の経験を踏まえ、地域の方々に防災・減災に対する実践活動を繰り返し行ってきた。今年度も引き続き講座を開催し、防災・減災に対する地域コミュニティづくり・避難所運営に資する機会とする。		
概要・成果	年 4 回シリーズで開催した。①「AED を学ぼう！救急救命士講習（初級)」は、地域住民・児童館職員等の参加があり、毎年繰り返し実習することで再確認でき、実践につながる機会となった。②「指定避難所別合同防災訓練」は、木町通小学校・仙台第二中と一斉防災訓練に参画し、当館の補助避難所のとしての役割分担を確認することができた。③「先進マンション防災に学ぶ」は、地域の実態を踏まえ、最新で先進的な取り組み例を参考に啓発活動をすることできた。参加者は全員マンションの住人ではないが、地域の代表者の方々であり、情報提供をお願いした。④「HUG(避難所運営ゲーム)」は、現実的で身近な小学校を想定し、運営ゲームを展開した。全体を通して、新たな発見や課題も見つかり、講師派遣や講座参加には、行政職員の皆様にご尽力を頂き、また受講生同士の交流も深まり有意義な講座となった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育て・ENJOY 広場	地域に暮らす幼児親子を対象に、ハープ演奏を取り入れた手遊びや紙芝居、絵本の読み聞かせ、歌と踊り、コント等の親子で楽しめるコンサートを行った。	7 月 27 日 11 月 27 日	2	85
WAKU²キッズ	地域の子ども達を対象に、工作・バター作りを通した食育・ニュースポーツ体験・創作和菓子つくりといった、日頃できない様々な体験学習を行った。	6 月 18 日 ～12 月 10 日	6	87
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会においてよきリーダーになるために、児童と世話人を対象に危険予知トレーニングなどのグループワークやジュニアリーダーから子ども会活動でも実践できるレクリエーションゲームを教えてもらう研修会を実施した。	1 月 27 日	1	4

木町通小学校 PTA 花火　まつり	地域のまつりとして定着している花火まつりにおいて、児童館と協力して小学生や幼児親子が楽しめるゲームを行った。	9 月 23 日	1	315
暮らしセンスアップ	おもに 40 才以上の成人を対象に、日常の生活に役立つ知識や興味を幅広く学習することで地域、文化等への関心を一層深めてもらう講座(デジタルカメラの撮り方、そば打ち体験、コンサート等）を行った。	7 月 2、3、23 日 11 月 1 日 12 月 7 日 1 月 19 日	6	54
歴史ビギナーズのための入門講座	仙台の最新遺跡発掘調査事情・陸奥国分寺薬師堂・木町通界隈の歴史についての事前学習と散策学習。	7 月 20、21 日 9 月 7、8 日 10 月 26 日	5	44
メンズ・キッチン	料理初心者の男性が、健康的に自立した生活を送るために、手軽で簡単につくれる料理と、料理の基本を学んだ。	6 月 11 日 7 月 9 日 11 月 5、19 日	4	32
★木町通老壮大学	江戸時代の芸能事情・歌と健康・聴覚の仕組み・福興しだるまの絵付け・キリバス共和国事情・歴史民俗資料館訪問・ロコモ予防と食事・歩き方と靴の選び方・シナプソロジー・昭和時代の仙台の写真と映像の紹介についての講話と実技学習。	5 月 11 日 ～2 月 8 日	10	430
骨盤美体操	健康で自分らしく生活するために、骨盤の歪みから生じる様々な症状・血流とリンパについての講話と、日常生活の中で気軽に取り組める自重を使った骨盤体操の実技指導。	2 月 16 日	1	31
◎市民企画講座 1「緑のまちづくり講演会」	都市公園のこれからの環境づくり等についての講演会を開催した。	5 月 7 日	1	75
◎市民企画講座 2「北三番丁公園で遊ぼう！」	北三番丁公園を会場に地域団体による演奏や移動天文車ベガ号を呼んで星空観察会を開催し、また北三番丁公園のヒマラヤ杉のシダーローズを使ってリース作りする講座を開催することによって、公園の活性化や活動に興味を持ってもらう一助とすることができた。	10 月 23 日 2 月 4 日	2	137
木町通小学校社会学級・子育て支援クラブ・木町通市民センター３者共催事業企画会議	講座テーマ・日程・準備・実施・運営に係る打ち合わせ、講師打ち合わせ、講座の運営、振り返りと意見交換などを行った。	5 月 14 日 ～2 月 16 日	7	28
木町通市民センター・じどうかんまつり	日頃市民センターを利用して活動しているサークルや地域で活動している団体等の学習成果の発表及び活動成果発表の機会を提供した。	10 月 15 日	1	1,120
●木町通市民センター・児童館運営懇話会	地域の学識経験者・諸団体の代表者・小中学校長等より、地域課題や地域特性・市民センター事業への指導助言を頂き、次年度事業及び運営について活かせる機会となった。	5 月 26 日 10 月 27 日 2 月 23 日	3	66
木町通小学校連携事業「北三番丁公園の四季～北三番丁公園の樹や花の銘板をつくろう！」	木町通小学校 3 年生が総合学習「北三番丁公園の四季」で調べ学習をした北三番丁公園の樹木の名前等を樹銘板にペイントし、飾りをつけて製作した。	1 月 25 日	1	83
市民企画会議「きずな・まなび・ちから」（地域力創造支援事業）	地域住民等が事業を企画・参画し、コミュニティの在り方について考え、地域を支える人づくり・絆づくり、長期を見据えた地域づくりを目指した。	4 月 14 日 ～2 月 23 日	13	103

広瀬市民センター

〔沿　革〕

広瀬市民センターは、広瀬川の中流域に位置し、周辺にはサイカチ沼や月山池、蕃山などの豊かな自然と、子愛観音をはじめとする数多くの旧跡が残る。また、近年は住宅の造成や商業地域の開発が進み、人口が著しく増加している地域である。

当市民センターの歴史は古く、昭和 24 年大沢・広瀬両村に村立公民館が建設されたことに始まる。昭和 62 年仙台市との合併により仙台市宮城公民館となり、条例改正により仙台市宮城市民センターと改称、平成 3 年 6 月に名称を広瀬市民センターと改めて現在の場所に移転した。

施設は広瀬文化センター・広瀬図書館との複合施設で、地域住民の交流と生涯学習活動の拠点として広く親しまれ利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★●絆づくり田んぼアート		
参加者	どなたでも	延参加者	846 人
開催日	全 21 回　　4 月 20 日（水）～　3 月 23 日（木）		
協力者・協力団体	愛子小学校、広瀬小学校、錦ケ丘小学校、広瀬中学校、愛子児童館、広瀬マイスクール児童館、錦ケ丘児童館、仙台高等専門学校、JA 仙台宮城支店、JA 仙台西部営農センター、JA 仙台実行組合長会連絡協議会、仙台市青葉区宮城総合支所、みやぎ仙台商工会、広瀬地区連合町内会、上町町内会連合会、錦ケ丘連合自治会、錦エステート㈱、水田所有者、宮城県測量設計業協会仙台支部		
ねらい	東日本大震災という大災害を経験し、地域の「絆」の大切さを実感した。これまで定期的な防災訓練などは実施していたが、学校、地域住民、企業などの団体等との関係をより深め、自らの役割を認識し、いざという時に備えることの重要性を改めて痛感した。このため、日頃からこの地域の特性を活かした「人づくり」「物づくり」「交流づくり」を通して、絆（顔の見える「良い関係づくり」）づくりと地域づくりにつなげていく。		
概要・成果	4 年目となった平成 28 年度も協力者、協力団体で構成する企画運営員会や「田んぼアート」に向けた種まき、測量、田植え体験会、かかし作り講座、観覧場の設置、観賞会、稲刈り体験会、脱穀、次年度に向けた委員会などを開催した。 マスコミ等にも多く取り上げられたことで認知度もアップし、地域の名物として定着してきている。 これまでの取り組みの報告会として開催した「フォーラム 2016」では、多くの方からの意見を聞くことができ、「田んぼアート」を核とした絆づくりに繋がってきていることを確認する機会となった。 体験会への参加者も年々増加し、協賛への理解と協力にもつながっている。 また、「市民企画会」の企画員による「田んぼアート」を彩っていた色米の活用を取り上げた講座も実施し、直接「田んぼアート」に携わらない人々への周知への一助となった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●宮城地区子育て支援プロジェクト　宮城地区こみゅ～んひろば	市内屈指の子育て世代の多い地域において、子育て世代の交流や居場所作り、支える人材の活用と育成を図った。イベントに向けた企画会、イベント「夏をあそんじゃおう」、宮城野区との交流会　【託児付き】	4 月～3 月	11	286
ジュニアリーダー「くまっこ」と遊ぼう！	ジュニアリーダーの拠点館において、活動の周知を図りながら理解を深める場とした。活動紹介展示、お化け屋敷、もぐらたたき、バルーンアート、工作	7 月 17 日	1	199

職場体験学習	仕事内容の体験や事業企画などの実践体験から、「仕事をするための心構え」や「責任をもって仕事を行うことの大切さ」などを学ぶ場とした。講義、施設見学、各業務体験、講座の企画体験	7月 ～11月	3	9
インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を目的として開催した。オリエンテーション、キャンドルファイヤー、危険予知トレーニング、グループ対抗なわとび、自然体験ゲーム、リーダー像を考える、振り返り	7月30、 31日	1	79
来たれ！未来のサイエンス・キッズ	仙台高等専門学校、広瀬図書館と連携し、科学の原理を生活の中から見出し、楽しく解明しながら科学の世界に触れる機会とした。 ①スライム作り　②リニアモーターカーの仕組みを理解しよう　③LEDひかる立体を作ろう	6月 ～12月	3	83
地域で伝える平和学習	地域の小学校へ出向き、子どもたちが地域の高齢者からの戦時下での体験談を聞くことで、平和の大切さを学ぶ機会とした。 ①パネル展示　②広瀬小学校　③愛子小学校　④錦ケ丘小学校	11月～12月	4	355
子ども参画型社会創造支援事業　カッパダ川プロジェクト	これまでの一連の事業を通して、子どもたちが積極的にまちづくりに参加することをねらいとして開催した。 ①ダンス部の地域での活動　②公開講座「カッパダ川を歩く」	4月～3月	27	246
みんなで学ぼう！「ひろせ塾」	若い世代や転勤移転などによる人口の流入が多い地域において、新旧住民の交流の場とし、市民センターの周知を図った。①リメイク手芸でエコを楽しもう　②どきどきアートで脳を活性化　③仙台市の水道の歴史を学ぶ　④認知症を知ろう　⑤健康マージャンを体験しよう	7月 ～12月	5	81
●老壮大学「若返り教室」	地域の高齢者を対象に、健康で豊かな生活を送るための学習の機会を提供し、親睦と交流を図った。講話、健康に関する実技、地域の歴史講座、移動学習（動物園）、新春のつどいなど	5月～3月	9	425
「愛子の田植踊」を踊ろう～次世代へつなぐ広瀬の伝統	県無形民俗文化財に指定されている地域の伝統芸能「愛子の田植踊」を、交流を図りながら次世代に継承する学習の場とした。田植踊保存会との練習会、各まつりでの発表	7月～2月	19	371
●地区内社会学級共催事業　地域の名物つくり隊	地域内の社会学級と共催し、広く広報しながらアイディアを募り、地域の新しい名物作りに取り組んだ。企画会、試作つくり	5月～3月	10	56
★ひろせ地域防災講座	震災被害の少なかった広瀬地区において、地域住民が防災について学ぶ場を提供し、地域の防災力の向上を目指した。講話、防災グッズ・東日本大震災時のパネル展示	2月25日	1	37
市民企画講座 ふるさとを楽しく知ろう～これがわれらのふるさとだ！～	市民センターを核として地域についての関心を高め、住民同士がつながりを深めるための交流の場を設け、地域コミュニティづくりの一助とした。①地域の歴史について学ぶ交流タイム　②地域在住の方の話しを聞く　交流タイム	12月 ～3月	2	51
三館共催事業　ひろせ寄席	地域での読書環境を整備していくため、専門性を持つ施設と共催し、より質の高い学びの場を提供した。 ①「落語」のワークショップ　②落語鑑賞	7月10日	1	79
関山街道の歴史探訪	「関山街道フォーラム協議会」と共催し、地域に残る歴史資源を活用した講座を提供した。 ①よみがえるふるさとの歴史（探訪会、振り返り、シンポジウム）　②関山街道の歴史探訪（探訪会、振り返り）	4月～3月	14	333
平成28年度生涯学習活動発表会「みやぎ学習フェア」	宮城地区で活動しているサークル・団体が、日頃の活動の成果を広瀬文化センターの大舞台で発表した。舞踊、フラダンス、民舞、太鼓演奏、オカリナ、太極拳など	2月19日	1	1,324
第28回広瀬市民センターまつり	市民センター利用団体の学習成果の発表の場として開催した。展示、ミニステージ発表、体験コーナー、喫茶コーナー、主催事業紹介	10月23日	1	1,119

ひろせサマーナイトコンサート 2016＆民俗芸能フェスティバル	野外ステージエリアを会場に、市民センター・文化センター利用団体や主催事業のステージ発表の場を提供した。ステージ発表、出店、子ども向けブースなど	8月6日	1	1,500
ひろせ懇談会	市民センター利用者及び各種団体と広く意見交換の場を持ち、地域課題やニーズを把握し、参加者同士の情報共有の場とした。	6月～3月	2	19
●地域内社会学級共催事業「田んぼアートの色米で体験しよう！」	地域内3社会学級と共催し、広瀬地域で取り組んでいる田んぼアートで彩を添えている色米を活用した講座を提供した。 ①焙煎ワークショップ　②薬膳料理体験	2月～3月	2	35
ジュニアリーダー定例会	宮城地区唯一のジュニアリーダーサークル「MRVC くまっこ」の活動を通した仲間作りや技術の向上、自主活動を支援した。要請への対応、ゲームやダンス、バルーン研修、総会、クリスマス会、三送会	4月～3月	15	205
市民企画会	講座企画のノウハウを学び、地域課題や現代の多様なニーズに対応可能な講座の企画し運営した。話し合い、実践講座開催、振り返り	6月～3月	9	21

宮城西市民センター

〔沿　革〕

宮城西市民センターは、昭和 51 年 4 月に宮城町西部地区公民館として開館した。その後、昭和 62 年 11 月 1 日宮城町が仙台市と合併して仙台市宮城西公民館となり、平成 2 年 4 月 1 日から仙台市宮城西市民センターと改称した。その後、施設の老朽化に伴い平成 22 年 8 月から一時休館して改築工事を行い、平成 24 年 7 月に新たに開館した。

当市民センターは、宮城地区西部の自然環境に恵まれた緑豊かな山間地に位置している。近年過疎化が進み、少子・高齢化の現状にあるが、地域の活性化を図るため町内会・老人クラブ等の各種団体と連携を密にして社会情勢の変化に伴う学習要望に応え、地域住民と共に歩む生涯学習を推進している。また、地域住民の自主活動の場、交流の場として広く利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★自主防災活動を推進するための「防災・減災学び塾」		
参加者	熊ヶ根・大手門・下倉の各町内会、 広陵中学校生徒	延参加者	256 人
開催日	全 5 回 6 月 4 日（土）、6 月 18 日（土）、7 月 2 日（土）、7 月 16 日（土）、10 月 8 日（土）		
協力者・ 協力団体	熊ヶ根町内会、大手門町内会、下倉町内会、広陵中学校、宮城消防署熊ヶ根出張所、 宮城消防団上愛子分団熊ヶ根部、仙台市公共施設マネジメント推進課		
ねらい	平成 27 年初めに、当市民センター周辺地区は、大規模な土石流の発生が懸念されると新聞に発表されたが、実際に同年 9 月 11 日の豪雨により大きな被害を受けた。その影響もあり町内会はじめ地域の住民の中で自然災害に対する警戒心が高まりつつある。そこで、各町内会と諸団体が協力して防災･減災の知識の習得や避難所運営訓練を体験することで、災害時には安全に避難し、且つ円滑な地域連携につなげることを目的とする。		
概要・成果	本講座は、全 5 回開催のうち最初の 2 回は座学として、災害時に身を守る「自助」についての講話と訓練当日のシナリオ作りなどを行った。訓練では、発災後のいっとき避難所への参集訓練、指定避難所開設・運営訓練、仮設トイレ組立やアルファー米炊出しなどの個別訓練を行った。さらに、4・5 回目では、サバイバル飯（サバ飯）作り体験を行った。 今回で 2 回目となる訓練の実施により、発災時の初動から指定避難所での活動に至るまでの一連の流れを把握することができた。また、サバ飯作り体験を加えたことにより、マンネリ化しやすい防災訓練に変化をつけることができた。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子ふれあい教室	水道記念館見学と青下ダム散策・豆沢川散策・仙台高専教育技術支援室職員による液体窒素の実験・国際交流（スリランカについて学び、国の料理を作って試食）・小正月行事（団子さし体験）	6 月 11 日 8 月 6 日 9 月 17 日 12 月 10 日 1 月 14 日	5	110
インリーダー研修会	子ども会リーダーの児童および世話人対象の子ども会活動についての知識を教える研修・ジュニアリーダーとの室内と野外でのゲーム実技	7 月 30、31 日	1	80
仙台・作並「回文かるた大会・回文教室」	回文教室（回文クイズ、回文パズル、回文作り）と回文かるた大会を実施した。また回文鍋も作り参加者の交流を深めた。	1 月 21 日	1	21
中学生のハローワーク～広陵中編～	広陵中全校生徒対象に職業教育の講話を行った。仙台市教育委員会文化財課　工藤信一郎氏による講話・仙台市天文台職員　岩崎仁美氏による講話	8 月 24 日	1	57

自然体験教室	植物観察（二口遊歩道、白沢五山）・自然散策（神掛林道、サイカチ沼）・川歩き（豆沢川）	5月27日 6月10日 7月29日 9月30日 10月21日	5	72
出前講座	手軽にできる洋風レシピ・歌の練習:カラオケと南京玉すだれで楽しく健康に・工芸：ブドウの樹皮で作るペンダント・エコクラフト工芸・お正月に役立つ簡単和風料理・布で作る通帳ケース・軽体操など	6月25日 ～3月8日	8	143
地域の先達に聞く「宮城西部地区今昔物語～熊ヶ根周辺～」	地域在住の高齢者から思い出話を交えた当時の話を聞き、地域について学ぶ機会を提供した。仙台市博物館共催「仙台市史講座」。地域を歩いて地域再発見。	8月10日 9月14日 10月5、23日 11月9日	5	131
市民企画講座「宮城西部地区再発見！」『宮城西部地区今昔物語～熊ヶ根周辺～PartⅡ』	地域講師によるパネルデスカッション。参加者を交えての意見交換会	2月16日	1	38
女性教養講座	リサイクル手芸、ニュースポーツ、地域内施設見学、コンサート、料理、手芸（編み物）、市民まつりへの作品展示等を実施し、地域内の女性の活動の幅を広げると共にコミュニティ作りの一助とした。	6月～3月	9	86
老壮学級	高齢者の交通安全について、コンサート、歴史講座、健康体操、新聞ちぎり絵、新春初笑い、懇談会、市民まつりへの作品展示等、多岐に渡る内容を学習し、高齢者の生き甲斐作りや交流を深める機会とした。	6月～1月	7	360
地域交流研修会	地域で中心として活動する諸団体の代表及び役員を対象に「世代をつなげて地域の未来を考える」をテーマにグループワークと講話を実施。地域課題について意見交換した。	2月25日	1	72
宮城西市民まつり	演芸発表・作品展示・食品バザー・伝承遊び・野菜即売・ジュニアリーダーコーナー・フリーマーケット等	11月23日	1	2,483
★宮城西地域懇談会	地域課題、地域ニーズを把握し、今後の市民センター事業や施設運営に役立てる事を目的とする。宮城西部地区15町内会、各種団体との情報交換会等	7月～3月	4	143
高齢者を見守るまちづくり	東北文化学園大学教授　野﨑瑞樹氏を講師として高齢者の見守りの仕組みや実例を学んだ。見守りに関する相談窓口として地域包括支援センター職員や青葉区社会福祉協議会宮城支部職員からの説明を聞いた。	6月24日 7月15日 8月19日 9月16日	4	106
ゆかいな森の広場	巡回写真展「西部地区の輝き」3回　場所：水道記念館・作並湯の駅ラサンタ・大倉ふるさとセンター・地域の音楽団体によるコンサート・地域の幼児対象の映画会	7月21日 ～1月27日	6	255
平成28年度生涯学習活動発表「みやぎ学習フェア」	宮城地区で活動しているサークル等が日頃の活動の成果を広瀬文化センターで発表した。宮城地区内の市民センターが連携する事で、宮城地区の絆を強めると共に学習フェア全体を活性化を図った。	2月19日	1	1,324
市民企画会議「宮城西部地区の魅力再発見！」	講座内容の打合せ・講座準備・講座開催	11月9日 1月18日 2月15、16日	4	7

大沢市民センター

〔沿　革〕

大沢市民センターは、平成２年５月、青葉区の西北部、田園地帯や緑多い丘陵地帯など豊かな自然環境の中に、児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

古い史跡が点在する歴史ある地域としても知られ、古くからの村落と成熟化が進行する団地、開発が進む新興団地が混在する中、若い世帯の増加が著しく更に発展が見込まれる。こうした地域状況を背景に市民センターとしての機能を活かし、地域住民の活動・交流の拠点として、社会変化に伴う市民のニーズに対応する生涯学習事業を展開している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**ブックトークボランティア養成講座**		
参加者	地域住民	**延参加者**	65 人
開催日	全５回　８月 31 日(水)、９月７日(水)、９月 21 日(水)、10 月５日(水)、10 月 26 日(水)		
協力者・協力団体	泉図書館		
ねらい	大沢地域内小学校からのブックトーク指導者育成の要望に応え、また読書推進活動の一環として、ボランティアの養成講座を実施する。また、学んだ成果を地域活動に活かせるように支援を行う。		
概要・成果	平成 27 年度実施のブックトーク入門講座に引き続き、地域で活動するブックトークボランティアを養成する講座を行った。受講生の学習意欲が高く、生涯学習の貴重な機会を提供することができた。また、実際に小学校で実演発表を行うことができ、ボランティア活動への意識の向上につながった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おやこフェス	地域の各団体がそれぞれの得意分野を活かし、乳幼児親子が気軽に参加できる催しを実施することで子どもの健やかな育ちを支援した。	11 月 11 日	1	81
インリーダー研修会	1 泊研修会で、自然と触れ合いながら集団行動体験を通して、リーダーとしての心構えやスキルを学んだ。	７月 30、31 日	1	82
子どもお楽しみ体験講座	親子で参加の天体観望会や夏にアウトドアクッキング、日本の伝統文化、茶道などを体験した。	５月 20 日 ７月 22 日 ９月 10 日 12 月 17 日 １月 28 日	5	410
職場体験	大沢中、広瀬中の２年生に職場体験学習の場を提供した。	９月 13、14 日 11 月 15、16、17 日	2	8
地域の達人に学ぶ	地域の達人から、伝統食（豆餅、ばっけみそ、豆腐づくり）を学んだ。	２月３、10 日 ３月３日	3	42

大沢農学校	昨年度から継続して参加している受講生がグループリーダーとなり、受講生同士協力して畑の土作りから収穫、調理実習を行った。	4月～11月	15	174
歩いて・写そう！大沢地域探訪	地域の里山～蒲沢山～を写真撮影しながら散策し、撮影した写真を館内に掲示した。	6月2、9日 10月27日 11月10日	4	41
老壮大学「大沢朗々学園」	地域の高齢者を対象に一般教養や高齢者の健康維持について学び、変化する社会情勢に対応する知識を得る機会を提供した。	5月19日 ～3月16日	9	358
ようこそ！大沢いきいきサロン	市民企画会議で出された高齢化による地域の現状を踏まえ、健康や地域交流をテーマに誰でも参加できる内容の講座を実施し、高齢者の地域でのコミュニティづくりを図った。	9月27日 10月25日 11月29日 12月20日	4	108
★大沢地域防災講座	女性目線から災害時に備えるための心構えや、被災時に役立つ防災食作りなどを学んだ。また学習したことを生かし、婦人防火クラブが講師となり、幼児親子向けの講座を実施した。	12月1日 1月17日	2	34
大沢地域出前講座	地域の諸団体と連携して、地区のニーズに合った講座を展開し、生涯学習の場を提供した。	7月14日 8月3、9日 2月15、21日	5	94
スポーツで地域交流「大沢・川前グランドゴルフ交流会」	大沢小学校を会場にグラウンドゴルフで、大沢・川前両地区住民が交流を行った。	9月4日	1	53
大沢・川前交流ネットあがれ！天旗	地域の児童館３館で凧作りの出前講座を行い、参加者拡大と地域ぐるみのイベントとしての定着を図った。また、実行委員会が自主的な事業運営をできるよう継続し支援を行った。	12月3、21日 1月5、15、 22日	5	224
大沢市民まつり	地域の団体、個人、小中学生による展示、舞台発表等が行われ、まつりを通じて地域住民が交流した。	10月15、16日	2	1,400
みやぎ学習フェア	宮城地区で活動しているサークル・団体が日ごろの活動の成果を広瀬文化センターの大舞台で発表した。	2月19日	1	1,300
大沢地域懇談会	地域の町内会、学校、諸団体を対象に市民センターの事業内容及び運営に関する意見交換や、地域情報の収集を行った。	7月1日 2月24日	2	51
市民企画会議「高齢者のための健康維持講座」企画会	男女５人が企画委員となり地域の高齢者の健康増進や交流を目的とした講座企画会に向け話し合いを行った。	5月25日 6月8、30日 7月21日 9月16日 12月20日	6	29

落合市民センター

〔沿　革〕

平成6年に開館した落合市民センターは、広瀬川、膏勝川、蕃山などの自然環境と、仙山線（陸前落合駅）、国道48号線仙台西バイパス、作並街道という交通環境に恵まれた地域にある。また、宮城県立こども病院をはじめとする医療機関、栗生小学校、宮城県宮城広瀬高等学校などの教育機関、宮城消防署などの公共施設、大型商業施設も整備され、さらに平成27年には復興公営住宅が完成し、人口が増加している地域でもある。

こうした地域環境の中で、当市民センターは開館以来、施設利用および生涯学習講座等を通じて、地域コミュニケーション活性化、まちづくり推進の拠点として広く地域住民の方々から愛され、利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎：地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	宮城広瀬高等学校連携事業「いってみよう！やってみよう！広高タイム」		
参加者	小学生・地域住民	延参加者	431人
開催日	全6回　7月26日（火）、7月27日（水）、9月3日（土）、10月9日（日）、12月23日（金）、2月3日（金）		
協力者・協力団体	宮城広瀬高等学校		
ねらい	管轄地域に中学校がない当センターとしては、地域の高校との連携はとても重要である。高校の持つ人材・設備・ノウハウを活用し、地域と学校が交流できる機会を提供する。 また、高校生が学校の中だけでは経験できない場を提供することにより、ボランティア精神を育む。		
概要・成果	広高生が講師となって、「みんなで卓球」、「広高祭へ行こう」、「落合栗生地区まつり参加(スライムづくり)」、「書初めに挑戦」、を開催した。また、広高美術部・書道部・写真部の生徒によるロビー展示を約一か月間開催した。 高校生にとって、小学生や地域住民を対象に講師として指導することを通し、地域住民と交流を深め、ボランティア精神を養うことができたことは、今後社会人へと成長していくうえで、良い経験となった。 また、広高と市民センターが連携して事業を企画し、実施することで、相互交流につながり、地域に連帯感が深まった。		

〔平成28年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子であ・そ・ぼ！	地域の児童館と連携し、情報を共有することで、地域ぐるみの子育てに有効な内容とすることが期待でき、他の小学校・他の学年の子どもと一緒に協力して行う楽しさ・達成感を体験する場と、不足しがちな親子のふれあいの機会を提供し、より良い親子関係を築く一助とした。ニュースポーツ、木工体験、バレンタインチョコ作りを実施した。	6月18日 8月20日 2月4日	3	81

●わくわく子育てひろば	親子があそびやふれあいを通して、のびのびとできる機会を提供し、参加者同士が情報交換や、安心して子育てができるような学びの場とする。リズム遊び・おやつ作り・手作りおもちゃ・ママ企画では先輩ママとの交流会、体操、クリスマスツリーづくりを実施した。	5月12、26日 6月9、23日 10月20日 11月10日 12月10日	7	80
インリーダー研修会	子ども会の子どもとその世話人を対象に、1泊2日で館内研修、野外研修、夜間研修を実施。講話「インリーダー研修会とは」「危険予知トレーニング」「理想のリーダー像」「現代の子どもと子ども会」　実技「自然体験ゲーム」「キャンドルファイヤー」	7月30、31日	1	89
★落合栗生実年学級	地域の高齢者がこころ豊かに、生きがいを持って暮らしていけるように健康、教養を中心とした学習の場を提供した。また、受講生同士の交流と親睦を図った。健康・文学・音楽・料理・歴史・運動など。	5月19日 ～3月2日	11	391
●七夕かざりをつくろう	地域の人たちが、いっしょに七夕かざりをつくることにより、市民センターのロビーから「地元の七夕かざり」を発信し、より一層交流の輪を広げた。七夕についての講話、七夕七つかざり作成、七夕の飾り付け、反省会を実施した。	6月10、17、24日 7月8、15、16日 8月5日	7	84
健康づくり～自分のために、家族のために	「貯『筋』生活始めましょう」をテーマに、ストレッチとウォーキング、筋肉を作る食事について調理実習、最終回にインナーマッスルとその鍛え方について学んだ。	10月28日 11月11、25日	3	52
職場体験学習	宮城広瀬高校の就職希望者を3日間インターンシップとして受け入れ、生涯学習、施設管理、日常業務を体験してもらった。	7月26、27、28日 3月14、15、16日	6	15
★●復興公営住宅防災講座	復興公営住宅の入居者を対象とした防災講座を実施することで防災対応力の強化につなげた。避難・点呼・消火・炊出し訓練、応急手当・ＡＥＤ操作講習会を実施した。	9月4日	1	74
落合栗生ふれあい工房	あけびのつるを使って小かごとランプシェードを編み、ヒマラヤシーダで小物を作製。最終回にヒマラヤシーダの置物の仕上げを地域の福祉施設の通所者の高齢者と共同作業した。	8月26日 9月2、9、16、30日	5	60
市民企画会「わが青春の思い出～戦争の記憶を交えて」を活用した講座の企画	受講生各自が作成した文章をまとめ発信し、かつそれを活用して戦争体験と平和の大切さを地域に住む次世代に語り継ぎ、その記憶を未来に継承させる内容の講座を企画した。	4月23日 5月5日 12月22日 1月12日 2月15日 3月8、17日	7	50

市民企画会議　食について考えようプロジェクト	昨年の学習を基に、学生ならではの講座を企画し、社会に発信する機会とし、企画内容の検討や講座の進め方、準備について協議し、振り返りを実施した。	4月24日 5月29日 6月25日 7月24日 8月19日 11月26日 1月14日 1月15日	8	26
★●◎地域力創造支援事業　落合復興公営住宅出前講座「復興公営住宅におじゃまします」	復興公営住宅への出前講座と懇談会を実施し住民相互、周辺町内会や地区社協等の顔の見える関係の構築を図った。防犯講話、漫談、牛乳パックでイスづくり、七夕かざりづくり、クリスマスコンサート他と併せ、お茶っこ交流会も実施した。	6月12日 ～2月12日	9	189
落合・栗生地区まつり	市民センター利用サークルや地域住民・団体に学習成果の展示や発表の場を提供し、交流と親睦を図った。また、市民センター事業を地域住民に周知すると共に、来館してもらう機会を提供する。舞台発表・作品展示・出店、こども広場、本のリサイクルコーナー、フリーマーケットを実施した。	10月9日	1	1,200
平成28年度生涯学習活動発表会「みやぎ学習フェア」	宮城地区で活動しているサークル・団体が、舞台発表を通して各団体の活動を紹介することにより出演団体への新たな加入者を増やし活動の活性化を図り、貴重な伝統芸能の伝承の場とした。宮城地区内を活動拠点とするサークル・団体と市民センター主催事業の成果発表を実施した。	2月19日	1	1,324
★●地域懇話会	市民センターと連合町内会をはじめとする各種団体、機関が一堂に会する機会を設けて協議することにより、地域課題の共有と課題解決への方向性について意見交換をした。	6月23日 11月5日	2	50
市民企画講座「追憶・戦争の時代～広瀬村を語る」	市民企画会議「わが青春の思い出～戦争の記憶を交えて」の企画員が綴った冊子「戦争の時代～広瀬村の子どもたち」を後世に伝えるために企画した講座を実施した。	3月17日	1	120
市民企画講座「作ろう・食べよう・ずんだスイーツ」	昨年度、中高生が食育をテーマに学び、今年度はその学びを発信するための企画会議を重ね「ずんだ」を題材とする講座の企画に至った。企画員である中高生が講師となり、地域講師から学んだ伝統のずんだ料理と、自ら考案したオリジナルずんだ料理を地域の小学生と一緒に作ることで、伝統料理の伝承と食文化への関心を高める機会を提供した。ずんだの由来についての講話とずんだ餅、ずんだシェーク、ずんだレアチーズケーキ作りを実施した。	8月21日	1	8

吉成市民センター

〔沿　革〕

吉成市民センターは、仙台市北西部の吉成と南吉成の小学校区中間位置に、市内 51 番目の市民センターとして平成 8 年 4 月に、児童館及びコミュニティ防災センターを併設しオープンした。当該地区は住宅地と商店街が共存し、市内北部と西部を結ぶ交通の要衝となっている。

当市民センターは、吉成小学校区と南吉成小学校区の 2 連合町内会を対象地域としている。現在、高齢化率の上昇に伴って、利用件数や利用者数も増加傾向にある。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	吉成チャイルドスクール		
参加者	小学生	延参加者	104 人
開催日	全 9 回　7 月 28 日(木)、8 月 23 日(火)、9 月 17 日(土)、9 月 21 日(水)、9 月 28 日(水) 10 月 5 日(水)、10 月 12 日(水)、10 月 15 日(土)、12 月 3 日(土)		
協力者・協力団体	吉成児童館、仙台青陵中等教育学校 科学部・ロボット同好会 管理栄養士 佐藤京子氏、ハネコ・はねこ		
ねらい	少子化や核家族化、メディアの発達により子どもたちの体験不足、コミュニケーション不足が懸念される中、学校や学年を超えた、学校では体験できない総合学習の場を提供する。また児童館との共催により、内容の充実と更なる広報の拡充を図る。		
概要・成果	科学実験（1 回)、ロボット・プログラミング（1 回)、調理体験・食育（1 回)、すずめ踊り（連続 6 回）を実施。子どもたちが講師と出会うことで今まで知らなかった知識、生き方、価値観に触れることができた。また、異なる学年・性別の児童と交流することにより、コミュニケーションの経験を積み、自信につながった。加えて、講座を通して、子どもたちの「学ぶことへの意欲」が高まった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
がんばるママのリフレッシュタイム	タイ式ヨガやフラワーアレンジメントで子育てママの心身のリフレッシュを図り、児童館職員による親子ふれあいあそびで親子一緒の時間も楽しんだ。託児は地域のボランティア団体が担当した。	6 月 16、30 日	2	19
インリーダー研修会	現 5 年生を対象に危険予知トレーニングやジュニアリーダーとゲームを体験。また世話人向けとして子ども会への理解を深める研修や情報交換を行った。	2 月 4 日	1	34
★ふうふの時間	夫婦で一緒に街歩きや茶道体験、健康体操や防災ゲームを行った。夫婦で共通のテーマに取り組み同じ時間を共有することにより、互いを思いやる気持ちが生まれ、夫婦のこれからについて考える良い機会となった。	10 月 21 日 11 月 1 日 12 月 2、16 日	4	52
いっしょに学ぼう！介護とサービス	国見ケ丘地域包括支援センターと連携して、若い方から高齢者までが意欲的に介護の知識と技術を学んだ。3 回目はせんだんの杜リベラ荘を会場に、キャップハンディ体験をした。	11 月 22、29 日 12 月 6 日	3	42

仙台の歴史を歩こう「春編・秋編」	春編では国見ケ丘を起点に大崎八幡宮、石切町、牛越橋から仙台城三の丸までの築城時の石の運搬ルートを、当時のまま残されている石を検証しながら辿った。秋編では、城を囲む石垣や仙台の町割り、仙台城について講話と現地調査、博物館見学・学芸員の解説も含めて更に深く学んだ。	5月18、24、31日 10月26日 11月2、9日	6	73
市民企画講座「覚えて伝えよう～身近な素材の活用術」	花壇のマリーゴールドを使って草木染体験、新聞紙のカラー広告面を使ったコサージュづくり、野菜クズを使ってスープづくりなど、普段捨てられてしまう身近な素材の意外な使い方について学んだ。草木染とコサージュは市民センターまつりで発表し地域の方に成果を披露した。	9月13日 10月5、19日	3	43
老壮大学「きらめきスクール」	健康・教養・歴史講話や健康体操、ミニコンサートなどさまざまな学習テーマを提供し、高齢者の学びや交流に役立てた。	5月13日 ～2月17日	10	484
みんなのコンサート	地域にある吉成小学校・吉成中学校・南吉成中学校・仙台青陵中等教育学校・東北福祉大学の吹奏楽部による合同演奏会を開催し、子どもたちの年齢を越えた交流や地域住民との交流を深めた。	1月21、22日	2	420
青陵の森を楽しむ	学校の敷地内にあることから出入りに制限のある青陵の森で、仙台青陵中等教育学校吹奏楽部と合唱部によるコンサートと、青陵の森愛好会のガイドボランティアによる散策を楽しんだ。	5月14日	1	36
★災害に備えて一自助力アップ	吉成地域婦人防火防災クラブと連携して、ビニール袋（アイラップ）を使った調理実習や防災・減災教室でのワークショップを実施した。災害に備えるために、何ができるかについて積極的に学んだ。	6月25日 7月30日	2	21
複数年事業企画「元気いっぱい街づくり・人づくり」	出前サロンの実施や各種団体の世話人へ講師紹介などの支援、専門機関との仲介・調整などを行うとともに、地域人材情報の把握に努めた。	6月16日 11月19日 2月6、10日	6	75
ニュースポーツ交流会	吉成、南吉成地域の両学区民体育振興会と児童館との協働で小学生から高齢者までニュースポーツを通して交流した。南吉成学校地域支援本部の協力で、南吉成中学校の生徒や、吉成中学校の吉ボラ隊の参加もあり活気のある交流会となった。	6月18日 11月19日	2	70
★吉成市民センターまつり	市民センターを利用している各種サークルや地域団体の学習発表や児童生徒によるステージ発表、作品展示、お茶席などを行った。	10月15日	1	700
吉成・南吉成地域懇談会	地域の青少年の健全育成に関わっている団体の代表に集まっていただき、それぞれが持っている課題や取り組み、連携の在り方について情報交換した。また市民センターとしてもどのようにかかわれるかについて意見交換した。	5月25日 2月2日	2	66
市民企画会議「よしなり企画会」	世代を越え地域住民同士がともに学び交流を図ることができる事業を企画・運営した。	5月～11月	9	27
春のサークル体験会	当市民センターを拠点にして活動しているサークルやボランティア団体に呼びかけ24団体の参加を得て実施した。会員の新規加入とサークルの活性化に役立った。また地域住民へ学習情報の提供ができた。	4月～5月	10	25

宮城野区中央市民センター

〔沿　革〕

宮城野区中央市民センターは、市内 60 番目の市民センターとして、平成 24 年８月に開館した。同施設は宮城野区文化センター、宮城野図書館、原町児童館及び宮城野区情報センターが設置されている複合施設である。当市民センターは多くの人々が行き交う宮城野区役所やＪＲ陸前原ノ町駅に隣接しており、宮城野区における生涯学習の拠点、市民の交流拠点、地域づくりの拠点として、市民活動室なども含め、幅広いニーズに応える施設を備えるとともに、さまざまなテーマの講座やワークショップなど、多様な学びの機会を提供している。

地域の多様な活動を担う人材の育成や地域の諸団体と関係機関とのコーディネート、地域情報の収集･提供などを行うことにより、市民自らが地域課題に向き合い、住み良いまちづくりに取り組むことができるよう支援を行っている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	●ウェルカムひろば		
参加者	1 年以内に転入してきた 子育て中の乳幼児親子	延参加者	86 人
開催日	全 2 回　　7 月 1 日(金)、12 月 9 日(金)		
協力者・ 協力団体	宮城野区家庭健康課、原町児童館（のびすく宮城野)、宮城野図書館 ＮＰＯ法人アミューズおひさま（おひさまキッズ)、原町地区主任児童委員 宮城野地区主任児童委員		
ねらい	宮城野区中央市民センター周辺に 1 年以内に転入してきた乳幼児親子を対象に、原町・宮城野地域の子育て支援関係団体が協力して、新しい土地での子育て支援団体の紹介や情報提供を行う他、子育て中の転入者同士が気軽に話し合う場を提供し、仲間作りを促し子育て中の親の不安解消と孤立化を防ぐことをねらいとする。 また、地域の子育て支援関係団体と共催することで、地域での子育て支援のネットワークの強化を図ることを目的とする。		
概要・成果	導入として各子育て支援団体の活動の紹介を親子手あそびなどを含めながら行い、参加者が和やかな雰囲気になったところで、それぞれ子どもの年令別でグループを作り、親同士のおしゃべり情報交換を行った。 子育て中の親にとっては、様々な情報を得ることができ、不慣れな土地での子育ての不安解消につながっている。 また、共催団体としても、開催までの数回の打合せの中で地域での子育て支援団体同士の情報交換が図られ、お互いに顔が見える関係づくりにつながっている。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おやこでチャレンジ１・２・３！	小学生の親子を対象に土曜日や夏休みなどに調理２回、ものづくり（藍染め、UV レジン）を実施した。	7 月 27 日 8 月 3 日 1 月 21、28 日	4	115
地域が伝える平和学習	原町小学校の６年生の児童を対象に、地域の戦争体験者から戦中戦後の学校や家庭での様子、空襲時の体験などをうかがった。	12 月 7 日	1	85
●すずむしの里　宮城野	管内３小学校へのスズムシの出前授業の実施。宮城野区役所前でのスズムシ配布会の開催、また今回は追加開催として宮城野小学校でスズムシの冬越しの出前授業を２年ぶりに実施。	7 月 13、14、29 日 8 月 26 日 12 月 8 日	5	575

ジュニアとあそぼう！	原町夏祭りへの参加、原町児童館との共催で、ラッシュアワーやガッチャン等のゲームを企画・運営、実施。	8月13日 1月6日	2	225
インリーダー研修会	原町小、宮城野小、東宮城野小の次年度子ども会の中心となる５年生と世話人を対象に年間プログラムの作成やゲーム体験、心構えなどについて学んだ。	2月4日	1	41
宮城野中学校職場体験	宮城野中学校の２年生３名を職場体験として受け入れ、センターの業務や接遇について学ぶと共に講座企画体験や運営の手伝いを通して社会学習体験をした。	8月23、24、25日	1	3
市民企画会議「原町キッズもりあげ隊」	地域に根付いた企画を考え、地域をもりあげるための企画会議の開催と原町 PR ビデオの作成のための取材や録音・まとめ等	5月21日 ～2月26日	11	73
高校生がやって来る!	仙台大志高等学校のイラスト部、仙台城南高等学校自然科学部・からくりロボット部と有志の生徒が指導者となり、部活動等で取り組んできたことを体験学習をとおして小学生にわかりやすく学んだ。	8月2日 10月22日 12月24日	3	40
★女性のための防災力 UP 講座　in　宮城野	避難所運営ワークショップ、宮城野区の防災・減災の現状、子育てママの活動に学ぶ、一般市民を対象にした「みやぎの防災のひろば」での活動報告、非常持出し袋の展示、防災減災ゲームの体験、簡単非常食の試食を実施。	10月25日 11月15、29日 3月5日	4	110
みやぎの大学	６０歳以上の高齢者を対象に、健康体操、音楽鑑賞、館外学習、運営委員自主企画など様々なジャンルの講座を月１回実施した。	4月12日 ～3月14日	11	1,022
原町小学校地元学	原町小学校児童（３年生、４年生、５年生）を対象に、各学年それぞれの地域学習に地域講師を派遣しお話を聞いたり、職場体験を実施した。	7月15日 10月25日 11月16、29日	4	174
★みやぎの出前サロン	宮城野と卸町復興公営住宅を対象にコンサートと交流茶話会を出前開催し、地域住民の生活や活動の支援を行う市民センターや団体を紹介した。	12月15日 2月16日	2	43
「遠野物語と佐々木喜善」エピソード1	遠野物語のもう一人の作者である佐々木喜善が仙台の清水沼で最後を迎えるに至った経緯や、仙台に所縁のある作家との交流などについて学んだ。	2月18日	1	82
市民企画講座「原町キッズもりあげ隊夏の陣・冬の陣」	市民企画で考えた夏まつりで、手作り縁日の出店と企画会議で作成した原町 PR ビデオのお披露目会・交流会	8月13日 12月11日	2	125
●ゆったり体操フェスタ	高齢者の多い、原町・宮城野地域を元気にするために、シニア・ミドル世代を対象に、体操の紹介や健康講話、昼食会での大人の食育講話などを行った。	6月29日	1	61
★●宮城野区中央市民センターまつり　M フェス	センター利用者や地域の団体で構成する実行委員会が中心となって、舞台・展示・出店の部門に分かれて学習成果の発表を行うとともに地域住民の交流を図った。	11月12日	1	1,800

市民センター　四季コンサート	文化センター１階のロビーを会場として、平日の昼にどなたでも気軽に集える場としてシーズン毎のコンサートを行った。	8 月 24 日 10 月 26 日 12 月 22 日 2 月 17 日	4	450
★ティールーム@原ノ町駅前	月１回の割合で、どなたでも気軽に参加できる手工芸や体操などのミニ講座と茶話会を開催した。センター事業の PR の場になると共に、地域情報や身近な住民の意見を吸い上げる場でもあった。	5 月 12 日 ～2 月 8 日	14	237
★宮城野区中央市民センター　地域懇談会	1 回目は町内会や学校、地域で活動する主な団体を対象に開催。2 回目は宮城野地域で活動する**女性**を対象に開催。情報収集や意見交換を行い、その中から吸い上げた地域特性や課題を把握した。	6 月 2 日 3 月 8 日	2	25
ジュニアリーダー定例会	毎月第２土曜日に開催。子ども会や地域からの要請や研修会等の確認や報告、自主企画などの検討を行った。	4 月 9 日 ～3 月 18 日	12	124
宮城野原案内人養成講座	実践的ガイドの実施(2 回)、ガイドボランティアとして人に伝えるための話し方、歴史から探る宮城野の魅力の講話を実施した。	5 月 17 日 8 月 6 日 2 月 15 日 3 月 10 日	4	202
「わたしの宮城野」制作委員会	宮城野原案内人の会が今まで作成した記事を生かし、新しい地域の魅力を発信するための冊子をまとめた。さくら編、暮らし編、市電編。	4 月 20 日 ～3 月 15 日	12	134

生涯学習支援センター

〔沿　革〕

仙台市の公民館は、昭和 21 年に在仙文化人有志による民間団体が主体となって設置されたのが始まりで、昭和 24 年に仙台市公民館条例が制定され、行政機関としての「仙台市公民館」が発足した。その後、各地域の公民館設置とともに、昭和 48 年には「仙台市公民館」を「中央公民館と」改称。昭和 58 年には榴岡図書館とともに現在地に開館し、平成元年には「中央市民センター・公民館」となり、翌年には「中央市民センター」と改称した。さらに平成 26 年 4 月より「生涯学習支援センター」と改称し、仙台市の生涯学習支援体制の充実・強化を図った。

当センターが位置する仙台駅東口周辺は、高い利便性を生かした企業や学校、マンションが混在するとともに、古い歴史ある地域としての顔も併せ持っている。こうした立地条件から、市内各方面からの利用者や夜間の利用頻度も高く、多様な学習活動、市民活動が活発な状況となっている。

なお、施設機能の見直しに伴い、当センターにおける地区館事業は、平成 26 年度より近接する榴ケ岡市民センターの出前講座として実施している。

高砂市民センター

〔沿　革〕

高砂市民センターは昭和 43 年、高砂小学校校舎を改築し高砂公民館として発足した。昭和 53 年宮城県沖地震で建物が大破し隣接する前高砂小学校給食センターを改築、昭和 54 年に移転した。平成元年「高砂市民センター・公民館」、翌年「高砂市民センター」と改称、その後平成 6 年高砂地区の中心部に複合施設として新たに開館した。

この地区は、七北田川、貞山運河、蒲生干潟、そして南部には広い田園地帯が広がっている自然に恵まれた地域である。また、東北の海の玄関口、物流の拠点である仙台港を配し、背後地には大型商業施設等の進出も相次ぎ、急激な都市化が進んできたが、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災により、沿岸部が津波で甚大な被害を受け、中野地区は仙台市災害危険区域条例に基づき災害危険区域に指定され移転対象地区となった。地区内の 4 町内会は解散し、多くは田子、上岡田、南福室に移転した。

（★：震災を踏まえた事業　●：区役所との連携事業　◎：地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★市民企画委員会「中野ふるさと学校」		
参加者	成人	延参加者	278 人
開催日	全 24 回　4 月 22 日(金)～3 月 20 日(月)		
協力者・協力団体	宮城野区中央市民センター （住民参画・問題解決型学習推進事業「地域の絆再生プロジェクト」）		
ねらい	平成 23 年 3 月東日本大震災で甚大な被害を受けた中野地区の 4 町内会（和田・西原・蒲生・港）は平成 27 年度に解散し、新たな地域での復興も始まり地域住民は故郷を離れそれぞれ再建を図ってきている。そこで、これまで築いてきた地域の歴史や文化を大切にし後世に伝えるとともに、懐かしい人たちが再び会える場作りを通して心の復興を支え、移転先のコミュニティにおいて新しい絆を築いていくための企画を委員会で検討する。		
概要・成果	東日本大震災により失われた中野地区の歴史や文化、生活体験等をもとに、それらを後世に伝える活動と震災の被害状況を地域の内外に伝える活動を企画した。 外部団体と協力して旧中野地区住民たちが再び集う場を作りと心の復興を支えるためのイベントの企画・運営を行った。 平成 27 度作成した地図模型を仙台市科学館で行われたイベントに展示、本年度作成した東日本大震災前の蒲生日和山ジオラマを各イベント等で展示することで、旧中野地区について、広く伝える機会を持つことが出来た。 この活動や事業成果発表会に参加し、広く活動を知ってもらう機会をもつことで受講者は自主活動を行うなど、市民センター事業と協働できる人材育成につながっている。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
★高砂子育てサロン～子育てママの元気塾～	地域に住む子育て世代と転入者が交流できる場の子育てサロンを開催した。【実技】親子ビクス/平日フェス育児ブース体験/　乳幼児の救急救命教室/・人形劇鑑賞会【出前教室】３Ｂ体操	5 月 12 日 6 月 9 日 7 月 18 日 8 月 18 日 10 月 20 日	5	84
地域小学校連携講座「夏休み学びの講座」	地域の小学校と連携して児童・保護者が参加する講座を市民センターを活動拠点としているサークルや各種団体と連携し開催した。 【教室】ペットボトルロケット教室/新体操/昔かたり/そば打ち教室/書道教室	7 月 26、27、29 日 8 月 1 日	6	117

中学生職場体験活動受入	社会教育施設の職場体験を実施した。 【講話】市民センターの設置目的について 【演習】生涯学習事業の企画 【実技】・講座運営体験・施設管理業務の体験等	11月9～11日 11月15～17日	2	9
宮城野区インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人のスキルアップを図った。 【講話】子ども会について【知識情報交換会】 【世話人講習会】【実技】・行事企画・レクリエーションゲーム等の学習	2月18日	1	24
いまから健康人生	市民が生涯を通じて健康でいきいきと活動できることを目的として実施した。 【実技】体力づくり（太極拳教室・運動教室） 【講話】生活習慣病の発症の予防講話他	5月～3月	11	203
高砂老壮大学	地域の高齢者が生涯において活き活きと暮らすために実施した。 【自主企画】演芸会・交流会 【鑑賞会】音楽/演芸 【講話】健康講話/歴史講話【運動教室】他	5月～2月	10	718
★●◎地域力創造支援事業 「新浜たんぼ学校」	町内会・地域諸団体が主体的に稲作農業体験を実施し、地元住民と交流していくことで新浜地区の活性化を図った。【地域交流会】【写真展】 【実技】田植え・成長観察・稲刈り・伝統行事体験【地域事業報告会】	4月24日 5月22日 6月11日 8月7日 10月2日 12月18日 11月25日～ 12月3日	7	429
★三館共催事業「七北田川・梅田川の水害を考える」	高砂地域の七北田川・梅田川の水害に関する地域情報の共有を図り、情報交換、川の水害の歴史を学んだ。【講話】「昨年の大雨水害について」・「現代の異常気象と川」・「七北田川・梅田川の治水の現状と対策」	9月3、10、17日	3	158
★高砂サローネ・カフェコンサート	復興支援団体と協力し、地域の交流の場としてイベントを開催した。 【コンサート】佐賀県文化箏/クリスマスコンサート/ダーツ交流会/兵庫県/広島県和ロック他	5月18日 10月1、20日 11月6日 12月17、27日 1月13日 2月1日	8	841
文化財課向田整理室連携 仙台・高砂歴史講座	高砂地域に位置する仙台市文化財課向田整理室との連携の下、地域の伝統や歴史を学習するきっかけづくりの場とした。 【館外学習】お舟入堀　発掘現場見学 【講話】高砂の歴史について（仮称）	11月10日 1月21日	2	120
★高砂市民センターまつり	地域が総力を挙げ住民同士の交流･親睦を深め、地域活性、震災復興応援を目的に開催した。【センター利用サークル･団体や地域団体の活動や学習の成果発表/地域活動の展示/舞台・展示発表/出店/児童コーナー等】	10月29、30日	2	13,816
★高砂市民センター懇話会	市民センターが行っている地域づくりや生涯学習について理解を深めてもらい、地域住民によるコミュニティづくりや地域課題の情報交換・意見交換を行った。【地域懇話会/生涯学習説明会/利用者懇談会】	11月19日 2月17日	2	57

高砂フレンズクラブ定例会	ジュニアリーダーの定例会を開催し、活動の助言や相談を行う場を提供し、資質を高めることを目的として実施した。子ども会からの要請の内容の確認と役割や活動の報告をし、交流会も実施した。	4月～12月	6	15
人形劇ボランティア養成講座	人形劇を通しボランティア活動に行うことを理解し新たに活動をともにする人材を育成した。 【実技】人形劇体験/手袋人形作成 【体験】人形劇公演体験。	5月10､17､24､31日 6月7、14、21日	7	39
★●震災復興地元学	平成27年度まで作成した地元学誌「蒲生・岡田・港・西原・和田・町蒲生」の冊子を活用し、防災関連のイベント等に参加し広く市民に伝える活動をした。	4月～3月	11	64
★市民企画講座 「中野ふるさと学校」	日和山登山/日和山ジオラマ作成/ダーツ交流会 県外からの被災地交流・復興応援コンサート/ 活動写真展/・３・１１オモイデツアー　蒲生中野ふるさと資料室（資料整理・公開）測量の日「地図模型展示」他	7月1日 ～3月19日	23	1,993

岩切市民センター

〔沿　革〕

岩切市民センターは昭和 56 年に開館した「岩切公民館」を前身とし、平成 2 年「仙台市市民センター条例」により「仙台市岩切市民センター」と改称された。平成 18 年 6 月から 12 月まで大規模改修が行われ現在に至っている。建物内部には市民センターのほかに、保健センター、老人憩いの家、コミュニティ防災センター資機材倉庫が併設されており、さらに平成 22 年 3 月より岩切証明発行センターが併設された。

当地区は宮城野区の北東部に位置し、美しい田園風景が広がる。古からの歴史と文化を伝える神社、仏閣、遺跡が点在している。近年は岩切駅前地区の再開発により若い世代の人口増加が著しい。人々の学習意欲は高く、自主サークル活動が盛んに行われてきた地域である。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●すずむしリンリン講座		
参加者	出前授業:岩切小学校 4 年生 放虫:岩切保育所園児 配布会・コンサート・コミュニティまつり:どなたでも	延参加者	695 人
開催日	全 5 回　6 月 29 日(水)、7 月 30 日(土)、8 月 24 日(水)、9 月 3 日(土)、10 月 23 日(日)		
協力者・ 協力団体	すずむしの里づくり実行委員会、岩切小学校、宮城野区中央市民センター、岩切地区町内会連合会、榴ケ岡市民センター、岩切保育所		
ねらい	仙台市の虫スズムシを育て、小学校への出前授業や配布会などの活動を続け、都市化していく中でスズムシが自生できるような環境づくりに興味を持ってもらう。人とスズムシが共生する潤いのあるまちづくりを目指す。		
概要・成果	配布会も岩切小学校への出前講座も長年続けられており、出前講座は4年生が対象であるが、5年生になったときに引継ぎ式を行ったり、越冬の講座を追加したり小学校側からの取組も活発になってきている。 配付会は宮城野区役所の開催と日程が続くため岩切開催の参加人数は横ばい状態である。飼育方法や飼育箱づくりの体験など新しいコーナーも設け、より多くの方にスズムシに親しんでもらえるよう取り組んでいる。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
家庭教育地域交流会「インプロから学ぶコミュニケーション」	小学校の体育館を使って「コミュニケーション」を題材にワークショップを行った。小中学生と保護者を対象に参加者と講師が一緒に即興劇を作る体験を行い、コミュニケーション力を高めるきっかけつくりを行った。	7 月 26 日	1	215
家庭教育地域交流会	岩切地域の 6 団体による情報交換から地域の実情に合った企画会議、運営を行った。	6 月～2 月	5	47
●いわきり子育てネットワーク「岩切子育て講座」	近隣の教育関連施設や子育てサークル等の諸団体が協力して「わいわい広場」「離乳食講座」「コミュニティまつり」「出前講座」等の講座を開催し、育児に関する情報を提供することで、地域の子育てを支援した。	6 月 22 日 9 月 16 日 10 月 23 日 11 月 10、14 日	5	469

子どもの広場	小学生とその保護者を対象に全4回、①料理教室②理科実験③岩切町探検④移動天文台ベガ号の見学を実施した。	6月4日 7月27日 11月26日 1月20日	4	99
中学生職場体験	岩切中学校の2年生を対象に、窓口体験や企画書作成演習などを実施した。	10月25～27日	1	5
インリーダー研修会	地域で子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識や世話人の役割、子ども会行事のプログラム作成およびゲームの進め方等を学ぶ機会を提供した。	1月21日	1	40
家庭教育地域交流会「まがりねぎで元気！作ろうかんたんこどもクッキング」	昨年の講座で決定した「曲りねぎ料理人気ベスト3」を子どもたちが調理し食べて楽しむ。また、中学生ボランティアに調理補助を依頼し、小学生との交流を行った。	1月28日	1	14
岩切小学校地元学地域連携事業	岩切小学校自然クラブの児童を対象に岩切の伝統的な植物「カラムシ」を題材にして、出前講座を実施した。	10月19日 11月16、30	3	60
★岩切老壮大学院	岩切老壮大学4年以上の履修生が、健康講話、交通安全講話、軽運動、観劇、館外学習など、受講生同士交流を深めながら､月一回学習した。	4月～3月	12	453
★岩切老壮大学	岩切地域に住む 60 歳以上の受講生を対象とした、文化・歴史・音楽・健康などに関する講話と実技を実施した。	4月～3月	12	463
市民企画講座「みんなで知ろう～ぐるっと岩切探検隊～」	岩切歴史探訪の会を講師に岩切の名所の説明を聞きながら、約2時間の散歩を楽しんだ。	11月5日	1	13
★考えてみよう、岩切の防災	岩切地域の住民を対象に全4回、①水害講座②大型防災すごろく③避難所運営ゲーム HUG④AED 講習会を実施し、防災に関する知識を学んだ。	9月10日 11月12、16日 2月4日	4	131
★わたしがチャンピオン	昨年の実施種目からペタンクを選び、通年実施した。大会の実施までには至らなかったが、町内会イベントでスポーツ部分でお手伝いする受講者も現れた。	6月18日 ～1月28日	8	51
岩切市民センターまつり	市民センター利用サークル及び地域で活動している個人・団体の発表の場として開催。舞台発表、展示発表（体験コーナー）、保健センター健康づくりコーナーなど	10月8、9日	1	1,500
岩切地域懇談会	市民センター利用者、地域団体、学校関係者などが参加して、市民センターへの要望や地域課題などを話し合い、市民センターの事業に反映させるために意見交換を行った。	6月23日 11月11日 2月22日	3	41
剪定ボランティア養成講座	高齢化により庭木の手入れが難しい世帯を手伝えるボランティアの養成を目的として、まず自分の庭の手入れができるよう剪定の基礎技術を学んだ。	10月27日 11月17日 12月15日 1月26日 2月23日	5	44
市民企画会議	岩切をよく知るメンバーで､岩切の課題･資源･人材などを活用しておもしろい講座を企画運営した。	5月24日 ～3月1日	9	37

鶴ケ谷市民センター

〔沿　革〕

鶴ケ谷地区は、仙台市が大型モデル団地として開発し、昭和 43 年から入居を開始した住宅団地である。

鶴ケ谷市民センターは昭和 47 年 5 月 22 日、団地の完成とともに RC3 階建、温水プールを併設する施設として開館した。その後、地域住民から生涯学習への要望が高まり、昭和 59 年から岩切公民館の協力を得て、各種の講座を開始したが、本格的に生涯学習が展開されたのは、平成元年に市民センター・公民館として発足してからのことである。平成 4 年 4 月には児童館が併設され、地域の生涯学習・児童福祉・コミュニティづくりの拠点なった。

平成 23 年 3 月の東日本大震災により鶴ヶ谷市民センターが被災し使用不能となったことから、平成 24 年 3 月から近傍に仮事務所を設け生涯学習事業を行ってきたが、平成 28 年 4 月 2 日から第一市営住宅団地再整備地内に市民センター(単独館)を移転・新築して開館し、地域の生涯学習・交流・コミュニティづくりの拠点として多くの人々に利用されている。

(★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★君もプチレスキュー		
参加者	仙台市立鶴谷中学校　1、2、3 年生 仙台市立西山中学校　1 年生	延参加者	367 人
開催日	全 4 回　7 月 5 日(火)、9 月 30 日(金)、10 月 5 日(水)、11 月 18 日(金)		
協力者・ 協力団体	宮城野消防署鶴ケ谷出張所、東北福祉大学ボランティア支援課、鶴ケ谷東地区民生委員児童委員協議会、鶴ケ谷西地区民生委員児童委員協議会、宮城野障害者福祉センター、		
ねらい	仙台市内でも最も高齢化率の高い鶴ケ谷地域では、災害時に地域の避難所運営に即戦力となる若い層の人材確保が喫緊の課題であり、東日本大震災時に中学生が積極的にボランティア活動に参加し、地域の住民から高い評価を得た。そこで、今後もいざという時に、中学生が地域の一員として積極的にボランティア活動を行えるよう、避難所運営等に必要な知識・技能、人命救助法を体得するとともに、防災意識の向上を図る。		
概要・成果	鶴谷中学校では、学年に応じて内容を高度化し、3年間を通じ防災に関する知識・技能を学習・体験出来るように企画した。1 年生は救急隊員から災害時の教訓を学び、学生ボランティアから車いすの使い方・補助の仕方を学び災害弱者の疑似体験をした。2 年生は救命講習を受講し、人命救助に役立つ蘇生法を学び体験した。3 年生は地域の方々から仮設トイレの組み立方を、学生ボランティアからは「心肺蘇生法」と「AED操作法」を学び体験した。 西山中学校の1年生は、防災講話と防災に関するDVD視聴で災害発生時の自助について学び、身近な物を使った応急手当法を体験した。 受講生徒のアンケートでは、様々な体験を通して意識の変化が窺え、緊急時に中学生自らが地域の一員として活動できる素地を養うことができた。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
★鶴ケ谷子育て講座「ママといっしょ」	親子一緒に楽しむ3B 体操、小さな子どもを抱える母親のために災害への日頃の備えや、対処法を学ぶ防災講座、絵本の読み聞かせや手遊び、簡単なおもちゃ作りを楽しむ講座を開催した。	8 月 3 日 11 月 9 日 12 月 14 日	3	43
仙台市子ども会インリーダー研修会	主に小学 5 年生を対象に、子ども会のリーダーとなる児童向けに子ども会活動の心構えについての講話と演習、世話人向けに子ども会のあり方や運営の仕方、世話人の役割についての講話と情報交換を行った。	2 月 11 日	1	51

★わくわくステーション	小学生を対象に、仙台三高グローカルサイエンスと科学実験、東北文化学園大学ボランティアサークルとの防災をはじめとするゲーム体験、中学生と交流しながらおやつ作りを行った。	8月4日 11月5日 12月3日	3	76
★君もプチレスキュー	鶴谷中学校では、1年生は防災教育講話、2年生は救命講習、3年生は仮設トイレの組立と救命講習の出前授業を行った。また、西山中学校は1年生を対象に、防災教育講話及び救命講習の出前授業を行った。	7月5日 9月30日 10月5日 11月18日	4	367
キャップハンディ体験	鶴谷小学校では車椅子及び白杖体験、鶴谷東小学校では手話学習、燕沢小学校では車椅子体験と高齢者疑似体験の出前授業をそれぞれ行った。	7月6日 9月21日 10月25日 11月11日 3月3日	5	222
鶴ケ谷ことぶき大学	60歳以上の高齢者を対象に、医療・歴史講話、運動・塗り絵の実技、外国音楽を楽しむためのコンサートを開催した。また運営委員会の自主企画による民生委員の講話、東北歴史博物館への館外学習を行った。	6月15日 ～2月15日	9	580
すずむしの自然学校	鶴谷小学校3年生及び鶴谷東小学校1年生への出前授業による自然環境や飼育についての出前授業を行った。また地域住民を対象に宮城野とすずむしの関わりについての講話を行った。	6月24日 7月15日 8月25日	3	123
鶴ケ谷市民センター地域懇談会	地域団体の代表者及び市民センター利用サークルの代表者と、市民センター事業に関する意見交換や、地域の現状や課題など情報交換を行った。	7月28日 2月17日	2	20
★鶴ケ谷市民センターまつり	地域団体やセンターを利用するサークルのステージ発表、作品展示や体験及び模擬店の開催など行った。	10月22日	1	1,560
★鶴ケ谷市民センター開館記念 「春・はばたきコンサート」	地域ぐるみでメッセージカードの作製及び展示、地域で活動しているサークルによるコーラスやすずめ踊り、仙フィルメンバーや元メンバーによる演奏を行った。	4月10日	1	420
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダーサークル「鶴ケ谷Yourself」による月2回の定例会を開催し、各要請に対応できるようにゲームの習得やスキルアップの学習、情報交換などを行った。	4月10日 ～3月25日	20	66
図書ボランティア養成講座	ボランティアとしての心構えや選書について、本の分類などを学んだ。また仙台市の図書館や他市民センター図書室の見学、現在活動しているボランティアとの情報交換を行った。	6月22、29日 7月13、27日 8月10、24日	6	55
市民企画会議「鶴ケ谷紹介」	転入者に向け、鶴ケ谷の良さを紹介する講座の企画と、広報や講師策定など実質の運営に関することを話し合い、実行した。	7月7、14、21、28日 8月18日 9月8日 11月7日	7	39
サークル体験会	新たな住民をはじめとする地域の方々向けに、市民センターで活動している運動サークルや、文化系サークルの体験会を行った。	12月7、8、9、10、13、14、15、17日	8	123
★元気なまち、魅力あるまち、再発見!!in 鶴ケ谷	鶴ケ谷団地の変遷と今後の施設整備についての講話と、ひょうたん沼の散策及び昼食交流会の開催、高齢者の健康についての講話、自主健康サークルのミニ体験会を開催した。	10月13、29日 11月10、17日	4	76

榴ケ岡市民センター

〔沿　革〕

榴ヶ岡市民センターは、日本住宅公団の高層共同住宅の建設に伴い、一階・地階部分の一部を市民会館の分館として位置付け、昭和 48 年 6 月に開館した。平成元年 4 月には公民館が併設され、翌年 4 月に「榴ケ岡市民センター」に改称された。平成 24 年 7 月 31 日にはそれまでの本館を閉館し、同年 8 月 28 日に榴岡公園軽体育館の名称を「榴ケ岡市民センター」へ変更して現在に至っている。

当市民センターは、市民の憩いの場である榴岡公園に隣接し自然環境に恵まれ、近くには仙台市歴史民俗資料館、国の合同庁舎、楽天 kobo パーク宮城などがある。中心市街地として都市基盤整備が進み古くからの街並みが日々変化している中、新旧地元住民の交流の場として、また各種会合や生涯学習活動の場として多くの人々に利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　●：区役所との連携事業　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★◎榴岡地区エキサイティング事業		
参加者	地域の方	延参加者	382 人
開催日	全7回　4 月 15 日(金)～3 月 17 日(金)		
協力者・協力団体	榴岡地区エキサイティング事業実行委員会		
ねらい	榴岡地区では活発に活動している地域団体が多いが、その団体同士が連携して事業を行うことで榴岡地区のまちづくりを担う人材の発掘や育成を目指す。また、そこで培ったネットワークの力を地域課題の取り組みへとつなげる。		
概要・成果	地域の 26 名の実行委員による 14 回の実行委員会を経て、「榴岡寺子屋歴史編」「榴岡寺子屋福祉編」「まちづくりシンポジウム」を行ったことで、地域の歴史や現状、課題などを住民同士で共有することが出来、改めて地域に関心を持ったという声も聞かれた。また、地域内の3ヶ所を会場としたことで誘い合って参加したなど、事業の定着が感じられた。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
★親子の遊び場 こあらる～む	子育て中の親子が、気軽に参加し、子育てを楽しめるよう、おはなし会や親子遊び、自由な情報交換や交流の場を提供した。また、父親の参加も促すため、土日も開催した。	11 月 19 日 12 月 13 日 1 月 13 日 2 月 10 日	4	70
みんなちがっていいんだよ（+おべんと広場）	子育て中の保護者が、自分を振り返り、リフレッシュするために、ワークや交流を通じて仲間づくりをする機会を提供した。	5 月 27 日 ～3 月 16 日	16	128
東口ゆうえんち	子ども達が学校や学年を超えて、大勢で一緒に遊ぶ講座として 4 回開催した。社会人や大学生等の企画員の運営で、普段できない体験をし、社会性や公共性を身に付ける機会とした。	7 月 16 日 9 月 24 日 11 月 27 日 2 月 11 日	4	211
職場体験	仕事に対する意識づけと仕事することの大切さを学ぶ機会として、東華中学校からの職場体験を受け入れた。	8 月 23、24、25 日	1	3
インリーダー研修会	榴岡小学校に通う児童が所属する子ども会の活性化を図るため、子ども会の核となるリーダーと世話人を対象に、子ども会に関する知識を取得したり、レクレーションやゲームの運営・技術を学ぶ機会を提供した。	1 月 21 日	1	53

つつじがおかの朝活	地域住民の交流とまちづくりへの関心の喚起のため、日曜の朝、センターに隣接する「榴岡公園」を会場に、軽体操で体をほぐしながら交流する機会を提供した。	4月24日 ～11月13日	7	196
はたらく大人のちょこっと夜活	日頃、地域行事に参加できない若者も参加できるように、ヨガや桜さんぽ等夜間に学習の機会を提供し、地域の若者の交流と地域への関心の喚起のため自主企画の話し合いの機会を提供した。	4月26日 ～3月24日	15	55
★榴ケ岡老壮大学	地域の高齢者に対し、自主的な運営を支援しながら、防災や健康、文学など年間を通して学習・交流の場を提供した。	4月21日 ～3月2日	12	749
介護予防講座「東口ますます元気教室」	介護予防継続のため、定期的に色々な介護予防について学習する機会を設けた。また、学習内容の充実とより多くの地域の高齢者の参加を促すため、地域包括支援センターと共催した。	5月18日 ～1月18日	8	362
●未来に遺そうすずむしの里	仙台市の自然環境を守り、貴重な財産として未来に引き継ぐため、宮城野区の「すずむしの里づくり」事業の中心となって活動している「すずむしの里づくり実行委員会」と協力し、配布会、コンサートを実施した。	8月6日 9月3日	2	300
つなげよう平和のバトン 語り部ボランティア入門講座	高齢化する地域の語り部ボランティアの体験談の記録・継承を目的に、入門講座を開催し、市民が「平和」について考えるきっかけとした。また、榴岡小学校への平和学習の支援を行った。	7月2日 ～12月2日	11	107
東口まち歩き「宮城野さんぽ」	東口界隈に愛着と関心を持ち、地域を見直すきっかけとするため、定期的にまち歩きを実施した。東口ガイドボランティアと共催することで、さまざまな団体や活動と連携し、地域の活動として定着させた。	5月28日 ～3月28日	13	673
★榴ケ岡市民センターまつり	主に榴ヶ岡市民センターを拠点として活動しているサークル及び地域の団体が、日頃の学習・活動の成果を発表した。まつりを通して地域住民が気軽に集い、楽しく交流する場と機会を提供した。	10月16日	1	400
★榴ケ岡市民センター地域懇談会	今後のセンター運営に役立て、地域との信頼関係構築のため、町内会や地域の団体、サークル、センター利用者との意見交換、情報交換をし、地域課題やニーズを共有することで、相互理解を深めた。	11月11日 3月17日	2	15
★復興公営住宅出前講座	榴岡地区に2カ所完成した復興公営住宅への転入者が、地域の一員として生活できるように、地域資源などを紹介しながら「お茶っこサロン」や「出前講座」等、交流を促進する機会を提供した。	11月25日 12月15日 3月3日	3	70
榴岡地域案内人養成講座 ～ガイドブック作成企画会	平成25年度「榴岡さんぽみち～案内人編」の受講者が「S．C（スケッチサークル）」「案内人」としてガイドブックの企画・作成をしていたが、複数年事業4年目として、スケッチMAP１・２が完成し、活用した講座も実施した。	4月27日 ～3月22日	11	127
東口ゆうえんち企画会	主催事業「東口ゆうえんち」の充実を図るため、社会人や学生からなる企画会を実施し、講座の企画・運営を行った。子どもの健全育成に関心がある人たちが出会い、情報交換の機会を持ち、スキルアップを図った。	5月21日 ～2月10日	8	51
★あなたのやりたいを見つける！「サークル見学・体験会」	当館で活動しているサークルの情報提供、見学・体験会の実施を通して、新しい住民が地域に馴染み、交流を図る機会を提供した。また、サークル活動の活性化の一助とした。	10月25日 ～10月29日	11	23

東部市民センター

〔沿　革〕

東部市民センターは、昭和 47 年 5 月に旧保健所庁舎の一部を改装し開館した「東部市民福祉会館」を前身としている。昭和 58 年 4 月に改築され、平成に入り「東部市民センター」に改称、平成 5 年 4 月には「東部児童館」が併設されている。また、この地域は、JR陸前原ノ町駅・苦竹駅・小鶴新田駅・東仙台駅があり、東北本線、仙石線、貨物線、新幹線等が通る鉄道景観が見事に交錯する街並である。

当市民センターの中学校区は東仙台中学校、小学校区は東仙台小学校・新田小学校が管轄。さらに立地状況としては、宮城野区役所から北東へ約 0.7km の地点に位置し、南に国道 45 号線と北に利府街道、その中間を跨ぎ繋ぐ形で、通称「中原地区」といわれる住宅地にある。また、付近には、東仙台・苦竹・原町・自衛隊苦竹駐屯地などそれぞれに歴史を持つ住宅地や商業地が広がっている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●地域プロデュース「東仙台耀きクラブ」～伝えたい地域の歴史～		
参加者	成人	延参加者	234 人
開催日	全 22 回　　5 月 11 日(水)～3 月 25 日(土)		
協力者・協力団体	共催:宮城野区中央市民センター		
ねらい	平成 24 年度から宮城野区中央市民センターと「地域づくり講座」を共催してきた。3 年目にあたる平成 27 年 3 月に、その成果として講座のなかで活躍している「東仙台耀きクラブ」が中心となり、冊子「地元学　伝えたい東仙台」を発行した。メンバーから、「地元学の冊子のほかにも、震災後の街整備や、時代とともに移り変わる地域の様子、そして地域の貴重な歴史を地域の人々に伝えたい」という課題が挙がった。 その課題解決の手段として、上述した冊子「地元学　伝えたい東仙台」をもとに、地域の方が受け継ぐ郷土の歴史の継承及び情報発信を図っていく。また、地域の歴史を語れる語り部の育成を目指すことも併せて目的とする。		
概要・成果	東仙台地域の「地形」「地名」「地勢」に関して学んだ。今年から参加した新メンバーも加わり、東仙台・苦竹・新田地域の歴史をともに学びつつ、認識の共有を図った。地域で継承したい地点・事象を検証し、地域の歴史を伝える散策路 A コース・B コースのガイドマップを作成した。 このマップを活用して、地域の方々とのまち歩きを企画し、2回実施した。(11月・3月) そのほか、「東部ふれあいまつり」展示部門への参加(10月)、「学習成果発表会」(1 年間の活動報告及び歴史書物に残る“名物案内湯豆腐”の再現)(2月)、など歴史の継承と情報発信を行った。 ガイドマップについては、地元新聞記事に大きく掲載された。加えて、メンバーが地元のラジオ番組に出演して PR するなど、メディアにも取り上げられ、市民に広く周知することができた。こうした取り組みは、次年度のまち歩きボランティア活動に向けての積極的な学習意欲につながっている。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子で育てるおいしい野菜	種や苗から収穫まで、さらに収穫したものを調理しおいしく食べるまでの野菜の育ちを見守ることをとおして食の大切さを学んだ。地域ボランティアとの異世代交流や、家族同士の交流も子供の育ちに良い機会となった。	5 月 21 日～8 月 20 日	5	106
子育てサロン「まったりルーム」	託児室を設け、子育て中の親が、子どもとの接し方を学び、日頃の悩みを相談し、同じ子育て中の親や地域の子育て先輩との交流を図る機会を提供した。絵本の読み聞かせ、親子でストレッチ、アロマヨガ、東部子育て支援クラブとの共催で実施した。	11 月 11、25 日 12 月 9 日	3	55
東部子どもの育ちを支えるプロジェクト	子どもたちが異世代間交流や様々な体験を通して、社会性を育む機会とした。併せて地域全体で子どもの健やかな育ちを支える環境作りを図った。新田小昔遊び教室、テーブルゲーム・カフェ、ジュニアと遊ぼう、東仙台小出前教室、お手紙ワークショップ、地域卓球交流会等	4 月～3 月	16	912

仙台自分づくり教育「がんばれ中学生職場体験」	市民センターの職場体験を通して、自分の目標や生き方を考察する機会とした。市民センターの設置目的についての講話、事業企画演習、講座参加、窓口対応体験等	11月8、9、10日	1	4
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会の活動の充実を図るために、子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人を対象にワークショップを交えた学びを展開した。子供たちの発想を生かしながら子ども会活動を企画する手法やプログラム作成のヒントを学んだ。	2月4日	1	42
東部武将隊「東仙台甲冑教室」	甲冑製作を通し、仙台や地元の歴史も学ぶ機会となった。また白石市で甲冑を通して「まちおこし」をしている「片倉塾」と連携し、まちおこしのヒントも学んだ。東部市民センターまつりに参加し、作品を展示した。	9月16日～12月18日	8	75
★老壮大学「東部いきいきスクール」	運営委員会による企画で、高齢者のさまざまな学習の機会をつくり、学びを生かして楽しく活動できる場を提供した。開講式、講話、軽運動、料理、館外学習など	4月～3月	11	347
●楽しいシニアライフ「笑顔で毎日をおくるために」	既存のサークルや団体に参加しにくいと感じている高齢者に、気軽にできる体操や健康法を学び交流できる機会を提供した。 健康講話と軽運動（転倒予防、脳活性）	1月17、31日 2月14、21、28日	5	183
★街景観を活かした街づくり写真講座「東仙台・新田・苦竹を写真で残そうわが町・わが風景」	新たな視点で地域を観ることによりその魅力を再発見し、地域への愛着や関心を意識づけることを目的とし、撮影技術、編集を学んだ。また作品を地域の情報発信として活用し、魅力をアピールした。	6月11日～3月11日	6	66
★伝統の仙台七夕を学ぶ「七つ飾りを作る」	新旧住民が伝統の仙台七夕を学び作ることで交流し、新たなる地縁を深めた。また、地域小中学校と連携し、子どもたちが地域づくりに携わる機会として､製作･展示を行った。製作した七夕飾りは館内の展示の他、地域の小学校、町内会の祭り会場で展示され多くの地域の方に見て頂いた。	7月7、14、21、28日 8月4日	5	373
★子ども参画型社会創造支援事業　新田まちづくりこども計画	小学生を核として地域に「子供が将来像を発信する」概念で、学校内だけでなく地域に出て、新しいコミュニティーを発信し活動した。ＮＥＴＳ新田スポーツまつり（2回）、まち歩き地域マップ製作と発表、七夕製作、地域ボランティア団体と協力し高齢者配食カード作成等	4月～3月	13	414
「東部市民センター・ボランティア体験会」	地域住民への情報発信やサークル体験会、また団体間のコーディネートを行い、地域住民の生涯学習意欲の向上と､地域でいきいき暮す活力が高まる機会を提供した。サークル体験会・ボランティア体験会	7月2、12、14日 8月26日	4	8
★みんなで学ぶ「地域で支える防災ルール」	東仙台災害対策委員会との連携を図り、避難所運営においての役割と行動などを学び、研修会を開催し運営した。策定した地域版避難所マニュアルを使い、ワークショップや、地域住民に対し防災に関する意識アンケートを実施し、防災ルール作りのスキルアップを図った。	6月4日～3月17日	7	102
★第22回東部ふれあいまつり	町内会・地域サークル･団体の日頃の活動や学習の成果発表の場を提供し、地域住民同士の交流・親睦を深めた。 地域団体の活動展示、主催講座の展示、舞台発表、展示発表、出店、児童館遊びコーナー等	10月2日	1	1,828
★ウィンターコンサート	地域住民が気軽に集えるコンサートを行い、地域コミュニティーの活性化を図った。託児付きで、様々な世代が参加しやすいコンサートとした。（ピアノとフルートのコンサート）	12月17日	1	92
東部市民センター懇談会	地域住民対象に情報交換や意見交換を行い、市民センターについて理解を深めてもらう機会とした。また、利用団体に対しては、減免の説明を行い、各団体活動についての意見交換を行った。	6月21日 2月17日	2	29
★課題解決　地域講座企画会	震災で転入された方やマンション住民が増えた新田地区において、新旧住民の地域活性化のため、地域課題を掘り起こし、どのようなことができるかを考える企画会を開催した。	4月23日 5月3、23日 6月25日	4	8

幸町市民センター

〔沿　革〕

幸町市民センターは、平成5年4月20日、幸町児童館及び幸町コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。

当市民センターがある幸町中学校区は、大型商業店舗の進出、民間マンションの建設などで町並みの変容著しい幸町・大梶地区と、与兵衛沼、枡江の森などの緑豊かな自然に恵まれた枡江地区からなる。仙台市ガス局や県・市障害福祉センターなどの公共施設や、きぼう園、いずみ授産所などの福祉施設とともに、国、県、市の公営住宅があり、民間も含めて集合住宅が多い地域でもある。また、平成26年度には復興公営住宅も完成した。高齢化が進む中、子育て中の世代や若年層の住民の増加もみられ、ここ数十年で地域の環境は大きく変化した。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	さいわい・ふれあい講座		
参加者	地域住民	延参加者	64人
開催日	全6回　9月4日(日)、9月7日(水)、9月21日(水)、 10月5日(水)、10月15日(土)、11月5日(土)		
協力者・ 協力団体	宮城県障害者福祉センター・社会福祉法人仙台つどいの家		
ねらい	幸町地域は福祉施設が多く、地域内において互いに支え合う関係づくりを目的として「さいわい・ふれあい講座」を開催し、障がい者への理解と交流を促してきた。この講座を契機に、地域でボランティア活動に取り組む人が増えているが、まだ十分とはいえない。 宮城県障害者福祉センターと共催して、障害者施設が持つ専門性やノウハウを活用した講座を実施し、障がいの有無を越えた地域住民の交流を通して、更なる相互理解を深める機会を提供する。		
概要・成果	平成20年度から実施している講座である。前年度の受講生から「子どものうちから障がい者とふれあう機会がほしい」という要望があり、平成28年度は子どもコースと大人コースを設けた。小学生とその親が参加した子どもコースは、視覚障がいを模擬体験できる「まっくらカフェ」、障がい者と共に凧作り・凧あげやショートテニスを体験した。大人コースは、子どもコースの内容のほかに、視覚障がい者の講話とフライングディスク体験、肢体不自由者の講話と卓球バレー体験を加えて実施した。 地域の小学生や住民、宮城県障害者福祉センターや社会福祉法人仙台つどいの家の利用者の方が参加して、世代や障がいの有無を越えて交流を深めることができた。障がいがあろうとなかろうと誰もが地域で安心して暮らしていくために、相手を思いやり、互いを理解する機会が提供できた。		

〔平成28年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育てママのリフレッシュ応援講座	育児に多くのストレスを抱えている親子を対象に、気軽に集い、共に悩みを語り合える子育て支援の場を提供した。親子ヨガ、絵本の楽しい読み聞かせ、調理実習，保育所見学、交流会を実施した。	5月27日 6月9、24日 7月14、28日	5	84
さいわいどんぐりクラブ	子どもたちの自主性や創造性を育むことを目的とし、学校の授業だけでは取り組めない様々な体験の場を提供した。ペーパークイリングによるメッセージカード作り、移動天文台、エネルギーサイエンスショー、バレンタインクッキングを実施した。	8月10日 9月16日 2月4、11日	4	177

仙台市子ども会インリーダー研修会	地域の子ども会活動を更に充実させるため、次年度の子ども会活動の中心となる児童や世話人を対象とした実践的学習を行った。講話、行事の立て方、レクリエーションゲームの進め方を実施した。	2月25日	1	51
ジュニアリーダーとあそぼう	ジュニアリーダーが、研修会等に参加して得た工作やレクリエーションの知識を活かし、実践する場を提供した。幸町児童館まつりにて「もぐらたたきゲーム」、幸町市民センターまつりにて「的当てゲーム」を実施した。	10月1日 11月20日	2	175
中学生職場体験	市内の中学校からの依頼により中学生の職場体験を受け入れ、市民センターの業務を通じて、働くことの心構えや責任について学ぶ場を提供した。講座の補助、窓口業務、館内清掃など。	8月23、24、25日 11月8、9、10日	2	7
★幸町生涯大学	地域の高齢者が社会との繋がりを持てるよう学習・交流の場を提供した。歴史・医療・気象と災害・交通安全の講話、映画鑑賞、軽運動、新年会、音楽鑑賞、移動学習等を実施した。	4月21日 ～2月16日	10	406
さいわいお散歩日和	周辺地域の自然や文化財などをテーマにまちあるきを行い、地域のもつ魅力や地域資源、環境などを学ぶ機会を提供。これにより住民が地域への理解を深め愛情を育むとともに、地域課題について考えるきっかけをつくった。	10月22日 11月27日 12月27日 3月25日	4	37
★一人ひとりにやさしい防災の輪－防災でつながる人と人－	災害時の協力体制の構築し、人と人とがつながる安全なまちづくりを目指し、枡江学区合同防災訓練の準備を進めて実施。地域の防災教育として幸町児童館と共催し、小学生を対象に大型防災すごろくゲームを実施。	8月9、11、25日 9月10日 1月5日 2月18日	6	69
市民企画講座 「しあわせ奏でるファミリー音楽会」	地域住民が音楽を通して交流するとともに、子どもの情操を豊かに育めるようファミリーコンサートを開催した。	11月6日 12月10日 3月18日	3	85
★第20回幸町市民センターふれあいまつり	幸町地域の3つの連合町内会と健全育成連絡協議会が市民センターとともに、地域あげてのまつりを開催した。地域団体によるステージ・展示発表、地域福祉団体による出店・販売、防災コーナーなど。	11月20日	1	2、800
幸町市民センター地域懇談会	地域の声を事業運営や企画に反映し、理解と協力を得られるように、話し合いと情報交換を行った。事業計画・実施報告を説明し、意見を聴いた。	6月29日 3月2日	2	26
ジュニアリーダー定例会	幸町市民センターで活動するジュニアリーダーのサークル「幸町Fortune」が集い、情報共有や研修を行う定例会を行った。	4月16日 ～3月18日	12	35
学校へ行こう隊－子どもを育てる大人の力	小学校に地域住民やサークルを派遣し、地域と学校をつなぐ「学校へ行こう隊」のスキルアップを図った。昔話を語る、手話指導、しめ縄づくり、昔遊び指導を実施した。	11月30日 12月6、14日 1月11、19日 2月14日	6	41
市民企画会議「たとえば、こんな、コンサート企画会」	市民企画員とともに、新規住民の受け入れや、住民の孤立化を防ぐことを目的とした複数回のミニコンサートを企画・開催した。	6月8日 ～3月22日	16	60
さいわい男子会	地域の成人男性たちが楽しみながら子どもの健全育成や地域貢献の活動を行った。オリジナルロゴのシルクスクリーン印刷でのTシャツ作り、地域の夏祭りへの出店。	4月23日 5月28日 6月11、25日 7月23、30日	6	17

田子市民センター

〔沿　革〕

田子市民センターは、平成 11 年 8 月、仙台市で 53 番目の市民センターとして開館し、児童館とコミュニティ防災センターを併設し、多目的ホール、会議室 2 室、和室 2 室、調理実習室、児童館図書室などを備えている。

当市民センターの位置する田子地域は仙台市東部に位置し、市中心部と直結する JR 仙石線(最寄駅:福田町駅)や国道 45 号線等に近い交通の利便性から開発が進み、人口が増加している。幼稚園や小中学校、高校等の教育施設にも恵まれ、地域リーダーとして活躍する人材が豊かで、地域づくりに関する住民意識も高く、防災訓練等の特色ある活動が活発に行なわれている。当市民センターは、これらの立地要件を活かしながら、地域団体や学校との連携に努め、事業を展開している。

こうした中、平成 26 年度には田子西復興公営住宅に 160 世帯余りが入居し、田子西町内会が設立された。平成 27 年度には田子西第二復興公営住宅への入居と集団移転用地への移住が開始され、平成 28 年 4 月、田子西こだま町内会、田子西中央町内会、田子西 3 丁目町内会が設立された。田子市民センターの管轄エリアは田子小学区 10 町内会、高砂小学区 4 町内会となった。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★●田子のきずなステーション		
参加者	地域の方・地域に転居予定の方	延参加者	227 人
開催日	全 22 回　5 月 25 日(水)～3 月 25 日(土)		
協力者・協力団体	宮城野区まちづくり推進課、宮城野区家庭健康課、支えあいセンターみやぎの 福田町地域包括支援センター		
ねらい	様々な関係機関と連携し、当センターが情報や人の集まる“拠り所（ステーション)”として新旧住民がともに田子について学び交流する場を提供し、地域を知り新しい仲間を作るための一助とする。さらに参加者が田子で活躍する人材へとステップアップしながら、地域へ溶け込むことを目指し地域の活性化へつなげる。		
概要・成果	「きずな通信」を発行（6 回）し、「田子の魅力を発信し隊」の受講生が取材してきた地域の魅力を地域情報として掲載し発信した。「お茶っこサロン」（3 回）のうち、2 回は家庭健康課と共催し、新旧住民の交流の場を提供した。田子西地域の方も多く参加し、出会いの場として活用できた。「田子のさんぽ道」(2 回）を開催。案内役を地域サークルに頼んだところ、その交流により参加者がサークルに加入した。誰でも気軽に参加できるよう事前申込み不要とした「オープンクラス」の“卓球”(10 回）では、平成 25 年度に養成した卓球ボランティアに運営を任せることができ、地域人材としての成長がうかがえた。毎回新しい参加者が見られ交流の場として定着してきている。 全体として多様な内容を数多く展開することで、多くの地域住民が参加して交流を深め、共に田子について学び愛着を深める機会となった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
市民企画講座「ちょっとひと息タイム～子育てしゃべり場」	親子の関わり方を考える～子どもの気持ちが見えていますか～のテーマで 2 回講話とグループワークを行った。	10 月 5 日 3 月 1 日	2	40
夏の講座	小学校の夏季休業期間に合わせ、地域で活動するサークル・団体・地域住民による体験学習の場を児童に提供した。茶道、動物ふれあい、朗読他	7 月 27、28、29 日 8 月 2、5、6 日	8	236

インリーダー研修会	子ども会活動の為に子ども会の知識やレクリエーションゲーム等について学ぶ機会を提供した。児童向け講話・実技、世話人向け講話。	2月25日	1	37
田子老壮大学	地域の高齢者が健康で生き生きと暮らすための生涯学習の場を提供した。漢字物語、ノルディックウォーキング、館外学習等	5月～2月	10	413
伝笑あそび会	高齢者の方々も参加しやすいように、誰もが親しんだ”昔あそび”を通して、相互交流を図りながらスキルアップを目指した。田子児童館のまつり、田子小土曜教室への参加。	4月～3月	15	80
★三館共催事業「七北田川・梅田川の水害を考える」	三館管轄の地域住民と一緒に地域状況の共有を図り、今後の備え等について検証・学習した。「H27.9.11 の大雨災害の状況」「近年の大雨と災害」「七北田川・梅田川の治水の現状と対策」	9月3、10、17日	3	158
★田子・福田町の今昔	代々田子で暮している方を講師に迎え、田子や福田町の成り立ちや昔と今の変化について新旧住民が、地域への愛着を深め、交流を通して新たなコミュニティ作りにつなげた。	12月4日	1	66
★みんなで学ぶ地域防災	町内会と共に地域課題を共有し地域全体の防災意識向上を図り「防災」を通してコミュニティの再構築を図った。地域防災訓練、防災講座「大雨時の避難について」	9月2日 11月13日	2	2,902
★季節のハーモニー～田子で出会えるすてきなコンサート～	転入者と地域住民の相互交流の場となり得るよう、多くの方が身近で上質の音楽に親しみかつ気軽に集えるコンサートを行った。アイリッシュミュージック、ハートフルクリスマスコンサート	6月19日 12月18日	2	344
★復興支援事業出前講座「田子西で会いましょう」	新旧住民が出会い、交流を深め、新たな仲間づくり・地域への第一歩のきっかけづくりとなるよう気軽に参加出来る出前講座を行った。出前サロンなど	7月1日 ～7月9日	7	244
★たごっ子まつり	市民センターの利用団体や地域活動団体の活動成果を発表する機会を提供し、地域住民の交流と親睦を深め地域の活性化を図った。ステージ発表、展示発表、模擬店、防災資機材展示、ジョイントコンサート等	2月18日	1	2,500
田子市民センター懇話会	地域課題の把握や地域情報の収集・共有化を図り、課題解決に向けた事業企画に活かすために、地域団体や利用者等との懇話会を実施した。懇話会等	5月27日 7月16日 3月4日	3	46
図書ボランティア養成講座	図書ボランティアを養成し、子供の読書活動を推進した。主体的に地域に関わっていくきっかけづくりとした。「ボランティアとは」「本の配置の仕方やPOP作成」「選書体験」	6月15日 7月6、20日	3	15
市民企画講座「田子を愛する住民塾」	企画員が地域に関する情報の共有を図り、地域課題等を明確にし、その解決のための事業を企画し、実施した。	4月～3月	13	73
「田子の魅力を発信し隊」フォローアップ講座	平成27年度主催講座「田子の魅力を発信し隊」取材ボランティア養成講座の受講生が、更なるスキルアップと意欲向上を目指す。月1回の編集会議、「パソコン講座」	4月～3月	17	66
市民企画会議「子育てしゃべり場企画会」	企画員が地域のおける子育てや家庭教育の課題について話し合い、その解決に向けてより地域に密着した事業の企画、実施した。	4月～3月	8	27

福室市民センター

〔沿　革〕

福室地区は西に七北田川、北は多賀城市に接し、南は仙台港背後地に囲まれた地域で、かつては豊かな田園地帯であった。昭和 30 年～40 年代にかけて住宅地や市営住宅が造成され、住環境が急速に整備された。国道 45 号線、JR 仙石線の沿線という利便性から、最近では仙台港背後地の開発や商業施設の増加に伴い、高層住宅、集合住宅が増え、人口は増加傾向にある。旧来の農地は激減したが、今も七北田川周辺の豊かな自然は健在である。

同地区に位置する福室市民センターは、中野中学校区を対象地域として平成 15 年 3 月に開館し、児童館、コミュニティ防災センターを併設している。年々利用者も増加し、地域住民の生涯学習の拠点として、広く親しまれ利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座 「石碑は語る～あなたの知らない石碑のヒミツ～」		
参加者	成人	延参加者	105 人
開催日	全8回　6 月 16 日(木)、6 月 30 日(木)、7 月 7 日(木)、7 月 13 日(水)、 8 月 3 日(水)、9 月 13 日(火)、12 月 14 日(水)、3 月 28 日(火)		
協力団体	高砂おたから探訪の会		
ねらい	当市民センターでは、平成 21 年度の講座で「歴史マップ」を作成しているが、その後の東日本大震災で大きく変貌している地域もある。 そこで、現在の地域内の石碑や石仏、板碑、近世の碑、道しるべの碑、顕彰碑などを洗い出し、マップに追加すると共に冊子にまとめて地域の皆さんに紹介することによって、失われようとしている地域の歴史を振り返る機会とする。		
概要・成果	福室・栄・高砂地域内の石碑や石造物についての基本的な知識と調査方法、拓本実習を学び、グループに分かれて実際に調査して冊子を作成した。 地域内すべての石造物を洗い出し、まだ誰も調べていないことを調査する喜びと難しさ、大変なこともあったが、マップと冊子にまとめることができた。その過程で近隣の人々からの聞き取りも出来、石碑の作られた由来や当時の状況、他の歴史的事項などとの関連など様々なことがわかった。またこれから冊子を活用して地域に還元していきたい。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
市民企画講座「子育てママのハッピータイム」	ママ企画員の企画運営で、地域の乳幼児を持つ親たちの交流と仲間づくりのため、「フィンガーペインティング」「ちびっこまつり」「親子ビクス」の３講座を実施した。	7 月 6 日 10 月 19 日 2 月 28 日	3	216
インリーダー研修会	子ども会の次期リーダーとなる主に５年生とその保護者を対象に、児童向けにリーダーシップ養成のための演習、世話人向けに演習を通じての情報交換、更にジュニアリーダーによるゲームの実践演習を行った。	2 月 18 日	1	63
中学生職場体験学習	地域にある中学校の「職場体験学習」の受け入れを通して、中学生に市民センター業務の目的や内容を理解し体験してもらう機会とし、また、職場体験を通して中学生の勤労観を育む支援の場とした。	11 月 9、10、11 日	1	5
からむしのミサンガづくりに挑戦！	地域の方を講師として、七北田川河川敷や福室農園から刈り取った「カラムシ」から繊維を取り出し、編み込んでミサンガづくりをした。	7 月 23 日 8 月 6 日	2	22

小学校連携事業「学びの輪」	福室小学校、中野栄小学校と連携して、地域人材を活用し、「福室歴史ウォーク（３年生)」、「昔あそび体験（１年生)」を行った。	11 月 16、29 日 12 月 20 日	3	291
福室老壮大学	宮城野区副区長による開講式記念講演「宮城野区の今」を皮切りとして、仙台の歴史、ごみの分別、洋ランの楽しみ方など様々なテーマで全１０回の講座を実施した。また、受講生同士の交流の場として、講座後の顔合わせを２回実施した。	5 月 25 日 ～2 月 22 日	10	674
ふくむろ和みサロン	地域の町内会と連携し町内の集会所で、歌・体操・笑いを通して、参加した高齢者が元気になれる出前講座を行い、また東北医科薬科大学病院と連携し「地域医療セミナー」を行った。	5 月 17、24、26 日 6 月 23 日 1 月 28 日 2 月 21 日 3 月 5 日	7	293
だれでもサロン”まざらいん”「福室縁芸場」	地域住民の交流と茶話会を兼ねて「ダーツ大会」を２回実施。「福室縁芸場」では地域住民や児童館有志の演技発表などの演芸会を開催し、休憩時間はお茶っこサロンの場とした。	9 月 14 日 10 月 12 日 1 月 21 日	3	143
★三館共催事業「七北田川・梅田川の水害を考える」	七北田川・梅田川の現代の水害状況と治水、今後の備え等について検証学習し、早急な対処方法を確立するため、講話「９．１１大雨災害の状況」、「近年の大雨と災害」、「七北田川・梅田川の治水の現状と対策」の３講座を実施した。	9 月 3、10、17 日	3	158
パソコン初心者クラブ	中野中学校を会場に、地域住民を対象にインターネット体験と Word の学習を実施した。東北電子専門学校のＩＴサポーターが講師を務め、中野中パソコン部がアシスタントし、パソコンを通じて異世代間交流を図った。	7 月 26、27、28 日	3	21
★●ふくむろ防災塾２０１６	6 月 12 日の「仙台市総合防災訓練」に向け、内容の検討や各活動班の確認、スケジュールの確認を重ねた。訓練当日は避難所開設をメイン訓練を行い、地域防災リーダーを中心に避難所運営スタッフが積極的に訓練に関わった。	4 月 23 日 5 月 28 日 6 月 12、23 日	4	523
ふくむろ剪定サロン	剪定の知識、技術の習得には継続と実践が肝要であことから、平成 28 年度は経験者から初心者を対象に技術の伝達をし、自らの技術を磨きながら、剪定でつながる仲間意識を育てていくことができた。	5 月 28 日 6 月 4、11 日 10 月 1、8 日	5	38
社会学級との連携事業「みんなの輪２０１６」	福室小学校・中野栄小学校社会学級と話し合いを経て、阿部芳吉仙台大学学長を講師に迎え「子どもの通して見えてくる地域のコミュニケーションについて」の講演を地域に向けて開催した。	11 月 25 日	1	23
第１２回福室市民センターまつり	市民センター利用団体、小中学校、町内会、地域住民、地域諸団体が連携して、日頃の活動の発表と地域住民の交流の場づくりをした。	11 月 5 日	1	2,750
地域懇談会	地域内の町内会や学校・諸団体などと広く意見交換の場を持ち、地域が求めているニースを市民センターの事業に吸収反映させるとと共に、地域づくりに向けての協力関係を強化することができた。	6 月 30 日 2 月 18 日	2	21
市民企画会～地域の魅力発見Ⅱ～	市民企画員が、地元の歴史や地域資源など住民自らが語り継ぎたい地域の魅力を話合い、再発見する市民センター事業の企画・実施した。	5 月～12 月	22	360
市民企画会「子育てママの市民企画６」	子育て中のママ企画員が地域の親子のための講座を企画し、実施した。各講座で使用する子供へのプレゼント用メダルや会場の飾り物の作成等も行った。	5 月 12 日 ～3 月 9 日	27	159

若林区中央市民センター

〔沿　革〕

若林区中央市民センターは、昭和 53 年、当時の養種園の改築に伴い、養種園の複合施設として「南小泉市民福祉会館」の名称で開館し、その後、条例改正により「南小泉市民センター」と名称を変え、平成 5 年 9 月 28 日、若林区文化センターの新設に伴い移転して、現在の「若林区中央市民センター」となった。旧建物は児童館・社会福祉協議会等との複合施設となり、「若林区中央市民センター別棟」として運営されている。当市民センターを含む若林区文化センターは図書館・市政情報センターも併設されている複合施設である。こうした立地の下、当市民センターは地域の生涯学習活動の拠点として多くの区民に活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	★●【出前講座】 地域げんき倶楽部		
参加者	復興公営住宅の入居者	延参加者	46 人
開催日	全 4 回　2 月 3 日(金)、2 月 7 日(火)、3 月 3 日(金)、3 月 7 日(火)		
協力者・ 協力団体	卸町ふれあい町内会　大和会　若林区家庭健康課 大和・蒲町地域包括支援センター　区民部若林区中央市民センター		
ねらい	復興公営住宅の建設整備に伴い、入居が進むなど、新しい地域での生活再建に向けて大きな一歩となった。今後も復興公営住宅へ入居された方々が地域になじみ、円滑な日々の生活を送ることができるように支援を行う。		
概要・成果	大和会サロン　　2 月 3 日：みんなで歌おう 3 月 3 日：折ってみよう，おひなさま 卸町健康サロン　2 月 7 日：ストレッチ　ラジオ体操　脳トレ 3 月 7 日：ストレッチ　ラジオ体操　脳トレ 健康等をテーマに、入居者同士の交流や情報交換の場として開催 新しい方の参加も増え、みんなで歌ったり、おしゃべりしながら作業を行うことで参加者同士が顔見知りになり、誘い合ってサロンへ参加するようになった。地域のことがわからないなど不安を感じていた方が、参加したことで色々な情報を聞くことができ、外出することの不安解消につながった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●家庭教育講座	ワークショップ「宮城県版親の学びプログラム」～十人十色の子育て&親育ち・自分育ち～　親のみちしるべから、①子育てがひとりっきりにならないように②親子のコミュニケーションを実施した。	9 月 9、30 日	2	31
子ども会インリーダー研修会	児童対象として、インリーダーとしての心がまえや子ども会活動のプログラムを考えるなどの実技を学んだ。世話人対象として、世話人の役割を学んだ。全体：レクリエーションの進め方などの実技。	2 月 18 日	1	80
●ワカチュウ子どもランド	児童が市民センターを利用する機会・きっかけとして秋休み期間中の児童の居場所作りを目的に、あそびのコーナー、工作コーナー、体験コーナー、ステージ発表などを実施	10 月 9 日	1	424
ジュニアリーダーと遊ぼう	ワカチュウ子どもランドの遊びと工作コーナーを担当。	10 月 9 日	1	80

中学校職場体験学習	職場体験の中で、「接遇研修」を実施した。	11月15日 ～12月2日	7	24
若林調査隊	メダカを知る理科講座と陸奥国分寺跡実地での歴史講座を実施した。	7月23日 10月29日	2	23
★●防災博士に挑戦！	出前講座「防災○×クイズ」「大型防災すごろく」をツールにして防災学習を実施した。	10月26日 2月16、28日	3	140
★南小泉老壮大学教養コース	・開講式、閉講式 ・歴史、文学、法律、自然科学、医療、健康の各分野の講座を開催。他に運営委員会との共催の公開講座としてコンサートを実施した。	4月20日 ～2月8日	11	813
南小泉老壮大学健康コース	・開講式 ・健康・生きがい・歴史・災害・くらし・環境に関する講話および実技のほか、運営委員会自主企画による公開講座を行った。 ・閉講式は記念講話の他、修了証授与	4月27日 ～2月22日	11	682
【出前講座】 シニア元気倶楽部	普段市民センターまで来館しにくい地域の高齢者が参加しやすいように、近隣の集会所などへ出向き軽運動や健康講話、歴史講話などの出前講座を実施した。	11月10、25日 2月15日	3	81
仙台七夕に願いを	・大笹七夕飾りの製作を行い、エントランスホールに飾り付けを行った，折紙体験（七夕にちなんだ折り紙体験会)、お茶っこサロン等を行った。	6月9日 ～7月30日	11	134
●若林区東西線沿線魅力発信事業 若林区東西線沿線魅力探検隊	地域資源である区内の六・七郷堀サポーターズと一緒に堀を訪ねるという学びを通して、地元への愛着を増し、東西線開通後のまちづくりや若林の魅力発信を行なった。	4月18日 ～3月12日	5	140
夕ぐれどきのミニコンサート	七夕にちなみ、ピアノとフルートの演奏で、「星」「月」をテーマとした楽曲を選択し開催。	8月3日	1	84
若林区中央市民センター 第23回学習発表フェスタ	地域で活動している団体・個人の学習成果発表の場として開催。ステージ発表、作品展示、体験コーナーなどを実施した。	1月29日	1	1,501
若林区中央市民センター事業懇話会	学習発表フェスタの参加団体から、市民センターに期待する活動支援、施設利用などや、各団体の活動紹介など意見交換の実施。また今年度の出前講座の実施状況と今後の進め方について・意見交換会（次年度に向けての要望など）実施。	2月11、23日	2	14
ジュニアリーダー定例会	月1回開催し、要請の調整、情報交換、研修等を行った。	4月17日 ～3月12日	12	38
ステップアップ！読み聞かせ	ボランティアを対象とするスキルアップ講座。子どもと高齢者それぞれの対象にあわせた読み聞かせの技術を学んだ。	7月1、15日 9月2日	3	36
市民企画会議 「わくわく！ママ・パーク」	子育ての当事者である若い母親による企画会議。市民企画講座「子育てママのほっとひと息タイム」を開催した他、子育て世代のニーズを「家庭教育講座」に反映し運営に協力した。	5月11日 ～3月23日	19	86

学校応援隊	学校への防災教育に向けての提案について、意見交換を行い、次年度の実施に向けて情報収集を行うことができた。	1月17、31日 2月14日	3	14
若中サークル案内月間 ～あなたもはじめてみませんか～	・サークル情報（ポスター）を収集し、展示（会場：アートギャラリー・わかぶん）を行った。	1月20～31日	10	152
市民企画講座 「子育てママのほっとひと息タイム」	子育て中の親を対象に、ハンドトリートメント、染物体験、ママの交流会を実施した。	10月28日 11月18日 12月2日	3	37

七郷市民センター

〔沿　革〕

七郷市民センターは、地元住民の要望により「七郷公民館」として昭和58年4月に保健センター・コミュニティ防災センターとの複合施設として開館し、平成元年には「七郷公民館・市民センター」となり、若林区の拠点館となった。平成2年には「七郷市民センター」と改称。平成5年9月には若林区中央市民センター開館に伴い、拠点館機能を移行した。平成14年4月児童館を併設、さらに平成22年2月に大規模改修工事を終え、七郷証明発行センターも併設された。

近年、七郷地区は、復興公営住宅や防災集団移転を含め土地区画整理事業が進展し、地下鉄東西線開業も相まって新しいまち並みが形成されており、今後のまちづくりに向けた市民センターが果たす役割は大きくなっている。区役所はじめ諸機関、地域団体との連携を深め、新旧住民がつながりを築き共に支え合うまちづくり、文化づくりを推進できるよう、組織的に事業を推進している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★◎地域力創造支援事業　わたしのまち七郷		
参加者	町内会・地域団体からの選出者	延参加者	94人
開催日	全9回　　7月2日(土)、7月23日(土)、8月24日（水)、9月27日（火) 10月21日(金)、12月13日(金)、1月19日(木)、2月8日（水) 3月23日(木)		
協力者・協力団体	七郷地区町内会連合会、七郷小学校社会学級、七郷語り継ぎボランティア「未来へ一郷浜」		
ねらい	七郷地域は農村地帯から街へと大きく変容しているため、今までの七郷の歴史や街並み、そこで営まれてきた暮らしをまとめ、記録として継承できるようにする。 この事業を通して、転入者のみならず従来からの住民にとっても地域を知る手立てとなり、郷土を愛する心情を育む基とする。		
概要・成果	平成20年に当市民センターで七郷の歴史や伝統を伝え継ぎ、ふるさとへの愛着を深められるように「七郷かるた」を作成している。転入者のみならず従来からの住民にとっても地域を知る手立てとなるよう、そのかるたに盛り込まれた名所・旧跡等を集約した「『七郷かるた』でたどる史跡・旧跡七郷散歩マップ」作りに取り組んだ。編集委員会を開催し、その会議では活発に意見交換がなされ、編集委員とともに作り上げていくことができた。また、その会議の中で、地図作成や表面の絵で地域の人材を発掘することができ協力を得るに至った。		

〔平成28年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●子育て支援講座 「ママ友つくって毎日はっぴい」	参加しやすい子育ての交流・仲間作りの場を提供した。リラックスヨガ、先輩ママと紙パックトレーづくり、親子で楽しむ人形劇、家庭健康課のお話と交流会、ちびっこ運動会	5月19、26日 6月2、9、16日	5	174
★市民企画講座 「七郷ママの交流＆リフレッシュ」【秋編】	子育て世代の方々の交流の場となる講座を開催し、新住民同士、また以前から住んでいる方ともつながるきっかけづくりとした。在園児ママによる幼稚園のお話、リラックス運動タイム、親子でまちさんぽ	9月21、28日 10月6日	3	43
★市民企画講座 「七郷ママの交流＆リフレッシュ」【冬編】	秋に開催された講座の続編として開催。子育て世代の方々の交流の場となる講座を開催し、新旧住民のママ同士がつながるきっかけづくりとした。英語で遊ぼう、親子ビクス、リトミック、写真コラージュ、保湿クリーム作り	1月17、24、31日 2月21、28日	5	118

★七郷子どもクラブ	子どもの健やかな育ちを支援するため、学校外での様々な体験を通して仲間づくりや異年齢交流の機会を提供した。ペットボトルロケットを飛ばそう、七郷小学校防災キャンプ、スイカ割り、だんご刺し体験	6月4日 7月16、17日 8月20日 1月14日	5	299
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童と子ども会の世話人を対象に子ども会の知識や情報交換の場を提供した。プログラム作り、ゲーム研修、子ども会についての講話、情報交換等	2月18日	1	49
★地域と結ぶ・つながる－七郷結いくらぶ	転入者が気軽に参加できる場、新旧住民の交流や地域とのつながりが持てるきっかけとなる場を提供した。ﾎﾟｰﾄﾚｲﾄ講座、ｺｰﾋｰ&音楽を楽しむ講座、おつまみ簡単ｸｯｷﾝｸﾞとお酒のお話、地域防災講座、ｻｰｸﾙ体験会	9月10日 ～3月31日	15	110
★七郷老壮大学	地域の高齢者が心豊かなシニアライフを送るため、学習の場、受講者間の交流の場を提供した。動物公園のお話、脳トレ、真田幸村について、薬のお話、民話語り、ちんどん公演、映画上映、運営委員会企画講座等	4月13日 ～3月8日	12	952
★定点観察「今と未来をつなぐ」	日々変貌している七郷地域の変化の著しい地点をピックアップし定期的に写真で記録した。定例会、写真整理、館内展示、写真展開催、HP へのアップ等	5月27日 ～3月10日	26	101
★新発見！再発見！！七郷まち歩き	昨年度作成した地下鉄周辺のマップを活用し、地域外からも七郷を訪れてもらうきっかけを作り、地域の魅力を発信するためまち歩きを実施した。荒井編、荒浜編、六丁の目編	9月19、25日 11月5日	3	50
★「七郷学びの応援隊」企画講座　青い鯉のぼりプロジュエクトーぼくらのふるさと復興支援活動	管内小学校社会学級と連携し、震災の風化を防ぎ復興への励みとなるよう「青い鯉のぼりプロジェクト」を実施した。講話「ぼくらの震災復興支援活動」、和太鼓演奏、社会学級生有志合唱団による交流会	1月21日	1	117
★わたしたちはあの日を忘れない	大震災の記憶を風化させることなく、その被害や避難状況、経験、教訓等を後世に伝える場を設けた。自衛隊による震災救援の上映と講話、震災当時・復興の様子の写真展示、語り継ぎﾎﾞﾗﾝﾃｨｱによる震災体験の語り	3月11日	1	18
★七郷学びの応援隊	管内小学校社会学級と連携し、地域住民の視点でニーズを反映させた講座を企画・実施した。地域課題の抽出と講座開催に向けての話合い、講座開催、振り返り	6月14日 ～2月9日	8	40
★七郷ハートフルコンサート	蒲町中学校区住民のセンター利用促進へとつなげるため、気軽に足を運んでもらえる場を設定した。七郷中学校吹奏楽部とブラスパーティー仙台東のジョイントコンサート、ｾﾝﾀｰ利用団体（合唱・ﾊｰﾓﾆｶ」）のコンサート	12月17日 3月4日	2	296
★●七郷市民まつり	各種サークル活動をしているグループの、学習成果発表の場を提供し、また新旧住民のより良い交流の機会とした。謝恩即売、演芸発表、展示発表、消防展示・体験、バザー、保健センターまつり、児童館まつり他	11月20日	1	9,700
★●復興公営住宅入居者交流事業「つながろうこの地で」	復興公営住宅入居者、防災集団移転居住者等が気軽に集い交流できる場を設定し、顔の見える関係づくりへとつなげた。花の寄せ植え講座＆ミニコンサート、かるた大会＆ミニライブで交流	6月19日 2月19日	2	180

★七郷地域懇和会	地域課題や学習ニーズを把握するため､懇話会を実施した｡地域各種団体と地域課題や学習ニーズについての意見交換､町内会と地域課題や学習ニーズについの意見交換等	1 月 26 日 2 月 1 日	2	28
ジュニアリーダー活動支援「郷郷七郷」定例会	子ども会活動のための中高生ボランティア活動であるジュニアリーダーの活動を支援した。要請確認、研修等	4 月 17 日 ～3 月 12 日	12	57
朗読ボランティア養成講座	地域の小学校や福祉施設で活動する朗読ボランティアを養成した。朗読の基本となる発声練習・「よだかのほし」の朗読実技	8 月 20、27 日 9 月 3､10､17、24 日	6	50
★傾聴ボランティア養成講座	地域から傾聴の需要が高まってきていることから、要望に応えられるよう傾聴ボランティアを養成した。ボランティアの心構え、良い聴き手になるために、傾聴の三本柱、ロールプレイング、認知症の方への傾聴、交流会等	2 月 23 日 3 月 2、9、16、23 日	5	108
市民企画会議 「七郷ママ友企画会」	七郷地域はもともと子育て世代が多く､今後ますます転入者も増加していく。そこで、新旧住民のママ同士の仲間作りや交流の場となるような､子育て支援講座を企画・実施した。企画会議、講座実施、振り返り	7 月 14 日 ～3 月 9 日	12	58

荒町市民センター

〔沿　革〕

荒町市民センターは、昭和 47 年に旧斎藤記念館を全面改築し、「荒町市民福祉会館」として昭和 48 年 5 月に開館した。昭和 58 年 4 月「荒町市民センター」と名称変更した。施設は、老朽化と機能拡充の必要性から現在地に建物を改築し、平成 22 年 2 月 2 日に開館した。

当市民センターが所在する荒町地区は、仙台市のほぼ中心部、昔からの老舗街である荒町商店街の一角に位置しており、仙台藩の名残を今尚残している地域である。

地下鉄五橋駅から徒歩 5 分、JR 仙台駅から徒歩 20 分と交通の便に恵まれ地域の方をはじめ市内全域から多くの市民に利用されている当市民センターは、日中はもとより、夜間も仕事帰りの活動の場として、幅広い年齢層に活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**きらきら子育て　あらまちっこくらぶ**		
参加者	子育て中の親子	**延参加者**	80 人
開催日	全 4 回　　5 月 20 日(金)、6 月 3 日(金)、6 月 17 日(金)、7 月 1 日(金)		
協力者・協力団体	荒町児童館（共催）		
ねらい	子育て中の親子を対象に、子育てに関する学習や、気軽に集える場を提供するとともに、情報交換の場を設け、市民センター・児童館が一体となり荒町地域の子育てコミュニティーの広がりを目指す。		
概要・成果	この講座は荒町児童館との初めての共催事業であり、親子で楽しめるリトミック・楽つみき、託児付きのハンドマッサージ、スクラップブッキングと親も子も楽しめるような内容で開催した。講座終了後は児童館遊戯室に立ち寄り、お弁当を囲んでの交流の様子が見られ、気軽に集える場の提供ができた。 また、受講生が学習した内容について興味を持ち、講座終了後も普段の生活に活かしているなど継続した学習に繋がった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
あらまち子ども囲碁クラブ	土曜日の安全な活動の場として、小学生児童・中学生徒対象に開催し、基礎知識の習得や礼儀作法を学びつつ、世代間交流を通してコミュニケーション力を高めた。	4 月 9 日 ～3 月 18 日	23	128
仙台市子ども会 インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図る為、子ども会のリーダーとなる児童や世話人を対象に子ども会についてやレクリエーション等の学習をした。ジュニアリーダーの活動のアピールにもつながった。	2 月 11 日	1	80
あらまち体験隊	地域資源を活用した広瀬川の生物観察会や、郷土料理のはらこめしの調理を通して、子ども達に体験・学習・交流の場を提供した。	6 月 12 日 11 月 3 日	2	20

★防災デイキャンプを体験しよう	企画段階から荒町小学校・保護者有志・学校支援地域本部・児童館からの協力を得て、実行委員会方式を採り、指定避難所でもある小学校で開催した。また自衛隊からの協賛を得て、防災特別講座も実施した。	8月20日 2月5日	2	49
友ーモア川柳	川柳の学びを通して世の中の出来事に関心を持ち自分なりの考えを発表することができた。一人暮らしの孤独感の軽減の一助となった。ユーモアのある川柳をさらに学ぶサークル「荒町川柳」が立ち上がった。	7月29日 8月5、19日 9月2日	4	68
【手話通訳付】 荒町いきいき講座	聴覚障害者・手話通訳者が気軽に楽しく参加できる講座として、平成28年度は（公財）仙台観光国際協会（SenTIA）の国際理解プログラムを活用した国際交流講座を開催した。	10月6、20、 27日	3	66
あらまち町民大學 シルバーセミナー	高齢化が進んでいる現状を踏まえ、それに伴う支援強化の一環として、講話・実技・館外学習・運動など、年間を通じての定例講座を開催した。	4月20日 ～3月1日	11	652
シニアの安心塾	老後の生活の不安と孤独感の軽減を図る為、特殊詐欺対策の講話やリズム体操・健康太極拳・コミュニケーション麻雀・交流会を開催した。	11月18、25日 12月2、9日	4	81
荒町四季物語2016	七夕飾り作りやお月見行燈づくり、その後の展示・コンサートをボランティアの協力を得ながら開催し、荒町地区を四季を通して応援するような講座を実施した。	6月30日 ～3月4日	9	176
★荒町市民センター・児童館フェスティバル	地域住民及び利用団体によるステージ発表、作品展示のほか、チャリティーバザー、荒町商店街出店、児童館ブース、交通安全シュミレーター、抽選会などを開催した。	10月1、2日	2	4,700
荒町市民センター 地域懇談会	平成28年度異動があった学校長、PTA会長と地域の連合町内会にお集まり頂き顔合わせを兼ねて地域課題を共有した。	5月26日	1	14
市民企画講座「あのころの荒町これからの荒町」	時代の流れと共に活気が失われつつある荒町界隈の写真展を通して、これからの荒町を考える機会を提供した。	3月10、11、 12日	3	184
●若林区魅力発信事業「若林区探検隊MAPを作ろう」	地下鉄南北線の五橋駅・愛宕橋駅沿線を探検し「こだわり情報」発信のためMAPを作成した。	9月～2月	5	183
ジュニアリーダー定例会	要請確認や活動の準備、情報交換や活動報告など、定期的に集まる場を提供し、ジュニアリーダーの自主活動を支援することができた。仲間同士の連帯感や協調性が育まれ、活動にも活かされた。	4月24日 ～3月26日	12	50
★折紙ボランティアスキルアップ研修	折紙ボランティアの折紙の知識、技術の向上、ボランティアとしての心構えを学んだ。学んだ知識を市民センター主催講座に生かす事ができた。	5月26日 ～2月9日	8	141
荒町大好き企画会2016	複数年事業の4年目だったがこれまでの成果物（紙芝居等）を各所で発表した。また、高校生と共に紙芝居のDVD化にも着手した。そのことにより自分たちのスキルアップにもつながった。さらに写真展を企画、運営した。	通年	18	138

六郷市民センター

〔沿　革〕

昭和 56 年、地域住民の福祉増進を目的に保健センターとの複合施設「六郷市民福祉会館」が開館し、昭和 58 年に「六郷市民センター」と名称を改め、地域の社会教育活動の場として定着した。平成元年には公民館としての機能が加わり、平成 2 年には「六郷児童館」を併設、さらに平成 22 年 12 月に大規模改修工事を終えて再開し、生涯学習の拠点として現在に至っている。

六郷地域は名取川と広瀬川の合流点を有し、美しい干潟や貞山堀運河、屋敷林の居久根など自然環境や歴史的遺産等に恵まれていた。しかし、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、沿岸の六郷東部地区は住宅・学校・農地・事業所といった生活基盤のほとんどが壊滅的かつ甚大な被害を受け、地域が一変した。また平成 29 年 3 月末には東六郷小学校が六郷小学校と統合し閉校となった。

現在、六郷地区の再スタートということで、地域住民・町内会・各団体と連携を保ち、情報を共有しながら、地域を支えられる人材育成の推進と新たな地域の活性化に努めている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	「サロン・シング・あ・ソング」		
参加者	地域住民他どなたでも	延参加者	172 人
開催日	全 6 回　　5 月 13 日（金）、6 月 10 日（金）、7 月 8 日（金）、9 月 9 日（金） 10 月 21 日（金）、11 月 5 日（土）、11 月 6 日（日）		
協力者・協力団体	六郷市民まつり実行委員会		
ねらい	震災後の新しい住宅への移転や仮設住宅の解体等、住民の移動もほぼ落ち着きを見せている。そんな中、地域を知り地域を見直す手がかりとして、歌を歌って楽しむ活動を通して、サロン形式の気軽に参加できる機会を提供し、健康増進や仲間づくり、生きがいづくりに役立てるとともに、地域の交流の場とする。		
概要・成果	複数年事業として平成 27 年度から始まった事業で 2 年目を終えた。みんなで童謡や唱歌を歌って楽しむだけでなく、六郷市民まつりで発表したり、地域の老人クラブの皆さんを招いて交流したりした。交流会では手遊びや茶話会等で、歌をきっかけに話が弾んだ。また、受講生の方が知り合いを誘う等、交流の輪が広まった。3 年目となる来年度は、復興公営住宅や集団移転住宅の集会所をお借りして、出前交流サロンを開催する予定である。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おやこで遊ぼう！ポップ広場	メイクアップ、郷土料理、クリスマスカード作り、ヨガとマッサージを実施。親子一緒に気軽に話ができる雰囲気で、参加者同士の交流を図った。	5 月 31 日 10 月 4 日 12 月 13 日 1 月 31 日	4	30
●元気で安心子育て倶楽部	懇談会での地域課題解決のため、乳幼児期からの虫歯予防喚起と「健康」「育児」「食」について学ぶことで、子どもの豊かな育ちを支援した。歯についてのお話、ヨガ、医師のお話、寿司づくり。	11 月 26 日 12 月 3、10、17 日	4	33
インリーダー研修会	子供会活動の充実を図るため、児童・世話人を対象に、子ども会活動の意義や役割についての講話とレクリエーションゲーム等の実習を行った。	2 月 11 日	1	29

ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーが学校外での子どもの遊びを支援することで、子ども同士の関わり方や異年齢交流を学ぶ機会とした。レクリエーションゲームや六郷市民まつりでの JL コーナー運営。	10 月 12 日 11 月 6 日	2	135
中高生の六郷クラブ	学校の部活動の生徒が講師役になって、子どもや地域住民対象に指導したり、披露したりすることで双方の交流が促進され、地域活性化につながった。マジックショー、卓球、英語ゲーム。	6 月 25 日 8 月 6 日 10 月 22 日	3	41
●六郷あすなろ大学	高齢者が健康で生きがいのある心豊かな生活を送れるよう学習機会を提供した。講話、健康づくり、音楽観賞会、自主企画講座等を通して受講生相互の親睦を深めた。	5 月 19 日 ～3 月 2 日	10	573
五感で知ろう！六郷みてある記	六郷に関する取材ノートからの講話や古い地図から読み取れる地域の話。館外学習として井土のメダカ里親、近隣の史跡（三十三観音）探訪、花き農家や農家レストランを訪ね見学や体験をした。	8 月 20、27 日 9 月 3、10、17 日	5	90
六郷お月見会	月の観察と解説、お話し会、工作、お茶席を実施。地域団体「ハートフル六郷協議会」と連携して開催することで、若い世代に対して伝統行事に触れる機会を提供するとともに地域交流を図った。	9 月 16 日	1	55
★●六郷地域防災事業	自然災害に対して地域ぐるみで対策に取り組めるよう町内会、学校、地域団体、行政等が連携して、避難訓練や避難所運営訓練および研修会を実施。	7 月 9 日 9 月 1、10 日 2 月 18 日	4	940
ペットでつなごう地域の輪	飼い主のマナーについて考えると共に、飼い主同士の交流を図ることで地域全体とペットが共存し楽しく暮らせる社会を目指し実施した。動物介在ボランティア活動のお話や動物病院の先生を招いての悩み相談など。	6 月 18 日 7 月 23 日 8 月 27 日	3	27
★「わたしのふるさとプロジェクト」企画講座　六郷東部を明るく照らす「第２回　鎮魂の花火」	六郷東部地区住民とゆかりのある人々の交流の場を提供するイベントを実施。献花・黙祷、お汁粉の振る舞い、ケーナの演奏、鎮魂の花火の打上げ。	1 月 21 日	1	300
市民企画講座「学校に泊まろう！」	地域住民・父母教師会・学校が連携し、学校に泊まって竹容器づくりやおにぎり作りを行った。夜は肝試しやジュニアリーダーによるゲームなどを実施した。また、学校の指導によりプール体験も行った。	7 月 30、31 日	1	56
★●平成２８年度「六郷市民まつり」	東六郷小開演太鼓、オープニングセレモニー（幼稚園・児童館）、作品展示・ステージ発表、地域出店、フリーマーケット、保健センター・児童館まつり、消防・防犯・環境コーナー、大抽選会	11 月 6 日	1	3,650
★●市民センター・児童館事業運営懇談会	市民センター・児童館の運営方針や事業内容を地域の方々に周知し意見や要望を伺った。2 回目は健康をテーマに話し合った。	7 月 9 日 2 月 28 日	2	85
ジュニアリーダー「六郷村」定例会	ジュニアリーダー要請の連絡・調整のほか、ダンス・バルーンアート・ゲームなどの研修を行った。ジュニアリーダー達は多くの要請に参加し、良い経験を積むことができたようだ。	5 月 3 日 ～3 月 25 日	12	37
市民企画会「六ゴーイング」	地域が活性化するような事業を企画・運営して協働していくことで楽しさと達成感を感じてもらうことができた。企画会議、事業実施、反省会。	7 月 8 日	1	4
★市民企画会「わたしのふるさとプロジェクト」	六郷東部の賑わい再生について取り組む会議を月１回程度開催。六郷東部の諸団体の活動を支援するとともに、地域住民とゆかりのある方が交流するイベントを企画・実施した。	5 月 18 日 ～3 月 3 日	18	215

若林市民センター

〔沿　革〕

若林市民センターは、平成 3 年 4 月に若林児童館、コミュニティ防災センターを併設して開館した。以来、地域の社会教育活動や福利厚生活動に活用され、親しまれて現在に至っている。

管内は藩政時代伊達政宗公ゆかりの史跡や広瀬川舟運、商人の町の歴史ある町名を残すとともに、広大な河川公園などがあり、自然に恵まれている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★●◎みんなでつくる“活気と思いやりのあるまち若林”		
参加者	若林小学校児童及び地域の諸団体・地域住民	延参加者	399 人
開催日	全 4 回　　5 月 31 日（火）、7 月 14 日（木）、10 月 26 日（水）、12 月 6 日（火）		
協力者・協力団体	若林小学校・若林小学校 PTA・若林地区町内連合会・若林西せせらぎ会・若林地区社会福祉協議会・民生委員児童委員連絡協議会・日赤奉仕団・若林消防団南材分団・若林地区婦人防火クラブ連合支部・若林区まちづくり推進課・若林区中央市民センター		
ねらい	若林地区の将来を担う若林小学校の児童を核に、町内会をはじめとする地域の諸団体と学校、PTA、市民センター等が協働して事業を実施し、地域全体で子ども達の成長を支援するとともに、本事業を通じて人と人との繋がりや団体と団体との連携をより強固なものにし、地域コミュニティの充実を図り、若林地区を活気と思いやりのあるまちにすることを目的とする。		
概要・成果	若林小学校の児童と若林西復興公営住宅の入居者が一緒に花植え作業を行い、交流し、元気を届ける事業を春・秋 2 回実施した。この事業をきっかけに、子ども達が学校行事の学習発表会に若林西復興公営住宅の方々を招待するという展開もあって、心の復興支援として大いに効果があったと考える。また、若林小学校 PTA 事業として「親子で防災ゲーム in 若林」を開催した。この事業は、小学生を持つ若い世代が地域活動に参加するきっかけづくりと防災意識の涵養を目的としたもので、開催に当たっては、町内連合会をはじめ、学校近隣の町内会や諸団体の支援のもと、交流を深めた。 12 月には、復興公営住宅に入居する方々が主体となり、復興公営住宅に“花と笑顔と元気”を届けてくれた若林小学校 4 年生の児童に歌のプレゼントするために「花いっぱい、ありがとうコンサート」を開催した。コンサート終了後、児童から演奏者と若林せせらぎ会の方々へ御礼の歌が送られ、交流が図られた。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●子育てタイム～ママの心と体をリフレッシュ～	子育て中の母親が子どもと離れてリフレッシュし、悩みや疑問を共有しながら情報交換する場を提供した。１，２回目は体のバランスを整え健康ストレッチ運動、３回目は育児相談を行った。	6 月 23、30 日 7 月 6 日	3	15
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会の知識や活動に必要な実技の研修を行った。実技では児童が企画したゲームを世話人を交え行った。	2 月 18 日	1	63

わかばやしキッズクラブ	小学生を対象に、学校や家庭では味わえない学習・体験・交流の場を提供し、自ら学ぶ力を育むきっかけづくりを行った。①移動天文車ベガ号による天体観望会②ＬＥＤの実験と工作③勾玉作り	11月18日 12月10日 1月14日	3	61
★中学生のための防災教室	若林地区総合防災訓練の一環として、訓練に参加した八軒中の１年生を対象に「みんなのための避難所作り」の防災ワークショップを実施した。	10月22日	1	70
若林小学校連携事業「わかばやし歴史探検」	若林小５年生を対象に地域学習授業の一つとして、若林城跡を中心に地元郷土への関心を高める講座を実施した。１回目はブックトーク、２回目は講話、３回目は校外学習を行った。	7月13日 9月28日 10月5日	3	102
古城小学校連携事業「仙台まち再発見」	古城小５年生を対象に、自分たちの住んでいる地元の歴史や地理等を学ぶ機会を提供した。3回実施。1回目は歴史に関するブックトーク、2回目は古城の歴史の講話、3 回目はグループに分かれた町探検。	9月14、16日 2月17日	3	162
市民企画講座「今につながる若林の昔のはなし」	複数年事業で取り組んでいる市民企画会議で企画、若林区古城にある「若林城跡」に焦点を当てた歴史を地域に向けて発信した。	9月13、27日	2	54
くらしアップ若林	市民センターの利用者拡大を目的として、豊かな生活を送るよう、①自分でできる整理収納技術、②健康を目的とした腸もみ足もみ法、③地域講師から手作り和菓子の作り方をそれぞれ実技を交えて学んだ。	6月16日 12月8日 2月15日	3	42
★●災害から命を守るために（防災講座）	地域団体と連携を図り、防災の知識を気軽に楽しく実践的に学んだ。①防災エンスショー②救命講習③救命救急	6月26日 7月23日 2月4日	3	64
若林老壮大学	高齢者に対応できる様々な分野の学習を月１回実施した。内容は、歴史・マイナンバー・植物・国際理解・童謡・健康・読書・防犯等の講話、ミニコンサートや地域施設の案内､軽体操など。	4月15日 ～3月3日	11	748
気軽にコンサート inわかばやし	気軽に立ち寄って､生演奏に触れる機会を提供。1回目オカリナ・ヴィオリラ､2回目ピアノ・マリンバ､3回目アイリッシュハープ・ライアー､4回目ギター・歌唱によるコンサートを行った。	6月25日 10月22日 12月17日 3月4日	4	126
★若林ふれあいまつり	若林地区住民のふれあいの場として、またサークル・団体の学習成果の発表の場として、町内連合会、地域団体と連携しまつりを開催し多数の来場者でにぎわう楽しいまつりを開催した。	9月4日	1	1,100
地域懇話会	地域住民や学校関係者等に市民センターの活動を紹介するとともに、市民センターの事業や運営等に関する意見・要望等を伺い、意見交換を実施した。	2月14、25日	2	18
市民企画会議「仙台の今・むかし」	複数年事業の４年目。月１回集まって企画会議を開催し、公開講座を企画運営した。また、学んだ成果を地域に向けて発信するためのマップ作りに取り組み、次年度の完成を目指す。	4月28日 ～3月23日	13	113
ジュニアリーダー定例会	毎月、区定例会の前に要請確認・調整・技術研修の他、メンバー同士の交流・親睦を深める場とした。	4月17日 ～3月12日	12	42

沖野市民センター

〔沿　革〕

沖野市民センターは、平成３年４月、児童館・老人福祉センター及びデイサービスセンターとの複合施設としてオープンした。東側に田園が広がり、西側はバイパスを境に住宅が密集している。多種の木々と、老人クラブや地域の方々が善意で植えてくださった花壇が、センター前広場に彩りを添えており、こうした花と緑豊かな広場を持つ当市民センターは、地域住民の憩いとふれあいの場所として利用されている。

地域住民の生涯学習活動に対する関心は高く、また自主サークル活動も盛んである。また、町内会や老人クラブの結束力が強く、活動も活発で、学校や他の公共施設等とも円滑な関係を保っている。様々な分野の達人も多く、地域人材も豊富な地域である。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**★●若い力で地域を守るー沖野地区総合防災訓練ー**		
参加者	沖野中学校生徒、沖野地区の住民	**延参加者**	120 人
開催日	全１回　　10 月 22 日（土）		
協力者・協力団体	沖野地区災害対策委員会（沖野中学校、沖野小学校、沖野東小学校、民生委員児童委員協議会、沖野老人福祉センター、若林消防署六郷出張所、沖野地区町内会、沖野地区婦人防火クラブ、若林区保健福祉センター、若林区保護課、若林区まちづくり推進課、若林区区民生活課、仙台市農業委員会、若林区社会福祉協議会）、沖父ちゃん会（沖野東小学校おやじの会）		
ねらい	学校・地域諸団体と緊密な連携を図りながら、市民センターを会場とした防災講座を実施し地域活動の拠点としてのセンターを地域により一層浸透させていく。中学生を対象とすることで、地域全体の防災意識の向上を図るとともに未来の地域活動を担っていく若い力を育んでいく。		
概要・成果	地域の防災訓練の機会に、負傷者弱者搬送、応急手当といった市民センターが補助避難所として求められる事態を想定し、地域住民と中学生が災害時の対応を学んだ。 学校、町内会、地域団体とさらに多くの協力を得て開催することができ、これによって地域の防災力の強化に繋がり、市民センターと諸団体の関係もさらに緊密になった。また、中学生にとっては地域の一員なのだという自覚を促す良い機会となった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●笑顔で子育て	講話「赤ちゃんとの暮らし」と育児相談、音楽で遊ぼう、布おもちゃづくり、生け花と茶話会	8 月 26 日 9 月 16 日 10 月 21 日 11 月 18 日	4	152
★親子でチャレンジ	ピザ作り、火起こし、防災サイエンスショー	8 月 27 日 9 月 17 日 11 月 26 日	3	61
沖野っ子見守り隊	講話「保護者のための子育てとメディアの上手な付き合い方」を六郷幼稚園、ドリーム幼稚園、ろりぽっぷ幼稚園の３会場で行った。	1 月 17、31 日 2 月 4 日	3	69

伝えよう仙台伝統七夕	ボランティア養成のためのミニ七夕作り、小学校での七夕作り	6月16、23、30日 7月7日	4	255
インリーダー研修会	子ども向け講話「子ども会活動について」、世話人向け講話「子ども会と世話人の役割」、実技「子ども会行事の中で役立つゲーム等を考える」「レクリエーションゲームの進め方」	2月11日	1	47
いろいろな国の言葉でごあいさつ－外国の文化を学ぶ－	ネパール人講師から、国の文化、風習などのお話を聞いて外国の文化を学び、東高校英語科の生徒さんと交流をしながら、英語に親しんだ。	8月4、10日	2	25
沖野学園－学びのスクール－	各種体験会（大昔探検隊－化石、夏野菜料理、ペットボトルロケット、生け花、マジック、ナポリタン焼きそば作り、座禅、ポニーの飼育、茶道、ティーボール）	7月28、29日	10	345
お父さん出番です	ミニ四駆大会、沖野小学校・沖野東小学校対抗ドッジボール大会	8月21日 12月11日	2	118
★●沖野耕友大学	合唱、文学（藤沢周平と朗読）、レクリエーションゲーム、国際理解（中国大連での生活）、歴史（伊達政宗のまちづくり）、生活習慣病予防講話、防災駅伝ゲーム、年忘れ演芸ショー、映画鑑賞、介護予防体操、沖野の歴史講話	5月13日 ～3月10日	12	938
市民企画講座　スマホに子守りはなぜ危険？－見直そう赤ちゃんとの時間－	講話「メディア漬けの予防は乳幼児から」、実技「読み聞かせとわらべ歌」	10月12日 11月9日	2	44
社会学級連携講座エコな家事で地球を守ろう！	現代の環境問題改善に役立つ家庭的取組みについての講話、ふわふわホイップクレンザー作りのワークショップ	11月8日	1	16
社会学級との事業企画検討会	昨年の振り返り、今年度の計画について検討会、反省会	6月8日 8月20日 9月15日 11月8日	4	14
★沖野地区市民まつり	作品展示発表、ステージ発表、お茶席、フリーマーケット、模擬店、児童館コーナー、消防署コーナーなど	11月2、3日	2	9,950
ホットタイムコンサート－土曜のひとときをご一緒に！－	吹奏楽ミニロビーコンサート、音楽療法の話と演奏とミュージックベル	9月24日 10月1日	2	40
沖野地区懇話会	自己紹介、開催講座の説明、地域情報の収集、意見交換	8月25日	1	18
読み聞かせボランティア養成・スキルアップ講座	講話「読み聞かせとボランティアについて」、実技「読み聞かせで使う小道具作り」、実技「わらべ歌」	6月21、28日 7月5日	3	61
ジュニアリーダー定例会	要請調整、活動報告、情報交換、技術研修	4月17日 ～3月12日	12	36
★●東日本大震災の地域の活動記録－おきのかわら版－	かわら版編集会議、取材、ＨＵＧ研修会開催、防災紙芝居見直し、反省会	6月7日 ～3月14日	13	52
市民企画会議	オリエンテーリング、講座内容検討、講座運営、反省会	7月14日 10月12日 11月9日 12月6日	4	12

太白区中央市民センター

〔沿　革〕

太白区中央市民センターは、平成 11 年 6 月長町商店街の中核をなす JR 長町駅前に開館した複合施設内にある。同施設には当市民センターの他、太白区文化センター、太白図書館、太白区中央児童館及び太白区情報センターも設置されている。JR やバス、地下鉄などの公共交通機関の利便性に優れた立地のため、近隣の広い地域の生涯学習活動や交流の拠点として、多くの市民が利用している。

当市民センターの周辺は、昔から仙台市南部地域における商業の中心として活況を呈してきた歴史のある地域であるが、近年は地下鉄沿線・あすと長町地区での大規模小売店の進出やマンション建設等が進み、人口の増加が著しく、さらに復興公営住宅の完成や仙台市立病院の開院等、これまでにも増して多くの滞在人口がのぞめる地域となってきている。当市民センターではこうした状況を踏まえて、地域コミュニティの活性化にも積極的に取り組んでいる。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	バリアフリー体験 in ながまち 2016		
参加者	小学生とその親、及び成人	延参加者	70 人
開催日	全 7 回　8 月 3 日(水)～11 月 17 日(木)		
協力者・協力団体	CIL たすけっと・長町地域包括支援センター		
ねらい	長町地域には障害者関連施設が多いが、地域住民にはあまり認識されていない。そこで障害者支援施設、地域包括支援センターと連携し、共に支え合い安全・安心な街づくりを考える講座を複数年かけて実施する。平成 28 年度は、障害者の方と地域住民がお互いを知り、交流することに主眼をおいた事業を行う。		
概要・成果	連携する三者が講座の内容、実施について会議をもつことで、それぞれの団体の活動内容や特徴について知ることができた。平成 28 年度は、小学生親子と成人がお菓子作りや車イス体験を通して交流し、今後一緒に体験できる講座などについて話し合うこともできた。参加者は初めて障害者とふれあう方も多く、互いにいい経験になった。連携三者の反省会では、次年度に向けて、より多くの地域住民が体験、交流できる機会について活発な意見交換ができた。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
★●ママにオススメ！防災の心構え	顔合わせ、情報交換、緊急時の心のケアについて、発災時の対応、防災ゲーム体験、防災イベント等を通して日常の防災の心構えを学んだ。	5 月 25 日 6 月 1、8、15、22 日 9 月 30 日	6	31
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、来年度リーダーとして活躍する児童と世話人を対象に社会教育主事の講義を受け、レクレーションゲームを体験した。	2 月 5 日	1	79
めざせ！ながまち子ども鉄道博士	都市交通として利便性の高い鉄道をツールとして、公共交通機関の重要性やこれからの長町地域について学び、平成 28 年度は①東北福祉大学鉄道交流ステーションへの移動学習②仙台市電保存館への移動学習③・④JR の取り組み「地域再発見プロジェクト」について学ぼうを実施。	6 月 25 日 7 月 23 日 8 月 27 日 9 月 17 日	4	32

「エフエムたいはくキッズ 情報局 2016」長町支局	地域学習とアナウンス研修及び地域ボランティアの体験取材等を行い、番組原稿作りを体験し、地域情報や取材内容をラジオで発信した。また、市民センターまつりでのボランティア活動も経験やその内容を成果報告会で発表した。	6 月 12 日 ～1 月 15 日	9	121
太白区中央老壮大学校 公開講座	第 1 回「東北弁民話語りと笙の演奏」出演は民話語り部で演歌歌手の静音ちか氏ほか。第 2 回「欧州由来の日本食「洋食事始め」～国民食カレーと日本人～」講師は東北文化学園地域連携センター副センター長渡邊洋一氏。	5 月 13 日 2 月 10 日	2	808
夜のぶらぶら長町見聞録	地域商店街と連携し、各施設や市民センターを会場に①精進料理の由来と実食②新米に関するお話と食べ比べ③クリスマスリースづくり を実施した。	11 月 15、25 日 12 月 13 日	3	39
太白区中央老壮大学校 いきいき健康コース	健康に関する内容を実技や座学で学んだ。	5 月 13 日 ～2 月 10 日	9	558
太白区中央老壮大学校 せいかつ教養コース	生活に関わる教養の座学や、軽運動、コンサートなど幅広いジャンルから学習した。	5 月 13 日 ～2 月 10 日	9	686
太白区中央老壮大学校 ふるさと文化コース	地域の歴史や文学などを主に座学で学んだ。	5 月 13 日 ～2 月 10 日	9	819
ひと・まち賑わい七夕作り	大型の七夕飾りの制作・展示と、ミニ七夕の作成を行なった。今年度は新たにデイサービス施設での七夕折り紙交流会も開催した。	6 月 14 日 ～8 月 8 日	13	26
市民企画講座 親子でワクワク！ デイキャンプ入門	市民企画講座として、キャンプの心構えの講話やジュニアリーダーのアイスブレイク、火おこしと昼食作りやテントの設営・撤収などデイキャンプに必要な知識を学んだ。	9 月 19 日	1	32
はぁとふるサロン	長町駅前プラザを会場に、ハンドマッサージ・タッピングタッチをコミュニケーションツールとして用いた体験サロンを開催した。	11 月 17 日 12 月 15 日 1 月 19 日	3	74
太白区中央 市民センターまつり ながまち交流フェスタ 2016	地域文化の向上と参加者同士の交流を一層深めながら生涯学習の推進を図るために、当市民センターを拠点として日頃活動している各種サークル・団体及び地域住民や町内会による学習成果の発表の場として開催した。	10 月 22 日	1	6,000
★太白区中央市民センター事業懇話会	平成 28 年度太白区中央市民センター事業の報告や意見交換、及び地域課題についての意見交換を行った。	10 月 27 日	1	11
ハンドマッサージ・タッピングタッチボランティア フォローアップ講座	昨年までの受講者に今年度からの新たな受講生を加え、ハンドマッサージやタッピングタッチの基本と実践学習や傾聴スキルの学習、ながまち交流フェスタでの体験会等を実施した。	6 月 23 日 ～10 月 22 日	9	136
ジュニアリーダー ながまっくる定例会	毎月 1 回、主に第 4 日曜日に定例会を開催し、地域等からの要請の連絡調整や情報交換を行った。また、各種研修会を行い、メンバーのスキルアップを図った。人員は年々増加傾向にある。	4 月 10 日 ～3 月 26 日	12	112
市民企画会議 人情ながまち物語	住民同士の交流と住みよい街を市民センターと協働でプロデュースしていただける方々を募集し、企画会議を行った。昨年から練り上げたデイキャンプ(No15)を実施した。	7 月 9 日 8 月 28 日 10 月 2 日	3	7

生出市民センター

〔沿　革〕

生出市民センターは、昭和 24 年 4 月生出村公民館として発足し、生出小学校の一隅で公民館活動を行なってきた。昭和 31 年には仙台市との合併により「仙台市公民館生出分館」と改称された。地域住民の強い要望から昭和 42 年 4 月、地域社会教育の拠点として、現在地に「生出公民館」が建設された。その後昭和 55 年 5 月には、地域住民から自由に利用できる体育館を併設した公民館の新設が要望され、公民館・診療所・保健センターが一体となった複合施設として開館した。後に、敷地内に調剤薬局・証明発行センターが開設され、同年の 10 月に第 1 回生出コミュニティまつりが開催され今日に至っている。

平成 2 年には「仙台市生出市民センター」に改称され、市民相互の交流と地域活動振興の拠点、また地域づくりの拠点として利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	生出物語～いにしえから現在、そして未来へ		
参加者	成人	延参加者	52 人
開催日	全 12 回　　5 月 13 日(金)～3 月 8 日(水)		
協力者・協力団体	生出地区まちづくり委員会		
ねらい	歴史的文化遺産と自然に恵まれた生出地域だが、地域の歴史や文化について伝承できる人材が高齢化し、後継者不足が指摘されている。多くの方が関わった地域誌を活用し、地域を見直して発信するための講座を開催すると共に、地域の人材を発掘し育成を目指す。		
概要・成果	地域の歴史を知る方々の案内で生出地域の史跡等を探索した。夜間の座学では歴史の見方や情報の集め方について講話をうかがった。また、受講者が自分たちで講座を企画する機会を設けたことで、受講者同士の絆が深まり、地域の歴史探索により興味を持ってもらえた。さらにマップ作りを実施したことで、自分たちが歴史を伝承する意義を感じてもらえた。地域ガイドボランティアが起ちあがり、実際に地域を案内する機会が持てたことは良い経験に繋がった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おいでめんこいフェスタ	地域の子育て支援団体などと連携し、ミニコンサートや遊び、外国人との交流を通じて、育児中の親子や児童、地域住民が交流する機会を提供した。	5 月 28 日 11 月 26 日	2	53
ジュニアリーダー「おいでもん」定例会	茂庭台地区の中学生 8 名と生出地区の中学生 2 名の計 10 名が登録。月 1 回定例会やスキルアップのための研修を行った。	4 月 10 日 ～3 月 28 日	12	53
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーションを学習した。	1 月 22 日	1	40
おいでわんぱく広場	定期的な体育館の開放では地域の子どもたちに遊び場と居場所を提供し、体験講座では科学実験やスイーツづくり、国際交流、移動天文台など様々な体験の機会を提供した。	4 月 9 日 ～3 月 17 日	14	207

坪沼ホタレンジャー	小中学生とその保護者を対象に、蛍の生態や、生育環境について学んだ後、地元講師のガイドにより、蛍の自然観察会を行った。	6月18日	1	22
おいで里ネットみんなであそぼう会	紙ヒコーキ競争や中学校の部活動体験を実施し、中学生と小学生、未就学児、保護者、地域の大人たちが遊びを通して交流した。	2月25日	1	46
エフエムたいはくキッズ情報局 2016・生出キッズ情報局	生出小学校 3 年生における総合的学習の時間「地域についての学習」の取組みの様子を、エフエムたいはくのラジオ番組「みんなが笑顔に・生出においで」の中で放送した。	1月18日	1	18
出前講座	生出地区町内会の婦人部と連携し、地域に赴いて講座を開催した。健康作り講座、地域の歴史講座、環境を考える講座、認知症予防講座など、内容は各町内会と相談しながら決定した。	5月18日 ～2月4日	13	243
生出地区「食文化の伝承」	野菜の栽培から収穫までの作業を体験し、「食の安心・安全」を学んだ。また、地域資源を活かして筍掘り体験や、干し柿作り等も行ったほか、地域に伝わる「昔ながらの食文化」にも触れ、地域住民との交流を図ることができた。	4月8日 ～12月15日	21	243
生出朗壮大学	高齢者が生きがいを持って心身共に健康で豊かな生活を送れるように、様々な分野にわたって生涯学習の機会を提供した。(「健康講座」「防犯講座」「音楽鑑賞」「館外学習」「教養講座」)	5月20日 ～2月17日	10	282
祝仙台市編入合併60周年　第28回「蛍と平家琵琶の夕べ」	地域内外から多数の来場者があり、平家琵琶や坪沼祭ばやしの演奏、産直野菜の販売等を通じて地域住民と市民との交流を図った。また、蛍が生息する豊かな自然環境についても再認識する機会となった。	7月2日	1	1,300
★●生出地区「災害対応」講座	連合町内会、生出地区災害対策協議会と市民センターが共催し、町内会の防災担当者を対象にした研修会を実施した。	3月4日	1	40
●祝仙台市編入合併 60周年　第28回生出かかしまつり・コンテスト2016	かかし作品募集・制作講座・展示・かかしまつりコンテスト当日の運営など、地域を挙げてのまつりとして、交通安全協会等の地域内外の各団体と協力して行った。	9月7～9、18日	4	870
★祝仙台市編入合併 60周年　第37回生出コミュニティまつり	仙台市編入合併60周年記念式典を開催し、地域住民が集うまつりとしてステージ発表や展示、模擬店、おまつり広場等に子どもから大人までの幅広い層が参加した。	10月23日	1	1,780
地域活性化懇談会	おいで里ネット事業再構築懇談会、生出中学校生徒懇談会、生出朗壮大学懇談会を実施した。	10月4、26 1月19日	3	20
仙台市編入合併60周年記念事業－エフエムたいはくラジオ「皆が笑顔に・生出においで」	年間を通して地域の取材活動を行い、毎月1回エフエムたいはくで番組を放送した。	4月3日 ～3月9日	18	50
市民企画会議「おいでもんをプロデュース」	地域のキャラクター「おいでもん」の活用法について、キャラクター原案者、ジュニアリーダー、中学生からアイディアを募り、話し合った。他講座や地域行事においても「おいでもん」が活用された。	4月3日 ～12月17日	4	14

中田市民センター

〔沿　革〕

中田市民センターは、昭和 44 年 10 月、中田中学校跡地に同校の旧体育館と旧校舎の一部を改築して仙台市で 5 番目の公民館として開館した。昭和 56 年 3 月に本館を鉄筋コンクリート二階建てとして新築し、平成 2 年 4 月には「中田市民センター」と改称。平成 19 年 7 月からの大規模改修工事を経て、平成 20 年 1 月に再開し、現在に至っている。

平成元年度から平成 11 年 6 月までの間は、太白区内市民センター13 館の拠点館として太白区全体の生涯学習推進を担っていたが、現在は地区館として事業を展開している。

また、町内会連合会と地域関係団体とで「中田公民館運営協力委員会」が組織されており、「中田まつり」や「篝火コンサート」など、市民センター活動をはじめとして地域の行事に大きな支援を行っている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●◎つながる･ひろがる中田地区未来づくりプロジェクト ～まだまだあるよ！　中田お宝調査隊～		
参加者	地域諸団体 まちあるき参加者（どなたでも）	延参加者	318 人
開催日	全 12 回　　4 月 20 日(水)､6 月 4 日(土)､6 月 11 日(土)､6 月 30 日(木)､7 月 24 日(日)、 7 月 26 日(火)、8 月 10 日(水)、8 月 16 日(火)、9 月 14 日(水) 10 月 16 日(日)、11 月 19 日(土)（まちあるき)、11 月 22 日(火)		
協力者・ 協力団体	中田地区町内会連合会、中田地区社会福祉協議会、中田地区民生委員児童委員協議会、中田商工振興会、中田地区婦人部連合会、中田小学校 PTA、中田中学校 PTA、中田公民館運営協力委員会、太白区まちづくり推進課、柳生市民センター、東中田市民センター		
ねらい	中田地区４町内会連合会で「中田地区鉄道高架化・まちづくり勉強会」を発足させ活動している。その中心は「中田地区の一体的なまちづくり」である。その中で、まず、中田地区全体で「お宝マッププロジェクト」を進め、地域の「お宝」となりうる資源を取り上げ、「お宝マップ」を作成し、「活気あるまちづくり」のきっかけとする。中田 4 地区それぞれで作成した「お宝マップ」を活用して、「まちあるき」を実施することで、自分の住んでいる地域を見つめ直す機会とする。また、中田地区全体で行うイベントをきっかけに中田地区全体の一体化したまちづくりにつなげる。		
概要･成果	中田 4 地区のプロジェクトチームで複数回の会議・作業を進め、昨年 9 月に 4 地区の「お宝マップ」を完成させた。4 地区合同の会議を複数回行うことにより、各地区の状況をより知ることができた。中田地域（中田市民センター）では、11 月 19 日に「まちあるき」を実施したが、新しい住民や中田の歴史等をより深く学びたい方に地域のことを紹介することができた。平成 29 年度も４町内会連合会や３市民センターが連携・協力し、「まちあるき」に加え、4 地区合同のイベントを行う予定となっている。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子でつくろう！母の日・父の日のキャラ弁	①お父さんと作る母の日キラキラキャラ弁②お母さんと作る父の日似顔絵キャラ弁③お弁当作りの思い出スクラップブッキング作りをしながら交流会	5 月 8 日 6 月 19 日 7 月 3 日	3	44
インリーダー研修会	児童：子ども会活動について、ｲﾝﾘｰﾀﾞｰの役割、ﾚｸﾘｴｰﾑの進め方。世話人：子ども会活動の意義と世話人の役割、情報交換。全体でﾚｸﾘｴｰﾑの実践。	1 月 29 日	1	53

職場体験学習	貸館や施設整備､消防訓練などの施設管理業務、主催講座準備や運営の参加、事業の企画立案などの体験から市民センターの役割を学んだ。	8 月 19、23、24 日	1	3
★子ども参画型社会創造支援事業「エフエムたいはくキッズ情報局 2016」	全体交流会、防災講座参加、お茶っこサロン参加、伝統の仙台七夕講座参加、ラジオ番組シートづくりおよび収録、成果発表	6 月 12 日 ～1 月 15 日	11	98
★中田老壮大学	入学式、コンサート、レクダンス、調理実習、講話、蓄音機と懐かしの映像鑑賞、防災エンスショー、館外学習、学生会主催相続登記講座等	5 月 19 日 ～3 月 9 日	10	560
「中田の魅力探訪」-まとめ-中田の～昔・今・これから～をまとめる	25 年度から開催し、見出した地域の特長をまとめ冊子を完成。編集技術の学習、編集会議、編集作業、振り返り、校正等	5 月 25 日 ～2 月 28 日	11	88
伝えよう！伝統の仙台七夕	仙台七夕の由来の学習、中田中・ｽﾏｲﾙｸﾗﾌﾞでの制作活動、七夕大竹飾り制作、たいはくキッズ情報局との合同で飾り付け及び交流会の実施	6 月 30 日 7 月 7、12、13、14、21、28 日 8 月 5 日	8	60
★市民企画講座 「一緒にやろう！みんなのそなえ！」	水害や東日本大震災の被災経験談、サバメシ作り、耐震等建物の構造、地域の合同防災訓練でのﾌﾞｰｽの参加、救命講習等。一部をエフエムたいはくキッズ情報局と合同し開催。	7 月 23、31 日 8 月 6、20 日 10 月 2 日 11 月 25 日	6	76
●ママが作る中田おでかけマップースキルアップ編－	子育て中の母親のﾆｰｽﾞに合った地域ﾏｯﾌﾟ製作。ｳｴﾙｶﾑﾊﾟｰﾃｨ、ﾏｯﾌﾟ作成会議、編集会議、校正、配布準備、振り返り。	5 月 11 日 ～9 月 6 日	12	72
なかだ篝火コンサート	中田神社境内を会場とし、篝火と竹灯篭を灯した幻想的な雰囲気の中でのコンサートを実施。今年度は第 15 回目を迎え､常盤木学園高等学校音楽科の生徒による管楽器と歌による音楽の夕べを開催。	9 月 3 日	1	400
中田まつり	地域の住民が気軽に集い、交流と親睦を深める場として中田地域の中心となる団体と中田まつりを開催。作品展示、ステージ発表、町内会対抗大会、地域団体イベント、模擬店等。	10 月 23 日	1	3,600
みんなのお茶っこサロン	季節の折り紙、職場体験の中学生とエコ風鈴づくり、七夕飾りの作成、昔遊び、クリスマスの飾り付け等を通しての交流。	4 月 19 日 ～3 月 14 日	12	178
中田市民センター 「気軽に話し合う会」	事業運営や地域課題についての提案や要望等の意見交換、次年度の各教育機関・地域団体の年間行事日程のすり合わせ及び調整。	11 月 30 日 2 月 23 日	2	12
ジュニアリーダー「なかだかな」定例会	ジュニアリーダーが円滑に活動できるよう、活動準備や報告、学習会を行うため定期的に集まる場を設けた。また、助言やサポートなど自主活動を支援した。	4 月 16 日 ～3 月 25 日	12	97
★市民企画会議 「楽しく学べる地域防災を考える」	中田地区にあった防災講座の企画及び運営、振り返りの他、防災絵本の読み聞かせを他地域のイベントで実演。	5 月 21 日 ～3 月 25 日	12	122

西多賀市民センター

〔沿　革〕

西多賀地区は、桜で有名な三神峯公園や富沢遺跡があり、仙台でも暖かく環境に恵まれた、住みやすい土地である。昭和 50 年代、福祉に対する住民の要望が多様化し、自らが福祉活動に参加する傾向が現れてきた。そのため、活動拠点となる地域の施設を求める要望が高まったことから、昭和 53 年仙台市として 5 番目の福祉会館として開設された。昭和 58 年、地域住民のより幅の広い利用を可能にするため、名称を市民センターと改めた。平成元年政令指定都市移行に伴い地域の社会教育の充実のために公民館機能が組み込まれ、生涯学習の拠点として活用されている。平成 3 年には児童館が併設された。以後子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できる市民センターとして親しまれている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**西多賀今昔かるた大会**		
参加者	小学生	**延参加者**	167 人
開催日	全 5 回　4 月 10 日（日）、7 月 7 日（木）、7 月 22 日（金）、12 月 8 日（木）、1 月 6 日（金）		
協力者・協力団体	三神峯はぁとふる商店会・西多賀検定委員会・ジュニアリーダーサークル「にしたがっつまん」・西多賀児童館		
ねらい	西多賀の歴史を学ぶことを目的に「西多賀検定」や「地域巡り」を開催してきた西多賀検定委員会が作成した「西多賀今昔かるた」を利用して地域を知るための講座を開催する。 西多賀地域について、広く紹介するとともに、センター事業から誕生した西多賀検定委員会の活動を支援するとともに、児童館利用の子どもたちが地域との交流を通して地域を学ぶ機会とする。		
概要・成果	「三神峯桜植樹百周年記念祭」に参加し、当日来場していた小学生から参加者を募集し、多くの方々に「西多賀今昔かるた」を紹介できた。 また、ジュニアリーダーの協力により、児童館の小学生や「エフエムたいはくキッズ」に参加していた小学生を対象に「かるた大会」を開催した。 終了後は、「西多賀検定委員会」の委員との交流会を開催し、異世代間の交流を図るとともに、小学生がグループ対抗で遊びながら楽しく地域を学ぶことが出来た。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●ニコニコ子育て	保護者同士が情報交換と交流を図り、育児の楽しさや悩みを共有しながら、子育てに必要な知識を学んだ。	9 月 2、16、30 日 10 月 14 日	4	26
中学生職場体験	市民センターにおいて就労体験することを通して、市民センターの地域での役割などを知り、中学生の職業意識を養った。	8 月 11 月	2	9

インリーダー研修会	社会教育主事による講話から、子ども会行事に役立つプログラムの立て方、子ども会活動の大切さを学び、ジュニアリーダーから子ども会活動に役立つレクリェーションゲーム等を学んだ。	1月29日	1	79
ジュニアリーダーと遊ぼう！	ジュニアリーダー「にしたがっつまん」の指導のもと、小学生が集団の中で楽しみながらカルタやゲームや工作を行った。	7月22日 10月23日 12月27日	3	325
子ども参画型社会創造支援事業「エフエムたいはくキッズ情報局2016」	小学生が地域の商店会や地域の方への取材をし、地域を紹介する番組を「エフエムたいはく」で放送した。	6月12日 ～12月17日	8	54
西多賀寿大学	高齢者が地域の中で安心安全に暮らせるような知識を身につけるための講座として、健康づくりや防犯に関する学習、及び体験を行った。また、館外学習として野草園の見学をした。	5月18日 ～2月15日	10	626
●～地域で支える～ 「知ろう・学ぼう・認知症」	認知症に関して正しく理解することを目的に認知症当事者と家族を取り巻く医療制度とケアや仙台市の取組について学んだ。	6月10、16、 24日	3	40
★手をつないで考えよう減災・防災	西多賀地区連合町内会における防災に関して、民生委員、社会福祉協議会を含む広域での連携を図り、より実践に即した訓練を行った。	6月25日	1	40
●三神峯公園清掃大作戦＆西多賀の未来を話そう	市民企画会議「中学生が考える地域交流会」を経て開催。地域の財産である三神峯公園と市民センターを会場に中学生と地域住民の交流を図った。環境美化と西多賀の歴史と未来について話し合い、異世代間交流と地域連携を深めることができた。	11月19日	1	100
★西多賀地域懇談会	地域内の情報交換及び課題等が話し合われた。高齢化や防災意識に対する関心の高まりを知ることができた。	6月14日 12月6日	2	38
西多賀ふれあいまつり	地域交流の場を提供するとともに、各サークルの発表の場として開催。小中高生の参加により世代間交流が図られた。	10月22、23日	2	1,200
ジュニアリーダー「にしたがっつまん」の定例会	西多賀市民センターを拠点として、ボランティア活動を行っているジュニアリーダー「にしたがっつまん」が地域のリーダーとして活動できるように支援し、要請の調整やゲーム・工作の研修を行った。	4月10日 ～3月5日	12	52
読み聞かせボランティア養成講座	地域で読み聞かせボランティア活動を広げていくため、本の楽しさ、面白さ、読み聞かせの方法を学んだ。	6月30日 7月9、16日	3	54
市民企画会議 「中学生が考える地域交流会」	中学生が主体的に「地域交流」に関わることができる講座を企画し「三神峯公園清掃大作戦＆西多賀の未来を話そう」を企画した。	8月～11月	8	72

八本松市民センター

〔沿　革〕

八本松市民センターは、八本松地区の国有地を取得し、昭和 60 年 5 月に、コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。さらに平成 20 年 4 月には、八本松児童館が新たに併設された。平成 26 年度に大規模修繕を実施し、平成 27 年 4 月に再開した。

近辺には広瀬川が流れ豊かな自然環境に恵まれ、史跡として国指定を受けた郡山遺跡、北目城跡がある。長町副都心長町駅東再開発が行われ、歴史的情緒を持ち合わせつつ、近代的な街並みを呈した地域である。

建物は八本松公園と隣接しており、町内会の集会や文化活動、レクリエーション、スポーツにと、子供から高齢者まで誰もが気軽に利用できる市民センターとして、地域住民に親しまれている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**★八本松防災リーダー養成講座**		
参加者	地域住民	**延参加者**	73 人
開催日	全４回　7 月 9 日（土）、8 月 6 日（土）、9 月 3 日（土）、10 月 15 日（土）		
協力者・協力団体	八本松連合町内会、太白消防署、仙台市障害企画課		
ねらい	東日本大震災後「八本松地域防災サミット」（平成 27 年度より「八本松地域合同防災会議」と名称を変更）を立ち上げ、会議や合同防災訓練等を、5 年間継続してきたが、避難所のリーダー的役割を担う人材の高齢化への懸念をふまえ、臨機応変に対応できる年代層のリーダー養成を図る。		
概要・成果	発災後の避難所までの動き（準備、経路、心がまえ）、運営ゲームを通して避難所開設について学習し、また太白消防署の協力により実地訓練を行った。実践に役立つ基礎知識やスキルを身につけることができたという意見が多く聞かれた。講座の受講生は、八本松市民センターと八本松小学校で実施された 10 月の防災訓練でも活躍した。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
★八本松子育てカフェ～親子であそぼう 123！～	親子同士の交流と仲間づくりをし健やかな育児期間を過ごせるよう支援した。お話会、3Ｂ体操、託児付講座など。	6 月 8 日 7 月 7、22 日	4	66
親子で体験　学ぼう！遊ぼう!元気 UP!	親子で体験することで親子間の関係を良好にするとともに、家族ぐるみの交流と関係づくりを図った。 サケの遡上観察・理科実験・陶芸体験	11 月 12 日 12 月 10 日 2 月 4 日	3	84
キッズの元気時間	地域の自然や施設などを活用して、小学生が交流しながら体験や学習をする機会を提供した。そして子供たちが地域への理解を深め、地域を大切に思う心を育てることを目的として実施した。	10 月 12 日 12 月 18 日 2 月 25 日	3	74
仙台市子ども会インリーダー研修会	子供会活動の充実を図るため、次期子ども会リーダーと世話人を対象に、子供会についての知識や活動に必要な技術習得の機会を提供した。	2 月 12 日	1	74
はつらつノルディックウォーキング	貸出用ノルディックポール保管中の当市民センターが、その用具と、広瀬川河川敷を活用し、元気で充実した生活を送ることができる体力づくり、仲間づくりの機会として実施した。	5 月 20、27 日 6 月 3、10 日	4	28

初心者ゆったりパソコン教室	地域でも要望の多いパソコンの学びを通し、住民同士の交流を図るとともに、会場の郡山中学校の生徒の協力を得ながら異世代交流の機会を提供した。	7月27、28、29日	3	54
八本松寿大学	高齢者が充実した生活を送れるよう支援し、現代的課題・健康・暮らしなどのテーマを学習した。現代的課題を踏まえたテーマについての講話や「脳トレ」「健康ストレッチ」「中学生と手話で交流」「語り芝居」など。	5月26日～2月23日	10	474
シニアの彩りライフ	高齢者が気軽に集い、身近なカラーをテーマに学んだ。参加者の交流や仲間づくりを支援し、暮らしを充実させる講話や実技など。	9月9、16、30日	3	59
★八本松スマイルコンサート	復興公営住宅での交流の場を提供し、近隣の新旧住民の交流と地域活性化を図った。復興公営住宅への出前コンサート、児童館・保育園との合同コンサートなど。	5月21日 7月23日 11月19日 1月21日	4	302
★大人が学ぶ広瀬川	広瀬川についての環境や保全を考える講座の開催。古地図や昭和の風景写真を通して広瀬川の地形の変遷や人々と水辺の暮らしの関わりを学び、フィールドワークを通して水害への危機意識が高まった。	9月10、17日 10月1日	3	48
★●八本松地域合同防災会議	防災訓練を実施し、風水害への対応もふくめ、地域諸団体の対応力向上に寄与した。	6月22日 7月20日 8月17日 9月21日 10月1、15日 12月1日	7	1,322
社会学級共催事業企画講座	新旧住民の人間関係や地域における地縁的なつながりの希薄化により、地域交流を深める場を必要としているため、住民同士がそれぞれの生活・家庭環境を見直し、共に学び合う場を提供することで、新旧住民が交流を深めるきっかけづくりとした。	9月27日 12月22日	2	64
市民企画会議　「地域を探る」	地元について学習し、当地域で必要とされている課題を探り、どのようなことができるかを考えることを目的として実施した。	7月27日 9月2、27日 10月13、27、30日 11月8日	7	84
社会学級共催事業企画会	地域の課題を共有し、家庭教育の向上など地域住民が学習体験を得るための事業を企画。企画会議・講座準備・反省会	6月15日 7月12日 9月2、13、27日 10月26日 11月26日 12月10、22日	9	18
「まち物語」八本松・郡山の歴史と将来	八本松郡山まち物語製作委員会の活動が始まり、その活動の成果の中から、地域の成り立ちや地域の歴史を学び、新旧の住民が地域への愛着を育み、より良い地域の将来のまちづくりにつながる行動のきっかけづくりとなった。	10月8日 11月5日 12月3日 2月4日	4	132
八本松・郡山地区市民まつり　第20回うぶすなフェスティバル	地域住民の交流の場とし、市民センターが生涯学習の拠点であることを周知し，参加団体が地域活動に親しみ地域活性化につながった。作品展示・舞台発表・縁日・お話広場・環境局コーナ-など。	10月30日	1	2,100
★八本松市民センター懇話会	情報交換を通じ地域ニーズや課題を共有し、センター事業に反映させた。	2月14、15日	2	20

八木山市民センター

〔沿　革〕

八木山市民センターは、仙台市南西部に位置し昭和 30 年代後半～40 年代中頃にかけて整備・開発された、豊かな自然が残る調和の取れた住宅地である八木山地区に、昭和 62 年 4 月 6 日開館した。平成 20 年 11 月には新しい体育館を増設、平成 25 年度から 26 年度にかけては大規模修繕を実施し、平成 27 年 4 月に再開した。

当市民センター周辺は、八木山動物公園や八木山ベニーランドなどのレクリエーション施設をはじめ、大学、野草園、放送局、総合病院など学術・文化・医療の施設等が揃い、地域住民ばかりでなく広く仙台市民に親しまれている地域である。また、センター隣接地が地下鉄東西線の西の起点駅（八木山動物公園駅）となったことから、地域の生活環境も大きく変貌しつつある。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎：地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**第 11 回秋の八木山フェスタ～こどもにやさしい八木山～**		
参加者	どなたでも	**延参加者**	22,075 人
開催日	全 1 回　　11 月 5 日(土)		
協力者・協力団体	八木山動物公園、仙台市公園緑地協会、八木山ベニーランド、東北工業大学、ＴＢＣ 東北放送、八木山３歩、八木山連合町内会、八木山南連合町内会、八木山管内小中学校ＰＴＡ		
ねらい	「八木山地区への地域貢献に関する覚書」を結んでいる八木山ベニーランド・八木山動物公園・東北工業大学・八木山市民センターを中心に民営施設、公共施設、教育施設、地域団体等が連携して、八木山地域のひとづくり、まちづくりを推進するとともに、地域活動団体、サークル、個人に発表の場を、地域の小中学生に地域との交流の場を提供する。		
概要・成果	平成 27 年度から地下鉄「八木山動物公園駅」周辺で集中してイベントを実施していこうということで行っている。八木山ベニーランド・八木山動物公園・八木山市民センターを会場に、主催 4 団体に今年から東北放送も加わり、それぞれ工夫を凝らしたイベントを実施した結果、地下鉄東西線の開業効果もあって昨年の 2 倍近い、22,000 人強の参加者があった。 開会式も地下鉄駅屋上の「八木山てっぺんひろば」で行った。ポスターコンクールの作品は各町内での掲示に先駆けて、全応募作品を市民センターに展示したほか、各団体が協賛品を持ち寄って参加賞を用意し、応募者に配布した。 このイベントも 11 回目を迎え地域に定着したイベントとなっている。当日の来場者だけでなくイベント前から地域全体で盛り上げる動きが高まったほか、主催団体も広がり、連携も年々密になって、フェスタ以外の日常の活動にも成果が出ている。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
八木山こどものくにまつり	親子のふれあいを深め、地域の親子同士が交流して親睦を深めるため、親子チームで対戦するニュースポーツ大会を行った。	2 月 5 日	1	67
★●ママのほっこりタイム	子育て中の母親がリフレッシュできるよう、笑いの体操やクラフト、調理などを行った。食育や防災について学び、子育て中の思いや悩みなどを話す場となった。	6 月 21、28 日 7 月 5、12 日	4	19

仙台市子ども会インリーダー研修会	地域の子ども会活動の充実を図ることを目的として、子ども会活動の意義や年間計画の立て方などを学び、レクリエーション・ゲームなどを実際に体験した。	2月19日	1	75
中学生職場体験学習	市民センターや接遇についての講話と館内見学、講座の準備と補助作業「地域の絆プロジェクト・ブロック塀に絵を描こう」、窓口業務についての講話と体験を通して中学生の職業観を養った。	8月23、24日	1	4
子どものための囲碁教室	地域の囲碁同好会有志から、囲碁のルールやマナーを教わり、講師や子ども同士で対局しながら棋力向上を目指した。中学生が時折、指導のボランティアも行った。	4月9日 ～3月18日	44	848
広げよう「八木山防災の輪」～「ぼうさいダック」「ぼうさいダンス」で地域をつなごう～	ぼうさいダック、ぼうさいダンスの指導者を養成し、受講した中学生が東北工業大学や地域の消防関係者とともに、地域のイベント等で幼児や小学生等の指導にあたった。	6月28日 ～3月13日	6	279
在仙外国人向け日本語講座「日本語ティールーム」	仙台に滞在する外国人を対象にボランティアが生活日本語を指導することで、外国人が言葉の壁を超え快適に生活できるように支援した。	4月8日 ～3月17日	70	838
★やぎやまシニア大学	高齢者が健康で心豊かな生活を送れるよう、振り込め詐欺・笑い・仙台城等の多様なテーマでの学習の提供、交流を図った。	5月12日 ～2月9日	9	676
シニアのはつらつ健康講座	加齢に伴う運動機能の低下によるロコモティブシンドロームは寝たきりや要介護の主要な原因となるため、ロコモ予防を意識した生活習慣や健康寿命を延ばす運動について学習した。	10月18、25日 11月1、8日	4	73
★地域防災シンポジウムin八木山	防災への取り組みと研究についての発表（仙台西高等学校）と、全世代約10名ずつのグループに分かれてディスカッションを行い、話しあったことについてグループごとに発表した。	12月10日	1	122
★地域の絆プロジェクト「ブロック塀に絵を描こう」	八木山・八木山南・向山小学校の児童を各校10名程度ずつ募集し、ブロック塀に絵を描いた。中学生以上の地域の方々は児童の安全を図りつつ、下絵の作成指導から現地での描画の手伝いや補修を行った。	8月2､23､24､25日	4	99
◎八木山今昔物語～じっくり八木山を学ぼう～	八木山の地域資源を発見・再確認し、そこから地域課題を整理していくために、まち歩き、地図の作成、勉強会等を行い、新しい八木山のまちづくりを考えた。	4月21日 ～2月16日	12	246
第28回八木山市民センターまつり	八木山市民センターや地域で活動している諸団体・学校・サークルの学習成果の発表。ステージ発表、作品展示、サークル体験コーナーなど。	10月8、9日	2	3,772
★八木山気軽に懇話会	地域住民から地域課題やニーズを収集し、情報の共有化をしながら、市民センターの事業運営に反映させた。	6月14、15、22日 11月25日	4	54
市民企画会議「八木山盛りあげ隊」	音楽をとおして八木山地域を盛上げ、愛着を深めてもらえるような企画をについて話し合いを行った。	5月20日 ～1月25日	5	24
市民企画講座「八木山音楽の宝箱　おんがくであそぼう♪夢色バージョン」	祝・地下鉄東西線開業1周年として、プロジャズピアニストと八木山小学校「夢色音楽隊」の合同演奏を行った。	12月6日	1	86

山田市民センター

〔沿　革〕

山田市民センターは、昭和 62 年 4 月 17 日、旧笹谷街道沿いに戦後住宅街として開発され発展してきた山田地区に、コミュニティ防災センターを併設して開館した。

当市民センターは縄文遺跡や鹿除土手などの歴史遺産や昔ながらの自然を残す恵まれた環境の中にあり、太白消防署、鈎取郵便局、鈎取球場、縄文の森広場などの公所・施設や小中学校、大学などの教育機関も多く立地している。また、国道 286 号線沿いには大型商業施設が立ち並び、高い集客力を有している。

こうした環境の中、当市民センターは地域の生涯学習や地域コミュニティづくり、交流の場として地域住民に広く活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　●：区役所との連携事業　◎：地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	中ため池の生きもの調査		
参加者	小学生とその保護者、地域住民	**延参加者**	192 人
開催日	全 2 回　9 月 7 日(水)、9 月 16 日(金)		
協力者・協力団体	上野山小学校、鈎取水利組合、宮城大学自然研究部、映像ボランティア		
ねらい	山田地域には農業用水用のため池があり、外来魚が多く生息し自然破壊が進んでいる状況だが、地域の人々にはその現状があまり知られていない。ため池を管理する農家の方たちの協力を頂き、池干しによる外来魚の駆除と在来魚の生息調査を上野山小学校の児童と地域住民が一緒に実施し、その成果を地域に発信することで、地域環境への関心を高めていくことを目的とする。		
概要･成果	（第 1 回）小学校高学年向けの事前学習を行った。 （第 2 回）中ため池の池干しをして、そこに生息する生物の種類やサイズを記録し、捕獲された外来魚を駆除した。 普段は立ち入ることのできないため池での魚の捕獲や植物の生育観察等で、地域の魅力を再発見することができた。特に子どもたちには、地域に残る貴重な自然に気づき、環境保全に対する意識を高めるきっかけを提供することができた。 また、この事業の活動内容や調査結果を映像や資料で記録して、学校や地域に公表することができた。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●子育て支援講座「みんなの部屋やまだ」	子育て中の親子や子育て支援者が気軽に集いふれあえる場、情報交換の場を提供した。ジャズストレッチ体操・ヨガ・防災講座・お話会・子育て講話・情報交換会・フォトクラフト他の作成。	5 月 18 日 ～3 月 15 日	19	242
インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を図るため、子ども会リーダーとして活躍する児童および世話人を対象に、子ども会についての知識や活動に必要な技能について学習する機会を提供した。	2 月 19 日	1	69

みんなで学ぼう！山田わんぱくクラブ	地域の児童館、縄文の森広場と共催し、４回のうち３回を共催先での出前講座として開催。科学あそび、縄文時代の生活体験、マジックショー、節句の行事食づくりの講座をそれぞれ実施した。	8月23日 9月3日 2月18、25日	4	171
★山田豊齢大学	高齢者が社会の変化に対応できる知識を身に付け、受講者同士の交流を図りながら安心して生活できるようになることを目的として、時事問題、運動実技、健康・栄養、防災、コンサート、落語・漫談などの講座を開催した。	5月12日 6月9日 7月14日 9月8日 10月13日 11月10日 12月8日 1月12日 2月9日 3月9日	10	663
福祉まつり	高齢者の引きこもりや孤立化が社会問題となっているため、高齢者と支える周囲の方が共に集い、高齢者福祉について楽しく学べる機会を提供した。健康講話、骨密度測定、介護施設・サロン紹介、健康相談窓口開設等	8月9日 10月7、8日 11月18日	4	282
市民企画講座　山田・鈎取まち巡り	地域の良さを再発見し、地域活動への参加を促すことを目的にして、地域内の見どころを巡る町歩き講座を開催し、地域誌「山田・鈎取まち物語」のダイジェスト版を編集した。	10月12日 11月30日 1月28日	3	52
韓国の打楽器チャンゴで国際交流	社会学級連携事業企画検討会を経て、太白小学校にある韓国の打楽器チャンゴのサークルの演奏会を開催。当日の講座運営は社会学級生が担当した。	12月3日	1	35
◎地域力支援創造事業「楽元の森再生プロジェクト～楽しく元気に生き生きと～」	楽元の森を整備し、地域資源としての魅力を更に高め、地域の宝として次代に残していく取組を行った。プロジェクト会議・収穫祭・焼窯作り・ツリーハウス作り・自由開放。	5月10日 6月8日 10月1、11、12日 11月19日 12月4、11日	8	394
★●山田鈎取地域総合防災訓練	地域の指定避難所の円滑な運営と自助・共助で災害に対応できるように上野山小学校区、山田中学校区、山田市民センターの３ヶ所で同時開催し、地域全体で総合的な防災訓練を実施した。	6月22日 7月14日 9月9日 10月14、22日 11月15日	6	1,445
★第20回　山田ふれあいまつり	地域住民及び山田市民センター利用者が共に日頃の活動の成果を発表し、楽しく交流した。舞台発表・作品展示・子どもの広場・フリーマーケット・体験コーナー・防災コーナー	10月29、30日	2	2,600
山田みんなのコンサート	地域にゆかりのある音楽家や高校生によるコンサートを開催し、誰もが参加しやすい集いの場を提供した。コンサート終了後にはお茶っこサロンを開催し、地域住民の交流を図るとともに、センターに対する意見を伺った。	6月18日 10月16日 12月17日 2月4日	4	440
山田鈎取地域懇話会	管内の保育所、児童館、小学校、中学校、縄文の森広場の方々に集まっていただき、今年度の事業方針と横並びの予定表を作成し行事予定の共有化を図り、連携事業を開催することができた。	4月26日	1	12
市民企画会「その後の山田・鈎取まち物語」	地域で製作した「山田・鈎取まち物語」を活かした新たな取り組みについて意見交換をし、講座を企画。市民企画講座「山田・鈎取まちめぐり」を開催した。	5月12日 7月6日 8月3日 10月4、12日	5	37

社会学級連携事業企画検討会	上野山小学校、太白小学校の社会学級生が地域の現状を話し合う中から「韓国の打楽器チャンゴで国際交流」講座を企画・運営した。	7月9日 8月31日 9月30日 11月9日 12月3日	5	35
山田の魅力再発見！ 写真で遺そう「山田探検・撮影隊」	カメラの基本操作についての学習、地域を歩きながらの撮影会を経て、作品をまつり等で発表した。受講後はサークルが誕生し、活動を開始している。写真ボランティアとしてセンターの行事等で活躍してもらう予定である。	6月3日 7月8日 8月5日 9月9、28日 10月28日 11月11日	7	60
ふれあいの花プロジェクト	年間を通しての花壇作りについて講話後、夏花壇と冬花壇それぞれの種まき、ポットあげ、植栽と花壇作りをした。他にラベンダースティック作成、ペットボトルハンギング作成。	5月10日 6月14、30日 7月15日 8月23日 9月27日 10月25日 12月8日	8	59
山田サークル体験会	生きがいを見つける機会を求めている地域の方に、センターで活動しているサークルを紹介する体験会を実施した。会員数の減少に苦慮しているサークルにとっては、新規会員確保に繋がり活動の活発化が図られた。	5月10日 ～27日	17	31

茂庭台市民センター

〔沿　革〕

茂庭台地区は仙台市西部に位置し、市内中心部から約 20 分の距離にあり、古くからの梨野地区と住宅が多く建ち並ぶ茂庭台地区からなっており、豊かな自然環境に恵まれている。

茂庭台市民センターは、昭和 63 年 4 月にコミュニティ防災センターを併設して開館し、平成元年 4 月から地域社会教育の拠点として公民館事業を開始した。平成 2 年には児童館が併設された。

近隣には市営住宅や多くの福祉施設があり、高齢者、子ども、福祉施設の方々や外国人居住者の利用も多く、当市民センターは地域コミュニティの交流の場となっている。また、コミュニティ活性化に向けて連合町内会による地域活動が積極的に進められている。地域ニーズ、課題解決を図るため「市民本位の生涯学習拠点」「市民が主役の交流拠点」「市民参画による地域づくりの拠点」として、より多くの利用者に気軽に足を運んでもらえる様な事業を実施するとともに、地域課題解決のもとに集まれるネットワーク拠点としての機能が持てるようなセンター運営を行っている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座「天空の広場盛り上げ隊」		
参加者	どなたでも	延参加者	220 人
開催日	夏だ！祭りだ！盆踊りだ！　7 月 9 日(土)、7 月 23 日(土) 夕涼みコンサート　8 月 21 日(日)　秋のお月見会　9 月 24 日(土)		
ねらい	市民企画会議において、企画員から「地域住民の顔の見える関係づくりの重要性」を訴える声と、「地域資源である広場の重要性」を指摘する声が多く上がった。そこで、年間を通してセンター前広場を活用し、地域住民が気軽に参加・交流する機会を提供し、地域住民同士の関係を深めるきっかけとなることを目的に開催する。		
概要・成果	「夏だ！祭りだ！盆踊りだ！」を 2 回行い、「夕涼みコンサート」と「秋のお月見会」は 1 回ずつ開催した。どの回も多くの来場者があり、中でも夕涼みコンサートは約 80 人の地域住民が音楽を楽しんだ。夕涼みコンサートで地域音楽サークルが全面的に協力したほか、各回で地域人材の協力を得ることができ、人材発掘に繋がった。復興公営住宅入居者が地域住民と歓談する姿も見られ、「顔の見える関係づくり」の一助となったと考える。内容を考慮しながら次年度以降も継続し、地域活性化につなげたい。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
★●子育てサロン茂庭台おしゃべりタイム	育児や家庭生活、防災関連などの幅広い題材を取り上げ学ぶ機会を提供し、参加者同士の交流や仲間づくりを目的に、孤立しがちな子育て世代を支援した。	6 月 23、30 日 7 月 7 日	3	20
教えて　せんぱい－卓球で交流－	茂庭台小と茂庭台中の児童・生徒が先輩後輩として、いつまでも思いやりのある心で交流することを目的に、卓球やゲームを行い、また、中学校生活・授業についての質疑応答等を通して交流を図った。	8 月 3、4 日	2	43
「もに輪っ子」手づくり音楽隊	お金を出せば何でも手に入る時代に育つ子どもたちが、みんなで一緒に一つのことをやり遂げる楽しさを体験するために、楽器を手づくりし、児童館まつりや市民文化祭で演奏した。	7 月 21 日 ～10 月 2 日	9	87
「もに輪っ子」体験クラブ	地域資源や人材を活用し、身近な自然物や民俗文化に親しむ機会を提供することで、自然の豊かさや人とのつながりを育むため、浴衣の着付け体験や木工作教室を開催した。	7 月 23 日 10 月 29 日 12 月 10 日 1 月 6 日	4	66
インリーダー研修会	次年度に最上級生となる小学 5 年生と子ども会世話人を対象に、子ども会の運営方法や行事の進め方について学び、子ども会のリーダーとして活動できるよう育成し、子ども会活動の活性化を図った。	1 月 22 日	1	24

中学生職場体験学習	将来、社会人として巣立つ中学生を対象に就労体験の場を提供することにより、就労意欲や社会参加について学ぶ機会とした。地域住民の集まる市民センターで働くことで地域コミュニティについても学ぶことができた。	8月2～4日	1	5
集おう　もに輪に「マイカップ」をつくろう	復興公営住宅の入居も始まったので、気軽に参加でき交流が出来る陶芸教室を行った。自分でつくった１つのカップでお茶を飲みながら交流会を行い、もう１つのカップは「文化祭」に展示した。	7月16日 8月20日 9月24日	3	26
備えよう！シニアライフのための学び塾	「介護」について今から備えることで継続した学習へのきっかけづくりとした。介護保険制度について、自立のための住環境の整備と福祉用具について、認知症の早期治療と早期対応の必要性について学習した。	7月6、13、20、27日	4	54
★茂庭台大学	茂庭台地域は高齢化率が上昇しており、高齢者世帯も多い。そこで、定期的に講座を開催し、高齢者が交流できる場を提供し、ともに学び合い、学習意欲を高めるため、講話や館外学習などを開催した。	5月20日 ～3月10日	10	409
★もにわだいを楽しく歩こう	複数年事業・茂庭台案内人養成講座の案内人による案内で地域を歩き、「地域を知る」きっかけづくりとした。	10月16日 11月27日	2	15
梨野発！つくって、味わう「地元の野菜」	土に触れる機会の少ない小学生と地域住民を対象に、野菜づくりを通して地域の良さを体感する機会を提供するために開催した。冬野菜を４種類栽培。収穫した野菜を料理して持ち寄り、反省会を行った。	8月6日 ～12月18日	11	42
天体観望会	当市民センターは高台にあり、遮るものが少なく天体観望会に適している。天文台と共催したことにより、高度な内容で観望が出来た。	10月21日	1	21
★つどいの場「まろにえ」	復興公営住宅の入居も始まり、早く地域に親しめるように、またセンターを利用した事のない方にも気楽に足を運んでいただき、楽しみながら情報交換や交流が出来るような場を提供した。映画会や歌声喫茶など。	9月8日 11月17日 1月11日	3	55
屋外コンサート 天空の街「風のしらべ」	センター前広場は地域住民の憩いの場であり、重要な地域資源の一つである。そこで、普段市民センターに足を運ばない方にも主催事業を認知してもらうために広場でコンサートを開催し、(特非)「ミューズの夢」から３人が出演した。	6月11日	1	100
★地域防災講座	地域住民対象に、防災への備えについて意識の共有、高揚を図り「減災」に取り組むことを目的とした講話と、災害時の地域での対応についてグループ討議を行った。	10月15日	1	19
茂庭台地区文化祭	市民センターを利用している団体や、地域で活動している団体の学習成果発表の場、また、地域住民の交流の場を提供した。ステージ発表、作品展示、お茶席、イベントなど。	10月1、2日	2	3,725
地域懇談会	学校関係者、町内会関係者、サークル関係者及び地域団体と地域課題の発掘、把握、解決に向け意見交換・情報交換をした。	7月1日 12月3日 2月3日	3	45
茂庭台案内人養成講座「もにわだいを歩き隊-ＭＡＴ-」	複数年事業として、平成26年度より茂庭台地域を案内できる案内人を養成し、スキルアップを図った。平成28年度は「もにわだいを楽しく歩こう」で一般参加者に対して茂庭台の魅力を案内することができた。	4月10日 ～3月5日	7	50
市民企画会議「みんなの広場」プロジェクト	当センターは利用者に偏りがあり、世代によっても利用頻度に差があるため、センター前広場を活かし、より多くの地域住民が訪れ、「身近な市民センター」として更に地域に定着することを目的に企画会議を実施した。	5月7日 ～9月24日	13	308
茂庭台サークル体験会	地域住民に市民センター利用のサークル・同好会の活動を体験できる機会を提供し、自分にあった生きがいづくり・居場所づくりに役立てた。また、サークルなどの会員数拡大と地域活性化を図った。	6月22日 ～9月15日	10	15

東中田市民センター

〔沿　革〕

東中田市民センターは、平成元年４月に児童館、保健センター、コミュニティ防災センターを含む複合施設として開館した。

当市民センターが位置する東中田地区は、仙台市太白区の東南端・名取川下流域にあり、名取川と広瀬川の合流点にも近く、素晴らしい自然環境に恵まれ、古墳や寺社仏閣などの歴史的資産を有している。

農村であったこの地域に、近年は高層の市営住宅や高齢者福祉関連施設、ミニ開発による一戸建て住宅が次々に建設され、商業の発展も著しい。新旧住民が混在し、急速に発展している地域環境に対応した地域コミュニティの確立が望まれている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★ほっこりサロンボランティアフォローアップ講座		
参加者	成人	延参加者	109 人
開催日	全７回　　４月 12 日(火)～10 月２日（日）		
協力者・協力団体	太白区中央市民センター、ほっこりの会		
ねらい	東中田地域は震災以降宅地化が進み、他地区からの居住者が増えている。新旧住民相互が交流できるサロン運営を目指してボランティアを養成し、様々な交流の中から支え合う地域づくりにつながる環境を整えていく。		
概要・成果	サロンのツールとして活用するハンドマッサージとタッピングタッチ、傾聴の基礎講座、練習会を実施し、新規受講生と現ボランティアのスキルアップを図った。講座終了後は、3 年前にこの講座から立ち上がった「ほっこりの会」に入会し、市民センターを拠点に、家庭健康課主催「おやこ広場」や地域のまつり、袋原中学校等でサロンを開催し、癒しと世代間交流の場を提供した。様々な機会でのサロン開催は地域への情報発信につながり、助け合える地域社会の基盤づくりになったと思われる。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
インリーダー研修会	子ども会活動についての知識や活動に必要な技能について、講話と実技を通して学ぶ機会を児童と世話人を対象に提供した。	１月 22 日	1	41
東中田わくわくタイム	市民センターで活動しているサークルや地域講師などが持つ知識や技を地域の子どもたちが体験できる機会を設け、地域の異年齢交流の拡大の一助となった。	７月 21 日～１月 15 日	9	158
ジュニアリーダーと遊ぼう！	高学年の子どもが低学年の子どもと接する経験を通して、異年齢の子どもたち同士の交流を深める機会を作ることができた。	10 月 29 日	1	17

明日へ伝えよう わたしたちの東中田	四郎丸小学校３年生が、かにっこ語りの会から地域について学んだことに自分たちの学びを加えて台本を作り、学習発表会において発表することで地域を知る機会となった。	７月７、14 日 10 月６日	3	180
東中田いきいきタイム	体験学習の機会を提供することで、主体的な学習活動への参加意欲を高める一助となった。	７月 13 日 ～3 月７日	5	77
東中田老壮大学	高齢者が仲間作りや交流を図りながら生きがいを見出し、健康で豊かな生活を送るための学習の機会を提供した。歴史、交流、文化祭など。	５月 18 日 ～3 月８日	11	608
みんなのコンサート	市民センターでコンサートを開催することで地域の人々が気軽に音楽を聴き、多くの住民参加による交流を図ることができた。	５月 21 日 ～3 月 18 日	5	316
名取川からのメッセージ	名取川の自然、語りから学ぶことにより、地域への理解を深め、地域の宝を再認識することができた。	７月 24 日 11 月５日	2	95
★●ほっこりサロン	ハンドマッサージ、タッピングタッチ等魅力あるツールを用いながら色々な場所でサロンを開催し交流を図った。	４月 19 日 ～3 月 16 日	17	294
東中田市民まつり	町内会や地域団体、地域サークルと連携し、学習発表の場と地域住民の交流の場を提供し、地域活性化を図ることができた。	10 月２日	1	4,400
★地域懇話会	小学校、中学校、幼稚園、児童館等の代表者に集まっていただき、各団体や地域の情報交換を行った。また行政懇談会で、地域課題について意見交換をした。	６月 29 日 11 月４日	2	28
★◎地域力創造支援事業	「お宝マップ」を８月末に完成させ、マップを使った『まち歩き』を東中田地域と中田中部地域の各連合町内会と企画し、10 月中旬にそれぞれの地域で実施した。	４月 20 日 ～11 月 22 日	18	466
★たのしく学ぼう「防災」	防災について楽しく学ぶことで、防災の大切さを改めて思い起こし、水害へ備える気持ちを持つきっかけができた。	６月 25 日 11 月 26 日	2	25
地域に伝えよう紙しばい『四郎丸とかにの観音さま』	市民企画会議を経て、地域にまつわる紙しばい「四郎丸とかにの観音さま」づくりに取り組んだ。	９月 20 日 ～2 月 28 日	3	46
語り手ボランティア「かにっこ語りの会」養成講座	地域の歴史や伝説等を学び、小学校総合学習、地域まつり等での語り、児童館おはなし会などで語り伝えた。	４月 14 日 ～3 月９日	26	120
「みんなで東中田もりあげ隊」市民企画会議	地域住民と中学生が地域愛を育む機会になることを願い、紙しばいづくりに取り組むための会議を行った。	６月３日 ～3 月２日	3	45

柳生市民センター

〔沿　革〕

柳生市民センターは、平成 9 年 4 月に、市内 52 番目の市民センターとして児童館・コミュニティ防災センターを併設して開設された。

当市民センターが位置する柳生地区は仙台市南端に位置し、住宅地・商業地として発展している。また自然環境に恵まれ、柳生和紙など伝統工芸も残されている。マンション等の建設に伴い、他地域からの転入者も多く、若年層の世帯が比較的多い地域である。

こうした地域の特性と施設の機能を活かしながら、住民の多様化に対応した生涯学習の地域拠点として各種事業を展開し、地域のコミュニティ・住民の自主的活動の場としての役割を担っている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎：地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**●「認知症」をもっと知ろう**		
参加者	地域住民	**延参加者**	54 人
開催日	全 3 回　　6 月 9 日(木)、6 月 16 日(木)、6 月 23 日(木)		
協力者・協力団体	太白区障害高齢課・家庭健康課、西中田地域包括支援センター		
ねらい	最新情報や専門的な事柄をふまえて、日々の生活の中で認知症を理解し、対応していく力をつける。また、その知識を活かして、認知症の方を地域で見守り支えていく意識も身につける。		
概要・成果	地元病院の医師から認知症のタイプ別に症状やケアの仕方について、専門機関からは地域で安心・安全な暮らしができるサポート体制についての講話を受けた。また、コンディショニングインストラクターの指導による自宅で座りながらできる体操、管理栄養士の指導による青魚・青野菜を取り入れた食事の調理実習を通して、認知症を間接的に予防するための実技を学んだ。受講生からは病気に対する正しい理解と対処法を学び、学習した内容を地域のボランティア活動に役立てたいとの申し出もあった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子でわくわく！	児童館との共催で親子や異年齢の子ども同士が遊びや体験を通して社会性を育み、親同士の交流の場を提供。①②「わらべうたであそぼう」③④「えいごであそぼう」⑤⑥「リズムあそび」⑦「ダンボールランド」	5 月 18 日 6 月 15 日 7 月 6 日 2 月 4 日	7	159
柳生キッズクラブ	小学生を対象に体験学習の機会を提供した。①「夏のお茶会」お茶会の作法を体験②「柳中科学部実験隊」中学生から学ぶビスマス実験③「柳生和紙に触れてみよう」地域の伝統工芸「柳生和紙」の紙漉き体験④「柳中科学部実験隊 part. 2」⑤「タグラグビー体験会」	8 月 4、10 日 12 月 3、24、27 日	5	106
おいしく食べよう！旬野菜	小学校の栄養教諭が講師となり、旬野菜を使用した料理を体験し、親子向け食育学習を行った。(会場：柳生小学校家庭科室)	10 月 12 日	1	25
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会リーダーとして活動する児童及び世話人を対象に、活動に必要な知識を提供した。	2 月 5 日	1	40

聞かせて先輩　プロの仕事	新港リサイクル(株)、キリンビール工場への施設見学。現場で働いてる人たちから直接仕事の話を聞いた。	1月6日	1	33
子ども参画社会創造支援事業「エフエムたいはくキッズ情報局」	「キッズマジシャンになろう」マジックを覚え、練習し市民センターまつり等で地域の方々に披露した。エフエムたいはくでラジオ番組を収録し、成果発表を行った。	6月12日 7月28日 8月4、18日 9月22、25日 10月11日 12月17日	8	56
COOL 柳生体験広場	来館比率の少ない父親世代をターゲットにしたテーマに講座を開催した。①柳生まが玉づくり②ロボットと人工知能体験教室③ニュースポーツ交流会④乗ってみようセグウェイ～乗り物での省・畜・創エネルギーを考える～	7月9日 8月20日 10月30日 12月10日	4	107
柳生シニアスクール	高齢者の生涯学習推進と親睦を図った。①開講式・講話「絵解き説法」②救急時の準備とＡＥＤ③エンディングノート④防災・防犯⑤健康体操⑥動物園移動学習⑦ダーツ体験会⑧音楽鑑賞⑨落語寄席⑩閉講式・懇親会	5月25日 ～2月22日	10	408
みそ作りに挑戦！	親子でのみそ作り体験を通じて、食の大切さを学ぶとともに、異世代の交流を深めた。①「みそ作り」②「ずんだときなこのおはぎ作り」③「手作りみそで作るやなちゃん汁」	6月11日 8月6日 1月21日	3	78
★柳生地域防災講座	①「防災・減災大運動会」地震が起きた時の対処法をゲーム等を通じて学んだ。②「大型防災すごろく」防災すごろくで協力しながら学んだ。③「東北復興応援ツアー和★ROCK」広島県呉市のグループによる和太鼓演奏。	6月26日 7月30日 3月18日	3	277
◎地域力創造支援事業「つながる・ひろがる中田地区未来づくりプロジェクト～いいね！柳生西中田地域のお宝再発見～」	平成27年度に中田地区4連合町内会がプロジェクトチームを作り、各地区ごとにすすめてきた「お宝マップ」が完成し、マップを活用した「まち歩きイベント」を開催。チームのスタッフがガイドとなり、マップを見ながら説明を行った。	5月29日 ～3月22日	19	412
季節のコンサート	音楽を通した地域交流と、生の演奏に触れる機会の提供①地域児童による演奏とオカリナ奏者による「癒しのオカリナ」(会場:西中田こみこスクール) ②ヴァイオリンとピアノによる「新春ファミリーコンサート」	10月22日 1月28日	2	109
柳生市民センター・児童館まつり	市民センター利用団体や小・中学校・地域団体の学習成果の発表の場及び、地域住民の交流の場を提供した。①オータムコンサート②おまつりの部	9月24日 9月25日	2	2,000
地域懇談会	連合町内会をはじめとする地域団体、小中学校に出席していただき、センターの事業概要と各団体の活動内容を相互に理解する機会となり、事業運営に反映することにもつながった。	7月1日 3月1日	2	39
市民企画 YN（柳生・西中田カフェ）	柳生地区に古くから住む世代と転入してきた若い世代の交流を目的として、異世代が気軽に交流できる講座実施に向けて企画会を行なった。ＹＮ杯「グラウンドゴルフ大会」を企画。	6月4、18日 7月2、16日 11月15日	5	35
YN 杯グラウンドゴルフ大会	学区を越えて世代も越えて、誰でも簡単に楽しく参加できるスポーツ「グラウンドゴルフ体験会」を企画実施。(会場:西中田小学校校庭)	11月26日	1	78

富沢市民センター

〔沿　革〕

富沢市民センターは、平成 13 年 11 月、地下鉄富沢駅近くにコミュニティ防災センターを併設して開館した。

当市民センターの位置する富沢地区は、名取川・JR 東北本線・国道 286 号線に囲まれた地域で、中央部を笊川が流れ、かつては富沢・大野田遺跡のある田園地帯であった。地下鉄開業以来、交通の利便性から宅地化が急速に進み、高層マンションと昔ながらの農地が混在する地域に変貌した。当地区は、単身・核家族世帯が多く、住民の転出入の頻度も高い。

当市民センターは、市民が気軽に利用できる共有スペースとして親子室・娯楽室・図書室やラウンジを有し、年間を通し多くの地域住民が来館し、生涯学習の拠点として活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎：地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●つながる子育て「ホッと in とみざわ」		
参加者	乳幼児親子（0～４歳）	延参加者	146 人
開催日	全 1 回　11 月 22 日（火）		
協力者・協力団体	西多賀第二地区民生委員児童委員協議会、富沢児童館、大野田児童館 太白区育児サークル応援隊たい子さん、太白区家庭健康課		
ねらい	市民センターを拠点として、地域の子育て支援団体と情報交換をする場を設け、連携しイベントを開催することにより、地域で育む子育て環境を作ることを目指す。		
概要・成果	地域の子育て支援団体との会議で情報交換をしながら、イベント「ホッと in とみざわ」を企画・実施した。 成果として、地域の子育て情報の充実と、主任児童委員を含む子育て支援関係 5 団体との連携を図ることが出来た。 イベントに参加した 74 組の乳幼児親子のうち、9 割以上がセンター周辺の地域住民であった。内容の中に様々な親子遊びのコーナーの他に、家庭健康課が相談コーナーを設けたり、児童館によるカフェコーナーを設けたりと、相談や交流ができるよう工夫が凝らされていたことにより、地域の親子が楽しみながら交流を深めることが出来た。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おはなしの部屋	気軽に参加できる、乳幼児親子の交流と仲間づくりの場として、絵本の読み聞かせ、紙芝居、人形劇などを行った。	5 月 11 日 ～3 月 8 日	10	469
市民企画講座「親子で楽しむデコキャラ押しずし」	親子の触れ合いと、親同士の仲間づくりの機会を提供することを目的に、前半が託児付きの調理実習と食育講話、後半が親子同室の試食と交流タイムを行った。	12 月 9 日	1	35
とみざわ子どもの広場	今年度は「作る」をテーマに、小学生を対象とした体験学習と交流の場として、笊川観察会、身近な材料でのおもちゃ作り、調理実習、クリスマスリース作り、科学工作を実施した。	5 月 28 日 8 月 4 日 9 月 10 日 12 月 17 日 2 月 25 日	5	137
はたけ作ってみ隊	子どもたちが土に触れ、作物を育て、プチ農業の体験をすることで、食に対する関心を高めることを目的に、畑づくりと種まき、草取り、収穫した野菜を使った調理実習を行った。	4 月 23 日 6 月 18 日 7 月 30 日 9 月 3 日	4	34

インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を図るため、リーダーとなる児童と世話人を対象に子ども会活動についての知識や必要な技能を修得する機会を提供した。	2月12日	1	44
中学生職場体験	富沢中学校生徒の職場体験の受け入れを行った。講座の見学や手伝い、窓口業務体験、環境整備などの業務体験を通して、市民センターの役割や仕事内容を理解し、仕事に対する心構えや大切さを学ぶ機会とした。	11月15、16、17、18日	1	4
富沢小学校連携講座「地域を知って富沢博士になろう！」	富沢の暮らしや歴史について、地域講師などから講話と実際に地域探検しながら学び､学習の成果として｢とみざわかるた」を作り、関わった地域の方などと一緒に「大かるた大会」を開催した。	11月15日 2月21日	2	238
富沢アクティブ･エイジングサロン～コミュニティデザインを目指して～	地域に貢献する活動を担う人材を育成することを目的に、複数年事業の4年目として実施した。地域住民が気軽に参加できるサロン（ヨガ、時事講話、歌声喫茶、調理）と、センターまつりでの子どもの遊びコーナーを企画・運営した。	5月14日 ～3月4日	10	251
★防災シミュレーション～おぼえる、くう、たすけあう！	地域防災力の強化を目的に、災害時の食をテーマとした調理実習、地域団体と連携しての救命救急講習を行った。	11月19日 2月2日	2	20
健康いきいきサロン	シニア世代の健康維持と仲間作りを目的に、ヨガ・ストレッチ・ニュースポーツなど軽運動の実技、健康に関する講話、調理実習を行った。	6月10日 ～12月23日	12	235
★富沢シニアクラブ	学習を通して地域の高齢者の生きがいづくりや親睦、交流を図ることを目的に、講話（震災、エンディングノート、歯の健康、歴史)、地域の歴史探訪、ひざ痛腰痛予防体操、館外学習、歌声喫茶、演芸鑑賞と交流会、ミニコンサートを行った。	5月19日 ～2月16日	10	553
スポーツ交流会～みんなつながれ！～	富沢・長町おやじの会地域ネットワーク推進委員会と協働して、子ども、保護者、学校、地域をつなぐ交流の場を提供することを目的に、スポーツ交流会（綱引き・長縄跳び）を実施した。	6月19日	1	102
★◎地域力創造支援事業 パワフルとみざわネットワーク	町内会・小中学校のおやじの会・社会学級と協働し、企画会議を経て、笊川を会場としたイベント「ざる川フェスティバル」を実施した。イベントでは、小中学校のステージ発表、芋煮・屋台、異世代交流ニュースポーツ、ミニ綱引き等を行った。	4月2日 ～11月19日	11	1,399
富沢市民センターまつり	市民センター利用団体、町内会等の学習成果発表と地域住民の交流を目的に、ステージ発表、展示発表、古本バザー等各種イベント・出店、主催事業「富沢アクティブエイジングサロン」による子どもの遊びコーナー等を行った。	10月2日	1	2,300
富沢市民センター懇話会	地域のニーズや課題を把握し、市民センターの事業運営に反映させることを目的に、地域住民との懇談会を開催した。1回目は地域内の町内会長、2回目は地域の子育て支援団体を集め、地域の情報交換を行った。	7月9日 2月23日	2	17
図書ボランティアスキルアップ講座	富沢市民センターの図書ボランティアを対象としたスキルアップ研修を実施した。地域に親しまれる図書室を運営するため、選書のポイントや本の並べ方、ポップの作り方などを講話と実技で学んだ。	1月24日	1	8
市民企画会議先輩ママが考える子育て支援」	小中学生の子を持つ母親たちが、現在子育て中の母親を支えるための講座の企画・運営を行った。託児付きで、幼児を持つ母親を対象に、幼児の食をテーマとした講座を企画・実施した。	6月23、29日 7月15日 10月21日 12月9日	5	18

秋保市民センター・馬場市民センター・湯元市民センター

〔沿　革〕

秋保市民センターは、昭和 26 年 4 月「秋保村公民館」が設置されたのが始まりで、昭和 42 年 4 月町制施行に伴い「秋保町公民館」、昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により「秋保公民館」、平成元年 4 月には「秋保市民センター」と改称され現在に至っている。

馬場市民センターは、昭和 52 年 3 月、旧秋保町時代に開設され昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により「馬場公民館」、平成元年 4 月に「馬場市民センター」と改称され現在に至っている。

湯元市民センターは、昭和 53 年 3 月、旧秋保町時代に開設され、昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により「湯元公民館」、平成元年 4 月に「湯元市民センター」と改称され現在に至っている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	秋保郷土かるた大会		
参加者	秋保地区在住の小学生以上	延参加者	100 人
開催日	全 1 回　1 月 7 日（土）		
協力者・協力団体	共催：秋保学びのコミュニティ「がんばれ秋保っ子」推進委員会		
ねらい	秋保の風土・伝統・文化について分かりやすく綴った「秋保郷土かるた」を通じて、自分たちの暮らしている地域についての造詣を深め、秋保地域の良さを再確認する。また、大会を通じて地域住民の交流と活性化を図る。		
概要・成果	3 人 1 組のチームを編成し、小学校 1・2 年生の部と一般の部に分かれて予選リーグと決勝トーナメントを行った。かるた大会終了後にはジュニアリーダーによるゲームレクリエーションを実施し、小学生から大人まで一緒になって参加出来る大会となり、住民同士が交流を深めることが出来た。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●あきう子育て広場	秋保地区は若い世代や子育て世代が交流する場が少なく、育児の悩みを抱えている親も少なくない。そこで、秋保総合支所と湯元児童館と連携し、親子のふれあい遊びや保護者同士の交流会を開催した。	6 月 9、23 日 7 月 14 日 8 月 25 日 9 月 8 日	5	75
市民企画講座 子育てママのリフレッシュタイム	子育て中の保護者が普段子どもと一緒だとできない手仕事に集中して取り組むことができ、子育て疲れをリフレッシュする貴重な時間となった。また、保護者同士の交流の場を設けた。	10 月 25 日 11 月 15 日	2	21
秋保ファミリー体験講座 「あきう遊々クラブ」	秋保地域の特徴である豊かな自然を活かした親子で参加できる自然体験型の講座を実施。自然や昆虫観察、ツリーイング体験を行い、自然の中で親子の絆を深めることが出来た。	6 月 4 日 7 月 23 日 9 月 10 日	3	27
インリーダー研修会	秋保中学校区内にある３つの小学校５・６年生とその保護者を対象に子ども会についての講義やジュニアリーダーを交えたレクリエーション、各子ども会育成会の情報交換会を実施した。	6 月 18 日	1	17
「がんばれ秋保っ子」スポーツ大会	地域の枠を超えて児童・生徒・保護者・関係者が一体となって交流することが出来た。年代や住んでいる地域の違う児童や生徒がキックベースを通して交流し、自主性や協調性を育むことが出来た。	10 月 16 日	1	40

そば打ち体験	秋保地域で昔から栽培されているそばの食文化を見直し、活用することで若い世代（中学生）が地産地消を学び地域に目を向けるきっかけとなった。また、地域活性化へ繋げることが出来た。	12 月 3 日	1	10
秋保自然工房 「山の恵みクラフト」	秋保の里山で採れた自然素材を使ったクラフトを制作した。また、里山の資源を活用する人材を育てるとともに、移動展示会に制作した作品を出展することで秋保地域の魅力を発信することが出来た。	10 月 14、28 日 11 月 18、19、 20 日	5	36
冬の手づくりクラブ	地域住民を対象に農作業のない冬期間の余暇を利用したクラフト制作を行った。講座を通じて仲間づくりのきっかけを提供することが出来た。	1 月 12、26 日 2 月 9、23 日 3 月 9 日	5	82
秋保自然紀行 森づくりと里山トレッキング	秋保地域に残る里山のトレッキングを実施した。その中でマナーや四季折々の自然、秋保地域の歴史を学び、秋保地域の魅力を伝えることが出来た。	5 月 25 日 6 月 8 日 10 月 19 日 11 月 9 日	4	58
「あきう熟年のひろば」	高齢化が進んでいる地域において、高齢者がともに学び合う場を設定し、心身ともに健康で実り豊かな生きがいのある人生を送るために、学習意欲を高めるような様々なテーマを提供した。	5 月 26 日 ～2 月 16 日	9	227
出前講座	各団体・町内会から要望のあった講座を実施した。　①ちぎりえで「夏の思い出」工作②英語落語をたのしもう③バルーンアートに挑戦④布ぞうり作りを体験⑤人生いろいろ喜怒哀楽（漫談）⑥春待ちコンサート	8 月 3 日 ～3 月 5 日	6	118
★●地域の防災・減災講座	仙台市地域防災計画による補助避難所運営に基づき、近隣の中学校、町内会、秋保総合支所との連携協力のもと、訓練を兼ねた講座を開催した。	6 月 26 日	1	300
●秋保地域資源活用委員会	秋保総合支所と連携し、いかに秋保の資源を有効活用し、地域の活性化を図るかを目的としたパンフレットを新たに５コース作成した。また、「秋保地区地域活動のつどい」に参加し、委員会の活動やパンフレットを紹介した。	4 月 16 日 ～3 月 4 日	10	163
秋保地区の 郷土料理で交流	「郷土料理」を通して地域性の違いや普段の暮らしを見直すために行事食などを出し合う調理実習を実施した。その結果、秋保地域の食文化を広く紹介し、地域活性化に繋げることが出来た。	6 月 29 日 8 月 4 日 12 月 4 日	3	50
秋保ふるさと文化祭	今年度は、展示・舞台発表に加え、出店・イベントブースにミニ新幹線試乗会やバルーンアート・フリーマーケット等を開催した。	10 月 1、2 日	2	550
「秋保ふるさと文化祭」 移動展示会	秋保ふるさと文化祭で実施した展示会を秋保・里センターを会場に実施した。温泉や観光を目的として来場した方も非常に多く、たくさんの方に日頃の活動の成果を見てもらえる機会となった。	11 月 18、19、 20 日	3	550
秋保スプリングコンサート	秋保地区は音楽ホールや文化施設がなく生演奏を聴けるような機会が少ない。そこで、オーケストラ団体をお迎えし、生演奏を聴くことで楽器の奏でる素晴らしさに触れることで文化活動への意欲関心が高まった。	4 月 24 日	1	100
地域懇話会	生涯学習や地域交流の拠点施設としての機能を発揮するために、秋保（長袋地区・馬場地区・湯元地区）３地区の住民から意見・要望を伺い講座計画の把握や地域交流を行った。	8 月 3 日 11 月 6 日 12 月 11 日	3	45
子育てママのための 市民企画会議	和やかな雰囲気の中、子育て中の母親の視点で企画を検討し、当日の準備・片付けまで協力して対応することができた。	7 月 12 日 8 月 25 日 10 月 25 日 11 月 15 日	4	14
●「野尻地区再発見」	秋保地域野尻地区の活性化のため、地域の自然・歴史について資源の洗い出しを行った。また、地域資源の活用についての話し合いや「そばまつり」も開催した。	8 月 3 日 ～3 月 23 日	6	115

泉区中央市民センター

〔沿　革〕

泉区中央市民センターは、昭和22年9月、七北田中学校内に七北田公民館として開設された。昭和43年7月に市名坂字東裏の現在地に移転。平成16年1月には、施設の老朽化と機能拡充の必要性から改築され新館として開館した。今日まで泉区の生涯学習の拠点として、その役割を担ってきている。

本地域は従来の歴史的・文化的要素が残されている七北田地区と急速に発展した泉中央地区を包含し、住民を取り巻く社会環境は大きく変化しつつある。このような状況の中、現代社会に対応した生涯学習事業の展開を図っている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	市民企画講座「いずちゅう ロビーコンサート」		
参加者	どなたでも	延参加者	145人
開催日	全2回 11月23日(水)、12月10日(土)		
協力者・協力団体			
ねらい	市民企画会議において「地域住民が気軽に集い、楽しく交流できる場をつくる」ことをテーマに話し合いを実施したところ、話し合いの中で「まつり」以外に地域の方が気軽に集える催事や地域サークル団体等の発表の機会が少ない等の意見が寄せられた。そこで今回、このような意見・要望を踏まえ地域で活動する団体等を中心に発表の機会を提供すると共に地域資源を活用したロビーコンサートを開催し、地域住民が気軽に集える一助とする。		
概要・成果	第1回:11月23日(水)「ハワイアンバンドによるコンサート」 第2回:12月10日(土)「楽器トーンチャイムによるクリスマスミニコンサート」 市民企画会議のなかで提案されたこともあり、企画員自らが出演・広報を行い、集客等も図るなど、ねらいどおりの講座となった。次年度以降も継続開催し、当市民センターの事業として定着化を目指す。		

〔平成28年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
いずちゅう子育て「スマイルアップ」	子育て中の保護者が気軽に参加できる「子育てママのお菓子づくり」(託児付)「すもうであそぼう」(親子参加)等を実施。和やかに子育て中の親子が交流した。	11月11、12日	2	24
いずちゅーキッズ	学校の休業日等において様々な体験学習の場の提供をした。学校学年を越えた交流ができるように調理実習・施設見学・陶芸を開催した。	7月22日 8月24日 1月7日	3	60
アートフルいずみゆめ工房	一昨年度から参加している中学生の他に小学生が加わり、環境まつりではプラ板ｽﾄﾗｯﾌﾟのｶﾞﾁｬﾎﾟﾝﾌﾞｰｽ、小学校PTAまつりではｽﾀﾝﾌﾟﾄﾚｼﾞｬｰﾌﾞｰｽを企画し実施した。また、近隣の老人福祉施設を慰問した。	4月～3月	12	52

泉区中央市民センター職場体験	中学生に就労体験の機会を提供した。施設管理・窓口対応・講座の企画運営等	11 月～1 月	3	9
★泉区中央市民センター　出前講座	復興公営住宅の集会所を利用して出前講座を行った。身近にあるハンカチ等を用いての小物づくりや「ゆったりパンツ」「キュートなバッグ」づくりを実施した。	7 月 29 日 8 月 4、9 日	3	6
泉シニア塾	高齢者が学習を通して仲間作りや交流、健康で積極的な生活を送るために「和食のすすめ」「市電のある風景」「能にふれてみよう」等の講話や実技「健康ストレッチ」を実施した。また、仙台薬師堂や博物館での館外学習を実施した。	5 月 11 日 ～2 月 8 日	9	716
心も身体もリフレッシュ	高齢者対象に、栄養学的な視点での講話と軽体操を実施した。タオルや新聞紙など身近な材料を使い、受講生が日常生活の中でも継続できる運動を学ぶ機会とした。	6 月 22 日 ～1 月 18 日	8	273
★泉中わくわく交流タイム	今年度は「押し花のペンダントヘッドを作ろう！」「味噌づくり体験」や学校支援地域本部との共催で「給食試食会」を実施した。また、社会学級と共催で「ﾃｰﾌﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄを学ぼう」を企画開催した。	6 月 14 日 7 月 21 日 11 月 22 日 12 月 9 日 1 月 25 日	5	97
★泉中央減災講座	マンションの住民を対象とした「マンション住まいのちょこっと減災アドバイス」、転勤でこの地域に居住した住民を対象とした「目からウロコのおうち減災」を実施した。	8 月 27 日 2 月 25 日	2	47
●団体連携企画会議	企画運営に向け打合せを実施。「パパ&ママふぁんふぁんフェスタ 2016」を開催した。	6 月 10 日 7 月 15 日 10 月 14 日 11 月 30 日	4	25
★まつりだよ！泉区中央！	市民センターを活動拠点にしている団体やサークル等による作品展示・ステージ発表・ワークショップ・お茶席等を実施した。	10 月 23 日	1	620
泉区中央市民センター地域懇話会	市民センターの運営・事業等に関する意見要望及び地域情報の共有・意見交換会等の実施。 ①サークル団体との懇話会 ②学校・地域団体関係懇話会	11 月 15 日 2 月 22 日	2	27
七北田 JL ｻｰｸﾙありす定例会	子ども会や市民センター、児童館の主催事業におけるボランティア活動等地域参加活動の調整。月 1 回定例会の進行、泉区全体の定例会「ざわざわ森」参加など	4 月 3 日 ～3 月 26 日	12	72
★市民企画会議	「地域住民が気軽に集い楽しく交流できる場をつくる」をテーマに企画会議及び打合せ調整等を実施。「いずちゅうロビーコンサート」を企画立案開催した。	6 月 16、30 日 11 月 16、23 日	4	18
七北田郷土食講座	郷土食の歴史や背景、宮城の伝統野菜、行事食などについて学習した。実習では、「おくずかけ」「なすのずんだあえ」「おぼろ汁」「五目ぶかし」など、現代でも伝わっているを郷土食を中心に実施した。	7 月 30 日 9 月 3 日 10 月 8 日 12 月 3 日 1 月 21 日	5	56
●団体連携企画講座「ﾊﾟﾊﾟ&ﾏﾏふぁんふぁんﾌｪｽﾀ 2016」	地域団体と連携し、親子が気軽に参加できる「段ボールトンネル・おやこビクス・赤ちゃん向けコーナー・クリスマスツリーづくり等」様々な体験・交流会を実施した。	11 月 30 日	1	105

根白石市民センター

〔沿　革〕

根白石市民センターは、昭和 21 年 11 月、根白石小学校内に設置され、昭和 23 年役場の移転に伴い独立した施設としての活動が始まった。旧泉市で昭和 28 年に公民館新築促進が決議されてから 10 年の経過を経て、和 38 年 7 月、待望の公民館が移転新築された。以来 20 年余、根白石唯一の社会教育施設として活動を続けてきたが、老朽化により昭和 63 年 4 月、根白石字杉下前に新築移転し開館した。館の特色として、299 席の移動式観覧席を備えた多目的ホールを有している。

当市民センターは泉区西部に位置し泉ヶ岳を背景にした豊かな自然環境に恵まれている。周辺は田園地帯と近年の開発による住宅地からなり、多様な住民構成の生涯学習の場として、また、スポーツ、コミュニティ、自主学習の場として広く利用されている。

平成 28 年度に大規模改修工事を行い、建物の耐久性の向上とともに内外装の一新、各部屋の照明LED化や空調機の更新による省エネ化、トイレの洋式化や外靴のままで入館できるようになった等、利便性が向上した。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	泉区西部のまち興し“かむりの里　凧揚げフェスタ”		
参加者	地域の小中学生、地域の方	延参加者	490 人
開催日	全 15 回　 6 月 15 日(水)～12 月 21 日(水)		
協力者・協力団体	泉西部地区連合町内会、ふるさと創生会、根白石商店会、仙台凧の会、昔遊びボランティア、根白石小学校、福岡小学校、実沢小学校、根白石中学校、根白石児童館、館児童センター、住吉台児童センター、根白石温水プール、泉西部地区老連、地域内各小学校区子ども会育成会、各小学校PTA、泉区中央市民センター		
ねらい	自然環境に恵まれた地域の特徴を活かし、地域の諸団体と協力し合いながら、人々が互いに支え合い共に生きる“まち”として活性化させることを目指す。それとともに、まち興しには欠かせない、根白石の良さを発信できる人の養成を目的とする。		
概要・成果	泉区中央市民センターとの共催事業 5 年目。泉区西部のまち興し会議を 5 回、凧づくり出前講座を 9 回開催し、凧揚げフェスタ当日を迎えた。地域の小中学校や地域諸団体と協働して事業に取り組んだことで、地域コミュニティのつながりがより強まった。今年度の新たな取組として、誰でも気軽に参加できる凧サロンを 4 回開催。凧作りを通して交流の輪を広げた。 また、実行委員会組織の充実が図られ、協賛金を募り活動資金を得るなど、地域住民が自主的に運営できる組織づくりにも取り組んだ。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
根白石の正月行事～いっしょに作ろう～	根白石地域に昔から伝わり、受け継がれているお正月の習わしについて親子で学ぶ機会として、実技「正月飾りづくり」を行った。	12 月 24 日	1	11
あつまれ！元気キッズ	放課後や土曜日を活用し、小学校へ出向いて実施した。①②「ジェルキャンドル作り」③「にんじゃバルーンスライム作り」、実小まつり参加「かんたんかざぐるまづくり」	6 月 22、29 日 10 月 26 日 11 月 19 日	4	114
インリーダー研修会	根白石・福岡・実沢・野村小学校の５年生を対象とした調理実習室プログラム作り、危険予知トレーニング研修を実施した。	7 月 16 日	1	67

さわやか大学	開講式・雅楽演奏、根白石の道講話、音楽の聴き方・楽しみ方講話、健康に関する講和と実技、ワケルくんバスに乗って環境学習を実施。	5月19日 6月16日 7月21日 9月7日 10月13日	5	203
出前講座	市民センターまで来館が困難な地域の高齢者を対象に生涯学習の機会の提供を行った。演芸鑑賞会、アコーディオン演奏会、健康講話と方言を交えた漫談、合唱、ハーモニカ演奏と歌など。	7月5日 8月31日 9月8、11日 11月10、18日 1月22日 2月14日	8	174
根白石民俗ミニ七夕づくり	根白石地域に伝わる伝統的な七夕まつりについて学び、8月6日から8日の3日間根白石町内にミニ七夕飾りを出展した。①七夕の由来について②③④作成⑤飾りつけ。	7月6、7、20、22、28日	5	53
★●ふれあいウォーキング　～共助のまち･根白石～	地域の高齢化率が高いことから、ウォーキングを通して健康増進への関心を高め、併せて防災・減災の意識を高めるイベントを開催した。ウォーキング・防災訓練（炊き出し訓練・ＡＥＤ実技・エコノミー症候群予防体操）を実施。	11月3日	1	145
小学校社会学級連携事業企画会議	三校の社会学級と共催して、健康増進に役立ち、参加者同士が交流できる講座を企画実施するための会議を開催した。 企画会議４回・講座実施１回・反省会１回	4月27日 5月19日 6月23日 10月7日 11月2、18日	6	22
かむり三校社会学級共催「ピラティス体験会」～心と身体のリフレッシュ体操	健康維持のための栄養についての講話、ピラティスの効果についての講話、ピラティスの実技を行った。	11月2日	1	14
冠のふるさと伝承まつり	各地区に伝わる郷土芸能の発表（アセ踊り・大正踊り・鹿踊・剣舞・しの笛）、地域ぐるみ健全育成標語の発表と表彰を行った。	10月15日	1	310
地域懇談会	地域町内会や団体、凧揚げフェスタ実行委員との意見交換や市民センターの事業説明を行った。	4月21日 12月21日	2	60
ジュニアリーダー定例会	月に１度、住吉台児童センター・館児童センターで情報交換や連絡事項の確認を行った。	4月13日 ～3月15日	24	98
根白石ガイドボランティア養成講座(スキルアップ編)	①根白石の地域資源と地域興しについて②根白石の歴史を探ろう③ガイドボランティアの活動について④振り返りと今後へ向けて情報交換。	10月28日 11月16、30日 12月7日	4	44

南光台市民センター

〔沿　革〕

南光台市民センターは、昭和 52 年 4 月、「南光台公民館」として開館し、昭和 62 年 8 月に泉図書館南光台分室が併設された。その後、平成 2 年 4 月に「南光台市民センター」と改称され、地域住民の交流の場・生涯学習の場として、その役割を担ってきた。

平成 23 年 3 月の東日本大震災により建物が全壊したが、元の場所に鉄筋コンクリート造 2 階建管理棟及び多目的ホールが新築され、平成 27 年 3 月 28 日に再開館した。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●南光台スマイルひろば		
参加者	地域の未就学児とその保護者	延参加者	360 人
開催日	全 29 回　7月7日(木)～3 月 15 日(水)		
協力者・協力団体	昔あそびわらすこの里、折り紙ボランティア南光台、よみきかせボランティアどんぐり 南光台児童館、南光台東児童センター、泉区家庭健康課		
ねらい	南光台地域は、近年マンションが多く建設され、子育て世代が増加してきた。子育て世代の中には情報過多と核家族化で育児に自信が持てない保護者が多くなってきているということが家庭健康課や児童館との情報交換から分かってきた。そこで市民センターの再開館で新たにできた親子室を活用しながら、地域の子育て世代の居場所づくりを行い、安心して子育てできる環境づくりを図る。		
概要・成果	月 2 回から 3 回のペースで、折り紙や、昔あそび、ハーモニカ演奏等親子で楽しめる様々な催しを開催した他、育児相談なども行い、子育て中の母親たちの情報交換の場として徐々に地域に根付いてきた。平成 28 年度は登録制にしたため、参加者同士顔の見える関係づくりができた。また、地域のボランティアによる事業を開催することで、親子室の活用が広まってきている。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●ママ＆プレママのリフレシュ応援講座	子育て中のママがストレスや不安を解消することを目的に託児付で様々な活動を行った。(工作、リトミック、料理、茶話会)	6 月 1、8、15、22 日	4	28
ジュニアリーダーとあそぼう	児童館と共催し、夏休みと冬休みにジュニアリーダーが小学生向けの講座を行った。(ゲームや工作)	8 月 5 日 1 月 6 日	2	116
夏まつり子ども会大会	子ども会育成会と地区子ども会と連携して開催した。昔遊びのサークルと協力し、昔遊びの体験コーナーを担当し、ジュニアリーダーが大会全体の運営をスムーズにできるように支援した。	8 月 20 日	1	200
南光台チャレンジクラブ	小学生対象に体験学習の機会を提供した。 星空観察・プチ木工・英語落語・バルーンアート	7 月 15 日 9 月 24 日 11 月 26 日 2 月 18 日	4	74

ワケル君と学ぼう	小学4年生が仙台市のゴミの分別法法と地球温暖化について学んだ。(体験学習と講話)	6月10日 8月31日	2	180
市民センターへ行こう	調理を通して、気軽に集い、顔の見える関係づくりの機会とした。そば打ち体験・ふわっとロールづくり・恵方巻きづくり	7月5日 9月9日 1月28日	3	33
山野草の寄せ植え・小品盆栽に挑戦	講話「山野草の育つ環境について」「小品盆栽づくりの基本について」「鉢植え物の越冬の仕方について」実技「ダイモンジソウ植付け」「春咲きウラシマソウの植付け体験」「アキノキリンソウ・フウチソウの寄せ植え」	5月22日 6月19日 9月11日 10月23日 11月13日	5	61
南光台学院	南光台学院説明会、国際交流日・伊国交樹立公園、館外学習仙台ユアテックスタジアム見学、清月記エンディングノートの書き方、実技「ニュースポーツを楽しもう」、公開講座「あの日、あの頃昭和歌謡曲」、新春の会、閉講式「記念公演」	4月15日 ～2月17日	11	713
出前講座で Let’s Enjyoy	市民企画講座で企画した出前講座を南光台地区、南光台東地区、八乙女地区の３カ所で実施した。	11月16日 12月15日 2月4日	3	68
南光台5館合同事業「ちびっこフェスタ」	遊びの広場（トランポリン・モグラたたき）ママのハンドメイド・親子工作・育児相談・親子で体験(フットマッサージ) 読み聞かせ	11月9日	1	200
南光台市民センター懇談会	「南光台東エンジョイ倶楽部・ニュースポーツについて」「市民センター利用について」情報交換・意見交換を行った。	11月25日 2月17日	2	26
南光台市民センターまつり	各サークル、学校、町内会、地域団体の舞台・展示発表、バザー等	10月15日 10月16日	2	1,590
なんこうだい地域連携企画会議	南光台地域の方が企画員となり、出前講座を企画運営した。	6月9日 7月7日 8月25日 9月29日 10月27日 12月1日	6	27
★●南光台地域防災力向上計画´１６	心肺蘇生法、ＡＥＤ機器操作、避難所設営訓練、α米炊き出し、消火訓練等	7月27日 8月25日 9月20、27日 11月5、8、19日 12月2日	8	1,416
ジュニアリーダー育成	中高生が視野を広げ、地域で活動できる人材となるよう育成した。子ども会や市民センターの要請に対応した。月に1回定例会をした。	4月～3月	11	54
続・南光台の歴史再発見	探訪「八瀧不動神社・行燈松周辺」 講話「戦前から戦後の浦田地域について」「泉の歴史と南光台」 冊子「南光台の歴史再発見」改訂版作成	5月14日 6月11日 7月9日 8月6日 9月10日 11月12日 12月10日 2月4日	8	175
読み聞かせの時間	読み聞かせボランティアのスキルアップを図り、その成果をセンターまつり等の参加へつなげた。 実技「読み聞かせの大切さを学ぼう」 実技「読み聞かせで頭も心もリフレッシュ」 実技「あなたの読み聞かせをする相手は誰ですか」	6月16日 7月21日 9月8日 10月15日 10月16日 11月10日	6	48

黒松市民センター

〔沿　革〕

黒松市民センターは、昭和 47 年 4 月に開館した八乙女公民館を前身とし、平成 4 年 10 月に現在地に新築移転され開館した。

当市民センターは、地域における生涯学習及びスポーツやサークル活動などの交流の場として活用されている。また、地下鉄南北線黒松駅に隣接しており、交通の利便性が良いことから、利用者は広域にわたっている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎：地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★●防災プロジェクト 2016 ～その時わたし達にできること～		
参加者	地域住民、八乙女中学校生徒、 黒松小学校・八乙女小学校児童	延参加者	2,200 人
開催日	全 1 回　　9 月 17 日（土）		
協力者・ 協力団体	八乙女中学校、黒松小学校、八乙女小学校 黒松市民センター管内連合町内会、管内指定避難所仙台市担当課		
ねらい	東日本大震災を契機に、中学生の力を地域で発揮する場として中学校区の 3 連合町内会が同日に防災訓練を行っていた。平成 28 年度は、いっとき避難場所から指定避難場所までの一貫した訓練を中学生と地域の大人が一緒にすることで、中学生に地域で貢献できる人材としての自覚を促し、地域防災力向上を目指す。		
概要･成果	第１部：各町内会、マンション別の訓練 第２部：指定避難所（八乙女中学校、黒松小学校、八乙女小学校）に分かれて、中学生と地域の大人が防災訓練を行った。会場になっている小学校の児童は訓練を見学した。 中学生が事前に自分の住む地域の情報（いっとき避難所や指定避難所の場所や訓練）を収集することで、地域防災への関心が高まった。 中学生と地域の大人が、いっとき避難場所から指定避難場所までの訓練を一緒に行ったことで、お互いに顔が見える関係が出来た。また中学生は、自分達が地域で果たせる役割を知り、貢献できることを意識する機会となった。 有事の際の重要性が再認識され、いっとき避難所の訓練を行う町内会が増えた。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
黒松わんぱく親子農園	小学生親子が黒松老人会の会員と一緒に畑作り、野菜栽培、収穫した野菜を使った料理を囲んで交流会を行った。農園の指導は宮城大学食産学部の教授と学生サークル大地くん、地域の農業指導者に依頼した。	4 月 24 日 5 月 7、21 日 6 月 18 日 7 月 30 日 10 月 1 日	6	236
みんな集まれ！はじめての大運動会	乳幼児親子を対象にイベントを開催した。近隣の短期大学生、中学生、ジュニアリーダーのボランティア協力も得て、全６種の競技の他、パンの販売やお茶などの飲食ブースで親子同士の交流を図った。	6 月 25 日	1	136
わくわく子どもの時間	「メダカの正体に迫る」「クリスマスランチメニュー」「ステンシルでマイバッグを作ろう」を実施した。参加者は黒松・八乙女両小の他、近隣の小学校からもあり、学年や学校を越えた交流も図られた。	7 月 27 日 12 月 23 日 3 月 23 日	3	48

ジュニアリーダーと遊ぼう！	ジュニアリーダー企画運営の下「ゲーム」「運動」「工作」などを実施した。低学年の参加者との関わりを通し、ジュニアリーダーのスキルアップが図られた。また、二つの小学校の参加者同士の交流も図られた。	7月29日 10月10日 2月25日	3	15
元気アップ生活～みんな笑顔で～	ボッチャ大会を２回開催（うち１回は出前講座）。介護予防体操と脳トレゲームでは地域の民生委員が初めて講師として参加。低栄養予防のための調理実習。地域団体と共催で介護予防の学びの場を提供した。	5月25日 10月19、22日 12月7日	4	75
社会学級共催	「おらいのことば 聞ぐべす しゃべっぺす しゃべらいん」と題し、転勤族も多い地域住民が方言を話題に交流を深めた。第１部方言落語をきく、方言で歌う第２部グループ交流会	2月9日	1	45
★黒松寿大学	高齢者が健康で生きがいのある人生を送るために学び合う場の提供。演奏会、博物館館外学習、嚥下障害予防・インフルエンザ予防・なつかしふるさとの講話、吹矢・宮城県マスター検定・災害用伝言ダイヤルの体験	5月19日 ～2月16日	9	616
地域再発見　私のまち散歩	4年に渡り、地域の魅力を取り上げた講座でまとめた地域情報を活用して、地域の歴史の講話や現地散策をして回った。昨年までの受講者が講師を務めた。	5月18、25日 6月1日	3	22
◎真美沢公園ネットワーク事業～真美沢公園元気プロジェクト～	「真美沢公園を美しくする会」と連携して、定例会、下草刈り・植樹などの環境整備活動、桜まつり・自然観察会・コンサートなどのPRイベント活動、広報充実のホームページを開始した。	4月9日 ～3月25日	16	462
★黒松市民センター・黒松児童館まつり	連合町内会をはじめ、地域諸団体の協力をいただき、ステージ発表や展示発表、こどものコーナー、青空コーナーでの炊出し訓練や地震体験車の体験など、たくさんの方々が参加し、交流と親睦を図った。	9月24日	1	1,311
地域懇談会	マンション管理組合、黒松小学校区、八乙女小学校区別に各種団体の代表者による情報交換、意見交換を実施した。	6月7、15日 7月12日	3	36
きらめきサロン う・ふ・ふ	地域の女性たちが気軽に集え、年齢を越えた交流ができるように、様々な内容の講座を企画員が企画した。フラダンス、調理、オーナメントづくり、和菓子作りとお茶会などを実施した。	10月28日 11月25日 12月10日 2月4日	4	60
★防災・減災スキルアップ講座	地域防災リーダーが研修で得たスキルを地域の防災担当者などに伝達し、地域の防災訓練で実際の動きを確認した。	7月30日 9月17日	2	674
ジュニアリーダー定例会	地域内外からの依頼の調整と自主企画「クリスマス会」「卒業生を送る会」の実施と地域の達人、卒業生を講師にした研修会「南京玉すだれ」「ダンス」「バルーンアート」「セルフプロモーション」などを開催した。	4月16日 ～3月28日	12	81
市民企画会議「女性のための講座企画会」	高齢者だけでなく、若い方、仕事をしている方にも参加できるように、託児を付けることや曜日を工夫するなど工夫を凝らした企画になるように話し合いをした。	6月22、29日 7月6、13日 2月15日	5	25

将監市民センター

〔沿　革〕

将監市民センターは、昭和47年11月、将監団地の開発・発展を背景に地域住民の交流の場として開館した「将監会館」が始まりで、昭和53年4月、新たに地域生涯学習の拠点施設として名称を「将監公民館」に改め、昭和54年6月には研修室棟も竣工し施設の拡充が図られた。その後、仙台市との合併に伴い、平成元年4月から「将監公民館・将監市民センター」となり、翌年4月には「将監市民センター」と改称された。

平成3年度には、施設の大規模な改築が行われ、平成4年4月に再開し現在に至っている。当市民センターは、軽スポーツ活動が可能な多目的ホールを有し、多くの人々に利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　●：区役所との連携事業　◎：地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	将監和みサロン		
参加者	地域の方どなたでも	延参加者	114人
開催日	全3回　10月29日(土)、11月26日(土)、12月3日(土)		
協力者・協力団体	共催:将監地区社会福祉協議会 連携:熟年会、南寿会、将監1･2･3丁目町内会		
ねらい	市民センターから遠く、歩いて来ることが困難な高齢者や、日頃隣近所とのつながりが少ない団地住宅の住民を対象に、集会所を会場に誰もが気軽に参加できるミニコンサートを開催し、地域住民同士の交流や体験の場を設け、孤立や引きこもり防止に役立てる。		
概要・成果	「普段は市民センターまで行けないが、出前講座なら参加できる」といった声も上がっており、ねらいに沿った効果が得られている。内容は参加者の満足度が高く、連携町内会・老人会も、会場セッティングや受付・後片付け等を協力して行い、この講座の目的に賛同してくれる人が増えている。		

〔平成28年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子で楽しくリフレッシュ	孤立しがちな乳幼児親子を対象に、子育ての悩みや不安を解消するため、親子でスキンシップを図れるような体験型を取り入れた講座を開催。タッピングタッチ、わらべうた、絵本の選び方	11月18日 12月2、9日	3	48
●こどもチャレンジ講座	地域の小学生を対象に、学校では経験できない様々な体験の機会を設け、異年齢での集団活動と交流を図り，学びや気付きの機会を提供した。調理・化石採集・スライム作り・将監沼探検	6月15日 8月3、10日 9月10日 10月12日 2月15日	6	101
職場体験講座	勤労観、職業観及び主体的に進路等を決定する意欲や意識を育むため、市民センター業務（講座・窓口）、サークル体験及び地域団体が行っている「ほっとサロン将監」の手伝いを実施した。	11月30日 12月1、2日	1	3
将監寿大学	60代～80代の世代が年間を通じて館外学習、介護予防運動、ミニコンサート等幅広い分野の学習を行った。また定期的に運営委員会を開催し、お楽しみ会や自主企画などで講座の運営に積極的に関わりを持つことができた。	5月17日 ～2月21日	10	424

楽しくウォーキング ～地域の魅力再発見～	地域の魅力を発見・発信することを目的に、春・秋の 2 回に分け将監沼周辺の散策、七北田公園の彫刻巡りなど毎回違ったコースを歩きながら四季折々の魅力や資源を再確認した。	5 月 26 日 6 月 9、23 日 10 月 20、27 日 11 月 10 日	6	139
★将監ふれあいコンサート	将監地区社会福祉協議会・「将監沼の自然」とふれあいを育む会との共催で陸上自衛隊東北方面音楽隊の吹奏楽コンサートを実施した。	11 月 13 日	1	601
みんななかよくグラウンドゴルフ大会	異世代間交流の場と地域の活性化を目的に、将監児童館・将監児童センター・将監西児童館との共催でグラウンドゴルフ大会を開催した。	9 月 3 日	1	42
泉ヶ丘地区出前講座「夏の講座」	泉ヶ丘地区の児童、親子と地域住民を対象に、夏休み期間の小学校で出前講座を開催。水彩画やミニテニスの体験、立体写真をつくりその仕組みを学ぶなど各コースに分かれ体験学習を行った。	7 月 27、28 日	3	48
★将監地域防災講座	防災キャンプは、陸自の協力により、テント設営、救命・救急及び炊出しを実施。児童の引渡し訓練や地域高齢者とラジオ体操等を行った。また、「東北地方の地震活動及び火山活動について」講演を開催した。	8 月 6、7 日 11 月 19 日	3	299
◎みんなの居場所をつくろう	高齢者の引きこもりや孤立化等の現代的課題を解決するために、年齢や性別を問わずに自由に集い、交流できるような居場所づくりを地域住民が企画・運営した。	5 月 14 日 ～2 月 25 日	10	518
将監市民センターまつり	学習成果発表の場として、市民センターで活動している団体や町内会等の地域住民が主体となり開催。展示や舞台発表、体験コーナーの他、地域力創造支援事業「みんなの居場所をつくろう」の企画員による「居場所カフェ」「元気っこ広場」を実施した。	10 月 1、2 日	2	2,050
★将監地域懇談会	1 回目は地域団体の代表者により地域の高齢化に伴う課題について話し合いを行った。 2 回目は将監地域 3 小学校の関係者により、地域課題や所属する団体等の活動内容の紹介を行い、意見・情報交換を行った。	1 月 20 日 2 月 4 日	2	16
将監沼(将監風致公園)育林ボランティア養成講座	“「将監沼の自然」とふれあいを育む会”と連携し、将監沼に生育する樹木の樹名板を作成するとともにカブトムシの里づくりの為に新たに養殖床 2 個を作成した。	6 月 18 日 7 月 16 日 9 月 17 日 11 月 26 日 12 月 17 日 2 月 18 日 3 月 18 日	7	67
市民企画会議	選任の企画委員により全 9 回の企画会議を実施し、地域住民同士の交流を目的に誰もが気軽に参加しやすい内容の講座を企画・開催した。	7 月 6 日 ～1 月 18 日	9	41
市民企画講座「中国の食と文化で交流しよう」	「中国の食と文化」をツールに受講生同士が交流を深めることを目的として全２回の講座を企画し、第１回は「中国式切り絵体験」、第２回は「中国式ゴマ餡入り白玉だんご作り」を実施した。	12 月 7 日 1 月 18 日	2	28

加茂市民センター

〔沿　革〕

加茂市民センターは、昭和 58 年 4 月、加茂公民館として開館した後、仙台市と泉市の合併や公民館と市民センターの併設を経て、平成 2 年に現施設名に改称された。平成 10 年には併設されていた加茂体育館が編入され、現在に至っている。開館当時は長命ケ丘・泉中山の区域まで対象としていたが、平成 5 年 4 月の長命ケ丘市民センター開館に伴い、現在は加茂・虹の丘・上谷刈・みずほ台を対象としている。

当市民センター周辺地区は、賀茂神社や古内志摩の墓、中世の館跡である長命館公園などが点在しているほか、七北田川や丸田沢堤・三共堤がある水の森公園などの自然環境にも恵まれている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**ハロウィンがやってきた！**		
参加者	小学生、高齢者	**延参加者**	85 人
開催日	全 3 回　9 月 13 日（火）、10 月 8 日（土）、10 月 29 日（土）		
協力者・協力団体	共催：加茂児童センター、協力団体：加茂地区社会福祉協議会、加茂子育て支援クラブ		
ねらい	少子高齢化が進む加茂地区では、共に支え合い、誰もが安心して暮らせる地域づくりの継続が必要とされる。そこで、世代間交流を行いながら高齢者の孤立化を防ぎ、地域コミュニティの充実を図る。また、自分たちの住む地域の課題にあらゆる世代が関心を持ち、課題の解決に向けて取り組むきっかけとする。		
概要・成果	平成 28 年度は高齢者にも準備段階から参加してもらうこととし、1日目に高齢者が訪問宅の目印を作成し、2日目は子どもたちが仮装グッズ、高齢者へのプレゼントを作成し、3日目に子どもたちが町内を仮装してパレードした。子どもたちは「トリック・オア・トリート」を合言葉に高齢者宅を訪問してプレゼントを渡し、高齢者は子どもたちにお菓子をあげることで子どもたちと高齢者の交流を図った。 子どもたちにとっては普段は訪れることのないお宅を訪問し、初対面の高齢者と触れ合いながら挨拶やお礼の仕方、言葉遣いなどを学ぶ絶好の機会となり、社会性を育むことができた。一方、高齢者は自ら子どもたちを受け入れる準備をすることでイベントへのより深い関心を持ち、理解を深め、子どもたちの訪問を心待ちにし、パレード当日子どもたちを受け入れ、地域の人々に温かく囲まれながら生活していることを実感することが出来た。また、市民センターにおいては地域団体と協力しながら地域課題を共有し、課題解決の一助とすることが出来た。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
かも子育てひろば	英語でのリトミックや、人形劇の上演、絵本の読み聞かせと子育て相談、風邪予防のアロマスプレー作り、親子ふれあい遊びを実施。	6 月 15、22、29 日 1 月 13 日 2 月 8 日	5	65
わくわくキッズクラブ	ホバークラフト作り、グラスアート作り、フラワーアレンジメント、親子でテーブルゲーム体験、ニュースポーツのカローリングとドッチビー体験、調理実習を実施。みずほ台集会所への出前講座でクレイ粘土を実施。	6 月 4 日 ～2 月 26 日	8	142

中学校職場体験学習	施設点検や受付業務、センターまつりの準備手伝い等、市民センター業務を体験し、市民企画会議に参加、サークル体験を通して、中学生の職業観を養った。	10月18、19、20日	1	3
ワイワイ若がえり塾	交通安全と振り込み詐欺、せんくらの楽しみ方などの講話、ヨガや折り紙などの実技、仙台駅東口周辺や加茂市民センター周辺の歴史を探る館外学習など音楽・歴史・健康・高齢者をめぐる問題など様々なテーマを取り上げて実施。	5月19日 ～2月16日	9	407
★●災害から身を守るために	災害への対応力の向上と共助の意識醸成を図るため、地域団体や中学校と連携し、救急救命講習会、総合防災訓練、サバメシ体験を実施した。	6月19日 10月15日 11月9日	3	492
市民企画講座「Ji-Jiたちの集活」	地域の団塊の世代が一歩外へ踏み出すきっかけづくりのため、地下鉄で北の端から東の端へ出かけ、荒井車両基地やメモリアル交流館を見学、「テーブルゲーム」で孫と対戦、頭の体操をして、孫にも喜ばれるレシピの「調理実習」を実施した。	10月7日 11月26日 1月26日	3	35
寄り道サロン	市民センターまでの交通の便が良くない地域へ出前講座を実施した。泉中央南地域では、軽体操とアロマを使ったミニクリスマスツリー作りを実施。みずほ台地域ではウクレレワークショップを実施。虹の丘地域ではお片付けについての講話とJAZZコンサートを実施。	5月31日 7月15日 10月6日 11月29日 12月2日 3月4日	6	149
加茂市民センターまつり	作品展示・ステージ発表・子どもの広場・体験コーナー・イベントコーナー・お楽しみ抽選会	10月22、23日	2	980
みんなのコンサート♪	２部構成でコンサートを開催した。第１部は懐かしい曲の演奏を鑑賞。第２部は地域のコーラスサークルとともに懐かしい曲の合唱。	12月3日	1	42
地域懇談会	地域各種団体や利用サークルと話し合いの場を設け、意見や情報の交換を行うことにより相互理解を深めると共に、次年度の地域行事の日程調整等を行った。	7月9日 1月20日	2	56
支え合いの福祉	地域活動の担い手の育成を目的に、8月に地域介護講座を実施、10月にハロウィンがやってきた！講座への参画、1月は地域づくりに必要なポイントの講話を聞き学習した。	6月10日 7月15日 8月25日 10月8、29日 11月9日 1月12日 3月14日	8	52
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダー活動の充実を図るため毎月１回定例会を実施。スキルアップ研修や要請の準備、話し合いなど地域行事への参加を支援。	4月16日 ～3月18日	11	38
加茂地域歴史ガイドボランティアフォーローアップ講座	他地域で活動しているガイドから、ガイドボランティアの心得やガイドの技術を学んだ。 地域の古寺の成り立ち等を住職より直接聞き取り前年度までに学習した事柄の補足学習。	5月7日 9月10日 12月3日 1月7日 2月4日	5	38
市民企画会議「井戸端会議はじめます！」	豊かな経験や知識を持つ団塊世代のリタイア組の仲間づくりをするとともに、地域を担う人材を発掘するための講座を企画し、運営した。	6月6日 ～2月9日	8	39

高森市民センター

〔沿　革〕

高森市民センターは、地域住民の生涯学習活動の中心的施設として、平成元年 4 月「高森公民館」として開館した。その後、機構改革に伴い「高森市民センター」と改称された。

高森地区は、昭和 48 年以降、民間企業によって開発された地域で、閑静な住宅地のほか、高森東公園や高森西公園などに豊富な緑地が残され、自然と調和した美しい街区が特徴的な地域である。

地域では町内会や地域ボランティア団体を中心に、「新しいふるさとづくり」を目指して四季を通じたイベント等を行い、地域活性化の推進に取り組んでいる。その中で、当市民センターは、地域への愛着心を育む交流の場として、多くの地域住民に利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	ブックフェア　in　高森		
参加者	どなたでも	延参加者	201 人
開催日	全 3 回　 10 月 10 日(月)、11 月 18 日(金)、11 月 19 日(土)		
協力者・協力団体	泉図書館		
ねらい	小・中学生の読書活動は、習い事や部活動で忙しいことや、TVゲーム等の影響で十分に行われていない。また、泉図書館高森分室は年々利用者が減少傾向にある。このことを踏まえ子どもと本の出会いの場、子どもが読書に親しむきっかけの場を提供し、子どもたちがそれぞれの成長に応じた読書を楽しみ、考える力、表現する力を育む読書環境をつくる一助とする。また、泉図書館高森分室の利用者拡大と活性化に繋げる。		
概要・成果	講談社全国キャラバンおはなし隊「絵本バス」に来館してもらいバスの見学とお話会、文学講座、街頭紙芝居及び古本市・アイリッシュハープのおはなしコンサートなど、子どもから大人まで楽しめる様々なイベントを開催した。 沢山の方へ本に触れる機会を提供できた。また、紙芝居やコンサート、工作コーナーなど子ども向けのコーナーも充実させたことにより、親子で足を運んでもらうことができた。 古本市では、多くの本を来場者へ提供することができた。泉図書館高森分室が開く金曜日にも開催したので分室のアピールもでき、利用者数の増加につながった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
高森親子クッキング	旬の素材や伝統料理にちなんだ料理を親子で実習	7 月 10 日 10 月 1 日 1 月 21 日	3	56
市民企画「子育てママのリフレッシュ・タイム」	高森児童センターと連携し、子どもと離れてリフレッシュ「ヒーリング・ヨガ」託児付きと「親子でリトミック」を開催	10 月 19、26 日	2	42
自分づくり教育「職場体験」講座	市民センターの役割についての学習。窓口対応・接客。サークル活動見学。講座ポスター制作体験。（ブックフェアｉｎ高森、みんなで学ぶ地域防災）	10 月 25、26、27 日	1	4

インリーダー研修子ども会交流会	小学生対象の講話「インリーダーとは？」・実技「レクレーション技術」 大人対象の講話「子ども会活動と世話人の役割」	11 月 26 日	1	51
地域安全マップを作ろう	危険な場所や安全な場所の探し方についての事前学習。終了後小学生が子どもの目線で地域内の”犯罪が起こる危険性の高い場所”や”子ども 110 番の家”を地域の方と歩いて探し、地図に書き起こし発表した。	5 月 31 日 6 月 4、14 日 7 月 12 日	4	348
高森塾	講話「人を育てる秘訣」「電力小売自由化について」「エンディングノートの活用法」「免疫力アップで冬に負けない体づくり」「お茶の楽しみ方」施設見学「日本赤十字東北ブロック血液センター」実技「レクリエーション」「みんなで歌うコンサート」漫才「笑いで健康～笑う門には福来る～」	5 月 27 日 ～2 月 24 日	9	365
★みんなで学ぶ地域防災	1 回目：実技「防災・減災カードゲーム」の体験。2 回目：講話「ペットのための防災」～大切な家族を守るために～	8 月 27 日 11 月 19 日	2	21
ウェルカム世代間交流～高森地域福祉交流会	地域全体の世代間交流を目的に、社会福祉協議会を共催して交流会を開催した。高森小学校児童のダンス、高森東小学校スコボラ隊の合唱、南京玉すだれ、腹話術、クイズ大会	10 月 22 日	1	152
新しいふるさとづくり事業	地域の活性化、地域交流、世代間交流及び地域ボランティアの育成を目指し、イベントを実施した。「巣箱づくり」「巣箱設置」「野鳥観察会」	4 月 27 日 9 月 9 日 10 月 20、25 日 1 月 19、20 日	7	206
高森市民センターまつり	地域行事として定着した市民センターまつりを、センター利用団体や地域活動団体の生涯学習の発表の場として実施した。、オープニングセレモニー・展示・ステージ・子どもの広場・ダンスパーティー・出店・抽選会	9 月 24、25 日	2	4,656
高森絆コンサート	１・4 回目は室内で開催。2 回目は宮城大学管弦楽団と地元合唱団によるコンサートを開催。3 回目は野外。5 回目はジャズコンサートを開催。	5 月 25 日 6 月 26 日 7 月 13 日 11 月 9 日 12 月 10 日	5	1,329
★高森地域懇談会	市民センターの運営、事業に対する意見交換や地域課題を共有するために、情報交換の場として地域団体や地域住民と懇談会を実施。	6 月 24 日 10 月 28 日 2 月 18 日	3	18
高森流星サークル育成支援	高森流星サークルに所属するジュニアリーダーの育成と会員の拡大、地域の子ども会等での活動や定例会の開催などを支援した。定例会の実施・活動場所の確保・要請の確認と調整・活動記録の作成・報告	通年	11	42
高森学童農園支援ボランティア講座	高森地区の学童農園で、野菜の手入れや子どもたちに野菜づくりを指導するボランティア活動。野菜の栽培方法や土づくり・堆肥づくりなど、畑の一連の作業を学ぶ。	4 月 7 日 ～11 月 17 日	14	173
市民企画会議市民センターの講座を企画しよう	地域の豊富な人材の掘り起こし、地域のニーズや地域課題を市民企画員とともに話し合い、人的交流や課題解決のための講座の企画をした。	6 月 8 日 ～10 月 26 日	5	15

松陵市民センター

〔沿　革〕

松陵市民センターは、平成 2 年、泉区の北東に位置する松陵ニュータウンの住宅地に開館した。松陵・永和台・歩坂町・山の寺・向陽台・明石南の 6 つの町を担当エリアとし、県民の森をはじめ、豊かな自然と緑に恵まれた地域に立地している。子どもの減少により、松陵地区では平成 25 年度から 2 つの小学校が統合されるなど全般的に少子高齢化が進んでいる地域であるが、当市民センターは地域における生涯学習の拠点として市民に親しまれる事業を展開し、地域コミュニティづくり、交流の場として地域住民に広く活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**第 25 回松陵ふれあいコンサート**		
参加者	地域住民	**延参加者**	775 人
開催日	全 1 回　 10 月 30 日(日)		
協力者・協力団体	松陵中学校、泉松陵小学校、向陽台中学校、向陽台小学校、泉松陵高校、東北学院榴ケ岡高校、東北高校、松陵中学校区地域ぐるみ青少年健全育成推進協議会、泉松陵小学校 PTA、向陽台中学校吹奏楽部親の会、向陽台小学校ひまわり吹奏楽団保護者会、泉地区交通安全協会泉支部松陵分会		
ねらい	小学生から大人までが演奏や運営に参加することで、異世代間交流や地域団体の交流を図り、さらに音楽の素晴らしさを知っていただく機会を地域の方々に提供するとともに、地域活性化の一助とする。 また、7つの学校の生徒たちもコンサートを通し交流することで心身の健やかな成長を培う。		
概要・成果	今年で 25 回を迎えたコンサートは 3 部構成で、第 1 部(高校生から社会人までの小合同演奏)、第 2 部(小学生から高齢者までによる合唱)第 3 部(小学生から社会人までの総勢 300 人による大合同演奏と合唱)の内容で実施した。ふれあいコンサートは参加者だけでなく多くの協力団体に支えられて地域の文化的行事として長く続いてきた。この講座をきっかけに出演団体が小学生に合唱や吹奏楽の指導に出向いたりすることで、地域の子ども達の演奏技術の向上にもつながり、音楽教育にも貢献している。 また、地域の住民が気軽に足を運べるコンサートとして地域交流の場となり、地域活性化へと繋がっている。		

〔平成 28 年度 (地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子どもゼミナール'16	学びのコミュニティづくり関連事業で、今年度は１２月にクリスマスリース作り、１月に小正月行事ちゃせご、２月にケーキずし作りを行なった。	12 月 3 日 1 月 14 日 2 月 4 日	3	61
わくわく元気広場	学区を越えた地域ぐるみの子育て支援の為児童館と 3 館で共催事業を実施。7 月はｼﾞｬｸﾞﾘﾝｸﾞﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｼｮｰを楽しんだあと小学生親子でディアボロの工作体験、9 月は乳幼児親子参加型のコンサート「おはようシアターとあそぼう！」を開催した。	7 月 23 日 9 月 1 日	2	251

職場体験学習	松陵中学校の2年生3名（11月15日～18日）の職場体験を受け入れ、職業人としての心構え、市民センターの事業（講座の援助）、施設管理、事務の補助等を実際に行うことで、生涯学習の仕事の特性、施設管理の内容、接遇などを学習した。	11月15日 ～18日	1	3
松陵っ子土っと来いまつり	学びのコミュニティづくり関連事業で参加団体が各ブースを設け子どもたちが参加した。今年度はジュニアリーダーが工作「むにゅむにゅくん」作りを行い、体験学習の場を提供した。	11月5日	1	125
出前講座「市民センター出前サロン」	遠距離地域からの出前講座の要望に応え気軽に参加できる事業を実施。山の寺地域は地区社協と連携し「楽しく音楽しましょう！」、明石南地域はﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ団体と連携し「楽しく元気アップ！」を実施。	10月13日 3月1日	2	33
●いきいき健康講座	全9回の高齢者向けの講座で、主に健康に関した内容の講話やロコモティブシンドロームを防ぐ運動を連続で実施。	5月13日 ～2月10	9	244
★らくらく教養講座	全9回の講座からなり、健康講話・文学講話・音楽実技・歴史講話・工作実技など多種多様な内容を実施した。	5月27日 ～2月24日	9	286
第25回松陵ふれあいコンサート合同練習会	第25回松陵ふれあいコンサート開催のために吹奏楽の合同練習を5回開催した。小学生から社会人の約250人が同じ曲を演奏するために集まり、時間と手間をかけ曲を完成させた。	9月24日 10月2、8、23、29日	5	1,052
松陵ふれあい合唱	小学生から成人まで幅広い年齢層が共に歌う楽しさを学び、参加者同士交流を深めた。また、松陵地区の文化となっている「第25回ふれあいコンサート」で練習の成果を発表することができた。	9月30日 10月1､8､15、22、29日	6	207
「オリエンテーリングとディキャンプ」	「松陵っ子土っと来い」の関連事業として地域団体と共催で地域ぐるみの行事として定着している。火起こし体験や野外炊飯、オリエンテーリングや軽スポーツを行った。	10月8日	1	74
★●「みんなの力で地域防災・減災」	市・区役所と連携し泉松陵学区避難所運営関係者を対象に防災講座を実施した。HUG（避難場運営ゲーム）を通じて、通常では、体験できない避難所運営の疑似体験をするとともに、講義により、避難所運営のポイントを学んだ。	8月27日	1	47
社会学級企画講座	6月から4回の企画会議を実施。社会学級や市民センターの周知と活動の活性化のため、誰もが興味関心のある食をテーマに講座を企画し、開催した。	6月7日 7月19日 8月25日 11月17日 1月19日	5	20
第27回松陵市民センターまつり	センターで活動するサークルや地域の諸団体が、舞台発表、展示発表、出店、スタンプラリーなどを行った。高校生やジュニアリーダーがボランティアで参加しスムーズな運営に貢献してくれた。	11月13日	1	1,300
地域懇話会	町内会役員をはじめ地域団体の方を対象に懇話会を実施した。市民センターの事業や役割を説明するとともに、地域での活動状況や地域課題等についての情報交換を実施し、センター運営に反映させた。	6月1日 2月25日	2	26

おもちゃドクタースキルアップ講座	平成 24 年度から複数年事業で養成したおもちゃドクターたちの、平成 28 年度からの自立活動にむけて行ったスキルアップ講座講座。修理の技術力アップの為の実習と、ボランティア活動に関するノウハウを学び、自主活動を始めた。	6 月 8 日 7 月 13 日 8 月 10 日 1 月 26 日 2 月 8 日 2 月 15 日	6	45
「みちのく松陵」ジュニアリーダー定例会	月 1 回主に第 3 日曜日に定例会を実施し、要請確認、情報交換、ゲーム研修などを行った。また、地域の夏まつりにも参加しボランティアとしての存在をアピールした。	4 月～3 月	13	115
市民企画講座「残そう！松陵の歴史」	話合いを重ね、素材収集のために市民センターまつりで、講座 PR のための DVD 作成と放映、それと収集した素材の展示を行うことに決め、準備を進めた。また同時に、地元中学校生徒撮影の写真展を行った。	4 月 1 日 6 月 9 日 8 月 9 日 10 月 13 日 11 月 13 日	5	20
社会学級共催企画会議を経て企画する事業	身近な「食」をテーマに、なかでも日常的に食べられている「パン」についての基本を学び、社会学級生と一般参加者との交流や活動の周知を図る講座を開催した。	1 月 19 日	1	32

寺岡市民センター

〔沿　革〕

寺岡市民センターは、泉区北西部の大規模団地「泉パークタウン」の西部に位置し、緑豊かな自然が残る寺岡・紫山地区を受け持っている。

寺岡地区は、昭和50年代後半から急速に発展し、団地としては成熟しており、高齢化も進んでいる。一方、新しく造成された紫山地区は、若い世代を中心に住民も年々増加しており、寺岡地区とは対照的な年齢構成になっている。団地周辺には宮城県図書館をはじめ、宮城大学や仙台白百合学園などの文教施設があるほか、平成 20 年には大型商業施設がオープンし、週末や休日には遠方からも人々が集まり賑わっている。また、紫山地域の開発が更に進み住宅地が広がっていることから、今後もますます発展と活性化が期待される地域である。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎：地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**子ども110番の家に行ってみよう**		
参加者	寺岡小学校1年生	**延参加者**	133 人
開催日	全1回　6月2日(木)		
協力者・協力団体	寺岡小学校、寺岡・紫山両連合町内会、寺岡・紫山両社会福祉協議会、泉パークタウン防犯協会、泉地区交通安全協会泉パークタウン支部、泉警察署、寺岡小学校学校支援地域本部、寺岡小学校区子ども会育成会、寺岡児童センター、寺岡・紫山地域の110番の家の方々		
ねらい	1年生は、まだ学校生活に不慣れで、登下校中に事故や犯罪等に巻き込まれる危険性がある。そこで子ども達に身の周りにある危険から自分を守る方法を学んでもらう。そして地域の『子ども 110 番の家』について理解・確認してもらうことを目的とする。 また地域諸団体が関わることで、地域で子どもを育てる環境をつくりだす。		
概要・成果	泉警察署生活安全課職員による防犯・安全講話、・協力していただく地域諸団体の協力者や『子ども 110 番の家』の紹介、小学校既定の集団お帰りコースにて、地域諸団体の協力者と共に直接「子ども 110 番の家」の訪問を行った。 子ども達は「自分の身は自分で守る」術を学習するとともに「子ども 110 番の家」を理解・確認し、地域全体で守られていることを実感する機会となった。また、直接訪問することによって、お互いが顔のみえる関係になることができた。 連合町内会・社会福祉協議会・防犯協会など地域の諸団体に多数、参加していただき、地域全体で子どもを育てるという意識が醸成できた。また今後の地域における諸団体による各種活動においても地域の活性化のための連携・協力する基盤の確立につながる機会となった。		

〔平成 28 年度 (地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子の広場	乳幼児を対象に、親子３B 体操、親子ヨガ、人形劇をみる会、親子サッカーなど、親子で気軽に参加できる事業を実施した。	6 月 9 日 9 月 13 日 10 月 27 日 2 月 9 日	4	200
子ども体験塾	小学生を対象に、バターづくり、パステルシャインアート、スイーツづくり、天体観望会など、学校では学ぶことの出来ない体験学習を実施した。	7 月 27 日 10 月 8 日 12 月 11 日 12 月 16 日	4	115

中学生職場体験	市民センターの概要を説明するとともに、講座企画・準備及び窓口業務、施設管理、広報、サークル体験を実施した。	10月18、19、20、21、28日	2	10
寺岡小学校区インリーダー研修会	小学5年生と世話人を対象にして、子ども会運営に関する研修会を行った。子供向け「リーダーとしての心構え」ワークショップおよびジュニアリーダーによるゲーム、世話人向け「KYT研修」「21世紀スキルのアクティブラーニング」	1月29日	1	153
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーの企画運営による小学生対象の講座。	10月30日 3月12日	2	86
●老壮大学「多聞塾」	地域の高齢者を対象に、社会問題、健康、歴史、音楽などの講座を開催した。また、交流会を開催し、個々の特技を披露する場を設け、受講生同士の交流を深めた。	5月12日 ～2月2日	10	407
寺岡・紫山の魅力発見！「ネイチャークラフトをつくろう！」	作品の紹介と自分が作る作品のイメージ作りを行い、実際に地域を散策して材料を収集し、収集したものでネイチャークラフトを作成した。	8月28日 10月9、16日	3	40
おやじ×子どもワクワク体験講座	燻製づくり、ベンチづくり、凧作りと凧揚げ、など、お父さんが子どもとのモノづくりを楽しみながら、地域行事へ参加する機会を提供した。	9月17日 11月19日 12月17日 1月7日	4	63
寺岡・紫山地域防災ネットワーク推進委員会	防災イベントの協働開催に向け、防災会議を開催し、防災イベントを通じて小中学生に災害発生時の対応を考えてもらい、防災意識高揚につなげた。	5月27日 ～12月3日	7	499
寺岡・紫山市民文化祭	地域で活動するサークルと地域諸団体で構成する委員会で運営し、ステージ発表・展示発表・体験コーナー・ダンス・カラオケ発表等を行った。	10月29、30日	2	1,400
寺岡・紫山カフェ	受講生がそれぞれ、作品のパーツを作り、それを繋ぎ合わせて、アルバムキルトを作成した。	6月8日 ～9月21日	10	84
寺岡・紫山地域懇談会	市民センターの事業や活動等の紹介、要望・意見の聞き取り、地域の現状把握、地域資源・地域課題についての意見（情報）交換を行った。	9月4日 1月22日	2	48
市民企画講座「まち散歩・ふるさと再発見」	写真撮影と川柳の基礎を学び、フォト川柳として作品を仕上げ展示し、地域の魅力を発信した。	11月15、22日 12月13、20日	4	27
ジュニアリーダー育成支援「定例会等」	子ども会等からの要請への対応、研修などを行った。定例会ではジュニアリーダーが自分たちで、講座企画、交流会などを行い、またゲームなどのスキルアップを行った。	4月10日 ～3月27日	13	80
市民企画会　市民センターの講座を企画しよう	地域課題に対応する講座の企画を考え、地域の魅力を写真と川柳で発信することとした。	6月15、29日 7月13日 12月20日	4	12
●◎寺岡・紫山地域魅力づくりプロジェクト！「めざせ！みんなが集まる街づくり！」	町内会を中心とした地域諸団体・有志による委員会を組織化し、地域全体で連携・協働して自然豊かな寺岡山・紫山を活用した地域の魅力づくりに取り組み、「みんなが住みたくなる街、みんなが集まる街」を目指す。委員会の組織化・開催、地域魅力づくり案の募集・検討、計画・準備実施	5月22日 ～2月4日	12	221

長命ケ丘市民センター

〔沿　革〕

長命ヶ丘市民センターは、平成 5 年 4 月に泉区 10 番目の市民センターとして開館した。その周囲は昭和 50 年代初めに造成された長命ヶ丘団地で形成されている。利用者の約 65%が長命ヶ丘地区、25%が近隣地区、残り 10%が他地区の利用者となっており、地域に密着した市民センターといえる。地域利用団体の 30 サークルをはじめ、常時 80 以上のサークルが活動しており、平成 28 年度は約 46, 700 名の利用者があった。

当市民センターは、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の支持を得ながら、サークル活動はもとより、地域の生涯学習活動の拠点として定着しており、その役割と機能は重要性を増している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**市民企画会議 長命ヶ丘ゆるキャラPR大作戦 「あいタワーくん・あいカネちゃんの歌を作ろうⅡ」**		
参加者	地域住民	**延参加者**	20 人
開催日	全 3 回　 7 月 12 日(火)、12 月 20 日(火)、1 月 8 日(日)		
ねらい	長命ヶ丘に誕生したゆるキャラ「あいタワーくん・あいカネちゃん」を地域に浸透させるため、これまでキャラクターのプロフィールを作成し、それをセンターまつりで発表する等してPRを進めてきた。平成 27 年度はこのゆるキャラをさらに地域に広めていくため、市民企画の形で歌を作成することにし、歌詞の公募や小学生にサンプル曲への意見を求める等して、会議を重ねてきた。そこで、平成 28 年度は引き続き企画会議を行い、世代を超えて地域の方々から愛される歌の完成を目指していく。		
概要・成果	企画会議を持つことで、メンバー同士、顔の見える関係が作られ、思いを一つにして歌の制作に携わることが出来た。市民企画会議にしたことで、事業実施までの過程を知ってもらうことができ、市民センターへの理解を深めてもらうことが出来た。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
長命ヶ丘保育所・児童センター・市民センター３館共催「子育て講座」	親子で楽しむコンサート、託児付の子育て講話、離乳食講座、大運動会、親子リトミックを 3 館が各々の特色を活かし開催した。地域ぐるみの子育て支援が定着してきて、今年度は地域の高齢者参加もあり、世代間交流としての役割も担った。	6 月 9 日 7 月 14 日 10 月 6 日 11 月 10 日 12 月 8 日	5	369
フレンドスクール	夏・冬休み等に、小学生を対象に地域講師の工作、親子でユアテックスタジアム見学、地域の高齢者の昔遊び、泉館山高校生の米粉ピザ作り、センター利用サークルの講師による書道の講座で、異なる世代から学校以外の様々な学びを提供した。	8 月 5、19、20 日 12 月 17 日 23 日	5	116
★ロングライフヒルコミュニティ協議会事業「学校に泊まろう」	日常の学校生活では出来ない体験として、子どもたちが学校に泊まり、学年を超えた交流や中学生、高校生、地域住民との交流を図った。豊かな感性の子供たちを、学校を含めた各地域団体が協働して、地域全体で子どもたちを見守り、支援する活動となった。	7 月 23、24 日	1	126

職場体験	中学生の職業観を養い、将来を考えるきっかけづくりのために、市民センター業務体験の機会を提供した。講座の受付・参加、窓口業務	11 月 16、17、18 日	3	9
インリーダー研修会	市民センターを会場に、世話人対象に子ども会の意義と世話人の役割についての講義、インリーダー対象に行事プログラムの立て方とジュニアリーダーによるレクリエーションゲームの演習を行った。今年度は初めて共催として開催した。	11 月 12 日	1	62
★小学生の防災講座「減災を考えよう！」	地域の小学校 3 年生を対象に、世界で起きているいろいろな自然災害について学んだ。また、災害発生時にどう対応するか、減災とはどんなことかをゲームを通して学んだ。	11 月 15 日	1	49
こころが軽くなる 介護のイロハ	（公財）仙台市医療センターと連携し講話「認知症の理解と対応について」、（公財）仙台市健康福祉事業団介護研修室との共催で実技「排泄ケアの基本・メンタル面への配慮や工夫」、東北福祉大の准教授による講話を開催し、学習した。	7 月 6、27 日 8 月 3 日	3	42
筋力アップで介護予防	高齢化に対応し健康寿命の延伸を目指して、瞬間記憶や色・文字当てなどの脳トレやレザークラフトで栞作り、正しい姿勢と歩き方、転倒予防のための歩行と筋力トレーニングを体験し、知力・体力作りについて学んだ。	6 月 3、10、17 日 7 月 8、15 日	5	74
～食は健康の源～シニアの元気ごはん	栄養バランスを考えた食生活について話を聴くと共に、低栄養の改善と予防を考えた食事作りや咀嚼力を維持するための食事作りとして調理実習を行い、“食”の観点から介護予防について学習した。	11 月 16、30 日 12 月 7 日	3	34
長命大学	講話「いつも笑って前向き人生」で開講。仙台市博物館「黄金のファラオと大ピラミッド展」見学、「気持ちさっぱり！お片づけ講座」、フォークコンサート「青春☆プレイバック！再び･･･」、「ハ・ハ・ハ！で歯のはなし」と「健康体操で楽しく貯筋！」の健康講座 2 回、「エンディングノートあれこれ」、「吉野作造に学ぶ民主主義の原点」、「初笑い演芸会」、「歌って卒業（歌うセミナー＆ミニコンサート）」など様々なテーマで学んだ。	5 月 19 日 ～2 月 16 日	10	724
長命コンサート	高齢になり遠方に出かける事が困難な住民が増えていることから、身近な場所で気軽に音楽を楽しんでもらうため、1 回目にビッグバンド、2 回目に地域在住の音楽家によるリードオルガンとチェロのコンサートを実施。	5 月 28 日 3 月 4 日	2	232
地域の達人に学ぶ！	地域在住の優れた知識や技術を持っている方が講師となる講座を開催した。東北大学名誉教授や、画家による講話、国際ホテル総料理長による調理実習を実施。	10 月 22 日 11 月 19 日 2 月 5 日	3	39
市民企画講座 長命ヶ丘のゆるキャラ　あいタワーくん・あいカネちゃんの歌お披露目会	2 年がかりで制作したゆるキャラのテーマソングが完成したため、新春交流会で小学校 6 年生児童が発表した。	1 月 8 日	1	230
ロングライフヒルコミュニティ協議会との企画検討会	地域団体で構成された協議会で地域の子どもたちの健やかな成長や交流を目的とした事業の企画検討をした。	4 月 9 日 6 月 4 日 7 月 23 日 9 月 10 日 9 月 18 日 11 月 29 日	6	103

長命ヶ丘市民センターまつり	市民センターを中心に活動しているサークル団体の学習成果を発表する場として開催した。	10 月 15、16 日	2	2,600
地域懇談会	平成 29 年度の事業（講座）の説明を主体に行い、また、長命ケ丘地域の人材情報についても説明した。それを元に意見交換を行った。	2 月 23 日	1	19
目指せ!おもちゃドクター～おもちゃドクターボランティア養成講座～	幼い時から物を大切にする心を育むため、子どもにとって大事なおもちゃを修理するおもちゃドクターボランティア養成講座を実施した。熟年世代が趣味や技術を活かした社会参加にもなった。	12 月 17、24 日 1 月 7、14、21、28 日	6	47
市民企画会議 長命ヶ丘のゆるキャラＰＲ大作戦 あいタワーくん･あいカネちゃんの歌を作ろうⅡ	昨年に引き続き、ゆるキャラの歌を作る為、歌詞・曲を検討。小学校に歌詞・曲の仕上げをしてもらうこととし、新春交流会で歌をお披露目した。	7 月 12 日 12 月 20 日 1 月 8 日	3	20
サークル体験	長命ヶ丘市民センターで活動するサークルを対象に体験会を開催し、サークル活動の活性化と新しく活動を始めたいと思っている方たちとの出会いときっかけの場をつくった。	6 月 15 日 ～7 月 15 日	10	20

松森市民センター

〔沿　革〕

松森市民センターは平成12年1月、鶴が丘中学校区施設として泉かむり訪問看護ステーション、コミュニティ防災センターと併設し、泉区内11番目の市民センターとして開館した。当市民センターは仙台市泉区の北東端に位置し、担当するのは、古くからの松森地区と昭和40年代から50年代にかけて開発された鶴が丘団地からなる地域である。

施設内は、バリアフリー仕様になっており、広々としたロビーのほか親子室・娯楽室・図書室などを備えている。このような特性を生かしながら地域の生涯学習の拠点施設として開かれた親しみのある市民センターを目指している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	障がい者学習支援講座「松森ウェルフェアサロン～ダンスに挑戦！～」		
参加者	小学校高学年以上の療育手帳をお持ちの方	延参加者	48人
開催日	全6回　5月22日(日)　6月19日(日)　7月10日(日)　8月11日(木)　9月22日(木) 10月16日(日)		
協力者・協力団体	日本ダウン症協会宮城仙台支部どんぐりの会		
ねらい	生涯学習に参加する機会の少ない知的障がい者が学習支援講座に参加することで、社会参加の適応力を高め、学ぶ喜びを得て余暇活動を充実させる機会とする。また、学習成果をセンターまつり等で発表することを目標とし、地域住民と交流を図りながら地域に根差した学びのバリアフリーを目指す。		
概要・成果	10月の松森市民センターまつりでのステージ発表を目標に、月に一度のペースでダンスの基本を学び、曲に合わせてステップを踏む練習を行った。市民センターまつりでの発表だけでなく、6月に仙台で行われた「とっておきの音楽祭」にも参加し、学習成果を披露することで自己表現力を高めることが出来た。また、地域のセンターまつりで発表することで地域交流ができ、障がい者への理解を深めることが出来た。		

〔平成28年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育てサロン「こどもの杜」	地域内の子育て支援機関である鶴が丘保育所や児童センターと連携し、子育て世代同士の情報交換や交流を目的とした講座を実施。第1回目は6/9に親子ビクス、第2回目は12/21に託児付の調理講座を実施。	6月9日 12月21日	2	42
ジュニアちゃれんじ！	①泉松陵高等学校科学部と連携し、わくわく科学実験2016を開催。②各国の留学生から自国のゲームや言葉、文化を教わり、遊びを通しての国際交流。③鶴が丘児童センターと共催し、お菓子作りを実施。	7月30日 8月20日 2月18日	3	50
中学生職場体験	鶴が丘中と岩切中2年生の職場体験受け入れ事業。施設管理・窓口接遇・事業企画などを体験した。	8月22、23、24日 10月25、26、27日	2	8

田んぼのがっこう（複数年事業計画）	松森小学校児童対象の学社連携事業講座①実習田代かき②田植え③稲刈りなど農家ボランティアと松森小学校企画運営会議を開催した。	4月22日 5月10、12日 9月27日 10月4日	5	544
★減災をめざして～小学生のための防災セミナー～	災害に対して被害を少なくするためにはどのような準備をしておくべきかを講話「減災ってなあに？」、グループ学習「みんなでで考えよう」を通してやさしく解説した。	6月14日 7月14日	2	74
松森ほっとサロン	気軽に参加し仲間づくりが出来る機会を設ける目的に様々なテーマで、地域の方々と情報交換をするサロン①リンパマッサージ②③革細工④あま酒づくり⑤クリニカルアート⑥チーズについて	5月25日 6月22、29日 8月24日 9月28日 1月25日	6	95
笑顔のたね　さぁ、始めよう。健康長寿へのチャレンジ！	健康長寿をテーマに開催。①講話「栄養改善といきいき長き」実技「ストレッチングレクリエーション」②実技「脳が喜ぶ！心が笑う！クリニカルアート」③実技「血流促進！リンパマッサージと巡るカラダのアロマテラピー」	1月12、19、26日	3	65
●城前大学	高齢者に生涯学習の機会を提供し、受講生同士の交流を目的とした年間の連続講座を実施。4月から2月にかけて月に1回、健康講話や歴史講話、交流レクリエーション等を実施した。	4月21日 ～2月16日	9	612
松森市民センターまつり	市民センター利用サークルの展示発表や舞台発表、出店。	10月16日	1	1,400
松森アフタヌーンコンサート	地域住民の市民センターへの気軽な来館促進をめざし、地域の人々が気軽に楽しめ集える場を提供することを目的にした事業①ケーナ演奏②アンサンブル演奏③クリスマスコンサート④新春コンサート⑤朗読会	6月18日 7月16日 12月18日 1月7日 3月4日	5	357
松森・鶴が丘地域懇談会	地域内の連合町内会や機関・団体の代表が会した機会に各団体の活動状況や課題、市民センターの利用状況など情報交換を行った。	12月3日	1	32
図書ボランティア養成講座～本との素敵なかかわり方～	①図書ボランティアの活動内容や心構えについての講話。②ボランティアサークルによる素話③ブックトークの解説と実演④図書ボランティアと参加者の交流会	11月22、30日 12月7、14日	4	64
ＪＬパズル鶴が丘　定例会	地域からのボランティア要請の取りまとめやゲーム・工作の技術向上を目的とし、ジュニアリーダーサークル「パズル鶴が丘」の定例会を月に一度、第2日曜日に開催した。	4月16日 ～3月19日	12	40
市民企画会「健康プロジェクト企画員募集！」	健康で長寿を目指し、単に運動だけにとどまらず健康増進をテーマに企画会を開催した。	6月23日 ～2月14日	10	70
サークル一日体験	サークル活動に関心のある方へ情報提供をするため、市民センターで活動する団体の見学・体験できる機会を設けた。	5月7日 ～6月29日	15	20

桂市民センター

〔沿　革〕

桂地区は仙台市の北西部に位置し、緑に囲まれた住宅と高層マンションで構成される新興住宅団地で、緑が多く高齢化率も比較的低い街である。一方、将監地区は昭和 40 年代に開発された歴史の古い団地で年々高齢化が進んでいる。桂市民センターは、この両地区を受け持っている。

当市民センターは児童センターとの併設館であり、利用者の年齢層は乳幼児から高齢者までと幅広い。平成 13 年 12 月の開館以来、これらのさまざまな年齢層の地域住民と地域団体を意識した事業を展開し、生涯学習の拠点を目指して取り組んでいる。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●桂島緑地未来プロジェクト		
参加者	地域の方	延参加者	348 人
開催日	全 51 回　通年		
協力者・協力団体	泉区建設部公園課、桂連合町内会、桂島緑地公園愛護協力会、桂赤十字奉仕団		
ねらい	「桂島緑地の環境保全・美化および地域住民の憩いの場としての維持」をともに考え、活動している桂地域住民ボランティア団体が、今後も住民主導で持続可能な活動ができるよう支援する。		
概要・成果	環境保全・植物保護に取り組む定期活動を 4 月～11 月に月 2 回実施し、活動がより定着した。4 月に発足した植物保護班は、自生植物調査と活動広報のために自然観察会を 3 回実施。樹木のネームプレート(50 種 60 枚)を作成し、将監中学校生と共に設置した。また、植物保護の班員学習会を実施した。9 月には恒例の大規模清掃キャンペーンを継続して行い、桂地区の関係団体や「高森東ふるさとづくりの会」を招いた意見交換・交流会も開催した。「桂ジュニアカレッジ 桂島緑地公園でオリエンテーリング」に協力し、桂地域の親子にも桂島緑地の魅力を伝えることができた。10 月には桂小学校の清掃活動に協力し、周辺町内会や行政機関、企業とのつながりを深め、活動をさらに広げることができた。公園案内パンフレット作成班を募り、「桂島緑地地図帳 四季めぐり」を発行した。また、活動広報用に東街区側東屋に公園案内掲示板を作成・設置するなど、広報活動に積極的に取り組むことができた。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
桂の森のキッズランド	桂地区の子育てを支援する 4 団体で共催し、実施した。今年度は「ミュージカル集団おむらいす」の参加型のミュージカルを行い、参加者も一緒に体を動かしたり声を出したりと一体となって楽しむことができた。	9 月 7 日	1	160
桂ジュニアカレッジ	桂児童センターと共催し、「親子で桂を知る」をテーマに開催した。①桂地域の公園を巡るウォークラリー②泉パークタウンサービスによる地域の話③わくわくドキドキ実験室による桂島緑地オリエンテーリングを行った。	5 月 28 日 7 月 16 日 9 月 24 日	3	43
★防災すごろくゲームで防災を考えよう	桂小学校と連携して全学級で実施。1 回 45 分で「大型防災すごろくゲーム」体験を行った。授業の際には桂地区の仙台市防災リーダー(ＳＢＬ)と学校支援地域本部の協力を得た。	11 月～12 月	10	290
ジュニアリーダー「将監くれよん」と楽しくあそぼう！	児童センターとの共催事業で行った。ジュニアリーダーが主体となって小学生を対象に、ゲームの企画・運営を行った。参加ジュニアリーダーの自信とスキルアップにつながるとともに、今後の活動への意欲にもつながった。	12 月 10 日	1	9

『地域交流室』DE ちょこっとクラフト	桂小学校地域交流室を会場として、ユニット折り紙、松ぼっくりのクリスマスツリー、手づくりおもちゃ、動物ぽんぽんブローチづくりを行った。休み時間には児童も参加し、受講生との交流が図られた。	11 月 22 日 12 月 7 日 1 月 18 日 2 月 8 日	4	64
桂友くらぶ（老壮大学）	講話：「昭和の歌謡史」「地名学習」「東一番丁の歴史」実技：「手話を覚えよう」「ロコトレで介護予防（軽体操）」演奏会：「クラヴィコードとメゾ・ソプラノ」「うたごえ喫茶」館外学習：「宮城県美術館常設展示見学」	5 月～1 月	8	357
桂ファンタジーコンサート	第 1 回：中南米民族音楽の演奏と珍しい楽器や衣装の紹介など。第 2 回：桂児童センターと共催で、小学生のハンドベル演奏、大学奇術部のマジックショー、室内管弦楽団とフルートアンサンブルによるクリスマス曲の演奏会。	10 月 29 日 12 月 17 日	2	161
★桂地域防災事業	今年度は仙台市総合防災訓練としての実施だったので参加者は多様な体験訓練を行うことができた。市民センターは前日の消防署広報車による町内への広報活動を行った。	6 月 12 日	1	631
桂小学校区社会学級連携事業　企画会議	社会学級運営委員の 5 名が企画員となり話し合いを重ねた結果、地域住民同士が顔見知りになりつながっていくきっかけとなる講座を企画・開催運営した。	6 月 7、21 日 9 月 9 日 11 月 15 日	4	20
桂小学校区社会学級連携事業「ヘルシー乳ＮＥＷクッキングｉｎ桂～カルシウムをおいしく食べて地域で介護予防～」	社会学級生と地域住民、計 22 名が参加した。「カルシウムの働きや骨を強くするためのポイント」等についての講話のあと、カルシウムを多く含む乳製品を効果的に取り入れる調理法を学び、参加者が交流する姿も見られた。	11 月 15 日	1	21
市民企画講座「いきいき”桂”こころのアンチエイジング～パステルシャインアート体験で輝・楽・里～」	脳トレにも効果があり、誰でも自由に表現できる「パステルシャインアート」を体験し、全員が１枚の絵を完成させ、観賞会も行った。	1 月 19 日	1	14
桂文化祭	桂連合町内会他、市民センター利用団体で構成される桂文化祭実行委員会と共催。ステージ、展示、イベントブース、児童センターまつり等で賑わった。地域の秋のイベントとして、交流を育む場となった。	10 月 15 日	1	800
★桂地域懇談会	7 月は 9 団体 12 名の参加、2 月は 7 団体 9 名の参加で各団体の活動状況、地域内の課題等が話し合われた。小学校にある地域交流室の活用が話題にあがった。	6 月～2 月	2	21
ジュニアリーダー「将監くれよん」定例会	月 1 回の定例会を全 12 回開催。定例会では、ゲーム研修やバルーン研修、要請確認、情報交換、くれよん通信作成等を行い、メンバー同士の交流を深めるとともに、活動の充実やスキルアップにもつながった。	4 月～3 月	12	60
こどもの工作・遊びボランティア養成講座〈スキルアップ編〉	紙コップや紙飛行機などのおもちゃ作りを計 5 回実施。児童センターまつりで地域の子どもを対象とした工作ブース、桂小学校地域交流室で児童への工作指導などのボランティア活動の素地づくりを行った。	7 月 20 日 8 月 31 日 9 月 21 日 11 月 16 日 12 月 21 日	5	29
市民企画会「市民センターの講座を企画しよう！」	公募と声がけにより企画員 6 名が参加した。話し合いの場では和やかながら、活発な意見や情報交換がなされ、とても順調に企画会が進み、「心の健康づくり」につながる講座を企画、開催、運営した。	6 月 15、29 日 10 月 26 日 1 月 19 日	4	19

南中山市民センター

〔沿　革〕

南中山市民センターは、平成 15 年 3 月をもって閉館した「泉中高年齢労働者福祉センター（サンライフ泉）」の建物に改修を行い、平成15年11月13日に開館した。敷地内にはコミュニティ防災センターを併設している。

当市民センターのエリアは、南中山、北中山、西中山の 3 連合町内会傘下 16 町内会で、地域の活動拠点として、地域団体やサークルなどに広く活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　●：区役所との連携事業　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	まなびねっと「いずみ中山」交流事業		
参加者	南中山・北中山小学校の児童と保護者	延参加者	172 人
開催日	全 3 回　7 月 18 日（月）、11 月 6 日（日）、12 月 25 日（日）		
協力者・協力団体	南中山小学校おやじの会、南中山小学校区体育振興会、南中山地区社会福祉協議会 北中山小学校おやじの会、北中山小学校区体育振興会		
ねらい	いずみ中山地域の親子を対象に、地域団体と連携し、自然体験や伝統文化に触れる機会を提供することで、子どもたちの感性を磨き、創造力を養う。また、地域の人々が交流事業にともに取り組むことで人と人とのつながりを深め、子どもたちの健全育成の一助とする。		
概要・成果	7 月に七北田川万人渕で川遊び、11 月は牧場で搾乳体験、12 月は門松作りと体験学習を基にした小学生の交流事業を展開した。専門家の指導のもと、川遊びでは普段体験できないカヌーこぎや生物観察などを楽しんだ。11 月の牧場での友達交流会では搾乳体験のほか、ウサギやヤギ等とのふれあいもあった。また、大学生ボランティアによる食育の話もあり、学びの質が深まった。12 月はお正月飾り（ミニ門松）をつくり、同時にお正月飾りの謂れを学んだ。竹や松などの材料はまなびねっと推進委員会のメンバーが地域の方の好意で集め、土台となる缶は給食センターの不要品を利用した。竹を切ることや、土台となる缶にこもを巻き縄を結ぶという作業もなかなか難しかったが、時間内に立派なミニ門松が出来上がった。 地域の団体と連携・共催することで幅広い年代との交流も生まれた。親子での体験や伝統文化に触れる機会を作り、地域全体で子育てをするという意識が高まってきている。 平成 28 年度は連携する地域団体として南中山地区社会福祉協議会も参加した。このことにより、社会福祉協議会の助成金を利用して参加者負担の軽減を図ると同時に事業内容の充実につながった。企画内容や活動範囲が広がり、参加者の興味関心を喚起することができた。 親子で参加する事業のため、子どもたちの交流や成長を目的にするだけでなく、地域間の交流にもつながり、家庭の中でのコミュニケーションを深める一助にもなった。		

〔平成 28 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●おやこほっとタイム	6 回中 2 回を管内の児童センター（南中山・北中山）と連携し、西中山中央集会所にて手遊び・読み聞かせ、ハンドマッサージなどの出前講座を行った。おやつを作りながら食育について学ぶ託児付き講座もあった。	4 月 14 日 ～11 月 25 日	6	88
職場体験	南中山中学校の 2 年生 3 人を迎え、実施。2 日間にわたり窓口業務・施設管理などの日常業務を体験。利用者や地域住民との交流もできた。また、生涯学習事業の企画立案も体験し、いずみ中山フェスタで展示発表した。	8 月 23、24 日	1	3
こどもワンダークラブ	南中山小学校の協力によるハンドボール教室と、自然素材を利用したクリスマスリースづくりを実施した。ハンドボールは基本技術を一緒に練習し、南中山小学校と北中山小学校の児童同士も交流できた。クリスマスリースづくりでは、学年の違う児童同士の交流も見られた。	6 月 21 日 7 月 5、12 日 12 月 3 日	4	87
学校に泊まろう！	南中山小学校 PTA との共催事業。「学校に泊まろう！」の中のプログラムの１つ「最強のチームはどこだ！一致団結」を担	8 月 6 日	1	86

	当した。小学校の敷地の中をスタンプラリー形式で進みポイント獲得を目指しチームで取り組んだ。			
インリーダー研修会	南中山・北中山小学校区子ども会育成会と合同で 10 月 29 日に実施。児童はグループ毎に子ども会の年間プログラムの作成・発表を行い、JL からゲームのレクチャーを受けた。保護者も子ども会活動について学び、子ども会活動を支える研修会となった。	10 月 29 日	1	76
ほがらかシニア塾	老壮大学。年 8 回実施。館外学習をはじめ、歴史・文学・コンサート・軽体操等幅広い内容で構成した。開講式後の茶話会や 12 月の交流会など受講生同士の交流の機会を増やした。	5 月 20 日 ～1 月 20 日	8	400
いずみ中山リフレッシュタイム	市民企画会議を経て出来上がった講座。ダーツの講座、アコーディオンとピアノの伴奏で唱歌や懐かしい曲を歌う講座、免疫力アップと転倒予防のための体操の３つの講座を実施した。	10 月 28 日 11 月 9 日 12 月 7 日	3	66
まちづくり・ちゃちゃちゃ倶楽部	初回･2 回目に作成したティーマットをいずみ中山フェスタで展示発表、9 月には黄檗文化についての公開講座を開催した。4 年目を迎え、北中山での出前講座の運営を手伝ったほか、今まで講座で学んだ内容を発表した。	5 月 26 日 ～12 月 1 日	6	108
北中山にお邪魔します！南中山市民センター出前講座	北中山コミュニティセンターを会場として､7 月は煎茶の淹れ方講座、9 月は体と心をリラックスする軽体操、11 月は演芸会とバラエティに富んだ 3 回の講座を開催した。複数年事業であるまちづくり・ちゃちゃちゃ倶楽部の受講生が 1 回目の講座の運営や内容の一部を担った。	7 月 21 日 9 月 9 日 11 月	3	121
まなびねっと「いずみ中山」推進委員会	子ども達の交流や成長を促す事を目的とした事業を企画するために月に一度開催し、年間で 3 回の行事を企画した。H28 年度は南中山地区社会福祉協議会も推進委員のメンバーに加わり、委員会の話し合いも充実したものとなった。	4 月 23 日 ～2 月 25 日	12	66
社会学級との企画会議	南中山小学校社会学級・北中山小学校社会学級の運営委員長とともに企画会議を実施した。今年度は防災・減災に関する講座の実施にむけ会議を重ね、備蓄缶詰のアレンジレシピを学ぶ講座と、住民交流のきっかけとなるマンドリンコンサートの開催を決定した。	6 月 24 日 7 月 6 日 8 月 3 日 9 月 1 日 11 月 30 日	5	10
★そなえよう ～備蓄品をアレンジ～ ～みんなでコンサート～	災害時に実際の生活に役立つ講座として、備蓄缶詰をうまく使いこなす講座を 10 月に開催した。非常時に向けた備蓄やローリングストック法を学ぶ機会となった。12 月 17 日には住民の交流のきっかけとなるマンドリンコンサートを実施。	10 月 6 日 12 月 17 日	2	97
◎地域力創造支援事業 クリーン＆グリーンアップ西中山	地域づくりを目的に結成された西中山アクションクラブのオープニングイベントとして青空応援団によるエール入魂、ハーモニカ演奏と漫談、その後の交流茶話会を実施した。2 回目は西中山連合町内会と共催で地域の清掃作業とビンゴ大会を開催し世代間交流を図った。	5 月 11 日 ～12 月 11 日	9	562
いずみ中山フェスタ	ステージ 16 団体、展示 19 団体、出店 7 団体、子ども向け等各種企画ブース 4 団体が参加。実行委員会は、地域住民の代表やサークルで組織し、地域の短大の学生 20 人が会場装飾や運営ボランティアとして協力した。地域の企業から協賛してもらいお楽しみ抽選会も開催した。	10 月 15 日	1	780
地域懇談会	第 1 回目は各連町会長、各社協会長、5 名が出席。各地区状況・課題や市民センター状況などについて情報交換をした。第 2 回目は H29 年 1 月に子供に関わる活動している地域団体と実施した。	5 月 17 日 1 月 14 日	2	13
ジュニアリーダー定例会	毎月 1 回計 12 回実施。今年度は、新しく 11 名が加入し 17 名で活動。地域の子ども会、児童センター等の活動要請に応えている。活動記録や機関紙「巣子っぷ Life」の作成も欠かさず、ジュニアリーダーとして積極的に活動を行っている。	通年	12	86
市民企画会議「いずみ中山にぎわいプロジェクト」	地域の方 5 人が企画員となり、反省会を含め企画会議を５回実施した。地域の現状や課題を踏まえ、地域のシニア層を対象に、社会参加の契機となるよう、一体感を持って楽しく学習する全 3 回の講座を企画することができた。	7 月 6、13 日 8 月 3 日 9 月 2 日 12 月 7 日	5	24

Ⅳ　資　　料

1　市民センターの予算

＜歳　出＞

〔市民センターにかかる経費〕

単位：千円

		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(予算)
地域社会教育事業費(※)		573,667	608,108	594,012	607,419	656,871
市民センター施設費	運営管理	1,296,272	1,330,347	1,331,071	1,348,816	1,534,105
	施設整備・改築等	258,018	1,186,469	978,019	771,249	1,616,073
合　計		2,127,957	3,124,924	2,903,102	2,727,484	3,807,049

※地域社会教育事業費　内訳

単位：千円

		平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(予算)	
		拠点館	地区館	拠点館	地区館	拠点館	地区館	拠点館	地区館	拠点館	地区館
各種講座等	家庭教育推進	328	3,029	219	3,193	267	3,557	244	3,165	519	3,347
	青少年健全育成	749	2,941	643	2,677	733	2,740	771	2,522	868	2,753
	成人学習振興	642	4,506	247	3,916	416	4,016	403	3,269	556	3,839
	高齢者学習振興	572	6,458	507	6,559	503	6,930	661	6,782	579	6,956
	地域社会教育推進	1,046	5,893	1,932	6,898	2,486	6,930	2,670	7,604	3,319	6,755
	民間指導者育成	1,056	3,169		3,702		2,840		2,897		2,665
	学習情報提供	357	101	144	272	70	112	117	20	202	300
	学びを支える人材育成			2,080		2,175		2,304		2,705	
	若者社会参画型学習推進	1,347		1,355		1,541		1,532		1,982	
	住民参画・問題解決型学習推進	1,560		1,491		1,702		1,682		1,969	
	学びのまち仙台市民カレッジ	746		755		894		813		1,303	
	子ども参画型社会創造支援	1,792		1,222		1,424		1,565		2,095	
	障害者学習講座開設			407		407		384		515	
	市立高等学校開放講座開設			200		152		159		200	
	学び直し	390		411							
	地域の絆づくり推進	2,406		2,235							
	小　計	12,991	26,097	13,848	27,217	12,770	27,125	13,305	26,259	16,812	26,615
学習情報提供（システム運営管理等）		31,893		37,308		15,192		14,678		16,087	
その他		13,434	489,252	13,322	516,413	14,235	524,690	13,513	539,664	15,251	582,106
合　計		58,318	515,349	64,478	543,630	42,197	551,815	41,496	565,923	48,150	608,721

＜歳　入＞

単位：千円

	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(予算)
市民センター使用料	150,663	151,803	155,063	166,644	191,667

２　平成28年度 市民センター職員数

（平成28年6月1日現在）

部分は嘱託職員　　内部で兼務　　外部と兼務

青葉区

	職名／館名	区役所・教育委員会												(公財)仙台ひと・まち交流財団							
		センター長	センター次長兼係長	主幹兼係長	係長	主査		主任	主事	正職員以外			合計	館長（常勤嘱託）	事業職員		常勤嘱託職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	合計	総計
						社会教育主事	主査			専門員	嘱託職員	臨時職員			主任	係員					
1	青葉区中央	1		1		3		2		2		2	11	兼1	1	5		2		8	19
2	柏　木												0	1	1	2		1	1	6	6
3	北　山												0	1	1	2	1	1		6	6
4	福　沢												0	1	1	2		1	1	6	6
5	旭ケ丘												0	1	1	3		2		7	7
6	三本松												0	1	1	1	1	1	1	6	6
7	片　平												0	1	1	3		1		6	6
8	水の森												0	1	1	2	1	1		6	6
9	貝ケ森												0	1		4		1		6	6
10	中　山												0	1	1	2	1	1		6	6
11	折　立												0	1		3	1	1		6	6
12	木町通												0	1	1	3		2		7	7
13	広　瀬												0	兼1	1	3				4	4
14	宮城西												0	1	1	2		1	1	6	6
15	大　沢												0	1	1	2	1	1		6	6
16	落　合												0	1	1	3		1		6	6
17	吉　成												0	1		3	1	1		6	6
	小　計	1	0	1	0	3	0	2	0	2	0	2	11	15	14	45	7	19	4	104	115

宮城野区

1	生涯学習支援	1	1		1	4	1	3	1		2	1	15	兼1	1	3	1	2		7	22
2	宮城野区中央	1		1		3		1			1	1	8	兼1	1	3				4	12
3	高　砂												0	1	1	2	1	1		6	6
4	岩　切												0	1		3	1	1		6	6
5	鶴ケ谷												0	1	1	3		1		6	6
6	榴ケ岡												0	1	1	4		1		7	7
7	東　部												0	1	1	2		1	1	6	6
8	幸　町												0	1	1	3		1		6	6
9	田　子												0	1	1	3		1		6	6
10	福　室												0	1	1	3		1		6	6
	小　計	2	1	1	1	7	1	4	1	0	3	2	23	8	9	29	3	10	1	60	83

若林区

1	若林区中央	1			1	2	1	1			1		7	兼1	1	2	1			4	11
2	七　郷												0	1	1	2		1	1	6	6
3	荒　町												0	1		3	1	1		6	6
4	六　郷												0	1		3	1	1		6	6
5	若　林												0	1	1	3		1		6	6
6	沖　野												0	1	1	3		1		6	6
	小　計	1	0	0	1	2	1	1	0	0	1	0	7	5	4	16	3	5	1	34	41

太白区

		区役所・教育委員会												(公財)仙台ひと・まち交流財団							
	職名 / 館名	センター長	センター次長兼係長	主幹兼係長	係長	主査 社会教育主事	主査	主任	主事	正職員以外 専門員	嘱託職員	臨時職員	合計	館長（常勤嘱託）	事業職員 主任	事業職員 係員	常勤嘱託職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	合計	総計
1	太白区中央	1			1	3		1				1	7	兼1	1	3				4	11
2	生出												0	1		3	1	1		6	6
3	中田												0	1	1	3		1		6	6
4	西多賀												0	1	1	2	1	1		6	6
5	八本松												0	1	1	2	1	1		6	6
6	八木山												0	1	1	3		1		6	6
7	山田												0	1		3	1	1		6	6
8	茂庭台												0	1		3	1	1		6	6
9	東中田												0	1	1	3		1		6	6
10	柳生												0	1		4		1		6	6
11	富沢												0	1	1	2	1	1		6	6
12	秋保												0	1	1	4		1		7	7
13	馬場												0	兼1	兼1	兼4		兼1		0	0
14	湯元												0	兼1	兼1	兼4		兼1	1	1	1
	小計	1	0	0	1	3	0	1	0	0	0	1	7	11	8	35	6	11	1	72	79

泉　区

1	泉区中央	1		1		3	1	1				1	8	兼1	1	4	1	2		8	16
2	根白石												0	1		4		1		6	6
3	南光台												0	1		3	1	1		6	6
4	黒松												0	1	1	3		2		7	7
5	将監												0	1		3		1	1	6	6
6	加茂												0	1	1	2	1	1		6	6
7	高森												0	1		3	1	1		6	6
8	松陵												0	1		4		1		6	6
9	寺岡												0	1		3	1	1		6	6
10	長命ケ丘												0	1		3	1	1		6	6
11	松森												0	1	1	3		2		7	7
12	桂												0	1	1	3		1		6	6
13	南中山												0	1	1	3		1		6	6
	小　計	1	0	1	0	3	1	1	0	0	0	1	8	12	6	41	6	16	1	82	90

総　　計

		区役所・教育委員会												(公財)仙台ひと・まち交流財団							
	職名 / 館名	センター長	センター次長兼係長	主幹兼係長	係長	主査 社会教育主事	主査	主任	主事	正職員以外 専門員	嘱託職員	臨時職員	合計	館長（常勤嘱託）	事業職員 主任	事業職員 係員	常勤嘱託職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	合計	総計
	計	6	1	3	3	18	3	9	1	2	4	6	56	51	41	166	25	61	8	352	408

3　平成28年度　主催講座の事業別実施状況

区名 / 館名 / 事業		青葉区														
		青葉区中央	柏木	北山	福沢	旭ケ丘	三本松	片平	水の森	貝ケ森	中山	折立	木町通	広瀬	宮城西	大沢
家庭教育推進事業																
(例) 子育て支援講座 親子ふれあい教室 食育講座 思春期親学 プレパパママ講座 絵本よみきかせ講座	講座数	2	0	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	0	1
	回数	12	0	21	4	1	5	1	2	3	2	14	2	11	0	1
	参加者数	579	0	315	158	17	106	86	17	232	71	338	85	286	0	81
青少年健全育成事業																
(例) インリーダー研修 子どもの広場 キッズクッキング 夏休みチャレンジ講座 子ども体験塾	講座数	8	4	3	3	6	4	4	3	4	5	3	3	6	4	3
	回数	81	8	3	7	12	10	8	8	12	8	3	8	39	8	8
	参加者数	2,045	631	100	163	481	829	434	134	611	1,160	169	406	971	268	500
成人学習振興事業																
(例) 自然体験教室 エコライフ講座 男の料理教室 現代課題対応講座	講座数	5	1	2	0	0	1	1	2	3	4	2	3	1	5	3
	回数	103	4	9	0	0	3	7	10	10	14	5	15	5	28	22
	参加者数	8,730	54	235	0	0	69	335	104	95	148	131	130	81	470	257
高齢者学習振興事業																
(例) 明治青年大学 老壮大学 健康づくり教室 介護予防教室	講座数	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2
	回数	9	11	9	10	15	10	10	10	10	9	15	10	9	7	13
	参加者数	360	698	398	562	1,233	366	500	488	516	388	420	430	425	360	466
地域社会教育推進事業																
(例) 市民センターまつり 事業運営懇話会 学びのコミュニティ関連事業 地域防災教室 社会学級連携事業 地域(自然・伝統)を知る講座	講座数	10	6	8	8	6	11	6	8	8	5	6	8	12	7	7
	回数	75	14	18	33	17	49	37	51	33	23	26	20	75	21	18
	参加者数	4,572	1,449	1,784	3,101	4,876	1,470	2,670	3,224	3,071	1,093	2,226	2,190	5,770	4,639	3,156
民間指導者育成事業																
(例) 各種ボランティア育成講座 各種ボランティア活動支援 ジュニアリーダー育成支援	講座数	3	3	2	3	3	0	2	4	2	2	2	1	2	1	2
	回数	35	37	15	33	26	0	25	25	10	22	22	13	24	4	11
	参加者数	145	489	112	190	206	0	184	586	40	153	150	103	226	7	94
合計		29	15	17	16	18	18	15	19	20	19	17	17	23	18	18
		315	74	75	87	71	77	88	106	78	78	85	68	163	68	73
		16,431	3,321	2,944	4,174	6,813	2,840	4,209	4,553	4,565	3,013	3,434	3,344	7,759	5,744	4,554

2つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は，「小計」及び「総計」欄では1事業として計上しています。

(※1)青葉区中央市民センターと区内地区館の「インリーダー研修」

(※2)広瀬市民センター、宮城西市民センター、大沢市民センター、落合市民センターの生涯学習発表会「みやぎ学習フェア」

(※3)宮城野区中央市民センターと区内地区館の「インリーダー研修」

(※4)高砂市民センター、田子市民センター、福室市民センターの三館共催事業「七北田川・梅田川の水害を考える」

(※5)若林区中央市民センターと区内地区館の「インリーダー研修」

			宮城野区												若林区						
落合	吉成	小計	生涯学習支援	宮城野区中央	高砂	岩切	鶴ケ谷	榴ケ岡	東部	幸町	田子	福室	小計		若林区中央	七郷	荒町	六郷	沖野	若林	小計
2	1	20	0	2	1	3	1	2	2	1	1	1	14		3	3	1	2	3	1	13
10	2	91	0	6	5	11	3	20	8	5	2	3	63		7	13	4	8	10	3	45
161	19	2,551	0	201	84	731	43	198	161	84	40	216	1,758		99	335	80	63	282	15	874
		(※1)											(※3)								(※5)
3	2	51	0	8	3	5	4	3	3	4	2	4	27		10	2	4	3	4	5	22
8	10	224	0	33	9	10	13	6	18	9	9	7	105		24	6	28	6	17	11	86
112	138	8,205	0	1,446	150	218	716	267	958	410	273	381	4,417		1,971	348	277	205	672	458	3,583
1	4	38	5	3	1	0	0	2	1	0	0	0	12		16	1	2	0	1	3	23
3	16	254	27	20	11	0	0	22	8	0	0	0	88		172	15	7	0	2	8	204
52	210	11,101	660	320	203	0	0	251	75	0	0	0	1,509		3,610	110	134	0	118	160	4,132
1	1	20	1	1	1	2	1	2	2	1	2	1	14		3	1	1	1	1	1	8
11	10	178	25	11	10	24	9	20	16	10	25	10	160		25	12	11	10	12	11	81
391	484	8,485	13,857	1,022	718	916	580	1,111	530	406	493	674	20,307		1,576	952	652	573	938	748	5,439
		(※2)											(※4)		0						
7	7	127	7	13	7	7	5	7	9	6	8	10	77		12	10	6	9	7	4	48
27	16	550	36	82	47	31	11	39	61	22	41	37	401		81	55	24	24	13	11	208
3,352	1,388	46,083	2,195	4,114	17,414	2,468	2,199	1,947	3,146	3,081	6,487	4,075	46,810		2,768	10,624	5,338	5,375	10,202	1,643	35,950
4	1	37	10	4	4	1	3	2	1	4	4	2	35		6	4	3	3	4	2	22
21	9	332	60	29	48	5	33	19	4	40	41	49	328		66	35	38	31	32	25	227
256	27	2,968	1,788	481	396	44	160	178	8	153	181	519	3,908		469	273	329	256	161	155	1,643
18	16	293	23	31	17	18	14	18	18	16	17	18	179		50	21	17	18	20	16	136
80	63	1,629	148	181	130	81	69	126	115	86	118	106	1,145		375	136	112	79	86	69	851
4,324	2,266	79,393	18,500	7,584	18,965	4,377	3,698	3,952	4,878	4,134	7,474	5,865	78,709		10,493	12,642	6,810	6,472	12,373	3,179	51,621

区名 / 館名 / 事業		太白区												
		太白区中央	生出	中田	西多賀	八本松	八木山	山田	茂庭台	東中田	柳生	富沢	秋保	小計
家庭教育推進事業														
(例) 子育て支援講座 親子ふれあい教室 食育講座 思春期親学 プレパパママ講座 絵本よみきかせ講座	講座数	1	1	1	1	2	2	1	1	0	1	3	2	16
	回数	6	2	3	4	7	5	19	3	0	7	12	7	75
	参加者数	31	53	44	26	150	86	242	20	0	159	650	96	1,557
青少年健全育成事業														(※6)
(例) インリーダー研修 子どもの広場 キッズクッキング 夏休みチャレンジ講座 子ども体験塾	講座数	5	6	3	4	2	4	3	5	4	5	5	4	40
	回数	96	30	13	14	4	52	7	17	14	16	13	6	271
	参加者数	1,121	386	154	467	148	1,206	432	225	396	260	457	94	4,728
成人学習振興事業														
(例) 自然体験教室 エコライフ講座 男の料理教室 現代課題対応講座	講座数	3	2	0	0	2	1	0	2	1	1	2	3	17
	回数	12	34	0	0	7	70	0	7	5	4	12	14	165
	参加者数	882	486	0	0	82	838	0	80	77	107	271	176	2,999
高齢者学習振興事業														
(例) 明治青年大学 老壮大学 健康づくり教室 介護予防教室	講座数	3	1	1	2	2	2	2	1	1	1	2	1	19
	回数	27	10	10	13	13	13	14	10	11	10	22	9	162
	参加者数	2,063	282	560	666	533	749	945	409	608	408	788	227	8,238
地域社会教育推進事業														
(例) 市民センターまつり 事業運営懇話会 学びのコミュニティ関連事業 地域防災教室 社会学級連携事業 地域(自然・伝統)を知る講座	講座数	11	6	9	5	8	8	9	9	8	7	4	9	93
	回数	201	28	65	11	32	30	35	28	50	34	15	30	559
	参加者数	18,993	4,060	4,804	1,545	4,006	26,478	5,050	4,242	5,670	2,969	3,818	1,976	83,611
民間指導者育成事業														
(例) 各種ボランティア育成講座 各種ボランティア活動支援 ジュニアリーダー育成支援	講座数	5	2	2	3	2	0	2	2	3	2	2	2	27
	回数	31	16	24	23	11	0	15	20	36	6	6	10	198
	参加者数	389	66	219	178	157	0	119	358	274	113	26	129	2,028
合計		28	18	16	15	18	17	17	20	17	17	18	21	212
		373	120	115	65	74	170	90	85	116	77	80	76	1,430
		23,479	5,333	5,781	2,882	5,076	29,357	6,788	5,334	7,025	4,016	6,010	2,698	103,161

2つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は、「小計」及び「総計」欄では1事業として計上しています。

(※6)太白区中央市民センターと区内地区館の「インリーダー研修」

泉区														
泉区中央	根白石	南光台	黒松	将監	加茂	高森	松陵	寺岡	長命ケ丘	松森	桂	南中山	小計	総計
3	1	2	2	1	1	3	0	1	1	1	1	1	18	81
6	1	33	7	3	5	8	0	4	5	2	1	6	81	355
133	11	388	372	48	65	299	0	200	369	42	160	88	2,175	8,915
5	2	4	3	2	2	3	4	5	5	5	3	5	48	188
41	5	9	7	7	9	6	7	10	11	18	14	10	154	840
1,912	181	570	2,263	104	145	403	440	497	362	724	342	424	8,367	29,300
4	0	2	2	0	0	0	1	0	1	2	1	0	13	103
59	0	8	5	0	0	0	1	0	3	9	4	0	89	800
394	0	94	120	0	0	0	32	0	42	160	64	0	906	20,647
2	2	1	1	1	1	1	3	1	3	1	1	2	20	81
17	13	11	9	10	9	9	20	10	18	9	8	11	154	735
989	377	713	616	424	407	365	563	407	832	612	357	466	7,128	49,597
12	7	6	5	10	8	6	8	8	6	3	8	8	95	440
52	31	22	27	33	28	20	22	44	15	7	63	40	404	2,122
1,911	1,094	3,327	1,891	3,855	1,891	6,382	3,501	2,382	3,223	1,789	2,016	1,757	35,019	247,473
5	2	3	3	2	3	3	3	2	2	3	3	2	36	157
13	28	25	19	16	24	30	24	17	9	26	21	17	269	1,354
368	142	277	780	108	115	230	180	92	67	174	108	110	2,751	13,298
31	14	18	16	16	15	16	19	17	18	15	17	18	230	1,050
188	78	108	74	69	75	73	74	85	61	71	111	84	1,151	6,206
5,707	1,805	5,369	6,042	4,539	2,623	7,679	4,716	3,578	4,895	3,501	3,047	2,845	56,346	369,230

4　主催事業参加者数推移

（※）2つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は表上段の市民センターに計上しています。

青　葉　区　　（単位：人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
青葉区中央	10,386	12,593	10,186	10,575	14,735	16,421	
柏木	1,528	1,614	2,401	2,794	3,284	3,277	
北山	1,149	2,001	2,227	2,474	3,812	2,900	
福沢	1,931	2,847	2,376	2,937	3,640	4,125	
旭ケ丘	3,854	6,986	9,293	6,939	6,940	6,722	
三本松	741	2,347	2,411	2,990	618	2,749	平成27年8月1日～平成28年4月14日 大規模修繕工事のため休館
片平	2,056	3,397	3,084	2,493	3,168	4,185	
水の森	4,275	4,575	4,668	4,705	4,775	4,496	
貝ケ森	3,478	4,417	4,330	3,967	4,091	4,489	
中山	3,139	3,135	3,163	3,610	4,998	2,937	
折立	2,129	2,918	2,791	3,252	3,121	3,417	
木町通	8,615	8,266	5,455	2,761	3,057	3,340	
広瀬	3,245	3,740	4,316	5,257	8,659	7,680	
宮城西	3,118	4,016	4,004	7,133	4,296	4,340	平成22年8月1日～平成24年7月2日 改築工事のため休館
大沢	549	1,814	1,853	4,144	3,968	3,172	
落合	2,116	3,122	2,509	2,325	2,199	2,911	
吉成	1,551	2,471	2,899	2,442	2,221	2,232	
計	53,860	70,259	67,966	70,798	77,582	79,393	

宮　城　野　区　　（単位：人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
生涯学習支援	5,350	18,781	16,489	22,400	16,485	18,500	
宮城野区中央	－	4,709	5,148	5,467	6,686	7,543	平成24年8月28日新設
高砂	4,813	16,467	17,051	25,039	21,746	18,941	
岩切	1,463	4,451	4,820	4,629	4,014	4,337	
鶴ケ谷	1,808	2,091	2,504	2,244	2,180	3,647	平成23年3月11日の東日本大震災以降休館，平成28年4月2日再開館
榴ケ岡	2,326	2,329	3,234	5,286	3,024	3,899	平成24年1月5日～2月6日改修工事のため休館。 平成24年8月1日～27日宮城野区中央市民センター開館準備のため休館。 平成24年8月28日軽体育館を市民センターに名称変更 平成27年8月1日から10月31日まで修繕工事のため休館
東部	2,570	3,094	4,168	4,073	4,570	4,836	
幸町	3,047	5,024	6,606	4,888	3,920	4,083	
田子	3,796	4,583	5,677	7,106	7,073	7,279	
福室	4,895	5,844	5,547	5,153	5,412	5,644	
計	30,068	67,373	71,244	86,285	75,110	78,709	

◆平成23年3月11日に発生した東日本大震災により全館休館となりましたが、4月以降順次開館し、平成23年11月までに、建て替えとなった鶴ケ谷市民センターと南光台市民センターを除いて開館しました。

*「平成28年度仙台市市民センター事業報告書」等に基づき集計

若　林　区

（単位：人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
若林区中央	6,035	10,531	9,759	8,112	10,864	10,413	
七　　郷	13,422	15,682	16,413	12,738	12,145	12,593	
荒　　町	3,414	5,093	5,399	4,925	4,232	6,730	
六　　郷	4,180	5,659	4,319	4,846	5,043	6,443	
沖　　野	9,850	10,070	11,116	11,873	12,009	12,326	
若　　林	3,420	3,492	3,165	3,206	3,465	3,116	
計	40,321	50,527	50,171	45,700	47,758	51,621	

太　白　区

（単位：人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
太白区中央	10,665	11,472	13,212	11,523	25,425	23,400	
生　　出	5,757	4,877	4,042	4,660	6,336	5,741	
中　　田	6,683	7,652	7,230	6,085	5,358	5,280	
西　多　賀	5,157	7,844	5,758	7,018	9,380	2,803	
八　本　松	7,401	7,204	7,154	2,114	4,129	5,002	平成26年11月1日～平成27年4月10日 大規模修繕工事のため休館
八　木　山	16,403	10,347	20,108	13,035	17,131	29,282	平成26年3月1日～平成27年4月2日 大規模修繕工事のため休館
山　　田	4,643	6,534	5,309	6,560	6,696	6,719	
茂　庭　台	4,885	3,866	4,727	4,051	4,316	5,310	
東　中　田	5,523	5,523	5,739	5,305	5,755	6,984	
柳　　生	4,700	3,993	3,828	3,937	3,690	3,976	
富　　沢	3,988	3,714	5,005	5,368	5,888	5,966	
秋　　保	2,948	3,768	3,415	3,953	2,977	2,698	平成25年4月1日～4月30日 新館移転準備のため休館
計	78,753	76,794	85,527	73,609	97,081	103,161	

泉　　区

（単位：人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
泉区中央	3,571	5,011	7,261	8,030	6,427	5,707	
根　白　石	1,641	2,239	2,105	2,364	3,173	1,805	平成28年8月1日～平成29年4月14日 大規模改修工事のため休館
南　光　台	3,033	2,122	2,284	2,738	3,901	5,369	平成23年3月11日の東日本大震災以降 休館，平成27年3月28日再開館
黒　　松	3,583	3,290	4,195	3,911	2,738	6,042	
将　　監	3,428	4,632	3,482	3,591	4,118	4,539	
加　　茂	881	3,610	2,675	3,098	3,141	2,623	平成23年9月1日～平成24年4月16日 大規模改修工事のため休館
高　　森	6,443	8,930	10,614	9,358	7,581	7,679	
松　　陵	4,102	4,063	3,940	3,821	4,421	4,716	
寺　　岡	3,017	3,374	3,359	3,189	3,171	3,578	
長命ケ丘	3,952	4,576	4,353	4,843	4,699	4,895	
松　　森	2,389	2,851	3,147	3,553	3,259	3,501	
桂	3,792	5,758	6,360	5,802	3,987	3,047	
南　中　山	1,690	2,322	2,203	2,389	2,218	2,845	
計	41,522	52,778	55,978	56,687	52,834	56,346	

（単位：人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
合　　計	244,524	317,731	330,886	333,079	350,365	369,230	

５　市民センター利用者数推移

青　葉　区　　（単位：人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
青葉区中央	50,101	94,071	90,292	94,235	95,024	93,687
柏木	18,647	29,865	32,046	35,320	32,566	30,545
北山	32,973	32,963	35,018	35,264	39,390	37,639
福沢	44,980	49,167	48,210	49,226	45,315	46,227
旭ケ丘	24,868	79,339	83,761	78,004	76,637	78,086
三本松	9,872	22,134	22,178	23,414	7,833	21,496
片平	33,922	63,226	64,967	75,581	75,747	73,612
水の森	50,571	58,791	66,883	65,916	72,592	75,932
貝ケ森	44,493	46,996	50,955	50,044	47,328	54,609
中山	39,289	60,496	71,369	69,244	63,873	66,801
折立	34,367	45,968	44,766	46,664	50,448	44,956
木町通	60,050	77,012	79,860	84,750	81,235	82,513
広瀬	46,475	54,723	51,963	49,744	54,747	31,554
宮城西	0	15,331	24,784	26,772	22,513	20,417
大沢	31,217	28,185	27,810	26,997	31,909	28,005
落合	29,709	37,602	39,573	37,107	34,978	34,563
吉成	45,780	44,967	46,236	52,087	54,451	54,601
計	597,314	840,836	880,671	900,369	886,586	875,243

※宮城西：平成22年8月1日から平成24年7月2日まで現地建て替え工事のため休館
※三本松：平成27年8月1日から平成28年4月14日まで大規模修繕工事のため休館

宮　城　野　区　　（単位：人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
生涯学習支援	71,222	100,941	107,798	104,430	105,083	100,316
宮城野区中央	-	34,930	80,283	87,042	79,773	72,858
高砂	40,631	75,472	78,740	85,388	89,006	78,260
岩切	13,722	36,377	34,311	40,169	35,923	33,655
鶴ケ谷	0	0	0	0	0	33,846
榴ケ岡	4,915	9,006	32,762	32,767	25,115	34,479
(榴岡公園軽体育館)	21,695	34,031	–	–	–	–
東部	36,023	37,907	40,757	46,071	48,354	49,497
幸町	17,863	58,593	66,081	69,919	70,095	72,028
田子	34,369	59,956	62,813	67,116	76,428	78,556
福室	41,811	73,434	75,822	86,409	95,991	95,796
計	282,251	520,647	579,367	619,311	625,768	649,291

※宮城野区中央：平成24年8月28日新設　※榴岡公園軽体育館：平成24年8月28日に榴ケ岡市民センターに名称変更
※榴ケ岡：平成24年8月1日から27日まで宮城野区中央市民センター開館準備のため休館
※榴ケ岡：平成27年8月1日から10月31日まで改修工事のため休館
※鶴ケ谷：東日本大震災の影響により休館、平成28年4月2日再開館

若　林　区　　（単位：人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
若林区中央	47,224	86,111	85,272	85,975	80,028	75,342
七郷	28,643	65,520	60,528	64,024	68,540	69,492
荒町	37,056	58,902	62,160	60,091	59,163	57,769
六郷	36,122	71,186	70,066	71,255	70,057	63,092
沖野	42,744	57,682	65,892	72,564	69,903	66,560
若林	47,894	50,883	50,297	60,738	53,087	47,806
計	239,683	390,284	394,215	414,647	400,778	380,061

太　白　区

（単位：人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
太白区中央	64,928	86,755	92,373	89,763	88,613	84,621
生出	12,040	17,526	15,907	18,197	19,604	17,139
中田	41,628	45,318	48,958	52,941	47,254	51,384
西多賀	51,706	53,451	58,814	58,853	55,861	51,450
八本松	50,407	48,559	48,374	20,693	40,715	41,140
八木山	34,229	48,855	42,618	0	47,543	59,331
山田	27,807	39,918	42,869	42,075	39,709	40,762
茂庭台	35,795	42,645	42,575	46,008	43,698	51,903
東中田	46,868	52,958	53,866	52,712	55,580	59,740
柳生	59,954	68,307	73,683	77,188	73,740	69,065
富沢	38,492	60,519	61,366	62,733	63,172	58,115
秋保	7,955	9,393	10,409	14,443	12,217	11,942
馬場	2,978	3,906	3,333	4,177	5,048	4,217
湯元	7,359	7,114	6,261	5,735	6,866	7,342
計	482,146	585,224	601,406	545,518	599,620	608,151

※八本松：平成26年11月1日から平成27年4月10日まで大規模修繕工事のため休館
※八木山：平成26年3月1日から平成27年4月2日まで大規模修繕工事のため休館
※秋保：平成25年4月1日から4月30日まで新館移転準備のため休館

泉　区

（単位：人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
泉区中央	41,907	51,947	52,268	53,768	50,830	45,644
根白石	11,842	22,193	21,827	23,348	22,042	7,612
南光台	0	0	0	82	46,584	40,754
黒松	40,778	53,756	51,901	51,523	50,754	49,300
将監	28,913	36,617	35,642	42,693	33,205	34,668
加茂	8,646	45,660	48,832	52,224	52,026	47,768
高森	31,932	36,511	36,192	38,133	39,912	35,715
松陵	15,611	30,385	32,270	30,037	28,931	28,973
寺岡	34,201	40,699	34,029	34,548	36,685	35,004
長命ケ丘	36,578	46,958	42,290	41,390	42,121	40,001
松森	37,967	37,207	38,389	35,477	34,069	31,582
桂	42,309	53,370	51,663	51,727	51,605	49,359
南中山	68,371	39,156	38,335	39,580	37,956	38,467
計	399,055	494,459	483,638	494,530	526,720	484,847

※加茂：平成23年9月1日から平成24年4月16日まで大規模改修工事により休館
※南光台：東日本大震災の影響により休館、平成27年3月28日再開館
※根白石：平成28年8月1日から平成29年4月14日まで大規模改修工事により休館

（単位：人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
合計	2,000,449	2,831,450	2,939,297	2,974,375	3,039,472	2,997,593

◆利用者数には、市民センターまつり参加者分は含まない。

*「平成28年度仙台市市民センター事業報告書」等に基づき集計

６　仙台市市民センター条例・施行規則

仙台市市民センター条例

平成二年三月一六日

仙台市条例第八号

（設置）

第一条　市民相互の交流と地域活動の振興に資するとともに、市民の文化の向上及び福祉の増進に寄与するため、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）第二十四条の規定に基づき、市民センター（以下「センター」という。）を設置する。

２　センターの種類は、次のとおりとする。

一　生涯学習支援センター（本市の全域を主たる対象区域としてその事業を行うとともに、他の全てのセンターを統括するセンターをいう。）

二　区中央市民センター（その所在する区の区域内を主たる対象区域としてその事業を行うとともに、当該区域内に所在する地区市民センターを支援するセンターをいう。）

三　地区市民センター（前二号に掲げるセンター以外のセンターをいう。）

（名称及び位置）

第二条　センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

一　生涯学習支援センター

名称	位置
仙台市生涯学習支援センター	仙台市宮城野区榴岡四丁目1番8号

二　区中央市民センター

名称	位置
仙台市青葉区中央市民センター	仙台市青葉区一番町二丁目1番4号
仙台市宮城野区中央市民センター	仙台市宮城野区五輪二丁目12番70号
仙台市若林区中央市民センター	仙台市若林区南小泉一丁目1番1号、保春院前丁3番地の1
仙台市太白区中央市民センター	仙台市太白区長町五丁目3番2号
仙台市泉区中央市民センター	仙台市泉区市名坂字東裏53番地の1

三　地区市民センター

名称	位置
仙台市柏木市民センター	仙台市青葉区柏木三丁目3番1号
仙台市北山市民センター	仙台市青葉区新坂町8番4号
仙台市福沢市民センター	仙台市青葉区福沢町9番9号
仙台市旭ケ丘市民センター	仙台市青葉区旭ケ丘三丁目25番15号
仙台市三本松市民センター	仙台市青葉区堤町三丁目23番1号
仙台市片平市民センター	仙台市青葉区米ケ袋一丁目1番35号
仙台市水の森市民センター	仙台市青葉区水の森四丁目1番1号
仙台市貝ケ森市民センター	仙台市青葉区貝ケ森一丁目4番6号
仙台市中山市民センター	仙台市青葉区中山三丁目13番1号
仙台市折立市民センター	仙台市青葉区折立三丁目20番1号
仙台市木町通市民センター	仙台市青葉区木町通一丁目7番36号
仙台市広瀬市民センター	仙台市青葉区下愛子字観音堂5番地
仙台市宮城西市民センター	仙台市青葉区熊ケ根字石積47番地
仙台市大沢市民センター	仙台市青葉区芋沢字要害65番地
仙台市落合市民センター	仙台市青葉区落合二丁目15番15号
仙台市吉成市民センター	仙台市青葉区国見ケ丘二丁目2番地の1
仙台市高砂市民センター	仙台市宮城野区高砂一丁目24番地の9
仙台市岩切市民センター	仙台市宮城野区岩切字三所南88番地の2
仙台市鶴ケ谷市民センター	仙台市宮城野区鶴ケ谷二丁目1番地の７
仙台市榴ケ岡市民センター	仙台市宮城野区五輪一丁目3番1号
仙台市東部市民センター	仙台市宮城野区平成一丁目3番27号
仙台市幸町市民センター	仙台市宮城野区幸町三丁目13番13号
仙台市田子市民センター	仙台市宮城野区田子二丁目4番25号
仙台市福室市民センター	仙台市宮城野区福室五丁目9番36号
仙台市七郷市民センター	仙台市若林区荒井三丁目7番地の2
仙台市荒町市民センター	仙台市若林区荒町86番地の2
仙台市六郷市民センター	仙台市若林区今泉一丁目3番19号
仙台市若林市民センター	仙台市若林区若林三丁目15番20号
仙台市沖野市民センター	仙台市若林区沖野七丁目34番43号
仙台市生出市民センター	仙台市太白区茂庭字新熊野64番地
仙台市中田市民センター	仙台市太白区中田四丁目1番5号
仙台市西多賀市民センター	仙台市太白区西多賀三丁目6番8号
仙台市八本松市民センター	仙台市太白区八本松二丁目4番20号
仙台市八木山市民センター	仙台市太白区八木山本町一丁目43番地
仙台市山田市民センター	仙台市太白区山田北前町13番1号
仙台市茂庭台市民センター	仙台市太白区茂庭台四丁目1番10号
仙台市東中田市民センター	仙台市太白区四郎丸字吹上51番地
仙台市柳生市民センター	仙台市太白区柳生七丁目20番地の7
仙台市富沢市民センター	仙台市太白区富沢南一丁目18番地の10
仙台市秋保市民センター	仙台市太白区秋保町長袋字大原44番地の1
仙台市馬場市民センター	仙台市太白区秋保町馬場字竹林45番地の1
仙台市湯元市民センター	仙台市太白区秋保町湯向2番地の20
仙台市根白石市民センター	仙台市泉区根白石字杉下前24番地
仙台市南光台市民センター	仙台市泉区南光台七丁目1番30号
仙台市黒松市民センター	仙台市泉区黒松一丁目33番40号
仙台市将監市民センター	仙台市泉区将監八丁目2番1号
仙台市加茂市民センター	仙台市泉区加茂四丁目2番地
仙台市高森市民センター	仙台市泉区高森六丁目1番地の2
仙台市松陵市民センター	仙台市泉区松陵五丁目20番地の2
仙台市寺岡市民センター	仙台市泉区寺岡二丁目14番地の4
仙台市長命ケ丘市民センター	仙台市泉区長命ケ丘二丁目14番地の15
仙台市松森市民センター	仙台市泉区松森字城前9番地の2
仙台市桂市民センター	仙台市泉区桂三丁目19番地の1
仙台市南中山市民センター	仙台市泉区南中山二丁目24番地の12

（使用の許可）

第三条　センターを使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

２　教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないことができる。

一　公の秩序を乱すおそれがあるとき

二　センターの管理上支障を及ぼすおそれがあるとき

三　前二号に掲げるもののほか、教育委員会が不適当と認めるとき

（使用料）

第四条　センターの使用料は、別表に定めるとおりとする。

２　使用料は、前条第一項の許可の際、納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

（使用料の額の特例）

第四条の二　市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第三条第一項の許可を受けた者（以下「使用者」という。）につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき（使用料が既納の場合を除く。）は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

一　天災その他自己の責めによらない事由によりセンターを使用できないとき

二　市長が別に定める期間内にセンターの使用の取りやめを申し出たとき

（使用料の返還）

第五条　既納の使用料は、返還しない。ただし、使用者につき前条各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

（使用料の減免）

第六条　市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

（目的外使用の禁止）

第七条　使用者は、許可を受けた目的以外にセンターを使用してはならない。

（使用権の譲渡等の禁止）

第八条　使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

（使用許可の取消し等）

第九条　教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、第三条第一項の許可を取り消し、又はセンターの使用を制限し、若しくは停止することができる。

一　使用者がこの条例又は使用の許可の際に付された条件に違反したとき

二　第三条第二項各号のいずれかに該当することとなったとき

（指定管理者）

第十条　教育委員会は、センターの管理運営上必要と認めるときは、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）にセンターの管理を行わせることができる。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第十一条　前条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

一　第三条第一項の許可に関する業務

二　センターの事業として教育委員会がセンターごとに定める事業に関する業務

三　センターの維持管理に関する業務

四　前三号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

２　前項の場合における第三条及び第九条の規定の適用については、これらの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

（指定管理者が行う管理の基準）

第十二条　指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則

の定めるところに従い、適正にセンターの管理を行わなければならない。

（審議会）

第十三条　社会教育法第二十九条第一項の規定に基づき、本市が設置する全ての市民センターに共通の公民館運営審議会として、仙台市公民館運営審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

2　審議会の委員の委嘱の基準は、社会教育委員及び公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準を定める省令（平成二十三年文部科学省令第四十二号）第二条に規定する基準とする。

3　審議会の委員の定数は、十七人以内とする。

4　審議会の委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5　前三項に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

（委任）

第十四条　この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附則省略

別表（第四条関係）

一　専用使用する場合

使用区分		金額	
仙台市生涯学習支援センター	会議室	一時間につき	610円
	第1セミナー室(A)	一時間につき	610円
	第1セミナー室(B)	一時間につき	610円
	第1セミナー室(C)	一時間につき	610円
	第2セミナー室	一時間につき	920円
	ミーティング室	一時間につき	390円
	和室	一時間につき	780円
	第1音楽室	一時間につき	1,000円
	第2音楽室	一時間につき	1,000円
	創作室(1)	一時間につき	780円
	創作室(2)	一時間につき	780円
	トレーニング室	一時間につき	780円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市青葉区中央市民センター	第1会議室	一時間につき	780円
	第2会議室	一時間につき	780円
	第3会議室	一時間につき	610円
	第4会議室	一時間につき	780円
	第5会議室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	780円
	調理実習室	一時間につき	920円
	音楽室	一時間につき	920円
	小ホール(1)	一時間につき	920円
	小ホール(2)	一時間につき	780円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市宮城野区中央市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	610円
	第3会議室	一時間につき	920円
	第4会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	音楽室	一時間につき	920円
	創作室	一時間につき	920円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市若林区中央市民センター	第1会議室	一時間につき	610円
	第2会議室	一時間につき	610円
	第3会議室	一時間につき	920円
	第4会議室	一時間につき	390円
	セミナー室(A)	一時間につき	610円
	セミナー室(B)	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	390円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	390円
	和室(4)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	920円
	創作室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市太白区中央市民センター	大会議室	一時間につき	920円
	中会議室	一時間につき	780円
	第1小会議室	一時間につき	610円
	第2小会議室	一時間につき	610円
	第3小会議室	一時間につき	610円
	和室（大）	一時間につき	920円
	和室（小）	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	音楽室	一時間につき	920円
	創作室	一時間につき	780円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市泉区中央市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	390円
	第3会議室	一時間につき	390円
	研修室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	780円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	音楽室	一時間につき	720円
	創作室	一時間につき	780円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市柏木市民センター	会議室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	390円
	和室(2)	一時間につき	390円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市北山市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	390円
	第3会議室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	610円
	和室(4)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	720円
	トレーニング室	一時間につき	720円
仙台市福沢市民センター	第1会議室	一時間につき	610円
	第2会議室	一時間につき	920円
	第3会議室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	390円
	視聴覚室	一時間につき	720円
	調理実習室	一時間につき	720円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市旭ケ丘市民センター	第1会議室	一時間につき	1,000円
	第2会議室	一時間につき	780円
	第3会議室	一時間につき	780円
	展示ホール(1)	一時間につき	920円
	展示ホール(2)	一時間につき	720円
	小ホール	一時間につき	780円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市三本松市民センター	会議室	一時間につき	610円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市片平市民センター	第1会議室	一時間につき	780円
	第2会議室	一時間につき	610円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	780円
	和室(2)	一時間につき	610円
	和室(3)	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市水の森市民センター	会議室	一時間につき	780円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	780円
	和室(2)	一時間につき	610円
	和室(3)	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市員ケ森市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市中山市民センター	会議室	一時間につき	780円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市折立市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市木町通市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	390円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	1,000円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市広瀬市民センター	会議室	一時間につき	610円
	セミナー室(A)	一時間につき	610円
	セミナー室(B)	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	390円
	創作室	一時間につき	610円
仙台市宮城西市民センター	第1会議室	一時間につき	610円
	第2会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	720円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市大沢市民センター	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	780円
	和室(2)	一時間につき	390円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市泉谷市民センター	会議室兼調理実習室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市吉成市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市高砂市民センター	第1会議室	一時間につき	610円
	第2会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	780円
	和室(2)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市宮町市民センター	講義室	一時間につき	390円
	第1研修室	一時間につき	780円
	第2研修室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	610円
	視聴覚室	一時間につき	720円
	調理実習室	一時間につき	920円
	創作室	一時間につき	390円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市鶴ケ谷市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	610円
	第3会議室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市榴ケ岡市民センター	ミーティングルーム(1)	一時間につき	920円
	ミーティングルーム(2)	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	390円
	和室(2)	一時間につき	390円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市東部市民センター	会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	390円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	780円
	調理実習室	一時間につき	720円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市幸町市民センター	会議室	一時間につき	780円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市田子市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	390円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	1,000円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市福室市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市七郷市民センター	会議室	一時間につき	390円
	第1研修室	一時間につき	780円
	第2研修室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	390円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	390円
	視聴覚室	一時間につき	920円
	調理実習室	一時間につき	920円
	創作室	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市荒町市民センター	第1会議室	一時間につき	390円
	第2会議室	一時間につき	390円
	第3会議室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	720円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市六郷市民センター	第1会議室	一時間につき	610円
	第2会議室	一時間につき	390円
	第3会議室	一時間につき	390円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	720円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市若林市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市沖野市民センター	会議室	一時間につき	780円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市生出市民センター	第1講義室	一時間につき	610円
	第2講義室	一時間につき	390円
	和室	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	720円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市中田市民センター	講義室	一時間につき	610円
	第1研修室	一時間につき	780円
	第2研修室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	610円
	視聴覚室	一時間につき	720円
	調理実習室	一時間につき	920円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市西多賀市民センター	第1会議室	一時間につき	390円
	第2会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	780円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	720円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市八本松市民センター	会議室	一時間につき	390円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	920円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市八木山市民センター	会議室	一時間につき	610円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	920円
	第1研修室	一時間につき	610円
	第2研修室	一時間につき	780円
	第3研修室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市山田市民センター	会議室	一時間につき	610円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市茂庭台市民センター	会議室	一時間につき	610円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市東中田市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	920円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市柳生市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市富沢市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市秋保市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	610円
	研修室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市鹿場市民センター	会議室	一時間につき	390円
	講義室	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	480円
	体育館	午前	2,000円
		午後	2,400円
		夜間	2,500円
仙台市湯元市民センター	会議室	一時間につき	390円
	講義室	一時間につき	390円
	和室	一時間につき	610円
	視聴覚室	一時間につき	480円
	調理実習室	一時間につき	480円
	集会室	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市根白石市民センター	大会議室	一時間につき	920円
	小会議室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	780円
	調理実習室	一時間につき	920円
	工作室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市南光台市民センター	第1会議室	一時間につき	610円
	第2会議室	一時間につき	610円
	第3会議室	一時間につき	610円
	第4会議室	一時間につき	920円
	和室	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市黒松市民センター	第1研修室	一時間につき	610円
	第2研修室	一時間につき	780円
	和室	一時間につき	780円
	多目的室	一時間につき	780円
	調理実習室	一時間につき	720円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市将監市民センター	第1研修室	一時間につき	610円
	第2研修室	一時間につき	610円
	第3研修室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市加茂市民センター	会議室	一時間につき	390円
	第1研修室	一時間につき	920円
	第2研修室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市南禁市民センター	第1研修室	一時間につき	780円
	第2研修室	一時間につき	610円
	第3研修室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	音楽室	一時間につき	720円
	工作室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市松陵市民センター	第1研修室	一時間につき	780円
	第2研修室	一時間につき	610円
	第3研修室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	780円
	調理実習室	一時間につき	720円
	工作室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市寺岡市民センター	第1研修室	一時間につき	610円
	第2研修室	一時間につき	610円
	第3研修室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	720円
	トレーニング室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市長命ケ丘市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市松森市民センター	会議室	一時間につき	920円
	和室（大）	一時間につき	920円
	和室（小）	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	工作室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市桂市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	390円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	創作室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市南中山市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	610円
	研修室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	390円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	720円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

備考

一　使用時間は、午前九時から午後九時までとする。

二　「午前」とは午前九時から正午までを、「午後」とは午後一時から午後四時三十分までを、「夜間」とは午後五時三十分から午後九時までをいう。

三　その使用に係る時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。

四　一時間ごとの使用料を定めた使用区分において、第一号の使用時間以外の時間に使用する場合における使用料は、この表に定める額とする。

五　前号の使用区分以外の使用区分において、次のイからハまでに掲げる使用時間に係る使用料は、それぞれイからハまでに掲げる額とする。

イ　午前九時から午後四時三十分まで　午前の項及び午後の項に定める額の合計額

ロ　午後一時から午後九時まで　午後の項及び夜間の項に定める額の合計額

ハ　午前九時から午後九時まで　午前の項、午後の項及び夜間の項に定める額の合計額

六　前号の使用区分において、第一号に定める使用時間以外の時間に使用する場合（前号の場合を除く。）における使用料は、午後の項に定める額を時間割りして計算した額（十円未満の端数が生じたときは、これを十円に切り上げる。）とする。

七　使用者が対価の支払を受けて展示会その他の催しを行う場合その他これに類する場合の使用料は、この表に定める額の三倍以内において市長が定める。

八　会議室兼調理実習室を会議のために区分して使用する場合の使用料は、この表に定める額に〇・七を乗じて得た額（十円未満の端数が生じたときは、これを十円に切り上げる。）とする。

二　個人使用する場合

使用区分		金額
体育館・ホール・仙台市生涯学習支援センター及び仙台市北山市民センターのトレーニング室	一般	一回につき　240円
	小学生・中学生	一回につき　120円
仙台市寺岡市民センターのトレーニング室		一回につき　240円

仙台市市民センター条例施行規則

平成二年三月二九日

仙台市教育委員会規則第五号

（趣旨）

第一条　この規則は、仙台市市民センター条例（平成二年仙台市条例第八号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（使用時間）

第二条　市民センター（以下「センター」という。）の施設の使用時間は、午前九時から午後九時までとする。

２　前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、同項に規定するセンターの施設の使用時間を変更することができる。

（休館日）

第三条　センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は休館することができる。

一　月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第百七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）

二　休日の翌日（土曜日、日曜日又は休日に当たる日を除く。）

三　十二月二十八日から翌年の一月四日までの日（前二号に掲げる日を除く。）

（使用許可の手続）

第四条　条例第三条第一項の許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者は、使用申込書及び教育委員会が必要と認める書類（次項において「使用申込書等」という。）を教育委員会に提出しなければならない。

２　前項の規定による使用申込書等の提出は、次に定めるところにより行わなければならない。ただし、教育委員会が特に必要と認める場合は、この限りでない。

一　センターの施設を専用使用しようとする場合には、使用しようとする日（以下「使用日」という。）の属する月の二月前の月の十日から使用日までの期間内に行うこと

二　センターの施設を個人使用しようとする場合には、使用日に行うこと

３　教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認書を交付するものとする。

４　センターの施設の使用許可に係る手続（センターの施設を個人使用しようとする場合及び次条第二項に規定する場合の使用許可に係る手続を除く。）については、前三項の規定にかかわらず、市民利用施設予約システム（仙台市民利用施設予約システムの運用及び利用者登録等に関する規則（平成十五年仙台市規則第八十七号）第二条第二号に規定するものをいう。）を利用する方法により行うことができる。

第四条の二　条例第三条第二項第三号に規定する教育委員会が不適当と認めるときは、次の各号に掲げる場合とする。

一　センターの施設において物品又は権利の販売又は宣伝（次項において「物品販売等」という。）を行おうとする場合

二　その他センターの設置目的に照らして教育委員会が不適当と認める場合

２　教育委員会は、前項第一号の規定にかかわらず、センターの設置目的に照らして適当と認める場合は、センターの施設において物品販売等を行おうとする者に対し、使用許可をすることができる。この場合において、物品販売等を行おうとする者は、教育委員会が必要と認める書類を教育委員会に提出しなければならない。

（市長が必要と認めるときの使用料の納期限）

第五条　条例第四条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

一　使用料を口座振替の方法により納入する場合　使用許可を受けた日の属する月の翌月末日

二　区長が特別な事由があると認める場合　区長が定める日

（市長が必要と認めるときの使用料の額の特例）

第六条　使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が条例第四条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

２　条例第四条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

一　使用許可を受けた日から使用日の七日前の日までの期間　零

二　使用日の七日前の日の翌日から使用日までの期間　条例第四条第一項の規定による使用料（条例第六条の規定により使用料を減免した場合にあっては、当該減免後の使用料）の額

３　使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、センターの施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。

（使用料の返還）

第七条　使用者が条例第四条の二第一号に該当すると区長が認める場合において、条例第五条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。

２　使用者が条例第四条の二第二号に該当すると区長が認める場合において、条例第五条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、前条第二項第一号に掲げる期間においては、既納の使用料の全額とする。

３　使用料の返還を受けようとする者は、還付請求書を区長に提出しなければならない。ただし、区長が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

（指定管理者に管理を行わせる場合における規定の適用）

第八条　条例第十条の規定により指定管理者（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）にセンターの管理を行わせる場合における第四条の規定の適用については、同条中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

（審議会）

第九条　仙台市公民館運営審議会（以下「審議会」という。）は、次に掲げる事務を所掌する。

一　生涯学習支援センター長から諮問のあったことについて、審議すること

二　センターにおける各種の事業について、調査研究すること

三　センターにおける各種の事業について、評価すること

四　その他審議会が必要と認める事項について、審議等を行うこと

２　審議会に会長及び副会長一人を置く。

３　会長及び副会長は、それぞれ委員が互選する。

４　会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

５　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十条　会長は、審議会の会議を招集し、その議長となる。

２　審議会の会議は、二月ごとに一回開くものとする。ただし、会長が必要と認めたときは、臨時に開くことができる。

３　審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

４　審議会の会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十一条　審議会の庶務は、生涯学習支援センターにおいて処理する。

第十二条　前三条に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

（実施細目）

第十三条　この規則の実施細目は、教育長が定める。

附則省略

平成 28 年度
仙台市市民センター事業概要

平成 29 年 9 月　発行

編集・発行　　仙台市教育局生涯学習支援センター
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡四丁目 1 番 8 号
（パルシティ仙台ビル内）
電話　022（295）0403
FAX　022（295）0810